

AMC Manager[®]

User's Manual



Copyright© 2015 silex technology, Inc. All rights reserved.

WA102450XU

Index

1. はじめに	1
1-1. 本書について	1
本書の表記について	1
商標について	1
2. AMC Manager® とは	3
2-1. AMC Manager® の機能	4
AMC Manager® の特長	5
AMC Manager® の動作環境	7
3. AMC Manager® を導入する	9
3-1. 事前準備	9
ライセンス情報	9
対応機器情報の確認	10
3-2. AMC Manager® をインストールする	10
4. AMC Manager®	17
4-1. AMC Manager® の起動と終了方法	18
AMC Manager® を起動する	18
AMC Manager® を終了する	19
4-2. AMC Manager® の操作画面	20
4-3. 機器の Web ページを表示する	28
機器の Web ページを表示する	28
4-4. 機器の IP アドレスを設定する	31
IP アドレス設定画面	31
IP アドレスを設定する	32
4-5. 機器を個別に設定する	35
機器の設定画面	35
機器を設定する	36
4-6. 複数台の機器を一括で設定する	39

事前準備.....	39
機器の一括設定画面	55
機器の追加画面.....	56
機器の編集画面.....	57
IP アドレス設定画面	58
実行予約の設定画面	58
実行予約機能を使って自動で一括設定する.....	59
複数台の機器を一括で設定する	64
4-7. 機器のファームウェアを更新する	70
ファームウェアの更新画面.....	70
実行予約の設定画面	71
実行予約機能を使って自動でファームウェアを更新する	72
ファームウェアを更新する.....	76
複数台の機器のファームウェアを一括で更新する	79
4-8. 機器を初期化する	82
機器の初期化画面	82
機器の設定を初期化する	83
4-9. 機器を再起動する	86
機器の再起動画面	86
機器を再起動する	87
4-10. 機器の設定情報を一覧表示する	90
設定情報の取得画面	90
設定情報の一覧表示画面	91
機器の設定情報を一覧表示する	92
設定ファイルと比較する	95
4-11. 機器をグループで管理する.....	97
グループリストと機器リスト.....	97
グループを作成する	98
グループに機器を登録する.....	100
グループから機器を削除する.....	103
グループの情報を編集する.....	104

グループ情報をエクスポート/インポートする	105
4-12. Log Viewer でログを参照する	109
Log Viewer を起動する.....	109
Log Viewer を終了する.....	110
Log Viewer の操作画面.....	111
フィルタ条件について	115
保存されたログから検索して表示する	117
ログリストのフィルタ機能を使用する	120
イベントログをファイルに保存する	122
保存したイベントログを読み込む	124
4-13. アラート通知機能を設定する	127
アラート通知が発生する条件.....	128
アラート通知機能を設定する	129
4-14. 災害時開放機能を使用する.....	134
災害時開放画面	135
一括設定ファイルの選択画面.....	135
事前準備.....	136
災害時開放機能を設定する.....	140
災害時設定を使用する	143
通常運用に戻す	147
4-15. 機器の活用状況を確認する.....	150
電源 ON 時間のグラフ画面	151
利用時間のグラフ画面	152
無線子機数のグラフ画面	153
機器の活用状況を確認する.....	154
グラフをファイルに保存する.....	157
CSV ファイルフォーマット.....	159
4-16. 無線電波強度制御機能を使用する	163
無線電波強度制御機能	163
無線電波強度制御機能を設定する	164
4-17. 機器の設置場所情報を登録する	166

設置場所の編集画面	166
設置場所情報を登録する	167
4-18. AMC Manager® の設定を変更する	170
オプション設定画面	170
送信メールサーバの設定画面	174
メール送信先の設定画面	175
AMC Manager® の設定を変更する	176
4-19. ライセンス情報を更新する	177
ライセンス情報画面	177
ライセンスキーを更新する	178

5. Survey Assistant 179

5-1. Survey Assistant の機能	180
Survey Assistant の特長	180
5-2. Survey Assistant の起動と終了	181
Survey Assistant を起動する	181
Survey Assistant を終了する	183
5-3. Survey Assistant の操作画面	184
5-4. 機器を監視する	189
監視設定画面	189
機器を監視する	190
5-5. 4 つの表示モードを切り替える	191
単体表示モード	191
複数表示モード	192
履歴表示モード	193
マップモード	194
5-6. 表示帯域を切り替える	195
5-7. 表示方法を切り替える	196
5-8. 機器のグラフをマップ上に表示する	197
事前準備	197
マップを作成する	198

グラフ編集モード	200
マップ上にグラフを配置する	201
5-9. Survey Assistant の設定を変更する	203
オプション設定画面	203
Survey Assistant の設定を変更する	206

A. 付録

A-1. AMC Manager® をアンインストールする	208
A-2. 最新ファームウェアをダウンロードする	210
A-3. アプリケーションについてのお問い合わせ	211

(空白ページ)

1. はじめに

このたびは、AMC Manager® をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 本書について

本書は、AMC Manager® の設定およびご利用方法を記載したものです。

本書の表記について

- ・ 本書の内容の一部または全部を当社の事前の許可なく無断で転載あるいは、複製することは法律で禁止されています。
- ・ 本書の内容は将来予告なく変更することがあります。
- ・ 本アプリケーションのバージョンや、使用するパソコンの OS、使用する Web ブラウザやそのバージョンによっては画面上の表示が異なる場合があります。また、一部の説明に対応していない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本書編集にあたって万全を期しておりますが、誤りや設定などの例による結果に対し、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- ・ AMC Manager はサイレックス・テクノロジー株式会社の登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows などは米国マイクロソフトコーポレーションの米国および、その他の国における登録商標です。
- ・ その他記載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

(空白ページ)

2. AMC Manager® とは

この章では、AMC Manager® の機能について説明しています。

2-1. AMC Manager® の機能

AMC Manager® は、サイレックス製ネットワーク機器（以降、機器）を対象とした統合デバイス管理ソフトウェアです。無線・有線 LAN ネットワーク環境に接続された機器の状態監視や各種設定変更、ファームウェア更新・再起動といった運用管理に必要な機能を、遠隔・一括で行うことができます。多拠点・多台数の機器の運用管理の省力化や、トラブル発生 of 早期発見、問題対処にご利用いただけます。AMC Manager® には以下の 3 種類があります。

AMC Manager®	AMC Manager® (有償版) (以降、AMC Manager® Standard)
	AMC Manager® E model (有償版)
	AMC Manager® Free (無償版)

それぞれ使用できる機能が一部異なります。詳細は以下の通りです。

(○：対応，－：非対応)

機能	AMC Manager® Standard	AMC Manager® E model	AMC Manager® Free
機器管理台数	最大 10000 台	最大 10000 台	最大 10 台
同時に操作できる台数	最大 10000 台	最大 10000 台	最大 10 台
作成できるグループ数	最大 100 個	最大 100 個	最大 2 個
1 個のグループに登録できる台数	最大 1000 台	最大 1000 台	最大 10 台
機器の状態監視	○	○	○
Web ブラウザによる設定	○	○	○
機器の IP 設定	○	○	○
機器の個別設定、一括設定	○	○	○
機器のファームウェア更新	○	○	○
機器の初期化	○	○	○
機器の再起動	○	○	○
メールによるアラート通知	-	○	-
災害時開放機能	-	○	-
活用情報確認機能	-	○	-
無線電波強度制御機能	-	○	-
Log Viewer の利用	○	○	-
Syslog 情報の保存	-	○	-
Survey Assistant の利用	-	○	-
Mesh Monitor の利用	○	○	-
設置場所の登録	○	-	-
AMC Manager Plus との連携	○	-	-
設定ファイルの暗号化	○	-	○

AMC Manager® の特長

AMC Manager® の特長は以下のとおりです。

■サイレックス製品で統一して使える UI・オペレーション

サイレックス製アクセスポイントやステーション機器等のステータス監視、設定変更、バージョンアップといったオペレーションを統合。管理者の運用管理作業負担を軽減します。

■遠隔地からの運用・監視

遠隔地から統合的なステータス情報（無線 LAN ステータス・機器のステータス）を把握し、設定（チャンネル・IP・SSID など）を変更できます。ネットワーク環境や機器の問題を予見・回避、問題発生時も遠隔地から対応できます。

■一括での設定・変更、バージョンアップ

複数拠点・複数機器のファームウェアのバージョンアップや設定変更を一括で行うことができます。これにより、機器メンテナンス作業・管理作業が軽減され、SSID やセキュリティ等の定期的な変更作業も簡単に実施できます。

■無線サイトサーベイ支援プラグインによる遠隔地からの周辺無線環境把握

(AMC Manager® E model のみ対応)

本プラグインとサイレックス製品が連携することで、設置機器周辺の無線状況を可視化できます。これにより、遠隔地から導入機器の無線 LAN 状態や、導入後の環境変化を把握し、安定的な無線接続環境を構築・運用できます。



参考

- 無線サイトサーベイ支援プラグインは、『SX-ND-4370WAN』などのインタラクティブ画像伝送対応アクセスポイント製品に向けたプラグイン機能です。

■メールによるアラート通知機能 (AMC Manager® E model のみ対応)

AMC Manager® E model や監視機器に関する異常などのアラート情報をメールで通知できます。

■ Syslog 情報の保存機能 (AMC Manager® E model のみ対応)

機器から受信した Syslog 情報を専用のデータベースに保存します。保存した Syslog 情報は Log Viewer で参照できます。

■ 災害時の開放機能 (AMC Manager® E model のみ対応)

災害時等に機器を専用の設定に変更する場合、予め作成した一括設定ファイルを登録することで、簡単に災害時専用の設定や通常運用の設定に変更できます。

■ 活用情報の確認機能 (AMC Manager® E model のみ対応)

対応している機器から、電源を ON にしている時間や画面の投影時間、無線で接続している子機の台数の推移などの情報を収集し、グラフ化して確認できます。また、グループに所属する機器の合算値をグラフ化して、活動状況を確認できます。

収集した情報は、イメージファイル形式や CSV ファイル形式で保存できます。

■ AMC Manager Plus との連携 (AMC Manager® Standard のみ対応)

AMC Manager Plus は、AMC Manager® Standard が収集したサイレックス製品の各種情報や通信トラブルの有無をスマートフォンやタブレットに表示できます。

拡張プラグインの AMC Manager Plus Utility をインストールすることによって、AMC Manager Plus と連携できます。

AMC Manager® の動作環境

項目	説明
対応 OS	Windows 7 SP1 (32bit / 64bit) Windows 8 (32bit / 64bit) Windows 8.1 (32bit / 64bit) Windows 10 (32bit / 64bit) Windows 11 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 Windows Server 2025
対応言語	日本語 英語 中国語
環境	.NET Framework 4.5 以上
対応機器	サイレックス製ネットワーク機器 ※機器の対応状況は、当社 Web サイトでご確認ください。
機器管理台数	最大 10000 台 (有償版) 最大 10 台 (無償版)
対応トランスポート層プロトコル (ポート番号は占有するポート)	TCP(#60000) UDP(#60000) UDP(#60001)



注意

- Windows 8 以降では、クラシックデスクトップアプリとして動作します。
- Windows RT は、非対応です。

(空白ページ)

3. AMC Manager® を導入する

この章では、AMC Manager® を導入するための事前準備とインストール手順について説明しています。



注意

- AMC Manager® は最新のバージョンを使用してください。

3-1. 事前準備

ライセンス情報

有償版の AMC Manager® をご利用いただくためには、ライセンス発行時または購入時に登録した以下の情報が必要です。事前にご用意ください。

- ライセンスキー
- 会社名
- 名前
- メールアドレス



参考

- AMC Manager® Free をインストールする場合、上記のライセンス情報は不要です。

対応機器情報の確認

AMC Manager® をご利用いただくためには、運用管理する機器が AMC Manager® に対応している必要があります。

当社 Web サイト（<https://www.silex.jp/>）で機器の対応状況をご確認ください。また、機種によっては事前に設定が必要な場合があります。詳細は、各機種のマニュアルを参照してください。

3-2. AMC Manager® をインストールする

インストーラを起動して、AMC Manager® をインストールします。

1. AMC Manager® をインストールするパソコンで、AMC Manager® の「Setup.exe」をダブルクリックします。

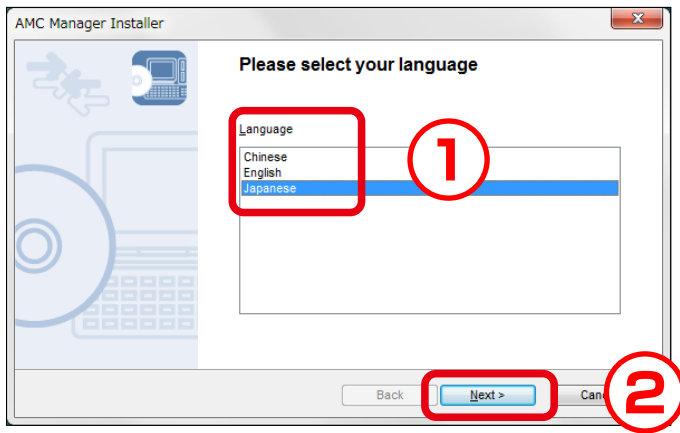


参考

- ユーザーアカウント制御が有効になっている環境で実行すると、ユーザーアカウント制御画面（OSによって表示される画面は異なります）が表示されます。表示されたら、【続行】または【はい】をクリックしてください。

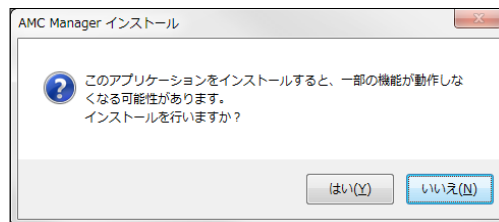
2. 言語選択画面が表示されます。

使用する言語を一覧から選択して、[Next] をクリックします。

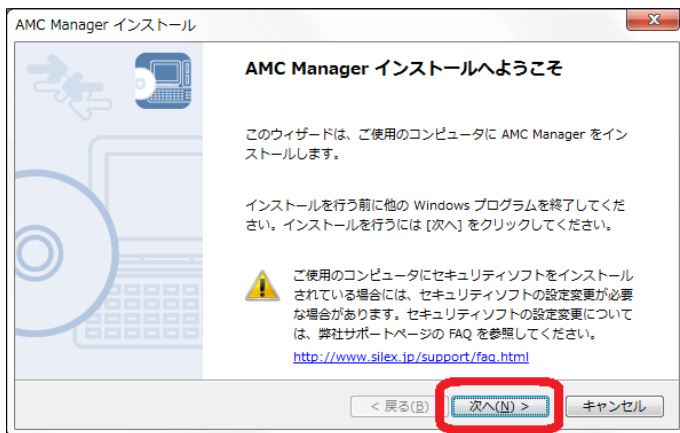


参考

- 既に AMC Manager® がインストールされている場合、インストールするバージョンによっては以下のメッセージが表示されることがあります。
- 表示されたときは、[はい] をクリックして手順 3 に進みます。



3. ようこそ画面が表示されます。
[次へ] をクリックします。



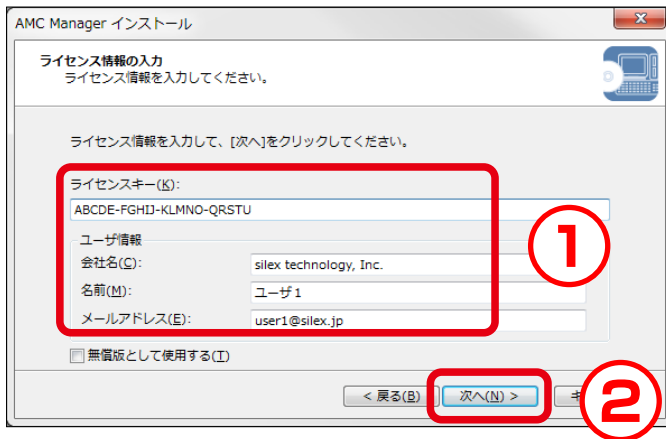
4. ソフトウェア使用許諾契約書画面が表示されます。
ソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認します。
同意したら [はい] をクリックします。



5. ライセンス情報入力画面が表示されます。

有償版を使用する場合は、ライセンス登録したライセンス情報を入力して、[次へ]をクリックします。

既に AMC Manager® がインストールされている場合は、下記画面は表示されません。

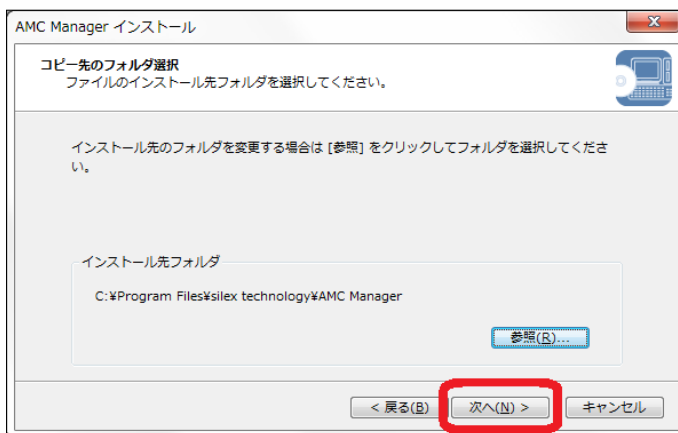


- 無償版を使用する場合は、「無償版として使用する」のチェックボックスを ON にしてから [次へ] をクリックします。

参考

6. インストールフォルダ選択画面が表示されます。

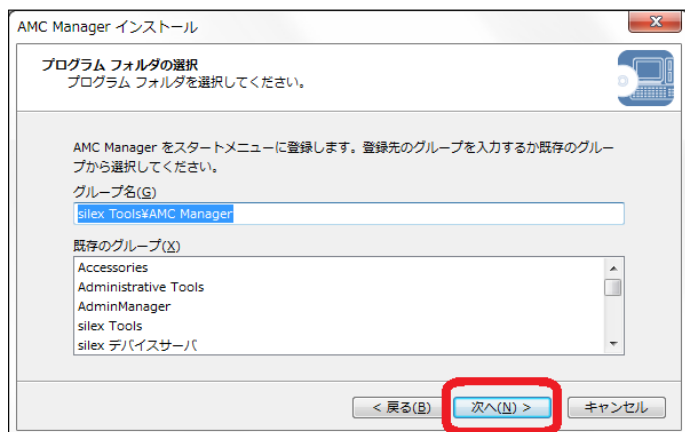
[次へ] をクリックします。



- デフォルトのインストール先フォルダは、「(C:\Program Files) ¥sillex technology¥AMC Manager」です。
- [参照] をクリックすると、インストール先フォルダを指定することができます。

7. プログラムフォルダ選択画面が表示されます。

スタートメニューに表示されるグループ名を指定して、[次へ] をクリックします。



参考

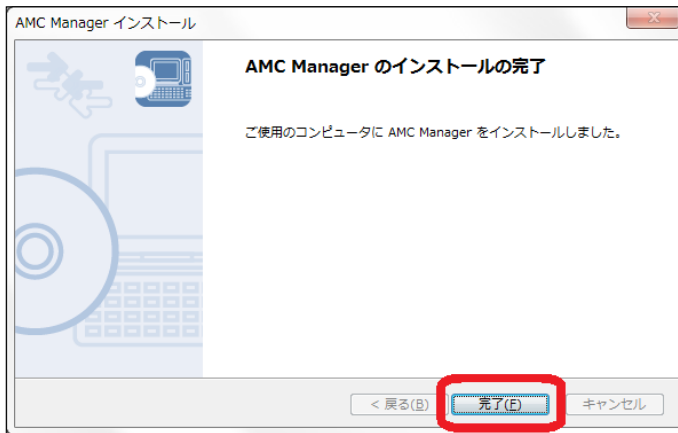
- デフォルトのグループ名は、「silex Tools ¥AMC Manager」です。
- 新しいグループ名を指定することができます。

8. インストールの開始画面が表示されます。

[開始] をクリックします。



9. インストール完了画面が表示されます。
[完了] をクリックすると、AMC Manager® が起動します。



(空白ページ)

4. AMC Manager®

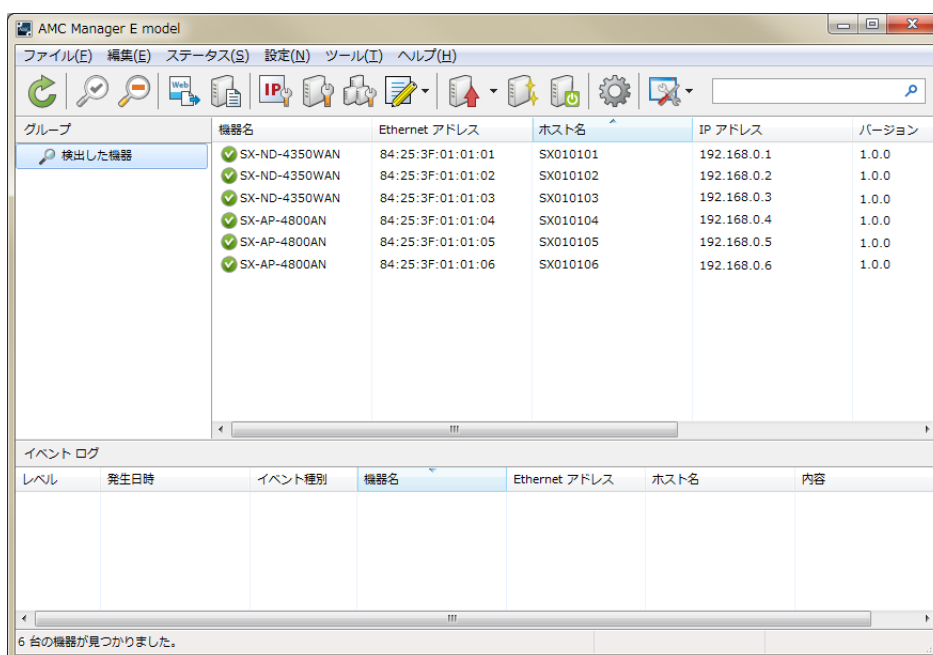
この章では、AMC Manager® の使い方について説明しています。

4-1. AMC Manager® の起動と終了方法

AMC Manager® の起動方法と終了方法について説明します。

AMC Manager® を起動する

1. 「スタート」 – 「(すべての) プログラム」 – 「silex Tools」 – 「AMC Manager」 – 「AMC Manager」 の順にクリックすると、AMC Manager® が起動します。



参考

- Windows 8 で起動する場合
スタート画面上で右クリックし、画面下部に表示されたアプリバーから「すべてのアプリ」をクリックして、「silex Tools」 – 「AMC Manager」をクリックします。
- Windows 8.1 で起動する場合
スタート画面左下にある [↓] をクリックして、「silex Tools」 – 「AMC Manager」をクリックします。
- Windows 10 で起動する場合
「スタート」 – 「(すべてのアプリ)」 – 「silex Tools」 から「AMC Manager」をクリックします。
- Windows 11 で起動する場合
「スタート」 – 「すべて (のアプリ)」 – 「silex Tools」 から「AMC Manager」をクリックします。

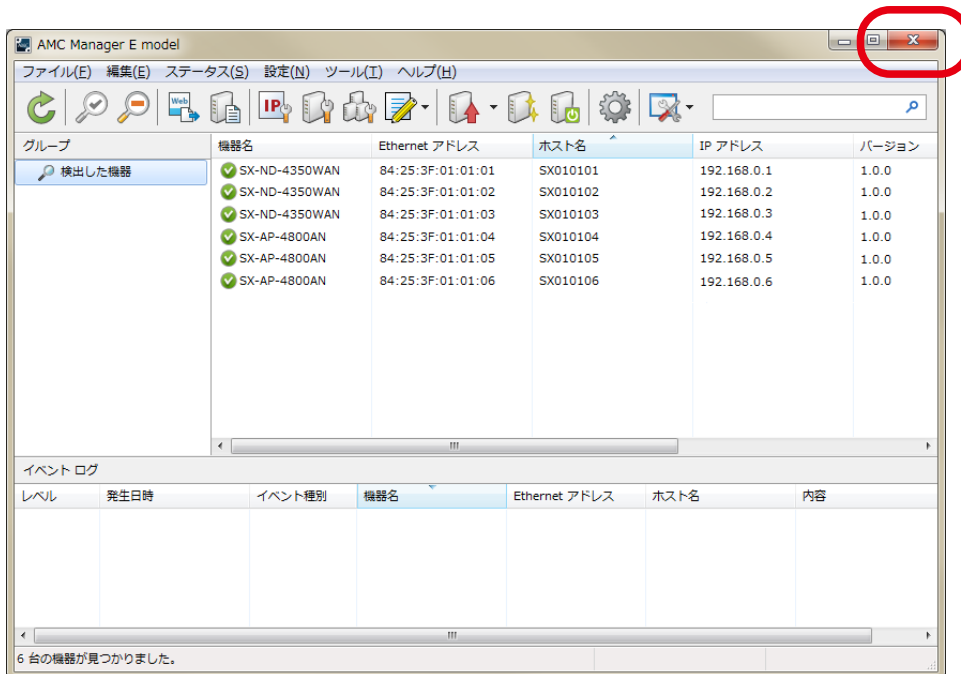


注意

- オプション設定画面で「起動パスワード設定」にパスワードを設定している場合、起動時にパスワード入力を求められます。
- AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、パスワードを間違えると、一定の時間パスワード入力ができなくなります。

AMC Manager® を終了する

1. 操作画面右上の「閉じる」ボタンをクリックすると、AMC Manager® が終了します。

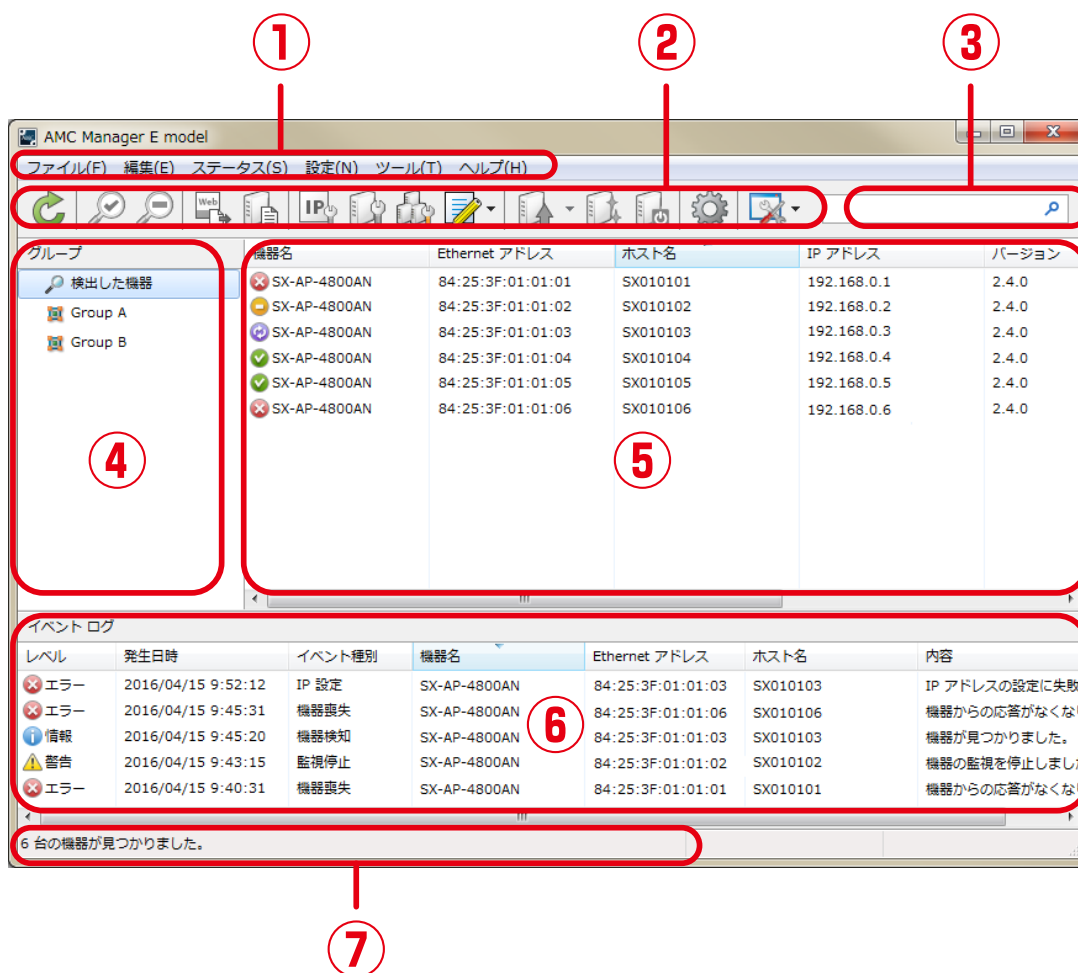


参考

- 以下の方法でも AMC Manager® を終了できます。
 - メニューバーから「ファイル」 - 「終了」の順にクリック

4-2. AMC Manager® の操作画面

AMC Manager® の操作画面について説明します。



① メニューバー

検索設定や機器情報の参照など、AMC Manager® の各機能を実行します。

② ツールバー

検索設定や機器情報の参照など、AMC Manager® の各機能を実行します。

③ 検索ボックス

入力した文字列に該当する機器を機器リストに表示します。

④ グループリスト

任意に作成したグループを一覧表示します。

⑤ 機器リスト

ネットワーク上の機器一覧とステータス情報を表示します。

⑥ ログリスト

イベントログを表示します。

⑦ ステータスバー

機器リストで選択した項目の情報などを表示します。

【メニューバー】

検索設定や機器情報の参照など、AMC Manager® の各機能を実行します。

ファイル(E) 編集(E) ステータス(S) 設定(N) ツール(I) ヘルプ(H)

メニュー	項目	説明
ファイル	更新	機器リストの表示を最新情報に更新します。 機器が工場出荷状態の場合でも検索して表示します。
	終了	AMC Manager® を終了します。
編集	グループ追加	新規にグループを作成します。
	グループ編集	選択したグループの編集画面を表示します。
	グループ削除	選択したグループを削除します。
	グループのインポート	ファイルからグループ全体の情報を読み込みます。
	グループのエクスポート	グループ全体の情報をファイルに保存します。
ステータス	監視を開始する	機器を監視対象とします。 設定した間隔で定期的にステータスを更新します。
	監視を停止する	機器を監視対象としません。 手動で更新を行うまでステータスを更新しません。
	プロパティ	機器のプロパティ画面を表示します。
	設置場所の編集	機器の設置場所を編集します。 (AMC Manager® Standard のみ対応)
	機器のシステムログ取得	機器のシステムログを取得します。
設定	Web ブラウザによる設定	機器の Web ページを表示します。
	機器の IP 設定	機器に IP アドレスを設定します。
	機器の設定	機器を個別に設定します。
	機器の一括設定	複数台の機器を一括で設定します。
	設定ファイルの作成	一括設定で使用する設定ファイルを作成します。
	設定ファイルの結合	機器の設定ファイルを結合します。
	機器のファームウェア更新	機器のファームウェアを更新します。
	機器の初期化	機器の設定を初期化して工場出荷状態にします。
	機器の再起動	機器を再起動します。
	機器の設定情報表示	選択した機器の設定情報を取得し、一覧表示します。
ツール	オプション	AMC Manager® の設定を変更します。
	Survey Assistant を起動する	Survey Assistant を起動します。 (AMC Manager® E model のみ対応)
	Mesh Monitor を起動する	Mesh Monitor を起動します。 (AMC Manager® Standard、AMC Manager® E model のみ対応)
	AMC Manager Plus Utility を起動する	AMC Manager Plus Utility を起動します。 (AMC Manager® Standard のみ対応)
	Log Viewer を起動する	Log Viewer を起動します。 (AMC Manager® Standard、AMC Manager® E model のみ対応)
	災害時開放	災害時開放画面を表示します。 (AMC Manager® E model のみ対応)
	活用状況を確認する	活用状況画面を表示します。 (AMC Manager® E model のみ対応)
	グループの活用状況を確認する	グループ活用状況画面を表示します。 (AMC Manager® E model のみ対応)
ヘルプ	サイレックス Web ページ	当社 Web サイトを表示します
	ライセンス情報	AMC Manager® のライセンス情報を表示します。
	バージョン情報	AMC Manager® のバージョン情報を表示します。

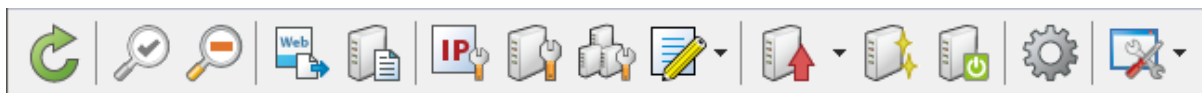


参考

- 機器とパソコンが同じネットワーク上にある場合、「更新」を選択して実行した時は、パソコンの IP アドレスのクラスが一致していなくても検索が行えるため、工場出荷状態の機器を検索できます。
- 各機能は、機器側が対応していない場合は選択できません。

【ツールバー】

検索設定や機器情報の参照など、AMC Manager® の各機能を実行します。



アイコン	項目	説明
	更新	機器リストの表示を最新情報に更新します。 機器が工場出荷状態の場合でも検索して表示します。
	監視を開始する	機器を監視対象とします。 設定した間隔で定期的にステータスを更新します。
	監視を停止する	機器を監視対象としません。 手動で更新を行うまでステータスを更新しません。
	Web ブラウザによる設定	機器の Web ページを表示します。
	プロパティ	機器のプロパティ画面を表示します。
	IP アドレスを設定する	機器に IP アドレスを設定します
	機器の設定を行う	機器を個別に設定します。
	一括設定を行う	複数台の機器を一括で設定します。
	設定ファイルを作成する	一括設定で使用する設定ファイルを作成します。
	ファームウェアを更新する	機器のファームウェアを更新します。
	機器を初期化する	機器の設定を初期化して工場出荷状態にします。
	機器を再起動する	機器を再起動します。
	オプション	AMC Manager® の設定を変更します。 ステータスの更新間隔などが設定できます。
	プラグインツールを起動する	Log Viewer などの AMC Manager® のプラグイン ツールを起動します。

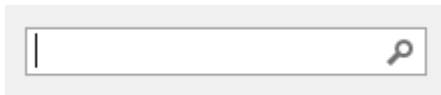


参考

- 機器とパソコンが同じネットワーク上にある場合、「更新」 ボタンをクリックして実行した時は、パソコンの IP アドレスのクラスが一致していなくても検索が行えるため、工場出荷状態の機器を検索できます。

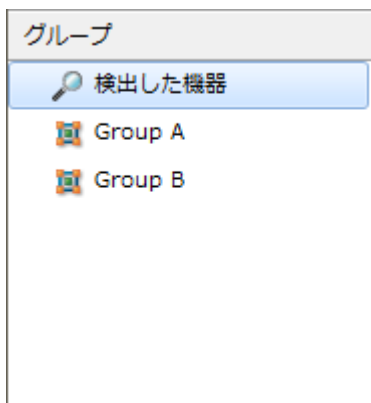
【検索ボックス】

入力した文字列を含む機器のみを機器リストに表示します。文字列の検索対象は、機器リストのすべての項目です。



【グループリスト】

任意に作成したグループを一覧表示します。グループを選択すると、グループに登録されている機器のみを機器リストに表示します。



参考

- グループリストで右クリックすると、コンテキストメニューを表示します。コンテキストメニューでは、グループの追加や編集など、メニューバーの「編集」と同じ機能を使用できます。









注意









- AMC Manager® Free を使用した場合は、「検出した機器」に表示される台数が最大 10 台となります。

【機器リスト】

ネットワーク上の機器一覧とステータス情報を表示します。

機器名	Ethernet アドレス	ホスト名	IP アドレス	バージョン
 SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:01	SX010101	192.168.0.1	2.4.0
 SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:02	SX010102	192.168.0.2	2.4.0
 SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:03	SX010103	192.168.0.3	2.4.0
 SX-ND-4350WAN	84:25:3F:01:01:04	SX010104	192.168.0.4	2.4.0
 SX-ND-4350WAN	84:25:3F:01:01:05	SX010105	192.168.0.5	2.4.0
 SX-ND-4350WAN	84:25:3F:01:01:06	SX010106	192.168.0.6	2.4.0

項目	説明
機器名	機器の状態を表すステータスアイコンと機器名を表示します。
Ethernet アドレス	機器の Ethernet アドレスを表示します。
ホスト名	機器のホスト名を表示します。
IP アドレス	機器の IP アドレスを表示します。
バージョン	機器のファームウェアのバージョンを表示します。
ステータス	機器のステータス情報を表示します。
情報	機器から受信した情報文字列を表示します。表示する内容は機器によって異なります。(AMC Manager® Free、AMC Manager® E model のみ表示)
設置場所	機器を設置した場所を表示します。表示する内容は、「設置場所の編集」で登録できます。(AMC Manager® Standard のみ表示)
最終更新時刻	ステータスを受信した最終日時を表示します。

アイコン	ステータス	説明
	ステータス更新中	機器のステータスを取得中です。
	動作中	機器は動作しています。
	動作中 (工場出荷状態)	機器は工場出荷状態で動作しています。
	動作中 (パスワード未設定)	機器は動作していますが、パスワードが設定されていません。
	応答がありません	機器はネットワーク上で検出されません。
	応答がありません (工場出荷状態)	機器はネットワーク上で検出されません。
	監視対象ではありません	機器は監視対象ではありません。
	未検出	機器は検出されていません。

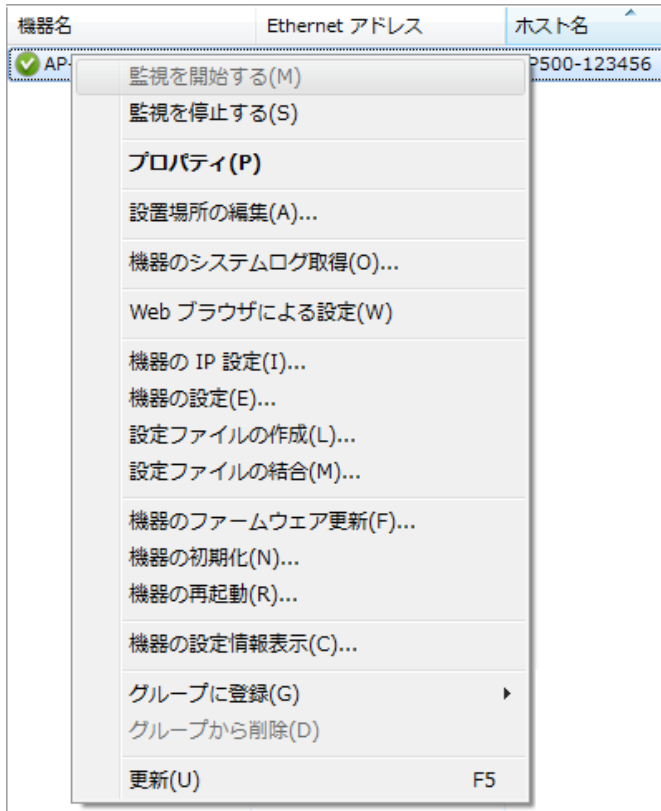


- 各項目のカラムヘッダーをクリックするとソートできます。

参考

【コンテキストメニュー】

機器リストで機器を選択して右クリックすると、コンテキストメニューを表示します。コンテキストメニューでは、選択した機器の監視や機器の設定など、AMC Manager® の各機能を実行します。








項目	説明
監視を開始する	機器を監視対象とします。 設定した間隔で定期的にステータスを更新します。
監視を停止する	機器を監視対象としません。 手動で更新を行うまでステータスを更新しません。
プロパティ	機器のプロパティ画面を表示します。
設置場所の編集	機器の設置場所を編集します。(AMC Manager® Standardのみ対応)
活用状況を確認する	活用状況画面を表示します。(AMC Manager® E modelのみ対応)
グループの活用状況を確認する	グループの活用状況画面を表示します。(AMC Manager® E modelのみ対応)
機器のシステムログ取得	機器のシステムログ取得画面を表示します。
Web ブラウザによる設定	機器の Web ページを表示します。
機器の IP 設定	機器に IP アドレスを設定します
機器の設定	機器を個別に設定します。
機器の一括設定	複数台の機器を一括で設定します。
設定ファイルの作成	機器情報を元にして、一括設定で使用する設定ファイルを作成します。
設定ファイルの結合	機器の設定ファイルを結合します。
機器のファームウェア更新	機器のファームウェアを更新します。
機器の初期化	機器の設定を初期化して工場出荷状態にします。
機器の再起動	機器を再起動します。
機器の設定情報表示	選択した機器の設定情報を取得し、一覧表示します。
グループに登録	機器を指定したグループに登録します。
グループから削除	機器を現在登録しているグループから削除します。
更新	機器のステータスを最新情報に更新します。




【ログリスト】

AMC Manager® で行った操作やネットワーク上の機器の監視結果など、AMC Manager® のイベント情報を表示します。

ログリストの表示は AMC Manager® の起動時に初期化されますが、過去のログは Log Viewer で参照できます。









イベントログ						
レベル	発生日時	イベント種別	機器名	Ethernet アドレス	ホスト名	内容
 エラー	2016/04/15 9:52:12	IP 設定	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:03	SX010103	IP アドレスの設定に失敗
 エラー	2016/04/15 9:45:31	機器喪失	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:06	SX010106	機器からの応答がなくなり
 情報	2016/04/15 9:45:20	機器検知	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:03	SX010103	機器が見つかりました。
 警告	2016/04/15 9:43:15	監視停止	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:02	SX010102	機器の監視を停止しました
 エラー	2016/04/15 9:40:31	機器喪失	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:01	SX010101	機器からの応答がなくなり

項目	説明
レベル	イベントの内容とレベル種別を表すアイコンを表示します。
発生日時	イベントの発生日時を表示します。
イベント種別	イベントの種別を表示します。
機器名	イベントが発生した機器の機器名を表示します。
Ethernet アドレス	イベントが発生した機器の Ethernet アドレスを表示します。
ホスト名	イベントが発生した機器のホスト名を表示します。
内容	イベントの内容を表示します。

アイコン	レベル種別	説明
	情報	設定変更やネットワーク上の機器の検索の成功などの正常系イベント。
	エラー	設定変更の失敗や通信エラーなどのイベント。
	警告	機器の監視の停止などのイベント。



- AMC Manager® E model ではシスログも表示することができます。シスログのアイコンとレベル種別は以下の通りです。

アイコン	レベル種別	説明
	危機的	機器から受信したシスログの重大度を示します。
	警戒	
	致命的	
	エラー	
	警告	
	通知	
	情報	
	デバッグ	

イベント種別	説明
IP 設定	IP アドレスの設定時に表示します。
設定変更	設定変更時に表示します。
設定初期化	設定の初期化時に表示します。
機器再起動	再起動時に表示します。
ファームウェア更新	ファームウェアの更新時に表示します。
システムログ取得	システムログの取得時に表示します。
メール送信	AMC Manager® E model や監視機器に関する異常などについてアラート通知が送信された時に表示します。
監視開始	機器の監視を開始した時に表示します。
監視停止	機器の監視を停止した時に表示します。
機器検知	機器から応答があった時に表示します。
機器喪失	機器から応答が無くなった（通信エラー）時に表示します。
機器復帰	機器喪失後、機器から応答があった時に表示します。
変更検知	AMC Manager® 以外の方法で設定変更やファームウェアが更新されたことを検知した時に表示します。
アプリケーション起動	AMC Manager® を起動したときに表示します。
アプリケーション終了	AMC Manager® を終了したときに表示します。
機器のシスログ	機器からシスログを受信したときに表示します。



- 各項目のカラムヘッダーをクリックするとソートできます。

参考

【ステータスバー】

ネットワーク上の機器の台数や機器リストで選択した機器の台数を表示します。選択した機器が 1 台のときは、機器の Ethernet アドレスと IP アドレスも表示します。

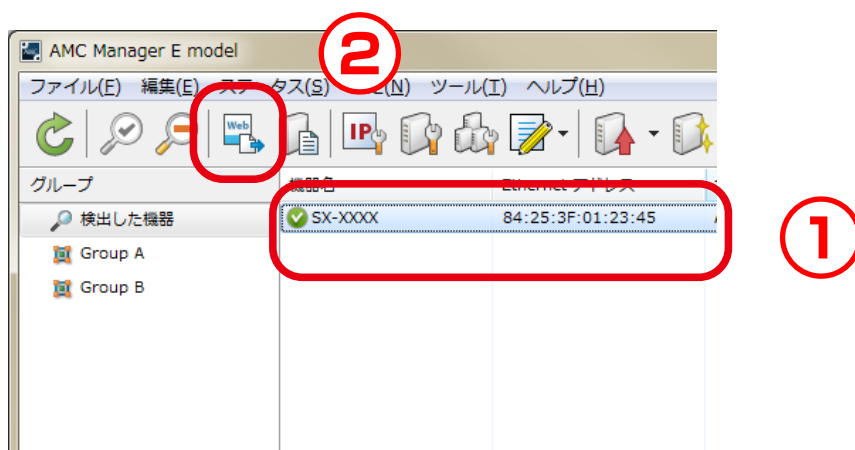
1 個の項目を選択しています。	84:25:3F:01:23:45	192.168.20.123
-----------------	-------------------	----------------

4-3. 機器の Web ページを表示する

機器リストに表示された機器の Web ページを表示する方法を説明します。
機器の Web ページでは、各機器の詳細なステータス表示や設定が行えます。

機器の Web ページを表示する

1. 機器リストで機器を選択して、ツールバーの「Web ブラウザによる設定」アイコンをクリックします。



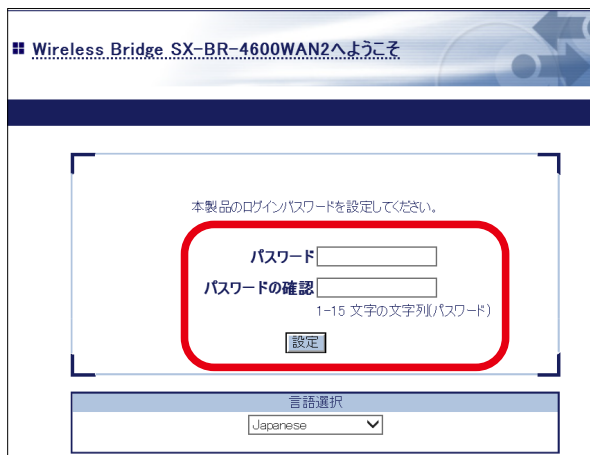


参考

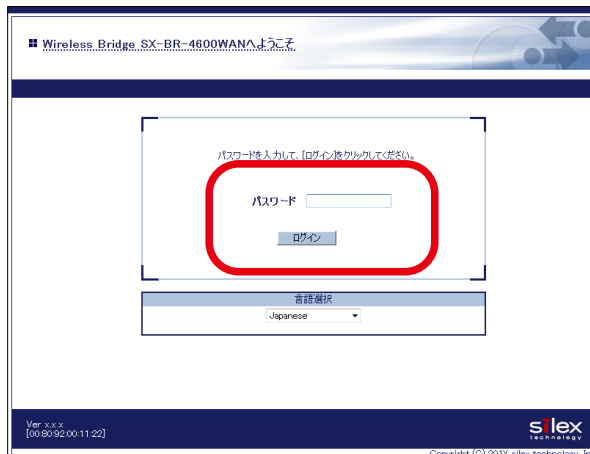
- 以下の方法でも機器の Web ページを表示できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「Web ブラウザによる設定」
 - 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「Web ブラウザによる設定」
- 機器とパソコンの IP アドレスのクラスが一致していない場合は、Web ページを表示できません。「4-4. 機器の IP アドレスを設定する」を参照して、IP アドレスを設定してから Web ページを表示してください。
- 警告画面が表示された場合は、[詳細設定] をクリックし、表示される「xxxxxx に進む (安全ではありません)」をクリックしてください。



- 下記のパスワード設定画面が表示されたときは、選択した機器に設定するパスワードを入力して、[設定] をクリックします。



- 機器にパスワードが設定されている場合は、下記画面が表示されます。機器に設定されているパスワードを入力して、[ログイン] をクリックしてください。



4-4. 機器の IP アドレスを設定する

機器の IP アドレスを設定する方法について説明します。
IP アドレスの設定は、IP アドレス設定画面で行います。

IP アドレス設定画面

項目	説明	初期値
機器名	設定する機器の機器名を表示します。	-
Ethernet アドレス	設定する機器の Ethernet アドレスを表示します。	-
IP アドレス	機器に設定する IP アドレスを入力します。	なし
サブネットマスク	機器に設定するサブネットマスクを入力します。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	機器に設定するデフォルトゲートウェイを入力します。	0.0.0.0
設定後に機器の設定ページを Web ブラウザで開く	IP アドレス設定後に機器の Web ページを表示する場合は、チェックボックスを ON にします。 機器の Web ページは、「http:// (IP アドレス) /」で指定されます。	OFF
[OK] ボタン	入力したアドレスを機器に設定します。	-
[キャンセル] ボタン	入力した内容を設定せずに IP アドレス設定画面を閉じます。	-

IP アドレスを設定する

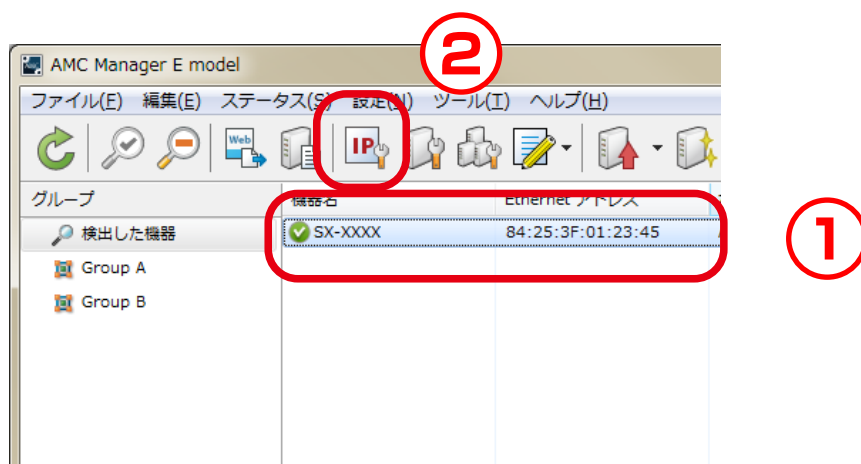
1. IP アドレスの設定を行う場合は、事前に設定で使用するパソコンの IP アドレスの変更が必要です。

設定で使用するパソコンの IP アドレスは、機器に設定する IP アドレスと通信できるように設定してください。

設定例)

機器に設定する IP アドレスの例	設定で使用するパソコンの設定例
192.168.0.10	192.168.0.100
172.25.10.10	172.25.10.100

2. 機器リストで IP アドレスを設定する機器を 1 台選択して、ツールバーの「IP アドレスを設定する」アイコンをクリックします。



参考

- 以下の方法でも IP アドレスを設定できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器の IP 設定」
 - 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器の IP 設定」

3. IP アドレス設定画面が表示されます。

アドレスを入力して [OK] をクリックします。

続けて機器の Web ページを表示する場合は、「設定後に機器の設定ページを Web ブラウザで開く」のチェックボックスを ON にしてから [OK] をクリックします。

IP アドレス設定

次の機器の IP アドレスを設定します。

機器名: SX-XXXX

Ethernet アドレス: 84:25:3F:01:23:45

IP アドレス(I): 192 . 168 . 20 . 123

サブネットマスク(S): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ(D): 192 . 168 . 20 . 1

設定後に機器の設定ページを Web ブラウザで開く (W)

OK



- 機器にパスワードが設定されている場合は、下記画面が表示されます。
機器に設定されているパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。

パスワードの入力

次の機器に接続するためのパスワードを入力してください。

機器名: SX-XXXX

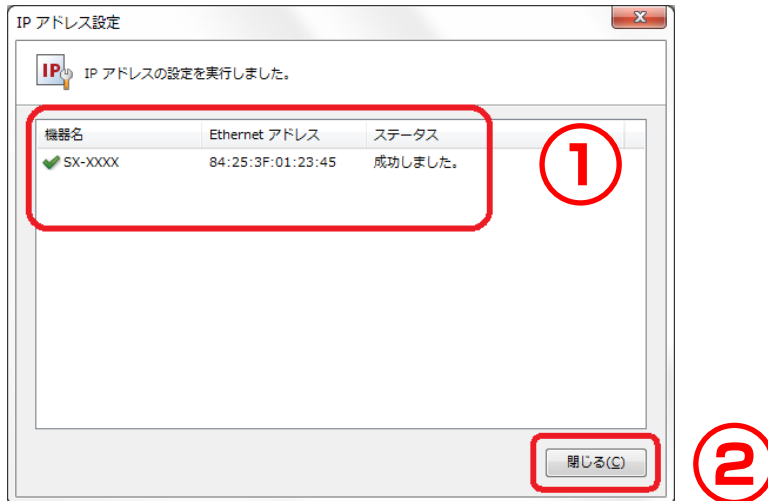
Ethernet アドレス: 84:25:3F:01:23:45

パスワード(P): ●●●●●●●●

OK

4. IP アドレス設定の実行結果が表示されます。

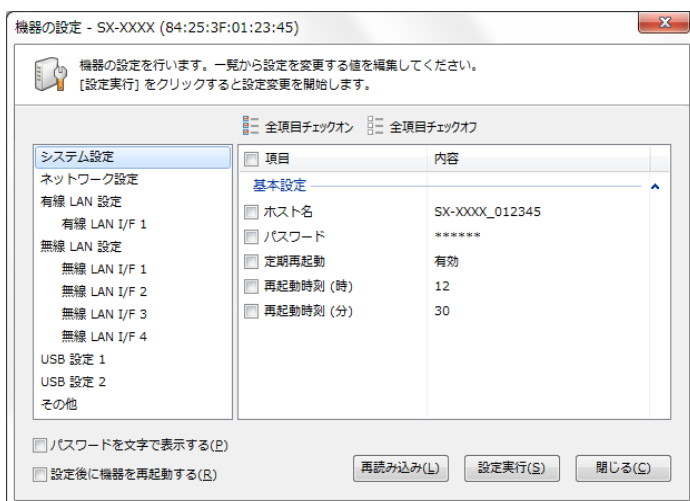
「設定後に機器の設定ページを Web ブラウザで開く」のチェックボックスを ON にしていた場合は、Web ブラウザが起動して機器の Web ページが表示されます。
[閉じる] をクリックして、IP アドレス設定画面を閉じます。



4-5. 機器を個別に設定する

機器の設定を個別に設定する方法について説明します。
機器の設定は、機器の設定画面で行います。

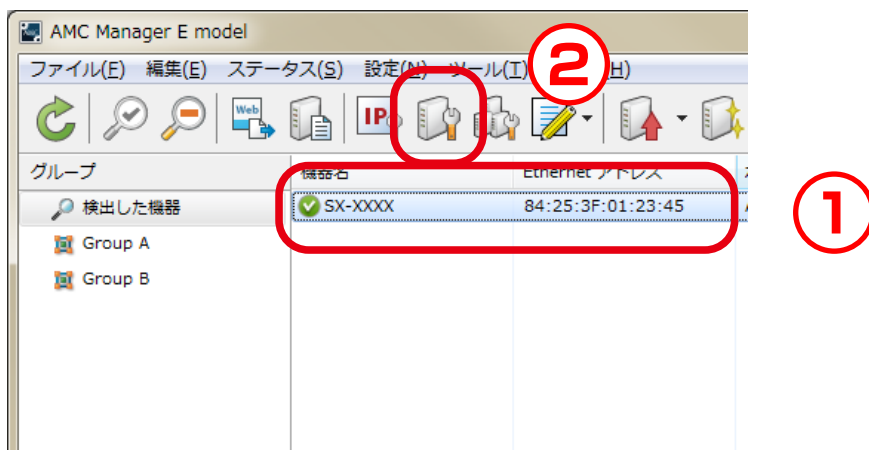
機器の設定画面



項目	説明
タイトル	設定する機器の機器名と Ethernet アドレスを表示します。
全項目チェックオン	クリックすると全項目のチェックボックスが ON になります。
全項目チェックオフ	クリックすると全項目のチェックボックスが OFF になります。
メニュー項目	設定情報のメニューを表示します。 選択したメニューの設定項目が詳細リストに表示されます。
詳細リスト	設定項目と内容を表示します。 表示される設定項目は、選択した機器により異なります。 各設定項目の内容には、機器の現在の設定が反映されています。 チェックボックスを ON にした設定項目が設定対象項目となります。
パスワードを文字で表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします。
設定後に機器を再起動する	設定後、機器を自動で再起動するときはチェックボックスを ON にします。
[再読み込み] ボタン	機器の設定値を再取得して表示します。
[設定実行] ボタン	入力した設定対象項目の値を機器に設定します。
[閉じる] ボタン	機器の設定画面を閉じます。

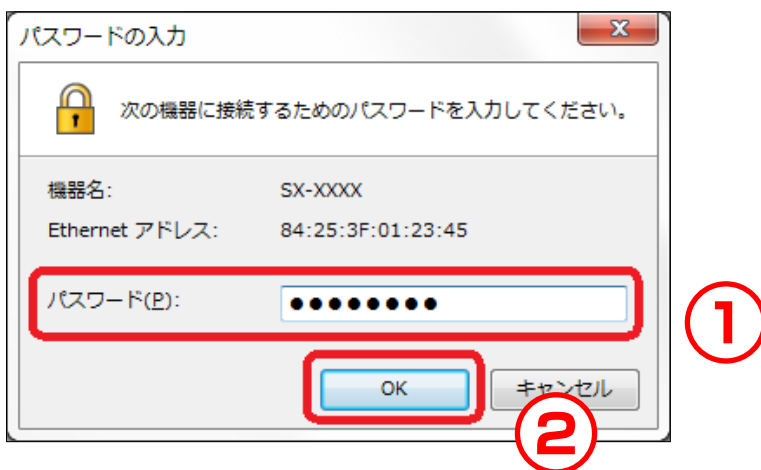
機器を設定する

1. 機器リストで設定する機器を 1 台選択して、ツールバーの「機器の設定を行う」アイコンをクリックします。



- 以下の方法でも機器を設定できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器の設定」
 - 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器の設定」

2. 機器にパスワードが設定されている場合は、下記画面が表示されます。機器に設定されているパスワードを入力して、[OK] をクリックします。





- 機器にパスワードが設定されていない場合は、下記画面が表示されます。機器に設定するパスワードを入力して、[登録] をクリックしてください。登録が完了すると機器リストが表示されます。再度手順 1 から操作を行ってください。

パスワードの登録

機器にパスワードが登録されていません。
機器を設定するには、パスワードを登録する必要があります。

機器名: SX-XXXX
Ethernet アドレス: 84:25:3F:01:31:02

パスワード(P):
パスワードの確認(C):

登録(R) キャンセル

3. 機器の設定画面が表示されます。

各設定項目には、機器の現在の設定が反映されています。

設定する設定項目のチェックボックスを ON にして、内容を編集します。

設定する設定項目をすべて編集したら [設定実行] をクリックします。

設定後、機器を自動で再起動させる場合は、「設定後に機器を再起動する」のチェックボックスを ON にしてから [設定実行] をクリックします。

機器の設定 - SX-XXXX (84:25:3F:01:23:45)

機器の設定を行います。一覧から設定を変更する値を編集してください。
【設定実行】をクリックすると設定変更を開始します。

全項目チェックオン 全項目チェックオフ

項目	内容
基本設定	
<input type="checkbox"/> ホスト名	SX-XXXX_012345
<input type="checkbox"/> パスワード	*****
<input checked="" type="checkbox"/> 定期再起動	有効
<input checked="" type="checkbox"/> 再起動時刻 (時)	12
<input checked="" type="checkbox"/> 再起動時刻 (分)	30

パスワードを文字で表示する(P)
 設定後に機器を再起動する(R)

再読み込み(L) 設定実行(S)



- チェックボックスを ON にした設定項目のみ更新します。更新しない設定項目のチェックボックスは OFF にしてください。
- 更新した設定項目は、再起動後に有効になります。自動で再起動しない場合は、本誌の「機器を再起動する」を参照して手動で再起動してください。

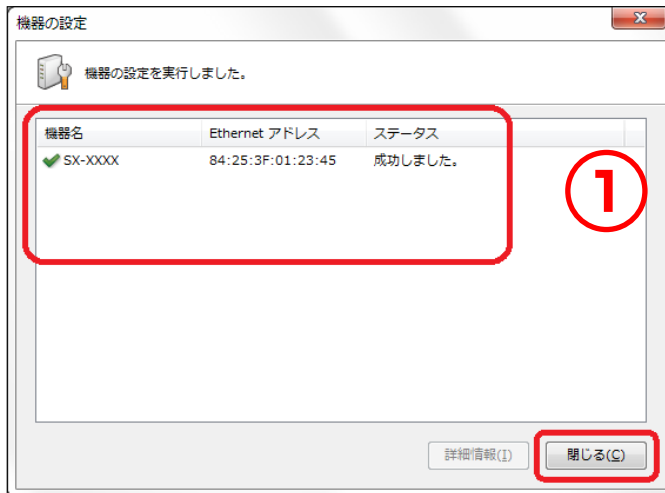


- 設定可能な項目は、機器の機種によって異なります。設定項目の詳細は、各機種のマニュアルを参照してください。

4. 設定更新の実行結果が表示されます。

「設定後に機器を再起動する」のチェックボックスを ON にしていた場合は、機器が自動で再起動して設定した項目が有効になります。

[閉じる] をクリックして、機器の設定画面を閉じます。



4-6. 複数台の機器を一括で設定する

複数台の機器を一括で設定する方法について説明します。
一括設定では、設定情報を保存した「設定ファイル」を機器に展開して設定します。

事前準備

複数台の機器を一括で設定する場合は、事前に設定ファイルを用意する必要があります。

設定ファイルを用意するには、以下の4つの方法があります。

1) 選択した機器から作成する

機器リストに表示されている機器の設定情報を使用して作成します。

2) テンプレートから作成する

各機種用の設定項目のテンプレートを使用して作成します。

3) 既存のファイルを編集する

以前作成した設定ファイルを編集します。

4) 複数の設定ファイルを結合する

複数の設定ファイルから新しい設定ファイルを作成します。



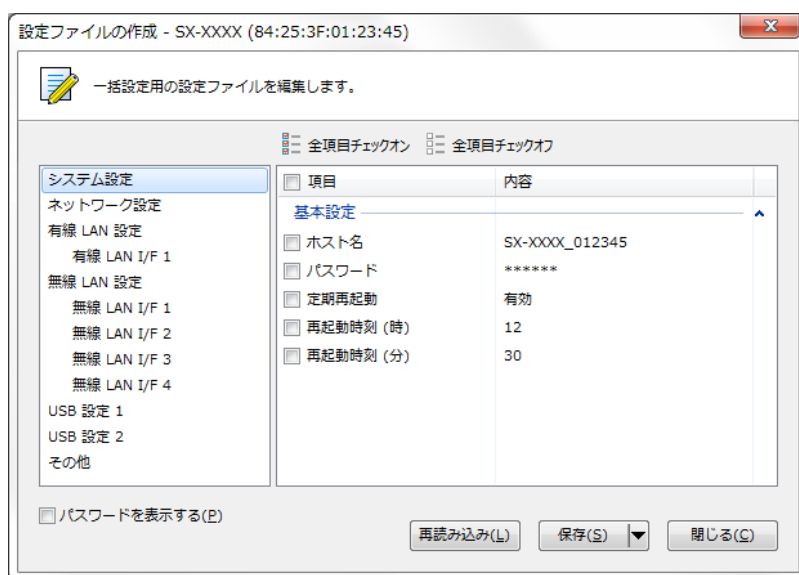
注意

• 機器にパスワードが設定されていないときは、必ず作成する設定ファイルの中にあるパスワードを設定してください。パスワードが設定されていないと、一括設定が正常に行われません。
(AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free の場合)

1) 選択した機器から作成する

機器リストに表示されている機器の設定情報を使用して作成します。
既に設定された機器の設定を流用することができます。
設定ファイルは、設定ファイルの作成画面で作成します。

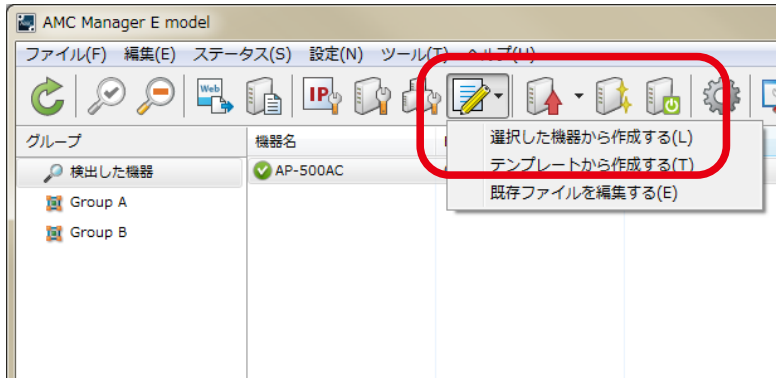
【設定ファイルの作成画面】



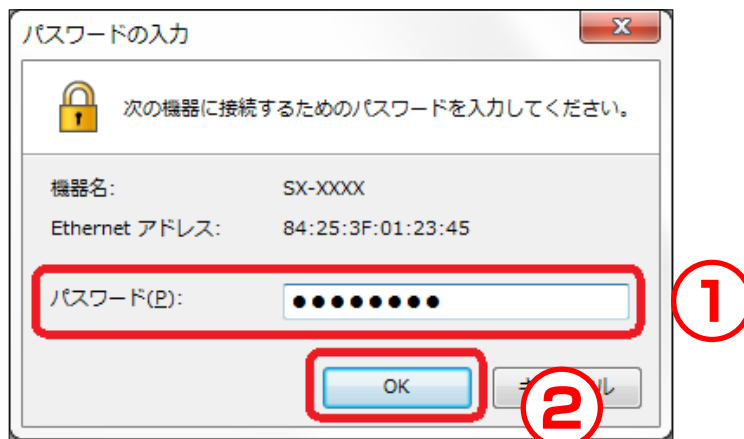
項目	説明
タイトル	選択した機器の機器名と Ethernet アドレスを表示します。
全項目チェックオン	クリックすると全項目のチェックボックスが ON になります。
全項目チェックオフ	クリックすると全項目のチェックボックスが OFF になります。
メニュー項目	設定情報のメニューを表示します。
詳細リスト	設定項目と内容を表示します。 各設定項目には、機器の現在の設定が反映されています。 表示される設定項目は、選択した機器により異なります。 チェックボックスを ON にした設定項目が設定対象項目となります。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします
[再読み込み] ボタン	機器の設定値を再取得して表示します。
[保存] ボタン	入力した設定対象項目の値を設定ファイルに保存します。
[閉じる] ボタン	設定ファイルの作成画面を閉じます。

【設定ファイルを作成する】

1. 機器リストで設定情報を使用する機器を選択して、ツールバーの「設定ファイルを作成する」アイコン - 「選択した機器から作成する」を選択します。



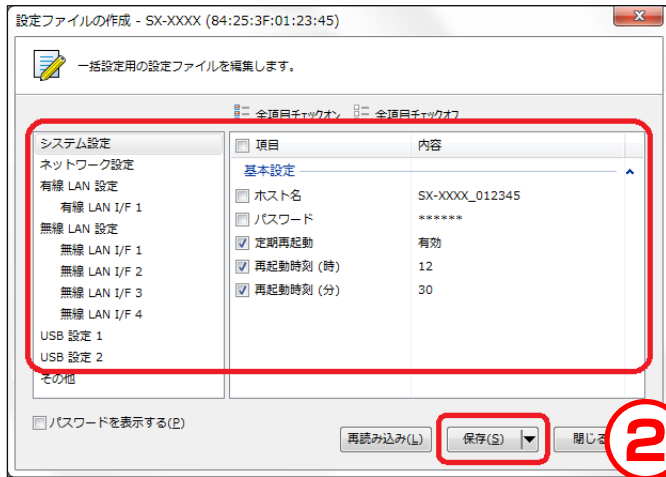
- 以下の方法でも設定ファイルを作成できます。
 - ・ 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「設定ファイルの作成」 - 「選択した機器から作成」
 - ・ 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「設定ファイルの作成」
- 機器にパスワードが設定されている場合は、下記画面が表示されます。
機器に設定されているパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



2. 設定ファイルの作成画面が表示されます。

各設定項目には、機器の現在の設定が反映されています。

設定ファイルで使用する設定項目のチェックボックスを ON にして、内容を編集します。使用する設定項目をすべて編集したら [保存] をクリックします。



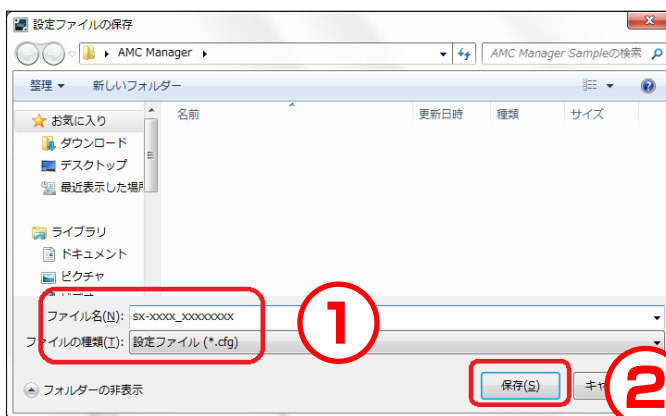
- チェックボックスを ON にした設定項目のみ更新して保存します。更新しない設定項目のチェックボックスは OFF にしてください。



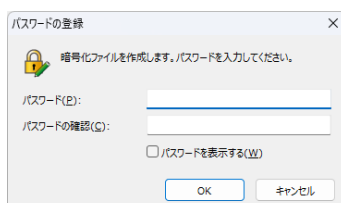
- 設定可能な項目は、機器の機種によって異なります。設定項目の詳細は、各機種のマニュアルを参照してください。

3. 設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。

ファイル名を指定して [保存] をクリックします。



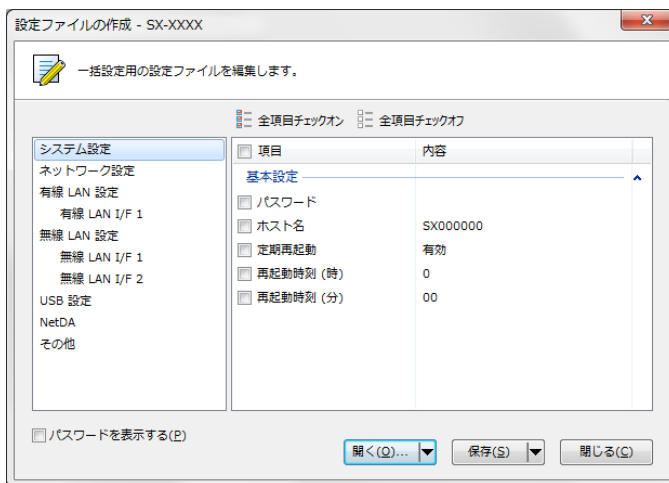
- AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、パスワード付き暗号化設定ファイル (拡張子 cfgx) が指定されます。ファイルに設定するパスワードを入力してください。なお、通常の設定ファイル (拡張子 cfg) の指定も可能です。



2) テンプレートから作成する

各機種用に用意された設定項目のテンプレートを使用して作成します。
設定ファイルは、設定ファイルの作成画面で作成します。

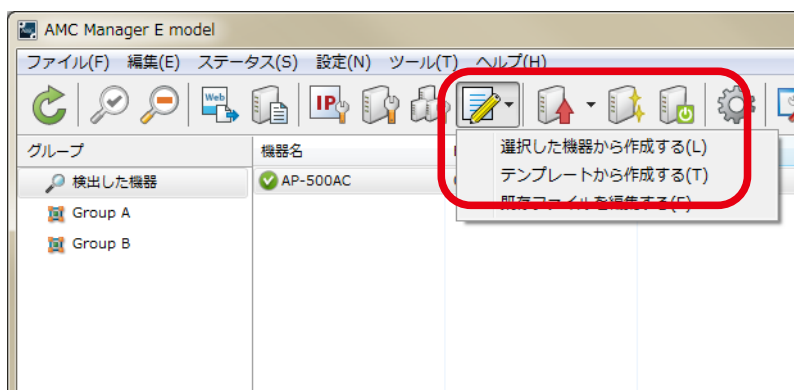
【 設定ファイルの作成画面 】



項目	説明
タイトル	選択したテンプレートの機器名を表示します。
全項目チェックオン	クリックすると全項目のチェックボックスが ON になります。
全項目チェックオフ	クリックすると全項目のチェックボックスが OFF になります。
メニュー項目	設定情報のメニューを表示します。
詳細リスト	設定項目と内容を表示します。 表示される設定項目は、選択した機種により異なります。 チェックボックスを ON にした設定項目が設定対象項目となります。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします
[開く] ボタン	既存の設定ファイルを開きます。
テンプレートを開く	設定ファイルのテンプレート選択画面を表示します。
[保存] ボタン	入力した設定対象項目の値を設定ファイルに保存します。
[閉じる] ボタン	設定ファイルの作成画面を閉じます。

【 設定ファイルを作成する 】

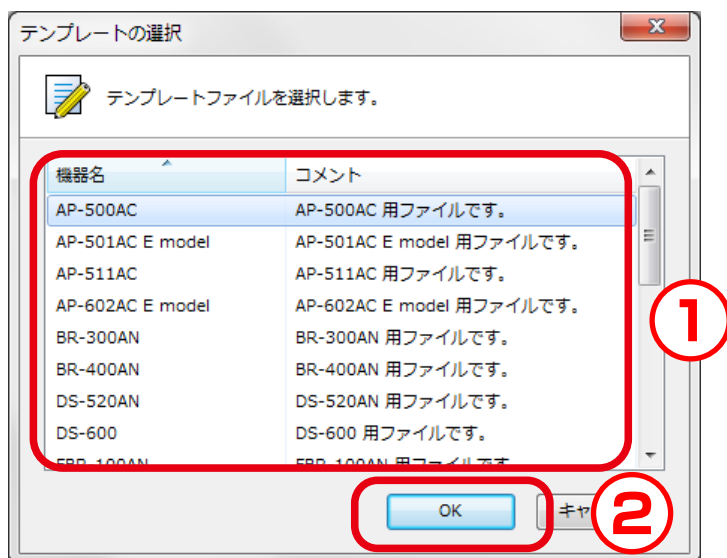
1. ツールバーの「設定ファイルを作成する」アイコン - 「テンプレートから作成する」を選択します。



- ・以下の方法でも設定ファイルを作成できます。
 ・メニューバーの「設定」 - 「設定ファイルの作成」 - 「テンプレートから作成」

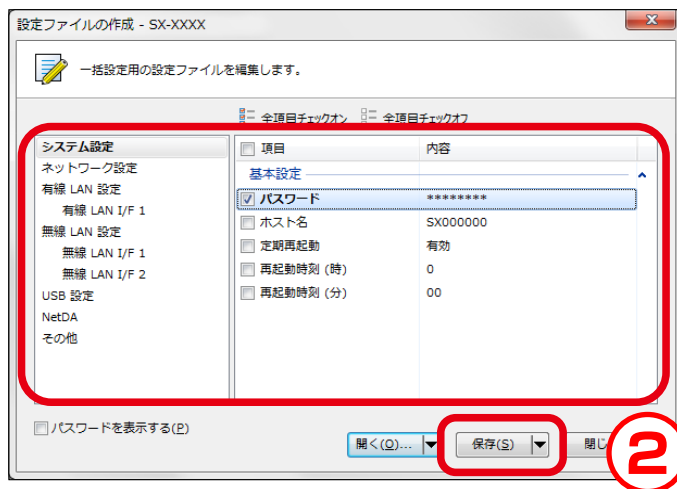
参考

2. テンプレートの選択画面が表示されます。
 設定する機器名を選択して [OK] をクリックします。



3. 設定ファイルの作成画面が表示されます。

設定ファイルで使用する設定項目のチェックボックスを ON にして、内容を編集します。使用する設定項目をすべて編集したら [保存] をクリックします。



注意

- チェックボックスを ON にした設定項目のみ更新して保存します。更新しない設定項目のチェックボックスは OFF にしてください。



参考

- 設定可能な項目は、機器の機種によって異なります。設定項目の詳細は、各機種のマニュアルを参照してください。

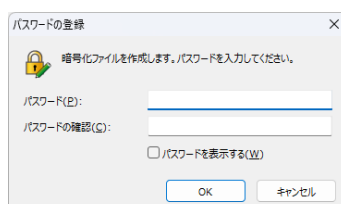
4. 設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。

ファイル名を指定して [保存] をクリックします。



参考

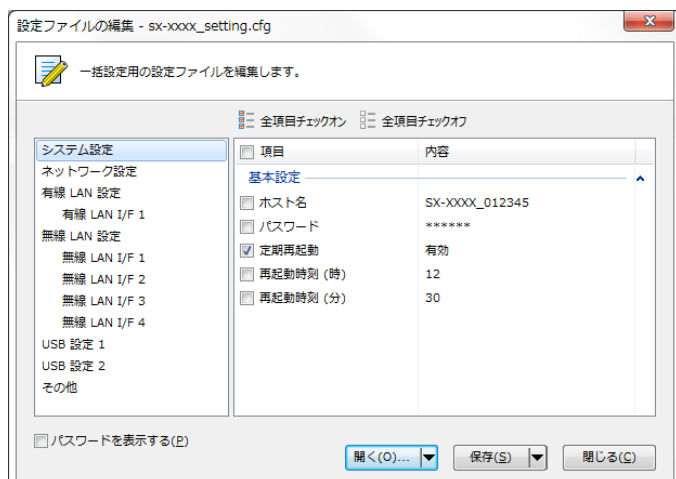
- AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、パスワード付き暗号化設定ファイル（拡張子 cfgx）が指定されます。ファイルに設定するパスワードを入力してください。なお、通常の設定ファイル（拡張子 cfg）の指定も可能です。



3) 既存のファイルを編集する

以前に作成した設定ファイルを編集します。
設定ファイルは、設定ファイルの編集画面で編集します。

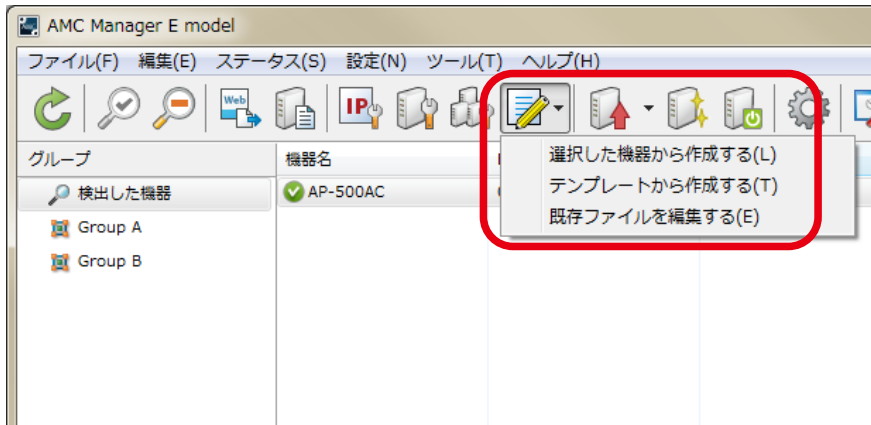
【 設定ファイルの編集画面 】



項目	説明
タイトル	選択した設定ファイルのファイル名を表示します。
全項目チェックオン	クリックすると全項目のチェックボックスが ON になります。
全項目チェックオフ	クリックすると全項目のチェックボックスが OFF になります。
メニュー項目	設定情報のメニューを表示します。
詳細リスト	設定項目と内容を表示します。 表示される設定項目は、選択した機器により異なります。 チェックボックスを ON にした設定項目が設定対象項目となります。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします。
【開く】 ボタン	既存の設定ファイルを開きます。
テンプレートを開く	設定ファイルのテンプレート選択画面を表示します。
【保存】 ボタン	入力した設定対象項目の値を設定ファイルに保存します。
【閉じる】 ボタン	設定ファイルの編集画面を閉じます。

【設定ファイルを編集する】

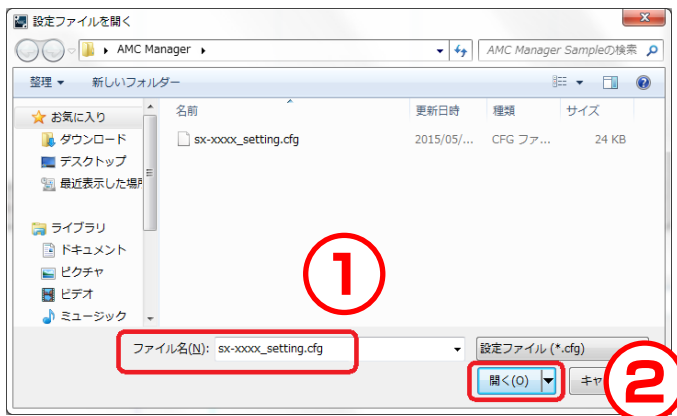
1. ツールバーの「設定ファイルを作成する」アイコン - 「既存ファイルを編集する」を選択します。



参考

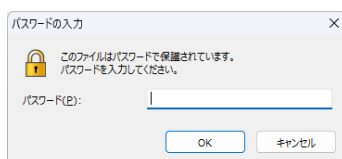
- 以下の方法でも設定ファイルを作成できます。
 - メニューバーの「設定」 - 「設定ファイルの作成」 - 「既存のファイルを編集」

2. 設定ファイルを開くダイアログが表示されます。
編集する設定ファイルを選択して [開く] をクリックします。



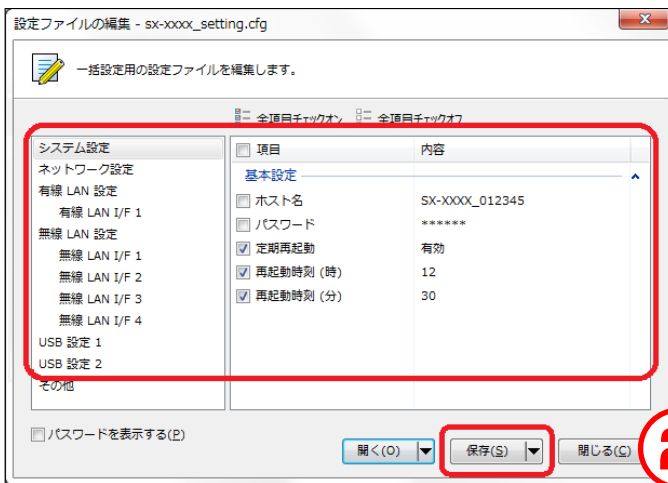
参考

- AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、パスワード付き暗号化設定ファイル（拡張子 cfgx）が選択できます。ファイルを開くときにパスワード入力が必要です。なお、通常の設定ファイル（拡張子 cfg）の選択も可能です。



3. 設定ファイルの編集画面が表示されます。

編集する設定項目のチェックボックスを ON にして、内容を編集します。使用する設定項目をすべて編集したら [保存] をクリックします。



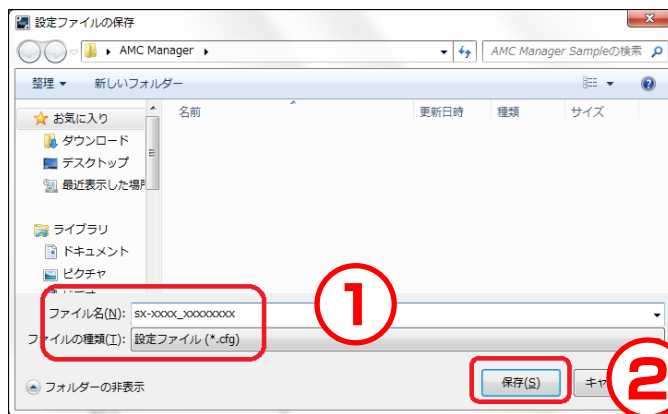
注意 • チェックボックスを ON にした設定項目のみ更新して保存します。更新しない設定項目のチェックボックスは OFF にしてください。



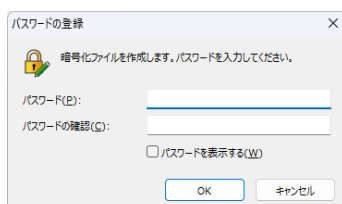
参考 • 編集可能な設定項目は、機器の機種によって異なります。設定項目の詳細は、各機種のマニュアルを参照してください。
参考 • 名前を変更したい場合は [保存] 横の [▼] - 「名前を付けて保存」を選択します。

4. 「名前を付けて保存」を選択すると、設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。

ファイル名を指定して [保存] をクリックします。



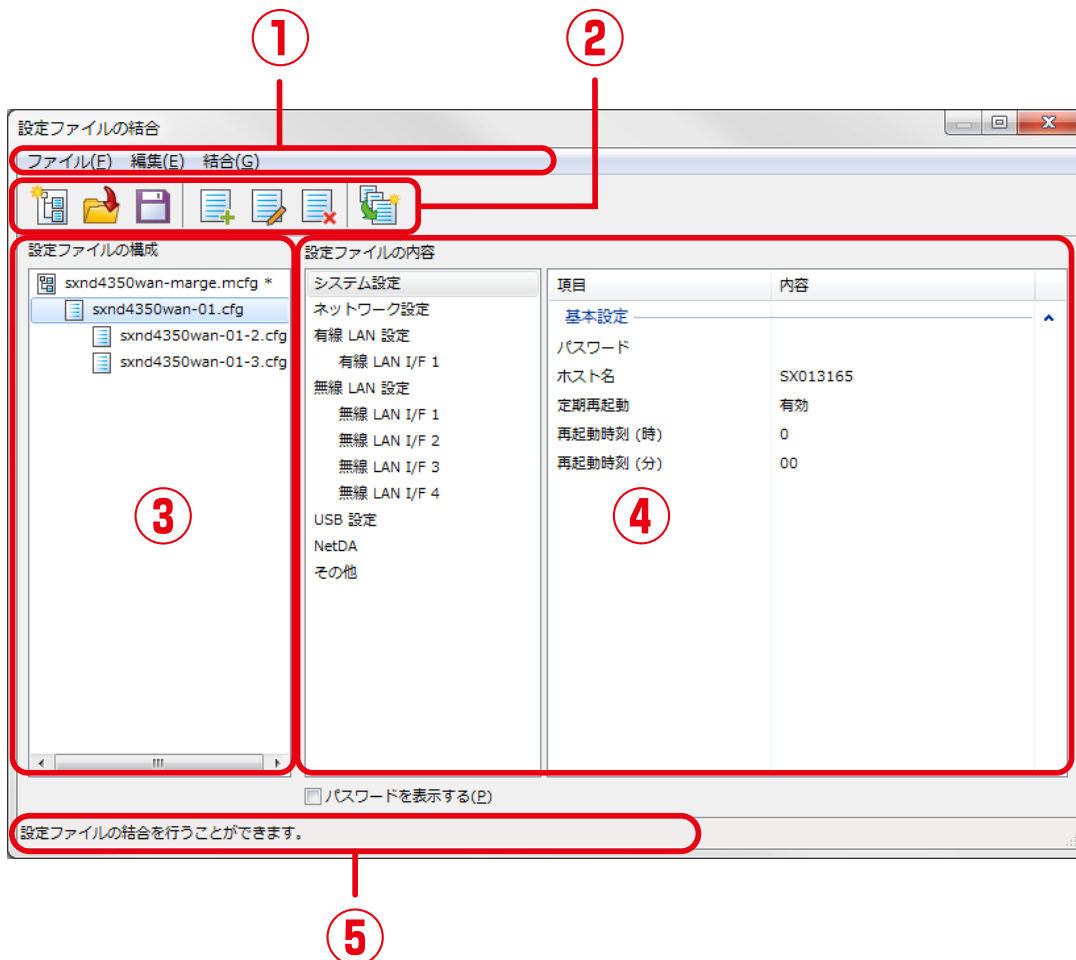
参考 • AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、パスワード付き暗号化設定ファイル（拡張子 cfgx）が指定されます。ファイルに設定するパスワードを入力してください。なお、通常の設定ファイル（拡張子 cfg）の指定も可能です。



4) 複数の設定ファイルを結合する

既に存在する複数の設定ファイルの設定値を結合し、1つの新しい設定ファイルを作成します。

【設定ファイルの結合画面】



① メニューバー

構成ファイルや設定ファイルの操作を行います。

② ツールバー

構成ファイルや設定ファイルの操作を行います。

③ 設定ファイルの構成

構成ファイルで管理している設定ファイルを表示します。

④ 設定ファイルの内容

選択した設定ファイルの結合状態を設定値と併せて表示します。

⑤ ステータスバー

構成ファイルの編集状況を表示します。

【メニューバー】

構成ファイルの作成や設定ファイルの追加など、設定ファイルの結合画面の各機能を実行します。








ファイル(E) 編集(E) 結合(G)

メニュー	項目	説明
ファイル	構成ファイルの新規作成	構成ファイルの新規作成を行います。
	構成ファイルを開く	既存の構成ファイルを開きます。
	上書き保存	構成ファイルの情報を上書き保存します。
	名前をつけて保存	構成ファイルの情報を保存します。
	終了	設定ファイルの結合画面を閉じます。
編集	設定ファイルの追加	既存の設定ファイルを構成に追加します。
	設定ファイルの編集	構成内の選択した設定ファイルを開きます。
	設定ファイルの削除	構成内から選択した設定ファイルを削除します。
結合	設定ファイルの結合	構成ファイルの情報に基づいて各設定ファイルの設定値を結合し、新しい設定ファイルを作成します。

【ツールバー】

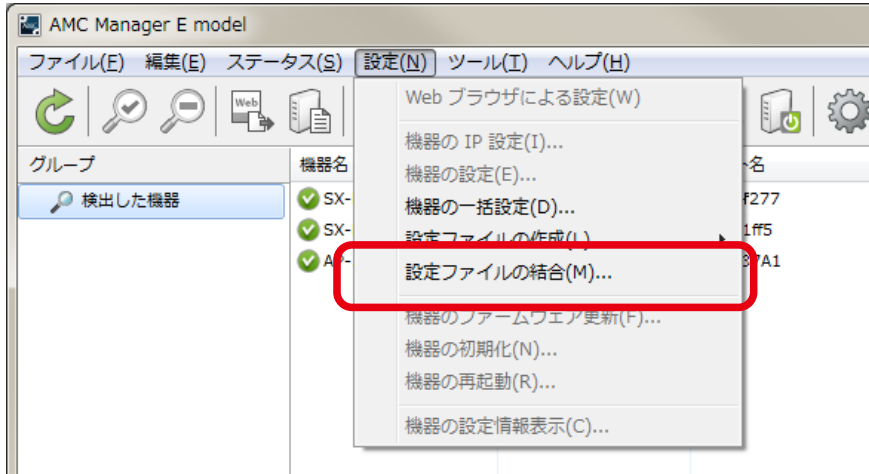
構成ファイルの作成や設定ファイルの追加など、設定ファイルの結合画面の各機能を実行します。



アイコン	項目	説明
	構成ファイルの新規作成	構成ファイルの新規作成を行います。
	構成ファイルを開く	既存の構成ファイルを開きます。
	上書き保存	構成ファイルの情報を上書き保存します。
	設定ファイルの追加	既存の設定ファイルを構成に追加します。
	設定ファイルの編集	構成内の選択した設定ファイルを開きます。
	設定ファイルの削除	構成内から選択した設定ファイルを削除します。
	設定ファイルの結合	構成ファイルの情報に基づいて各設定ファイルの設定値を結合し、新しい設定ファイルを作成します。

【複数の設定ファイルを結合する】

1. メニューバーの「設定」 - 「設定ファイルの結合」を選択します。

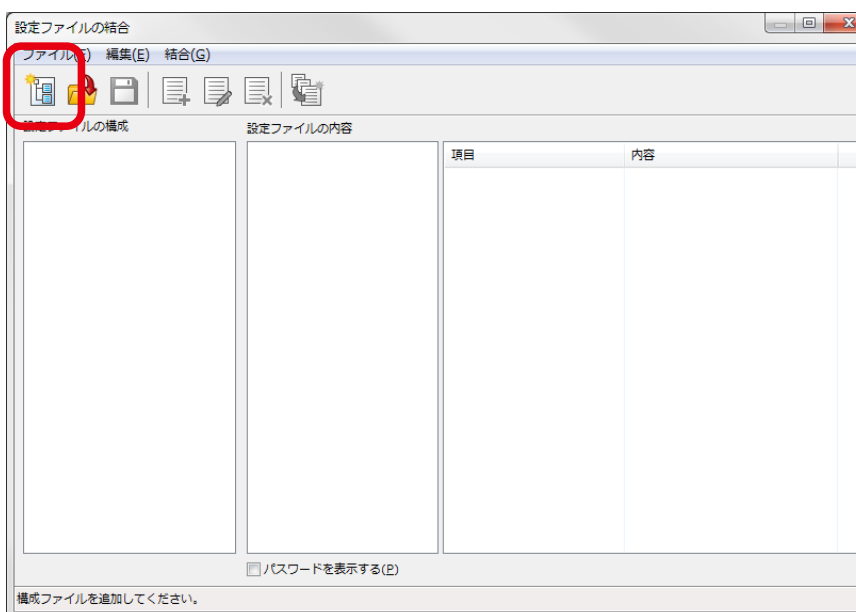


以下の方法でも設定ファイルの結合画面を開くことができます。

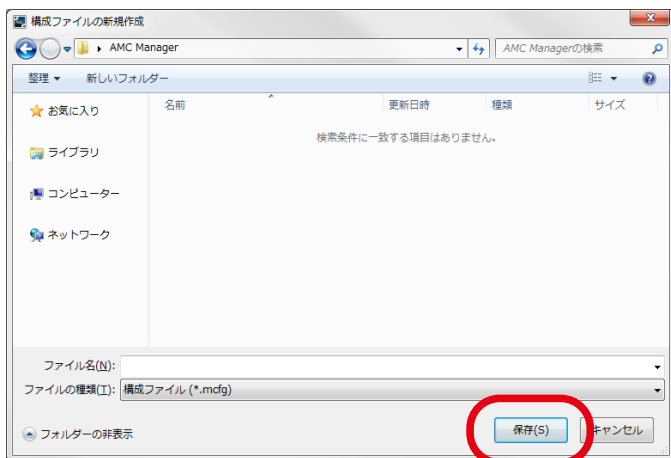
- 右クリックのコンテキストメニューから「設定ファイルの結合」

参考

2. 設定ファイルの結合画面が表示されます。
 ツールバーの「構成ファイルの新規作成」をクリックして、構成ファイルを作成します。

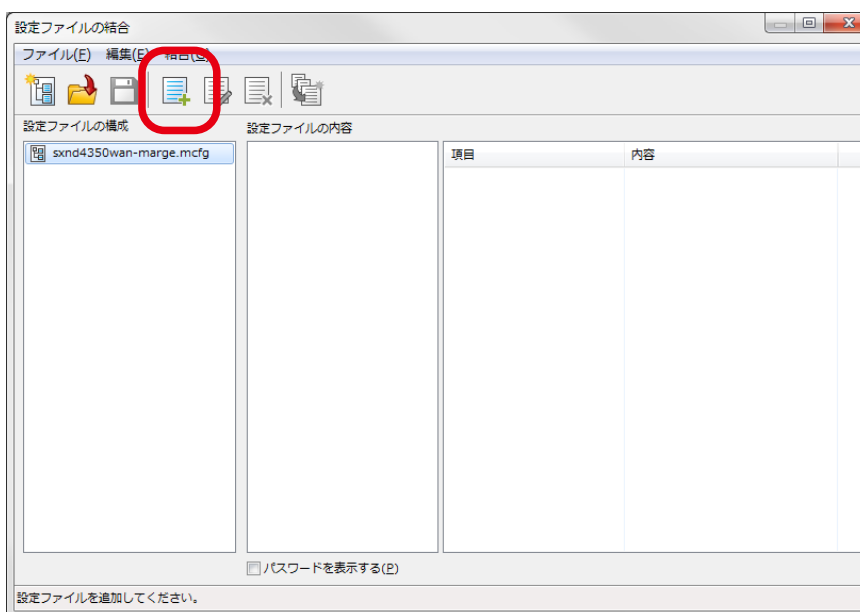


3. 構成ファイルの新規作成ダイアログが表示されます。
ファイル名を入力して [保存] をクリックします。

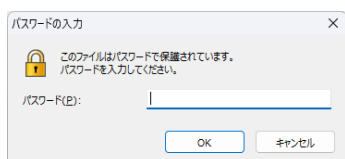


- AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、パスワード付き暗号化構成ファイル（拡張子 mcfgx）が指定されます。通常の構成ファイル（拡張子 mcfg）の指定も可能です。

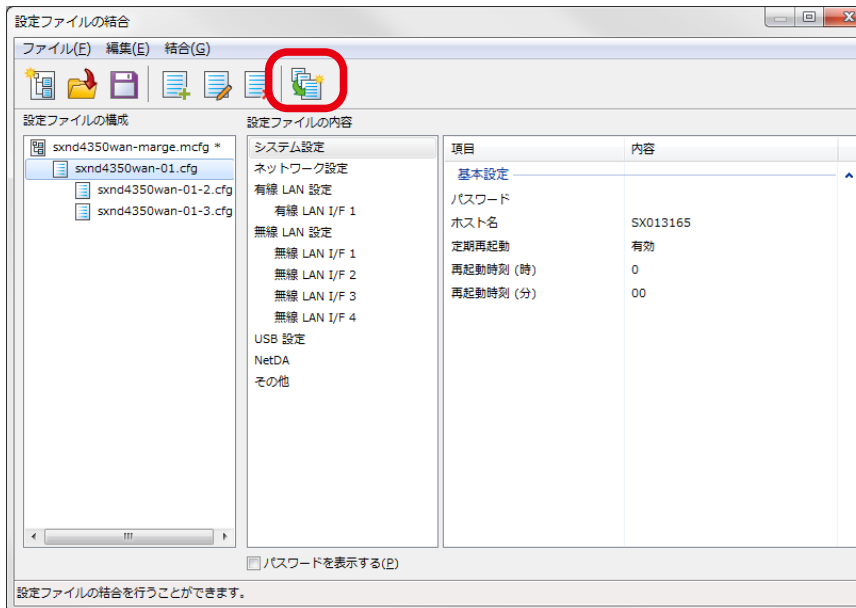
4. 「設定ファイルの構成」に作成した構成ファイルが表示されます。
「設定ファイルの追加」をクリックし、結合する設定ファイルを追加します。



- 設定ファイルにさらに設定ファイルを追加すると、ツリー形式で表示されます。親と子の設定ファイル中の設定値が異なる場合、子の設定ファイルの設定値が結合ファイルに使用されます。
- パスワード付き暗号化設定ファイルを結合する場合はパスワード入力が必要です。



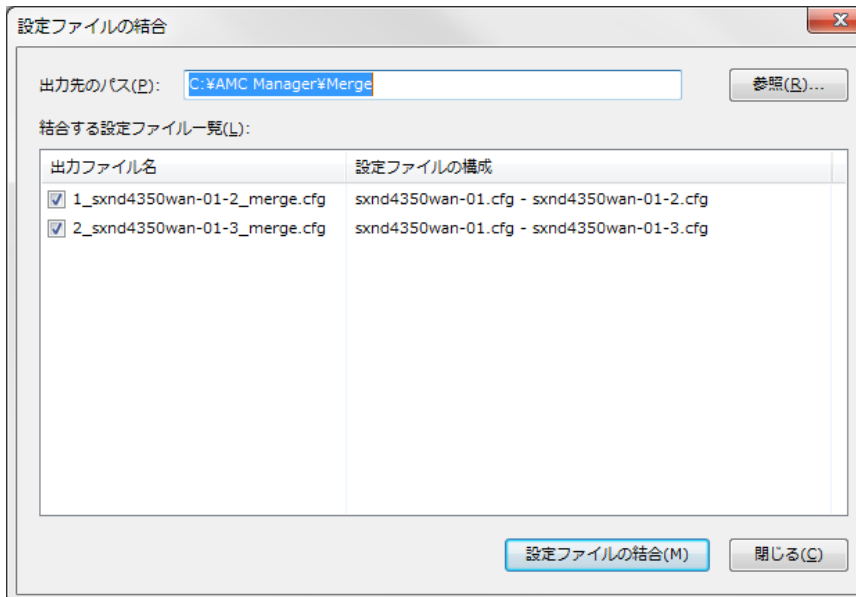
5. 設定ファイルの追加が完了したら、[設定ファイルの結合] をクリックします。



参考

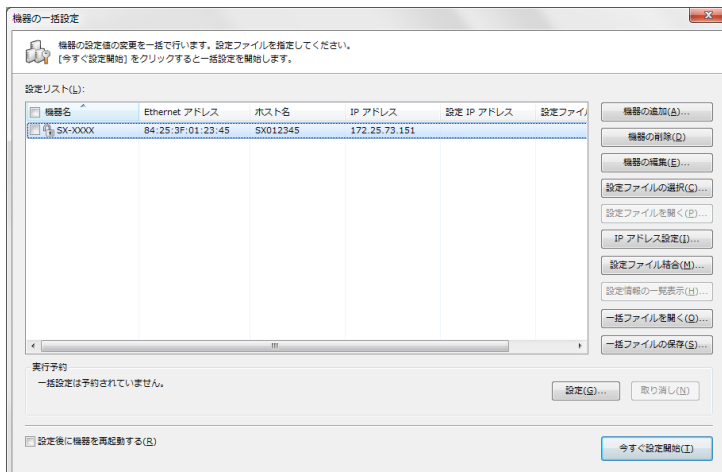
- 「設定ファイルの内容」には、選択した設定ファイルとその親の設定ファイルを比較し結合された設定値を表示します。
- ファイルの結合によって、設定値が変更される項目は赤文字で表示します。
- 設定値が変更される項目を含むカテゴリに関しても赤文字で表示します。

6. 設定ファイルの出力画面が表示されます。
出力先のパスを選択し、出力されるファイルを確認して [設定ファイルの結合] をクリックします。



項目	説明
出力先のパス	結合ファイルの出力先のパスを指定します。 初期値は「構成ファイルのパス ¥Merge」となります。出力先を変更する場合は、[参照] をクリックして出力先を選択してください。
結合する設定ファイル一覧	出力する新しい設定ファイルの一覧です。 「出力ファイル名」には出力するファイル名を、「設定ファイルの構成」には関連する設定ファイルの一覧を表示します。 「出力ファイル名」のチェックボックスの初期値は ON となります。 出力ファイル名の初期値は「X_ファイル名_merge.(拡張子)」となります。 ※ X 部分はリストの番号 出力ファイル名をダブルクリックすることでファイル名を変更することができます。 AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、出力ファイルにパスワード付き暗号化設定ファイル（拡張子 cfgx）が指定されます。ファイルに設定するパスワードを入力してください。なお、通常の設定ファイル（拡張子 cfg）の指定も可能です。
[設定ファイルの結合] ボタン	「出力先のパス」と「結合する設定ファイル一覧」に基づいて、新しい設定ファイルを作成します。
[閉じる] ボタン	設定ファイルの結合画面を閉じます。

機器の一括設定画面



項目	説明
設定リスト	一括設定の対象となる機器の機器名、Ethernet アドレス、ホスト名、IP アドレス、設定 IP アドレス、一括設定に使用する設定ファイル名を表示します。チェックボックスを ON にした機器が一括設定の対象機器となります。
[機器の追加] ボタン	設定リストに機器を追加します。 機器の追加画面を表示します。
[機器の削除] ボタン	設定リストから機器を削除します。
[機器の編集] ボタン	設定リストで機器を 1 台選択して、使用する設定ファイルを選択します。機器の編集画面を表示します。
[設定ファイルの選択] ボタン	設定リストで機器を選択して、使用する設定ファイルを選択します。複数台の機器を選択できます。
[設定ファイルを開く] ボタン	機器に選択した設定ファイルの編集画面を開きます。
[IP アドレス設定] ボタン	IP アドレス設定画面を開き、機器に書き込む IP アドレスを設定します。複数台の機器を選択して、連番の IP アドレスを設定することもできます。
[設定ファイル結合] ボタン	複数の設定ファイルを 1 つの設定ファイルに結合します。 設定ファイルの結合画面を開きます。
[設定情報の一覧表示] ボタン	チェックボックスを ON にした機器に使用する設定ファイルの設定値が一覧表示されます。
[一括ファイルを開く] ボタン	既存の一括ファイルを開きます。 一括設定する機器と設定ファイルが設定リストに一覧表示されます。
[一括ファイルの保存] ボタン	設定リストに表示されている機器と設定ファイルの一覧を、一括ファイルとして保存します。 保存した一括ファイルは、災害時開放機能にも使用することができます。詳細は「4-14. 災害時開放機能を使用する」をご参照ください。
実行予約	一括設定の実行予約情報を表示します。 予約登録後に表示される「対象ファイルを開く」をクリックすると、登録した一括ファイルを開きます。(AMC Manager® E model のみ対応)
[設定] ボタン	実行予約設定画面を開きます。設定リストに機器が 1 台も表示されていない場合は、エラーメッセージが表示されます。(AMC Manager® E model のみ対応)
[取り消し] ボタン	登録済みの実行予約を削除します。(AMC Manager® E model のみ対応)
設定後に機器を再起動する	一括設定後、機器を再起動させるときはチェックボックスを ON にします。
[今すぐ設定開始] ボタン	設定対象の機器を一括設定します。 設定ファイルを選択して、設定リストのチェックボックスを ON にした機器が設定対象になります。

機器の追加画面

機器の追加

追加する機器の情報を入力してください。

Ethernet アドレス(E): 84 25 3F 01 23 45

IP アドレス(I): 192 . 168 . 20 . 123

ホスト名(H): SX012345

機器名(M): SX-XXXX

パスワード(P):

設定ファイル(S): C:%sx-xxxx_setting.cfg

設定 IP アドレス(A): . . .

設定サブネットマスク(U): . . .

設定デフォルトゲートウェイ(G): . . .

パスワードを表示する(W)

追加(D) キャンセル

項目	説明
Ethernet アドレス	追加する機器の Ethernet アドレスを入力します。
IP アドレス	追加する機器の IP アドレスを入力します。
ホスト名	追加する機器のホスト名を入力します。
機器名	追加する機器の機器名を入力します。
パスワード	機器に設定されているパスワードを入力します。
設定ファイル	機器に使用する設定ファイルを指定します。 [...] ボタンで設定ファイルの選択ダイアログを表示します。 AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、設定ファイルにパスワード付き暗号化設定ファイル（拡張子 cfgx）が選択できます。指定するときにパスワード入力が必要です。なお、通常の設定ファイル（拡張子 cfg）の指定も可能です。
設定 IP アドレス	機器に書き込む IP アドレスを指定します。 0.0.0.0 を指定すると、設定 IP アドレス、設定サブネットマスク、設定デフォルトゲートウェイを機器に書き込みません。
設定サブネットマスク	機器に書き込むサブネットマスクを指定します。 設定 IP アドレスに 0.0.0.0 が指定されている場合は、機器に書き込まれません。
設定デフォルトゲートウェイ	機器に書き込むデフォルトゲートウェイを指定します。 設定 IP アドレスに 0.0.0.0 が指定されている場合は、機器に書き込まれません。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします。
[追加] ボタン	機器の一括設定画面の設定リストに、入力した情報で機器を追加します。
[キャンセル] ボタン	入力した内容を追加せずに機器の追加画面を閉じます。

機器の編集画面

機器の編集

編集する機器の情報を入力してください。

Ethernet アドレス(E): 84 25 3F 01 23 45

IP アドレス(I): 192 . 168 . 20 . 123

ホスト名(H): SX012345

機器名(N): SX-XXXX

パスワード(P):

設定ファイル(S): C:\\$sx-xxxx_setting.cfg ...

設定 IP アドレス(A): 0 . 0 . 0 . 0

設定サブネットマスク(U): 0 . 0 . 0 . 0

設定デフォルトゲートウェイ(G): 0 . 0 . 0 . 0

パスワードを表示する(W)

OK キャンセル

項目	説明
Ethernet アドレス	選択した機器の Ethernet アドレスを表示します。
IP アドレス	選択した機器の IP アドレスを表示します。
ホスト名	選択した機器のホスト名を表示します。
機器名	選択した機器の機器名を表示します。
パスワード	機器に設定されているパスワードを入力します。パスワードを入力することで、一括設定でのパスワードの入力をスキップすることができます。 ※機器からパスワードを自動取得することはできません。
設定ファイル	機器に使用する設定ファイルを指定します。 [...] ボタンで設定ファイルの選択ダイアログを表示します。 AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、設定ファイルにパスワード付き暗号化設定ファイル (拡張子 cfgx) が選択できます。指定するときにパスワード入力が必要です。なお、通常の設定ファイル (拡張子 cfg) の指定も可能です。
設定 IP アドレス	機器に書き込む IP アドレスを指定します。 0.0.0.0 を指定すると、設定 IP アドレス、設定サブネットマスク、設定デフォルトゲートウェイを機器に書き込みません。
設定サブネットマスク	機器に書き込むサブネットマスクを指定します。 設定 IP アドレスに 0.0.0.0 が指定されている場合は、機器に書き込まれません。
設定デフォルトゲートウェイ	機器に書き込むデフォルトゲートウェイを指定します。 設定 IP アドレスに 0.0.0.0 が指定されている場合は、機器に書き込まれません。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします。
[OK] ボタン	入力した情報を選択した機器に設定します。
[キャンセル] ボタン	入力した内容を設定せずに機器の編集画面を閉じます。

IP アドレス設定画面

項目	説明
開始 IP アドレス	機器に設定する IP アドレスの開始 IP アドレスを指定します。
終了 IP アドレス	機器に設定する IP アドレスの終了 IP アドレスを指定します。
ステップ数	開始 IP アドレスから終了 IP アドレスまで、IP アドレスを連番で採番する際に、インクリメントする値を指定します。
サブネットマスク	機器に設定するサブネットマスクを指定します。
デフォルトゲートウェイ	機器に設定するデフォルトゲートウェイを指定します。
[OK] ボタン	機器リストの「設定 IP アドレス」に機器に設定する IP アドレスを表示します。設定 IP アドレスは、開始 IP アドレスから終了 IP アドレスの間で、ステップ数に沿って自動で採番されます。
[キャンセル] ボタン	IP アドレス設定画面を閉じます。

実行予約の設定画面

項目	説明
実行日時	自動で一括設定を実行する日時を指定します。「▼」をクリックして、年月日、時刻を設定します。
対象ファイル	一括ファイルのファイルパスを表示します。
[OK] ボタン	表示されている日時で実行予約機能を設定します。
[キャンセル] ボタン	実行予約の設定画面を閉じます。

実行予約機能を使って自動で一括設定する

実行予約機能を使用することで、指定した時刻に機器の一括設定を実行できます。実行時間を設定する方法について説明します。



注意

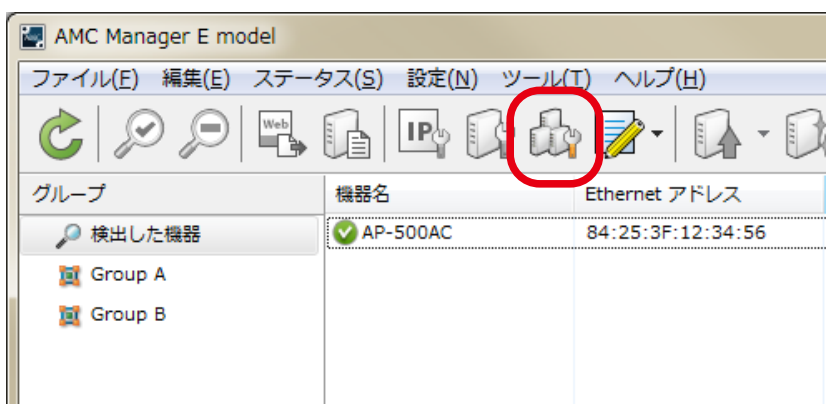
- 実行予約機能は、AMC Manager® E model にのみ対応しています。
- 実行予約機能を使用するには、Windows Time サービスによる時刻同期が行われている必要があります。
- 実行予約機能を使用しての一括設定は、パソコンがロックされている状態でも行われます。
- 実行予約機能を設定後、パソコンでスリープやシャットダウンを行わないでください。スリープやシャットダウンを行った場合、予期せぬ時間帯に一括設定が実行されます。
- 実行予約機能を使用しての一括設定とファームウェアアップデートは、同じ機器に対して同時刻に行われないように設定してください。

実行予約機能を使って一括設定を行うには、事前に一括設定ファイルを作成する必要があります。

一括設定ファイルの作成方法は「4-14. 災害時開放機能を使用する」 - 「事前準備」を参照してください。

【一括設定の実行日時を予約する】

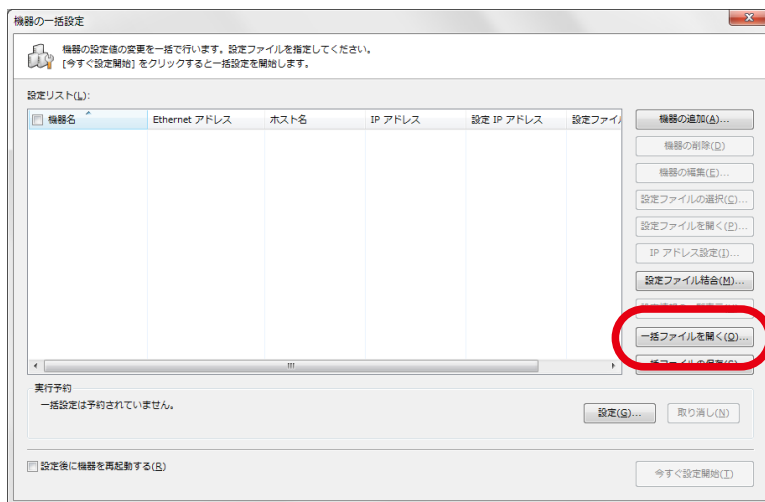
1. ツールバーの「一括設定を行う」アイコンをクリックします。



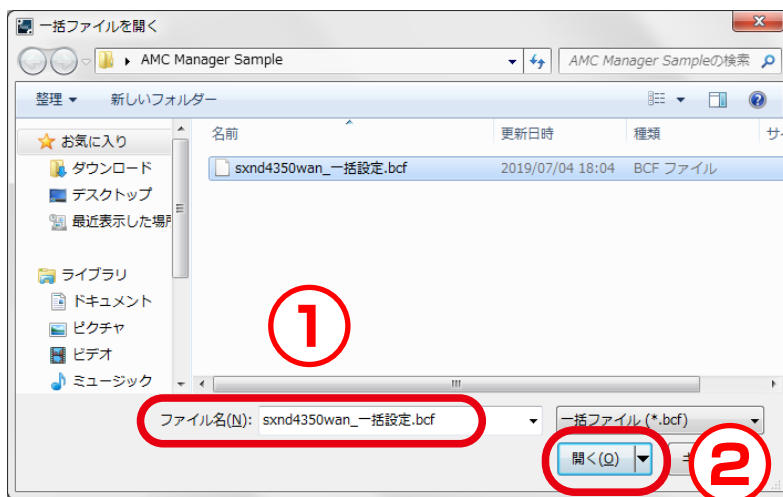
参考

- 以下の方法でも機器を設定できます。
 - ・メニューバーの「設定」 - 「機器の一括設定」

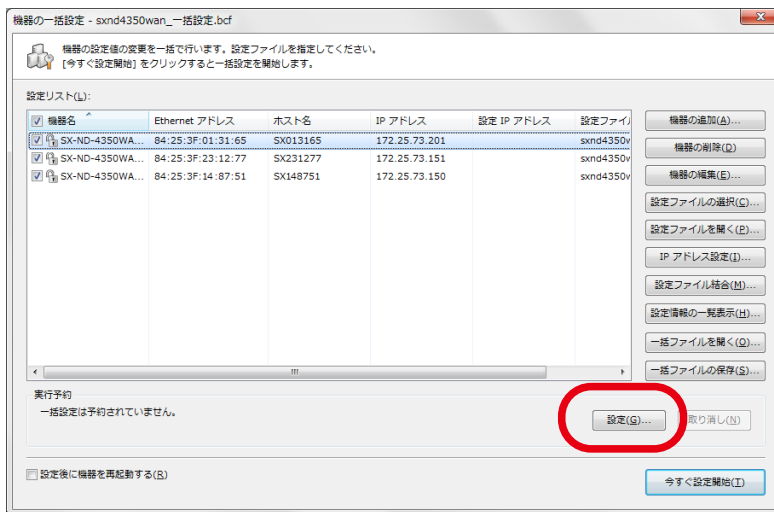
2. 機器の一括設定画面が表示されます。
 [一括ファイルを開く] をクリックします。



3. ファイルの選択画面が表示されます。使用する一括ファイルを選択して [開く] をクリックします。

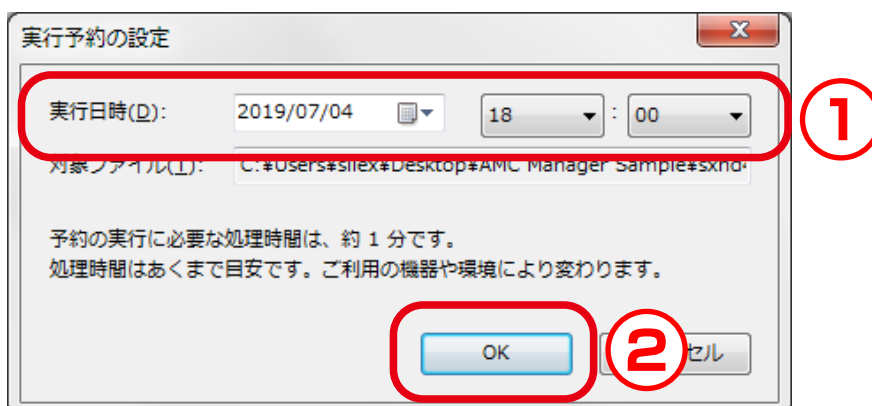


4. 一括ファイルの内容に沿って一括設定を実行する時間を設定します。
[設定] をクリックします。

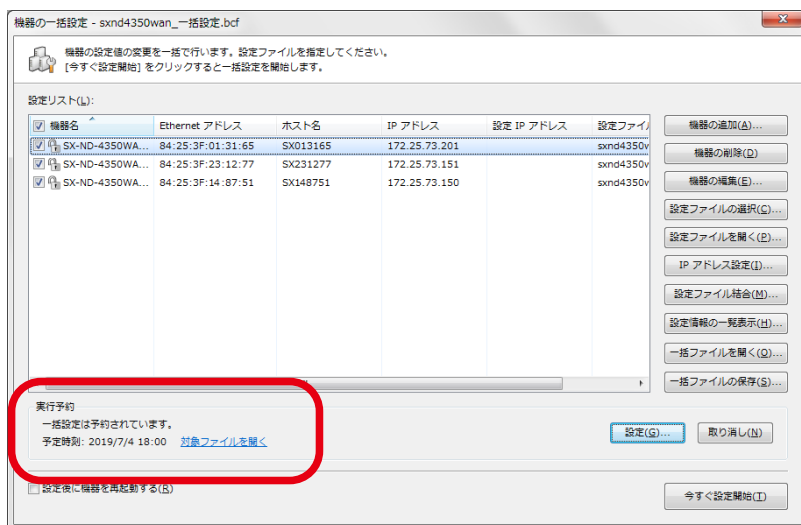


- 「機器名」のチェックボックスが ON の機器が、一括設定の対象になります。
- 一括設定後に機器を自動で再起動させる場合は、「設定後に機器を再起動する」にチェックを入れてから [設定] をクリックします。

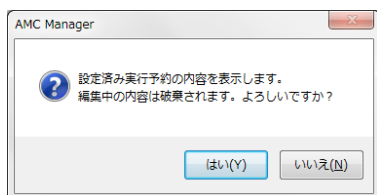
5. 実行予約の設定画面が表示されます。一括設定が自動で行われる日時を「実行日時」で設定します。
設定が完了したら [OK] をクリックします。



6. 設定が完了すると、「実行予約」に一括設定の開始時刻が表示されます。

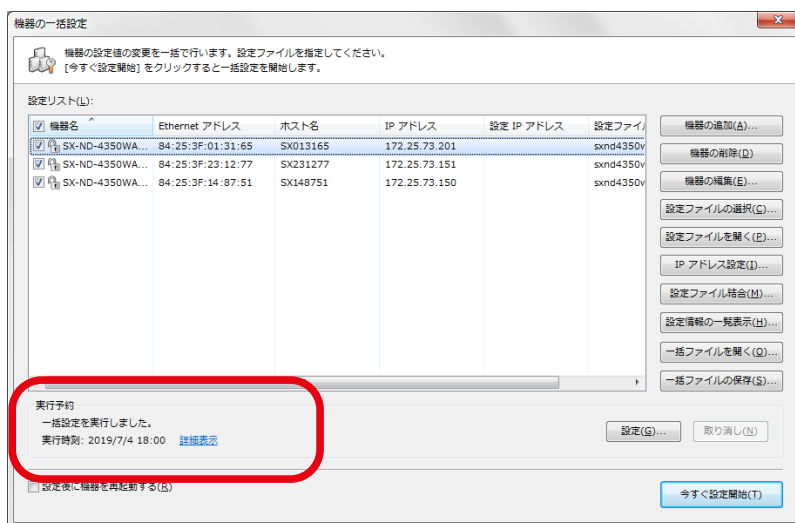


- 「対象ファイルを開く」をクリックすると、以下の確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると、予約されている一括ファイルの内容を開きます。



7. 以上で実行予約の設定は完了です。

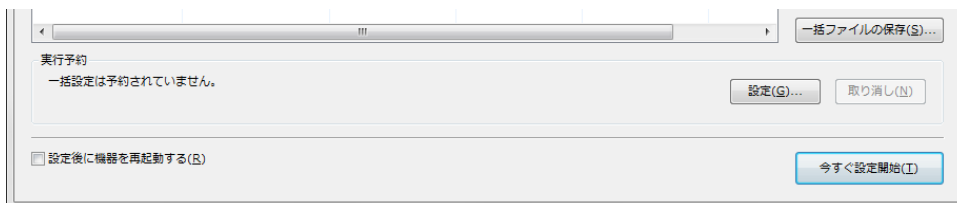
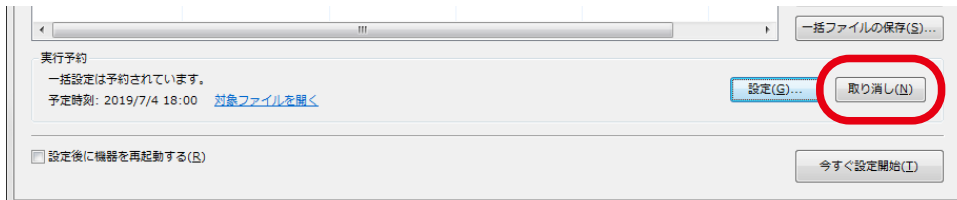
実行予約機能によって一括設定が実行された場合、下記のように表示されます。



- 「詳細表示」をクリックすると、一括設定の結果を表示します。

【予約した実行日時を取り消す】

実行予約の設定後、[取り消し] をクリックすることで現在設定されている実行予約を削除できます。



複数台の機器を一括で設定する

設定ファイルを使用して複数台を一括で設定する方法について説明します。



参考

- 一括設定では、設定情報を保存した「設定ファイル」を機器に展開して設定します。
- IP アドレスやホスト名などの機器固有の設定をするときは、機器毎の設定ファイルを使用します。SSID や共有キーなどの共通の無線セキュリティ情報のような複数機器で共有している情報を更新するときは、1 つの設定ファイルで設定することもできます。



注意

- 更新される設定項目は、設定ファイルのチェックボックスを ON にした項目です。更新する設定項目のチェックボックスを ON にした設定ファイルを用意してください。
- AMC Manager® Free を使用した場合は、同時に設定できる台数が最大 10 台となります。

1. IP アドレスの一括設定を行う場合は、事前に設定で使用するパソコンの IP アドレスの変更が必要です。

設定で使用するパソコンの IP アドレスは、機器に設定する IP アドレスと通信できるように設定してください。

設定例)

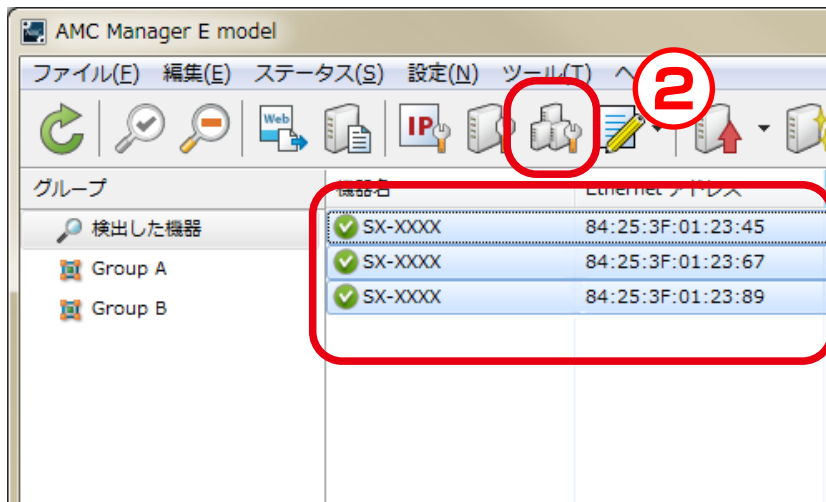
機器に一括設定する IP アドレスの例	設定で使用するパソコンの設定例
192.168.0.10 ~ 192.168.0.30	192.168.0.100
172.25.10.10 ~ 172.25.10.25	172.25.10.100



注意

- IP アドレスの一括設定機能は、機器の初期設定に使用できます。

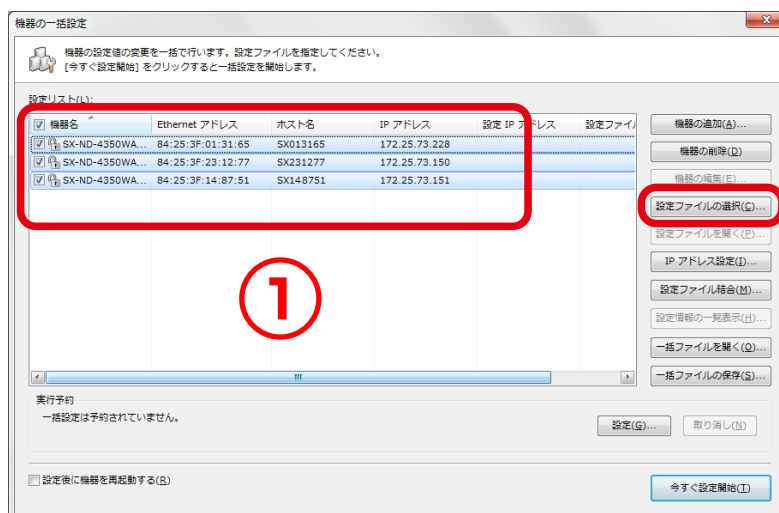
2. AMC Manager® の機器リストで一括設定する機器を選択して、ツールバーの「一括設定を行う」アイコンをクリックします。



- 以下の方法でも機器を設定できます。
 - 一括設定する機器を選択して、メニューバーの「設定」-「機器の一括設定」

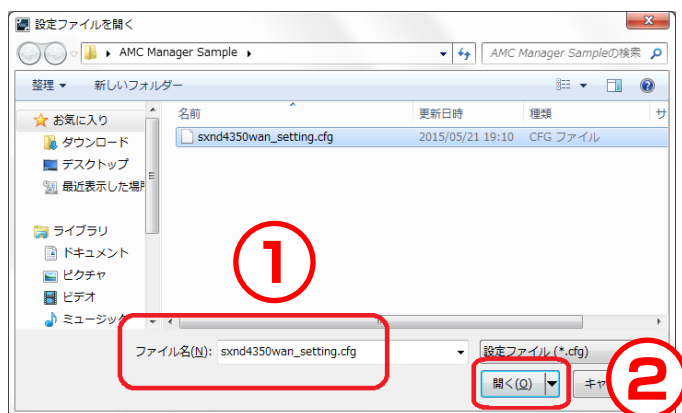
参考

3. 機器の一括設定画面が表示されます。
設定リストで一括設定する機器を選択して、[設定ファイルの選択] をクリックします。



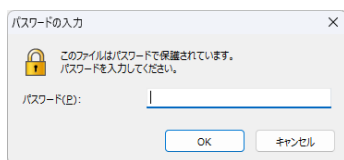
4. 設定ファイルの選択ダイアログが表示されます。

事前に準備した一括設定に使用する設定ファイルを選択して [開く] をクリックします。



参考

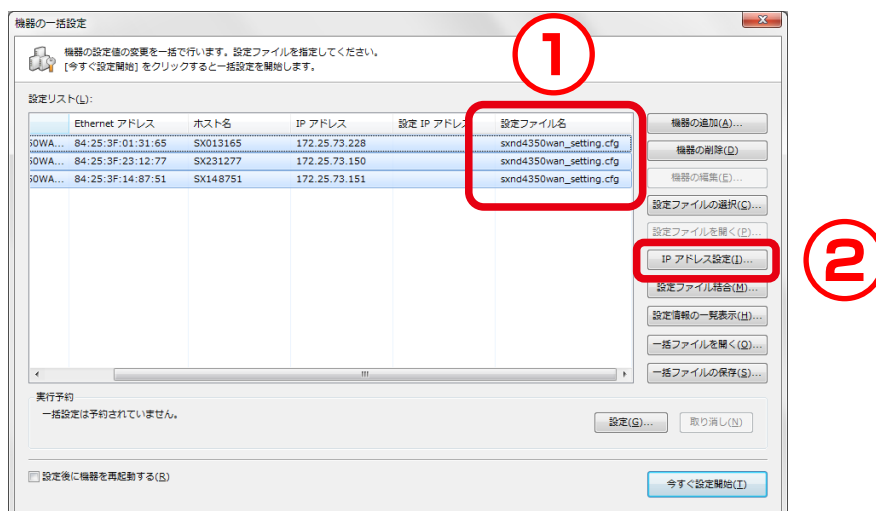
- AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、パスワード付き暗号化設定ファイル (拡張子 cfgx) が選択できます。ファイルを開くときにパスワード入力が必要です。なお、通常の設定ファイル (拡張子 cfg) の選択も可能です。



5. 設定リストの「設定ファイル名」に、選択された設定ファイルが表示されます。

設定ファイルの内容を機器に書き込む場合は、手順 8 に進みます。

機器に書き込む IP アドレスを設定する場合は、[IP アドレス設定] をクリックします。



参考

- 一括設定する機器と使用する設定ファイル情報は [一括ファイルの保存] をクリックすると保存できます。保存した一括ファイルは、「災害時開放機能」で使用することができます。

6. IP アドレスの設定画面が表示されます。

この画面では各機器に設定する IP アドレスを指定します。
設定が完了したら [OK] をクリックします。



参考

- 上記の設定で 3 台の機器に IP アドレスを設定する場合、1 台目の IP アドレスは「開始 IP アドレス」と同じ、「192.168.0.1」となります。2 台目以降はステップ数「0.0.0.1」ずつ増加し、「192.168.0.2」、「192.168.0.3」となります。

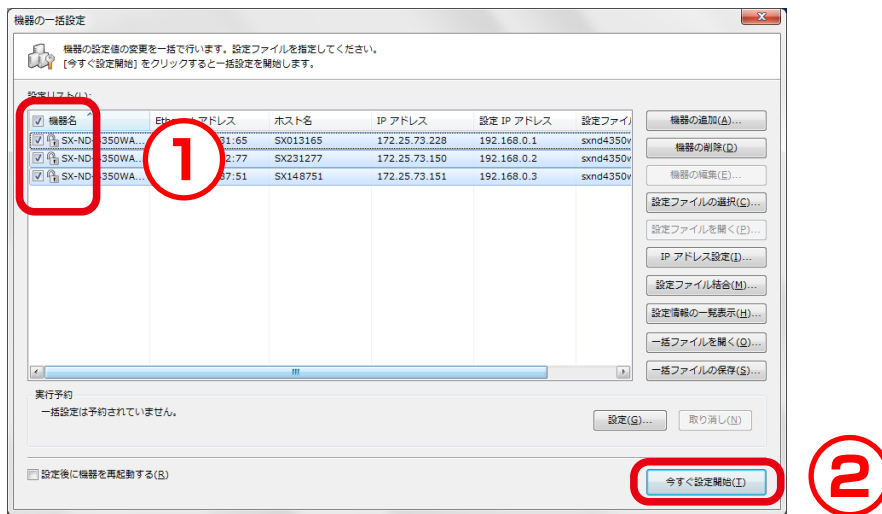
7. 機器に書き込む IP アドレスが採番されて、設定リストの「設定 IP アドレス」に表示されます。



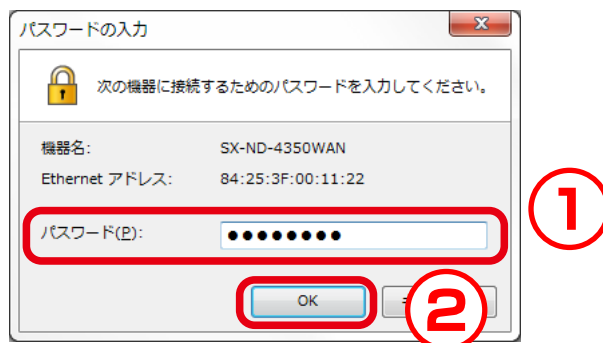
参考

- 「設定 IP アドレス」が指定されており、設定ファイル内でも IP アドレスを指定している場合、「設定 IP アドレス」に表示されている IP アドレスが機器に書き込まれます。

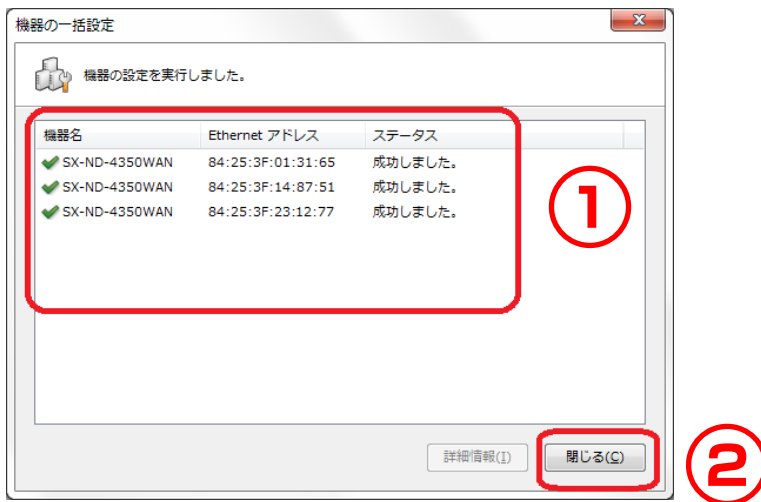
8. 一括設定する機器のチェックボックスを ON にして、[今すぐ設定開始] をクリックします。



- 参考
- 機器にパスワードが設定されている場合は、下記画面が表示されます。機器に設定されているパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



9. 一括設定が実行されて、実行結果が表示されます。
[閉じる] をクリックします。



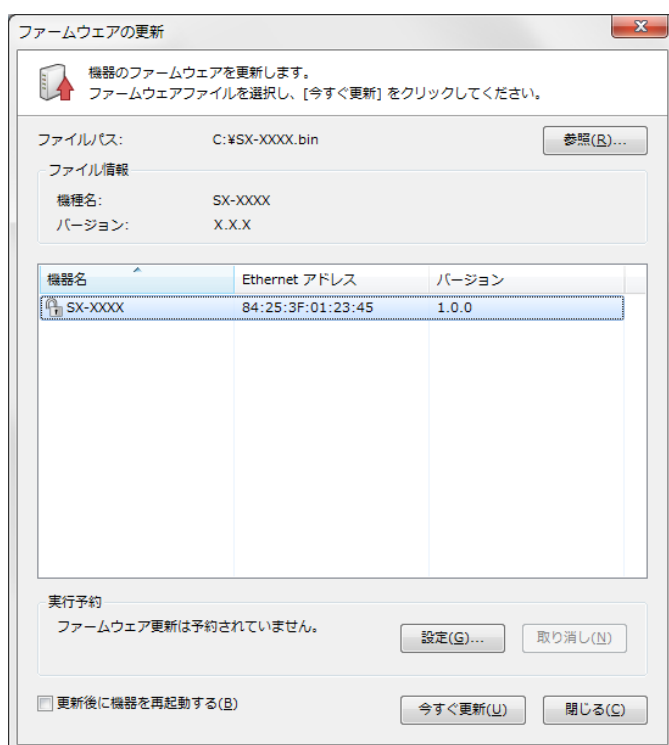
注意

- 一括設定の実行結果を表すステータスに「成功しました。」が表示されなかった場合は、原因を調べて設定ファイルを変更後、再度一括設定を実行してください。
設定ファイルの変更方法は、「4-6. 複数台の機器を一括で設定する」-「事前準備」の「3) 既存のファイルを編集する」を参照してください。

4-7. 機器のファームウェアを更新する

機器のファームウェアを更新する方法について説明します。
 ファームウェアの更新は、ファームウェアの更新画面で行います。
 最新のファームウェアは、当社 Web サイトからダウンロードできます。

ファームウェアの更新画面



項目	説明
[参照] ボタン	ファームウェアファイル (BIN ファイル形式または、BIN ファイルを含む ZIP ファイル形式) を選択します。
ファイルパス	選択したファームウェアファイルのパスを表示します。
機種名	ファームウェアファイルの対象機種名を表示します。
バージョン	ファームウェアファイルのバージョンを表示します。
更新機器リスト	ファームウェアの更新対象となる機器の機器名、Ethernet アドレス、現在のバージョンを一覧表示します。
実行予約	ファームウェア更新の実行予約情報を表示します。 登録後に表示される「内容表示」をクリックすると、ファームウェアファイルと実行予約した機器一覧を表示します。 (AMC Manager® E model のみ対応)
[設定] ボタン	実行予約設定画面を表示します。(AMC Manager® E model のみ対応)
[取り消し] ボタン	登録済みの実行予約を削除します。(AMC Manager® E model のみ対応)
更新後に機器を再起動する	更新後、機器を再起動させるときはチェックボックスを ON にします。
[今すぐ更新] ボタン	更新機器リストで選択した機器のファームウェアを更新します。
[閉じる] ボタン	ファームウェアの更新画面を閉じます。



注意

- AMC Manager® でファームウェアを更新する場合、一部の機種では BIN ファイルと同名の VUP ファイルが必要となります。
- BIN ファイルと VUP ファイルは、同じフォルダ (ZIP ファイル内) に格納する必要があります。

実行予約の設定画面

項目	説明
実行日時	自動でファームウェアアップデートを実行する日時を指定します。「▼」をクリックして、年月日、時刻を設定します。
対象ファイル	ファームウェアファイルのファイルパスを表示します。
[OK] ボタン	表示されている日時に実行予約機能を設定します。
[キャンセル] ボタン	実行予約の設定画面を閉じます。

実行予約機能を使って自動でファームウェアを更新する

指定した時刻に合わせて、機器のファームウェアアップデートを実行できます。実行時間を設定する方法について説明します。

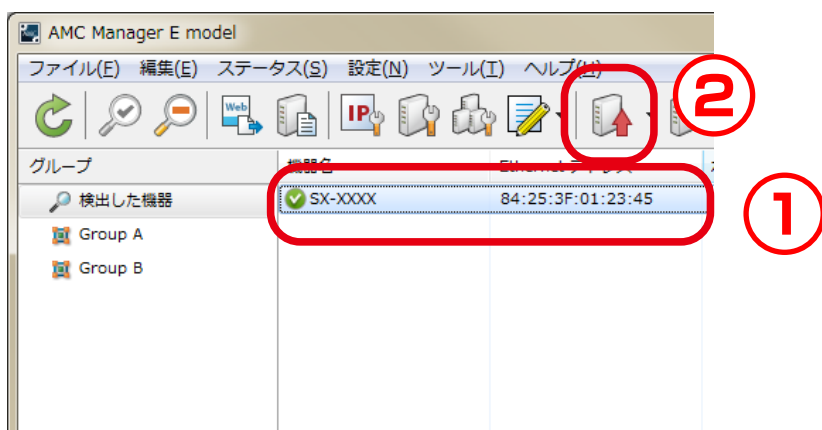


注意

- 実行予約機能は、AMC Manager® E model にのみ対応しています。
- 実行予約機能を使用するには、Windows Time サービスによる時刻同期が行われている必要があります。
- 実行予約機能を使用してのファームウェアアップデートは、パソコンがロックされている状態でも行われます。
- 実行予約機能を設定後、パソコンでスリープやシャットダウンを行わないでください。スリープやシャットダウンを行った場合、予期せぬ時間帯にファームウェアアップデートが実行されます。
- 実行予約機能を使用しての一括設定とファームウェアアップデートは、同じ機器に対して同時刻に行われないように設定してください。

【ファームウェアアップデートの実行日時を予約する】

1. 機器リストでファームウェアを更新する機器を選択して、ツールバーの「ファームウェアを更新する」アイコンを選択します。

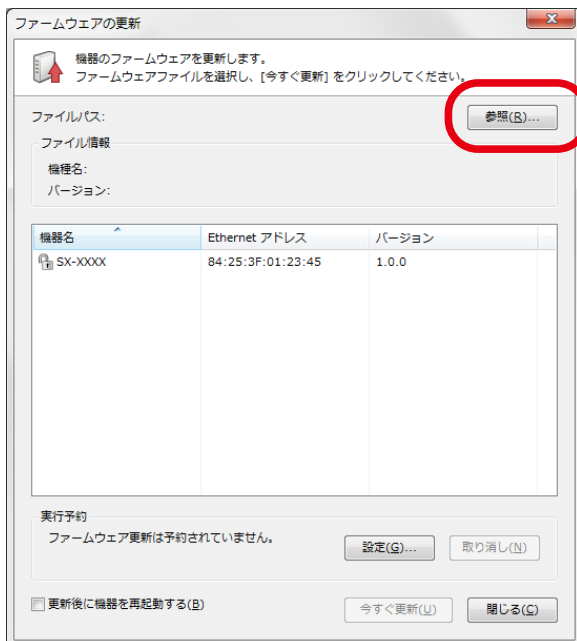


参考

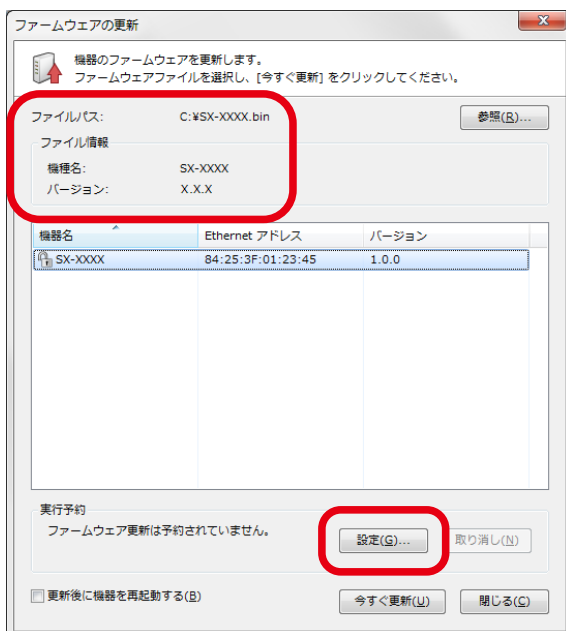
- 以下の方法でもファームウェアを更新できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器のファームウェア更新」
 - 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器のファームウェア更新」
- 「ファームウェアを更新する」アイコン横の「▼」をクリックすると、ファームウェアの更新履歴が表示されます（最大 9 件）。更新履歴からファームウェアを選択すると、ファイルを選択した状態でファームウェア更新画面を表示します。

2. ファームウェアの更新画面が表示されます。

[参照] をクリックして、選択ダイアログから更新するファームウェアファイル (BIN ファイル形式または、BIN ファイルを含む ZIP ファイル形式) を選択します。

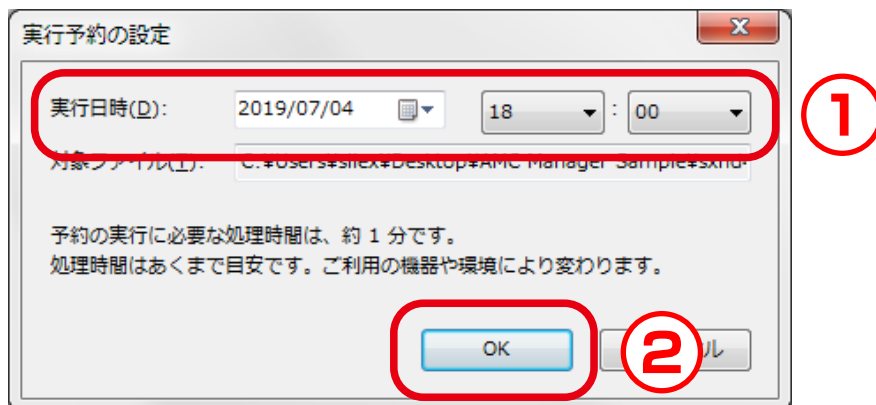


3. 選択したファームウェアのファイル情報が表示されます。 ファイル情報を確認して、[設定] をクリックします。

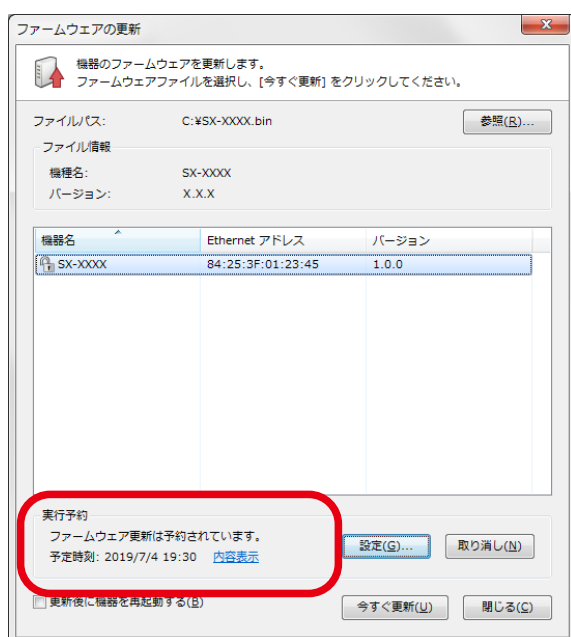


- ファームウェアを更新した機器を自動で再起動する場合、「更新後に機器を再起動する」にチェックを入れてから [設定] をクリックします。

4. 実行予約の設定画面が表示されます。ファームウェアのアップデートが自動で行われる年月日を「実行日時」で設定します。設定が完了したら [OK] をクリックします。

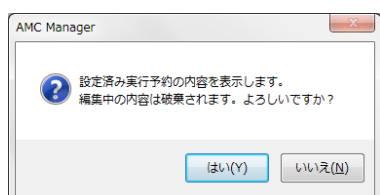


5. 設定が完了すると、「実行予約」にファームウェアアップデートの開始時刻が表示されます。



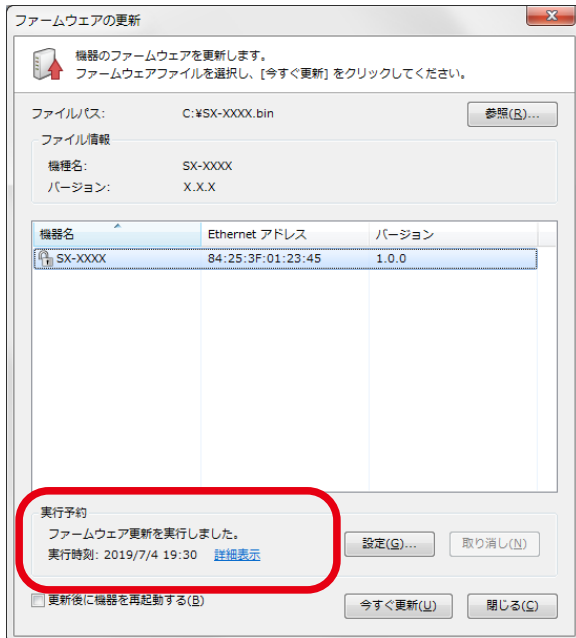
参考

- 「内容表示」をクリックすると、以下の確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると、予約されているファームウェアファイルの内容を開きます。



6. 以上で実行予約機能の設定は完了です。

実行予約機能によってファームウェアアップデートが実行された場合、下記のように表示されます。

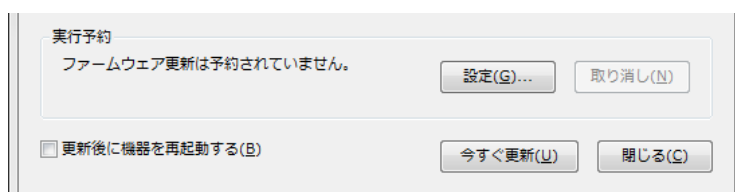
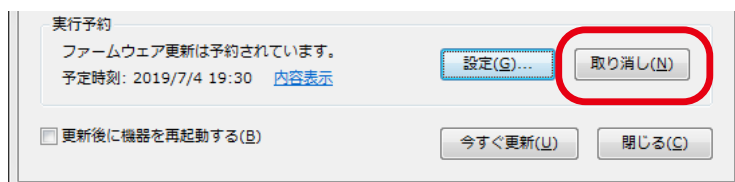


参考

- 「詳細表示」をクリックすると、ファームウェアアップデートの結果を表示します。

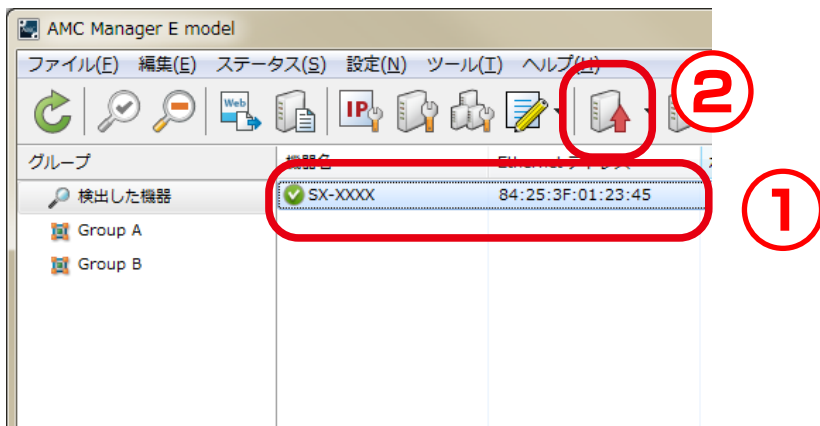
【予約した実行日時を取り消す】

実行予約の設定後、[取り消し] をクリックすることで現在設定されている実行予約を削除できます。



ファームウェアを更新する

1. 機器リストでファームウェアを更新する機器を選択して、ツールバーの「ファームウェアを更新する」アイコンを選択します。

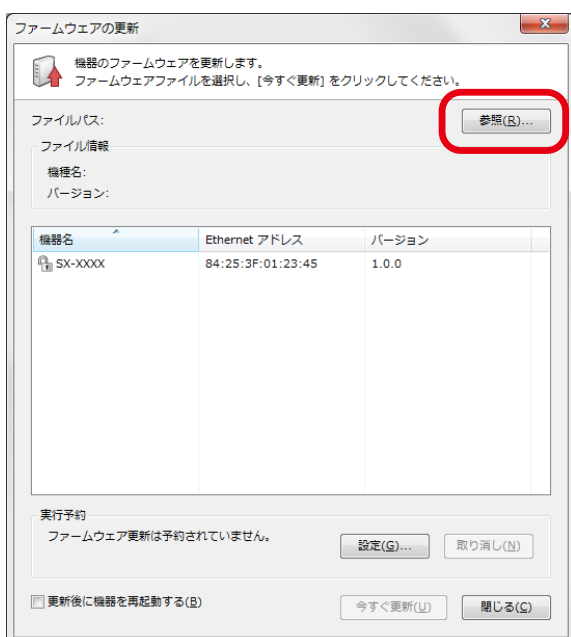


参考

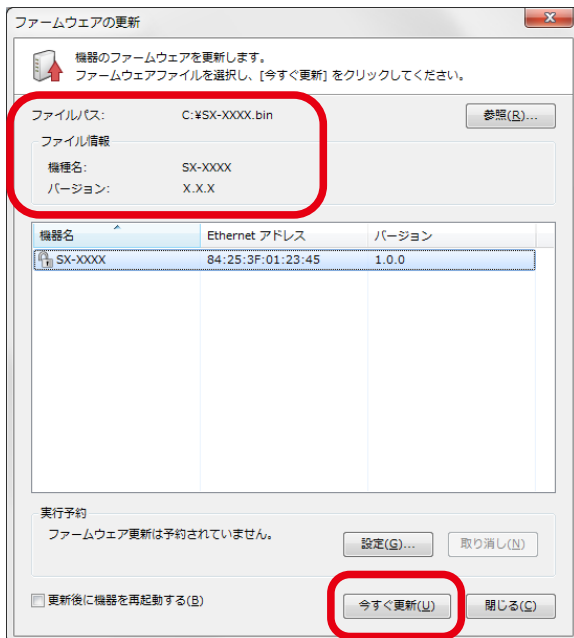
- 以下の方法でもファームウェアを更新できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器のファームウェア更新」
 - 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器のファームウェア更新」
- 「ファームウェアを更新する」アイコン横の「▼」をクリックすると、ファームウェアの更新履歴が表示されます（最大 9 件）。更新履歴からファームウェアを選択すると、ファイルを選択した状態でファームウェア更新画面を表示します。

2. ファームウェアの更新画面が表示されます。

[参照] をクリックして、選択ダイアログから更新するファームウェアファイル (BIN ファイル形式または、BIN ファイルを含む ZIP ファイル形式) を選択します。



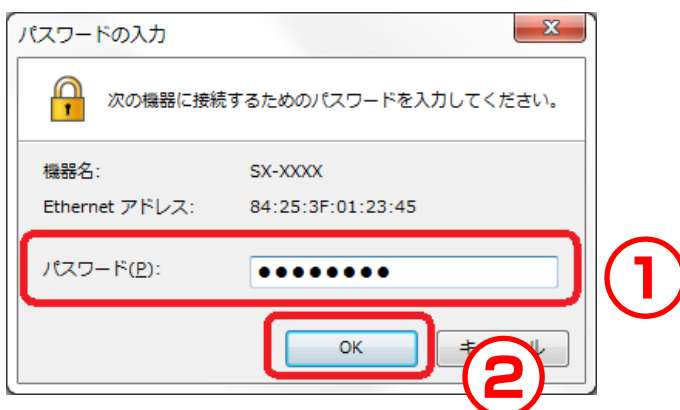
3. 選択したファームウェアのファイル情報が表示されます。
 ファイル情報を確認して、[今すぐ更新] をクリックします。
 ファームウェアを更新した機器を自動で再起動する場合は、「更新後に機器を再起動する」にチェックを入れてから [今すぐ更新] をクリックします。



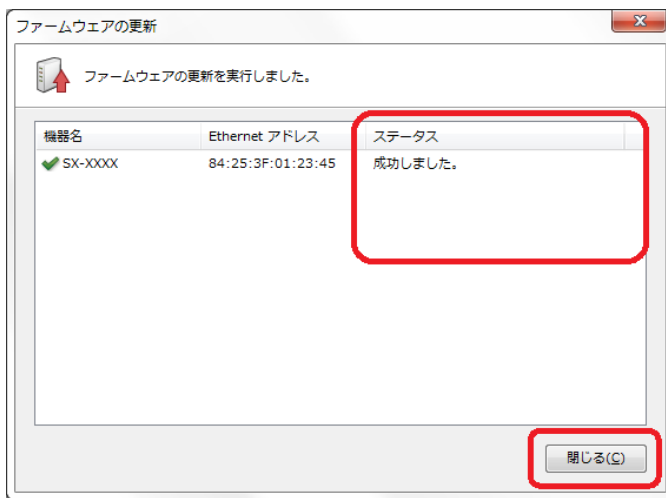
注意

- 更新したファームウェアは、再起動後に有効になります。
 自動で再起動しない場合は、本誌の「機器を再起動する」を参照して手動で再起動を行ってください。
- AMC Manager® Free を使用した場合は、同時に操作できる台数が最大 10 台となります。

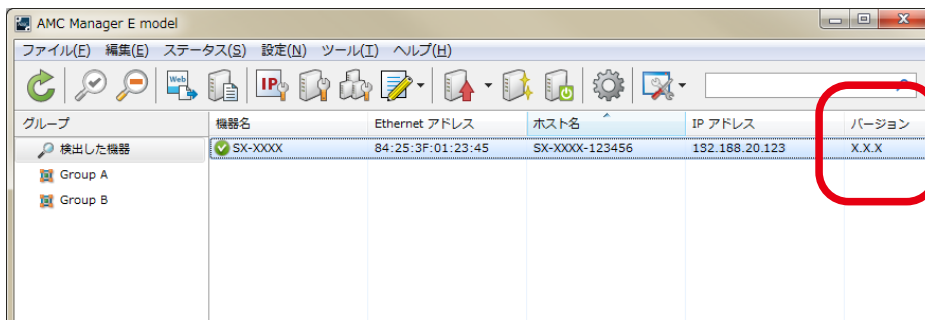
4. パスワードの入力画面が表示されます。
 機器に設定されているパスワードを入力して [OK] をクリックします。
 機器にパスワードが設定されていない場合は、下記画面は表示されません。



5. 選択した機器のファームウェアが更新されます。
 [閉じる] をクリックして、ファームウェア更新画面を閉じます。

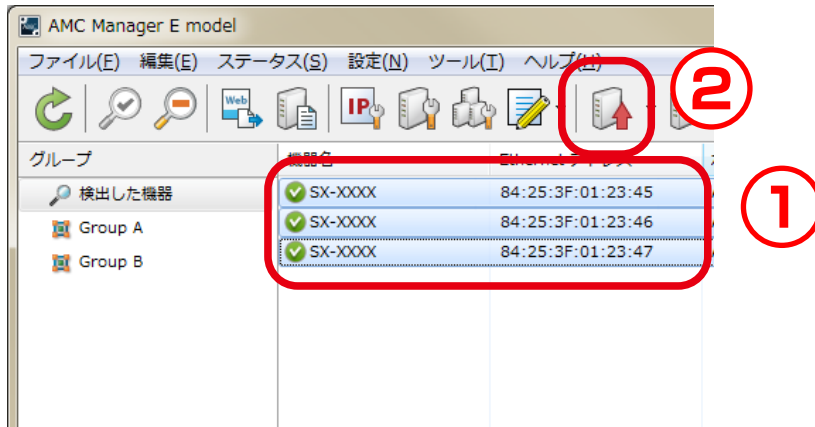


6. AMC Manager® の機器リストでファームウェアを更新した機器のバージョンが更新されていることを確認します。



複数台の機器のファームウェアを一括で更新する

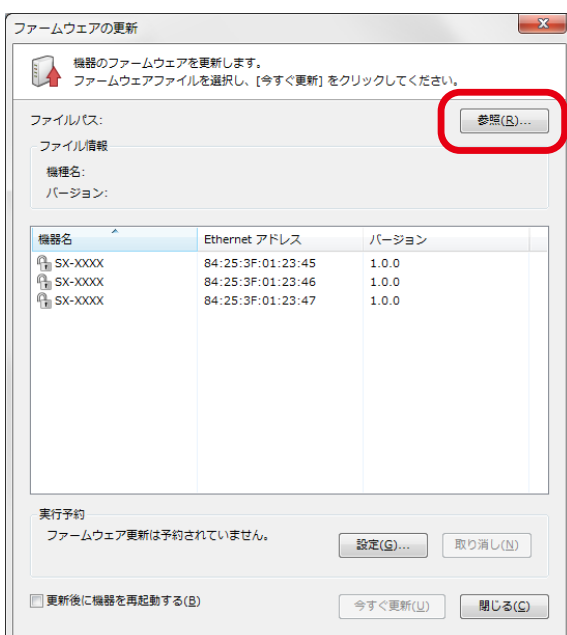
1. 機器リストでファームウェアを更新する機器を複数台選択して、ツールバーの「ファームウェアを更新する」アイコンを選択します。



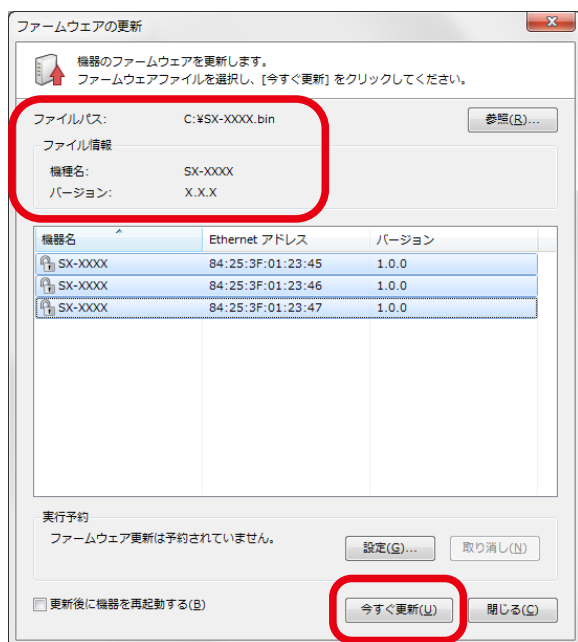
- 以下の方法でもファームウェアを更新できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器のファームウェア更新」
 - 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器のファームウェア更新」
- 「ファームウェアを更新する」アイコン横の「▼」をクリックすると、ファームウェアの更新履歴が表示されます（最大 9 件）。更新履歴からファームウェアを選択すると、ファイルを選択した状態でファームウェア更新画面を表示します。

2. ファームウェアの更新画面が表示されます。

[参照] をクリックして、選択ダイアログから更新するファームウェアファイル (BIN ファイル形式または、BIN ファイルを含む ZIP ファイル形式) を選択します。



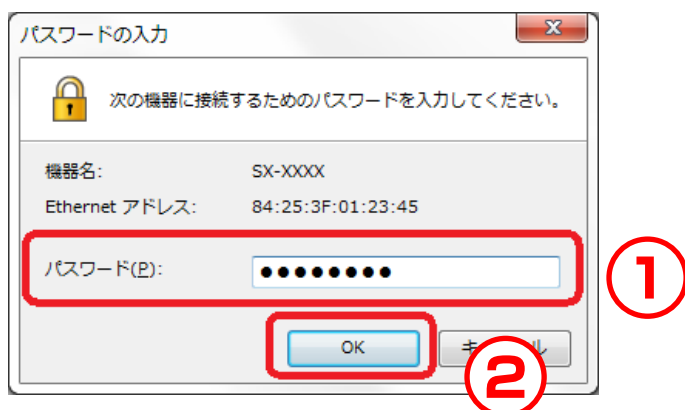
3. 選択したファームウェアのファイル情報が表示されます。
 ファイル情報を確認して、[今すぐ更新] をクリックします。
 ファームウェアを更新した機器を自動で再起動する場合は、「更新後に機器を再起動する」にチェックを入れてから [今すぐ更新] をクリックします。



注意

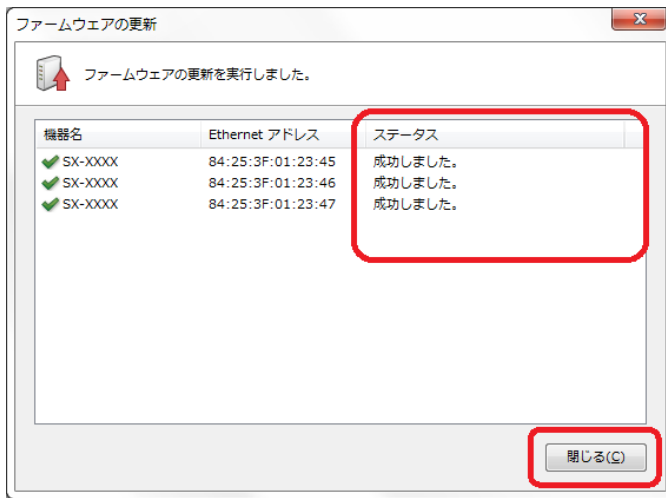
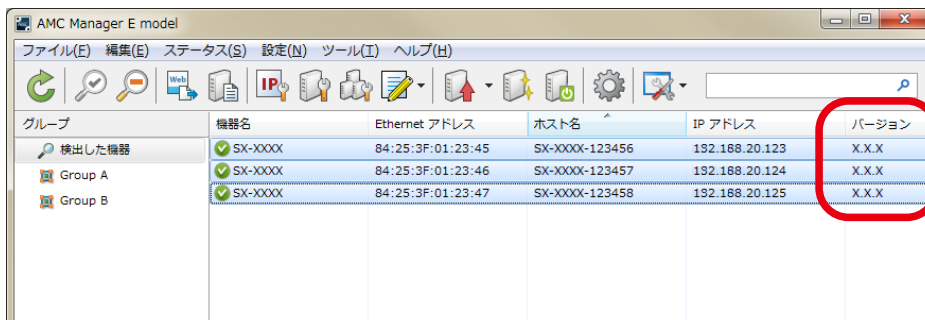
- 更新したファームウェアは、再起動後に有効になります。
 自動で再起動しない場合は、本誌の「機器を再起動する」を参照して手動で再起動を行ってください。
- AMC Manager® Free を使用した場合は、同時に操作できる台数が最大 10 台となります。

4. パスワードの入力画面が表示されます。
 機器に設定されているパスワードを入力して [OK] をクリックします。
 機器にパスワードが設定されていない場合は、下記画面は表示されません。



5. 選択した機器のファームウェアが更新されます。

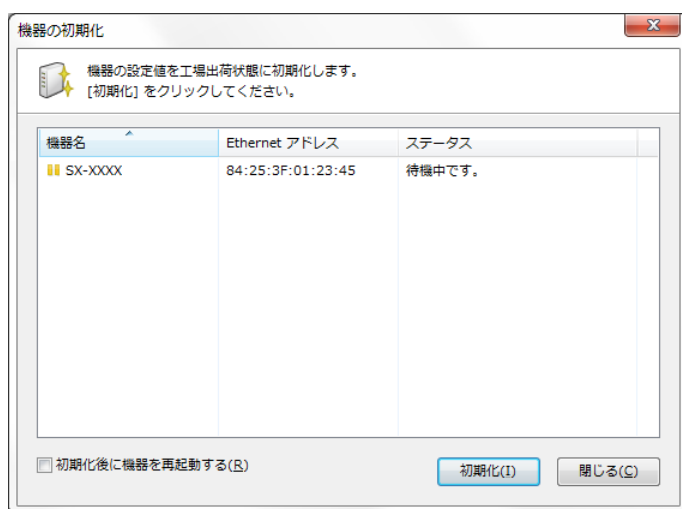
[閉じる] をクリックして、ファームウェア更新画面を閉じます。

**6. AMC Manager® の機器リストでファームウェアを更新した機器のバージョンが更新されていることを確認します。**

4-8. 機器を初期化する

機器の設定を初期化する方法について説明します。
機器の設定の初期化は、機器の初期化画面で行います。

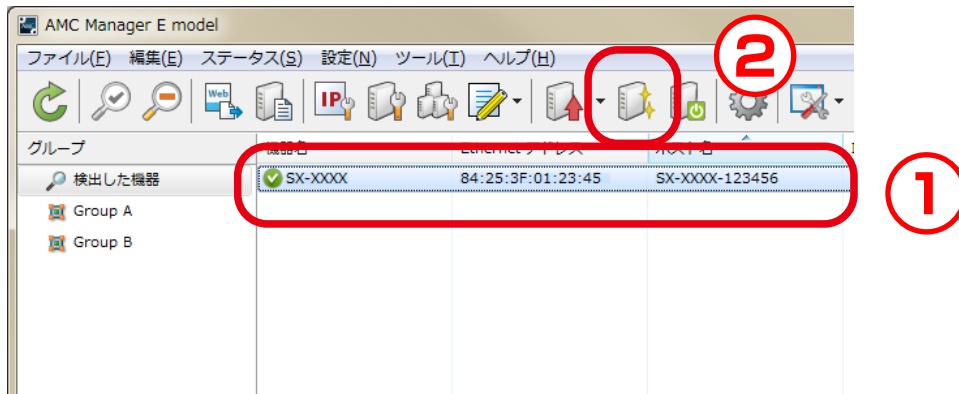
機器の初期化画面



項目	説明
対象機器リスト	初期化する機器の機器名、Ethernet アドレス、ステータスを表示します。 ステータスが「待機中です。」の機器の設定を初期化できます。
初期化後に機器を再起動する	初期化後、機器を再起動させるときはチェックボックスをONにします。
【初期化】 ボタン	機器の設定を初期化します。
【閉じる】 ボタン	機器の初期化画面を閉じます。

機器の設定を初期化する

1. 機器リストで初期化する機器を選択して、ツールバーの「機器を初期化する」アイコンを選択します。



以下の方法でも設定を初期化できます。

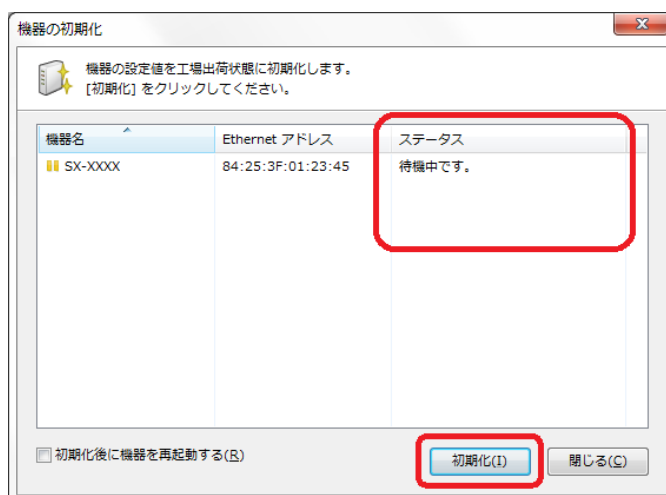
- 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器の初期化」

参考 • 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器の初期化」

2. 機器の初期化画面が表示されます。

初期化する機器のステータスが「待機中です。」になっていることを確認して、[初期化] をクリックします。

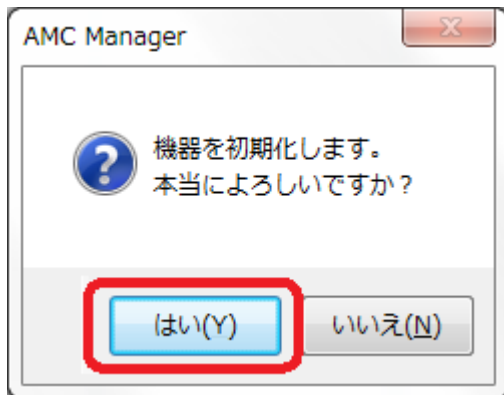
初期化した機器を自動で再起動する場合は、「初期化後に機器を再起動する」にチェックを入れてから [初期化] をクリックします。



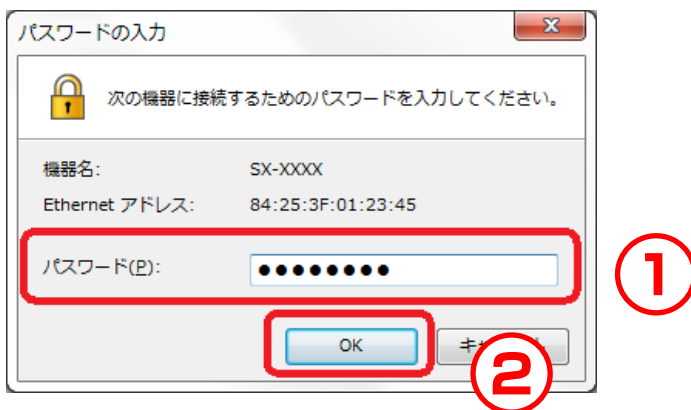
注意

- 初期化した設定は、再起動後に有効になります。
自動で再起動しない場合は、本誌の「機器を再起動する」を参照して手動で再起動を行ってください。
- AMC Manager® Free を使用した場合は、同時に操作できる台数が最大 10 台となります。

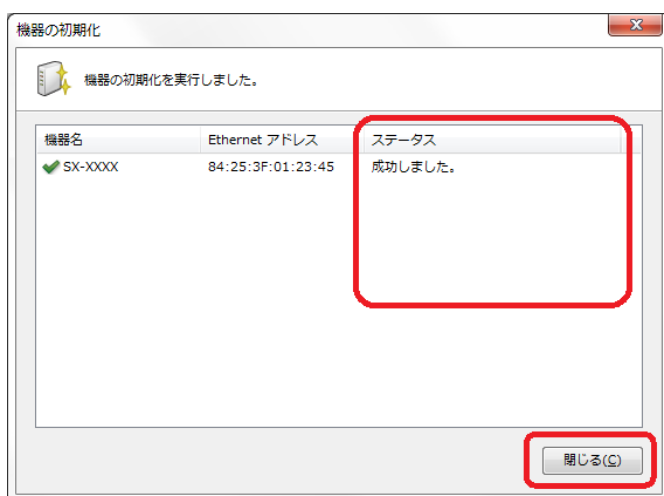
3. 初期化の確認画面が表示されます。
[はい] をクリックします。



4. パスワードの入力画面が表示されます。
機器に設定されているパスワードを入力して [OK] をクリックします。
機器にパスワードが設定されていない場合は、下記画面は表示されません。



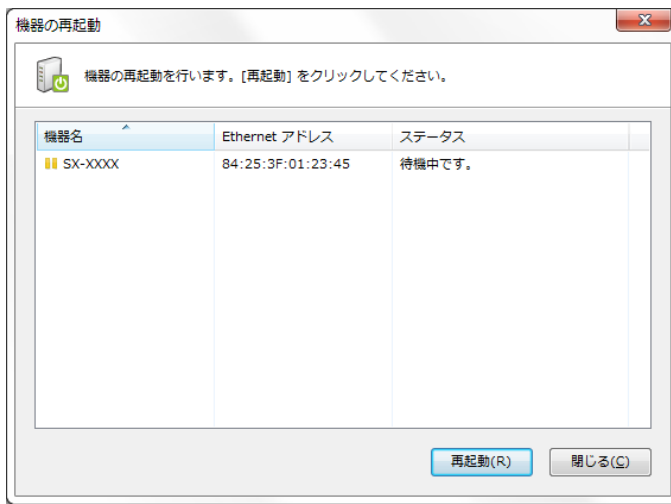
5. 初期化処理の結果画面が表示されます。
ステータスを確認して、[閉じる] をクリックします。



4-9. 機器を再起動する

機器を再起動する方法について説明します。
機器の再起動は、機器の再起動画面で行います。

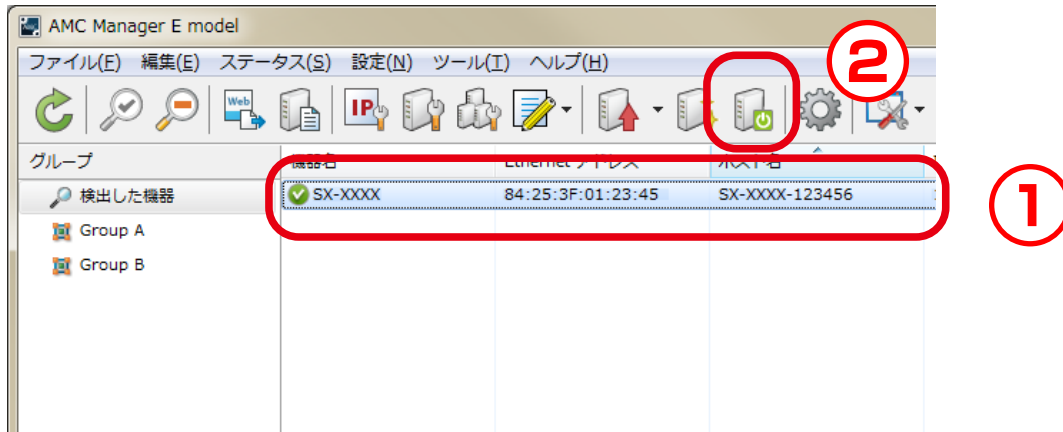
機器の再起動画面



項目	説明
対象機器リスト	再起動する機器の機器名、Ethernet アドレス、ステータスを表示します。 ステータスが「待機中です。」の機器を再起動できます。
[再起動] ボタン	機器を再起動します。
[閉じる] ボタン	機器の再起動画面を閉じます。

機器を再起動する

1. 機器リストで再起動する機器を選択して、ツールバーの「機器を再起動する」アイコンを選択します。



以下の方法でも機器を再起動できます。

参考

- 機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器の再起動」
- 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器の再起動」

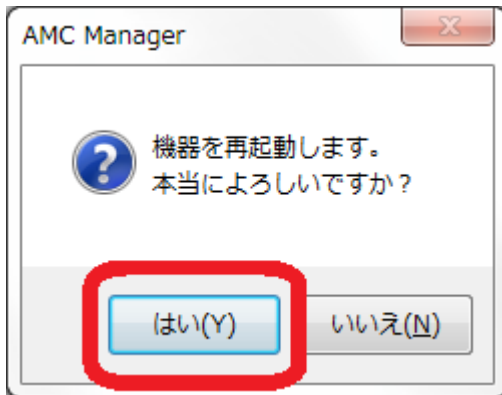
2. 機器の再起動画面が表示されます。
再起動する機器のステータスが「待機中です。」になっていることを確認して、
[再起動] をクリックします。



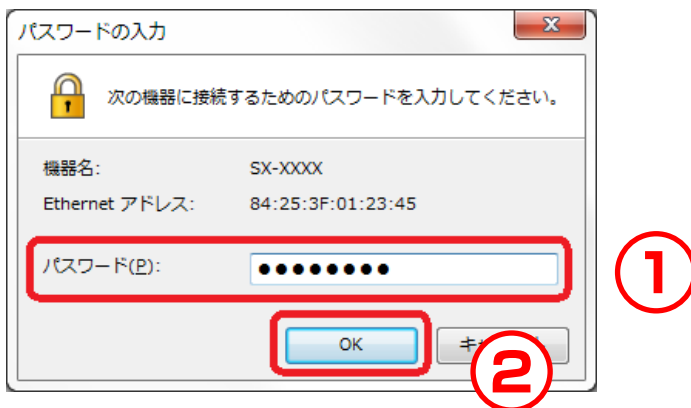
注意

- AMC Manager® Free を使用した場合は、同時に操作できる台数が最大 10 台となります。

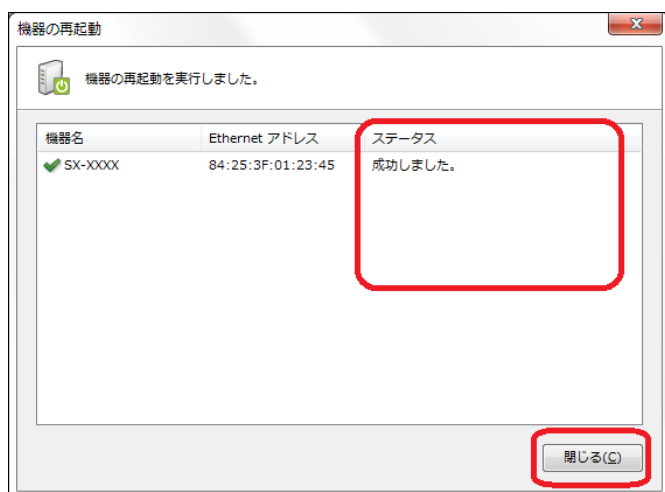
3. 再起動の確認画面が表示されます。
[はい] をクリックします。



4. パスワードの入力画面が表示されます。
機器に設定されているパスワードを入力して [OK] をクリックします。
機器にパスワードが設定されていない場合は、下記画面は表示されません。



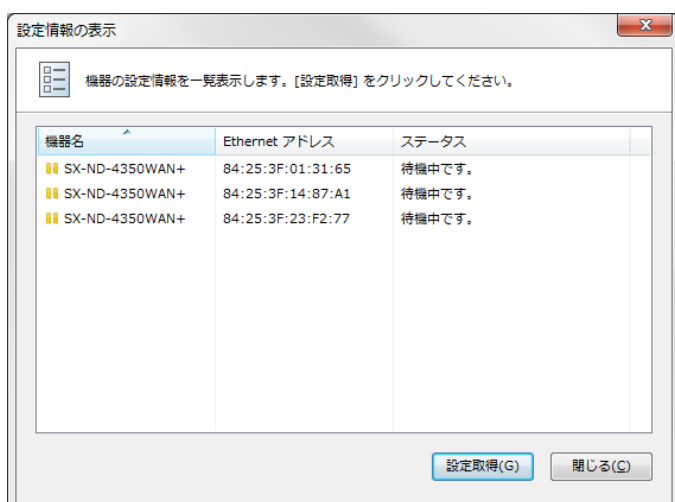
5. 再起動処理の結果画面が表示されます。
ステータスを確認して、[閉じる] をクリックします。



4-10. 機器の設定情報を一覧表示する

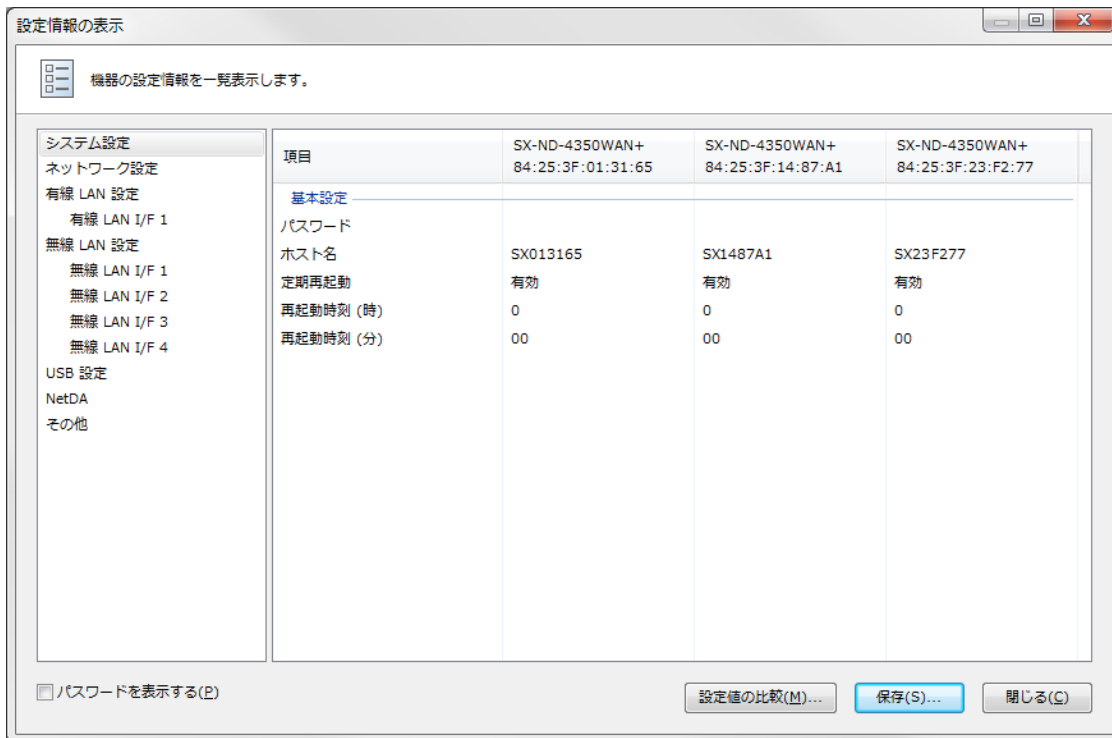
複数の機器から設定情報を取得し、一覧表示する方法について説明します。
機器の設定情報の一覧表示は、設定情報の表示画面で行います。

設定情報の取得画面



項目	説明
対象機器リスト	設定情報を取得する機器の機器名、Ethernet アドレス、ステータスを表示します。 ステータスが「待機中です。」の機器から設定情報を取得できます。
〔設定取得〕 ボタン	機器から設定情報を取得します。
〔閉じる〕 ボタン	設定情報の取得画面を閉じます。 機器から設定情報を取得した場合は、設定情報を一覧表示します。

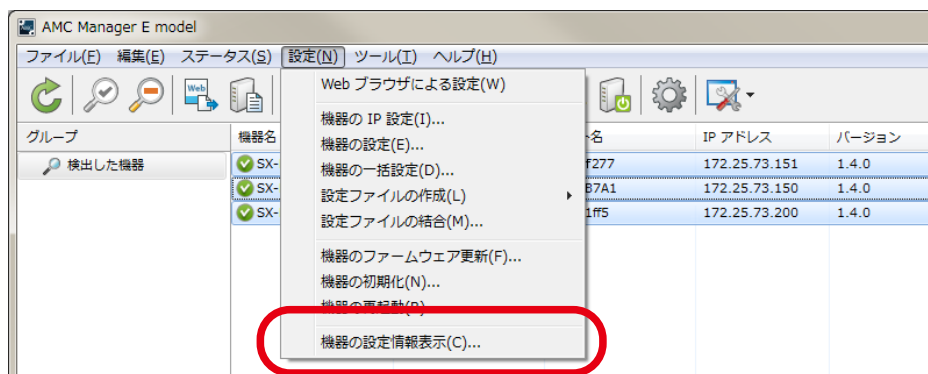
設定情報の一覧表示画面



項目	説明
メニュー項目	設定情報のメニューを表示します。
設定情報	機器の設定情報を表示します。設定項目と、各機器ごとの設定値を表示します。 表示される設定項目は、選択した機器により異なります。
パスワードを表示する	パスワード関連の設定項目をマスク表示しないときは、チェックボックスを ON にします。
設定値の比較	比較用の設定ファイルを選択し、設定ファイルの値と異なる設定値を赤い文字で表示します。 比較対象の項目は、設定ファイル作成時にチェックボックスを ON にした項目となります。
[保存] ボタン	入力した設定対象項目の値を設定ファイルに保存します。
[閉じる] ボタン	設定ファイルの編集画面を閉じます。

機器の設定情報を一覧表示する

1. 一覧表示する機器を選択して、メニューバーの「設定」 - 「機器の設定情報表示」を選択します。



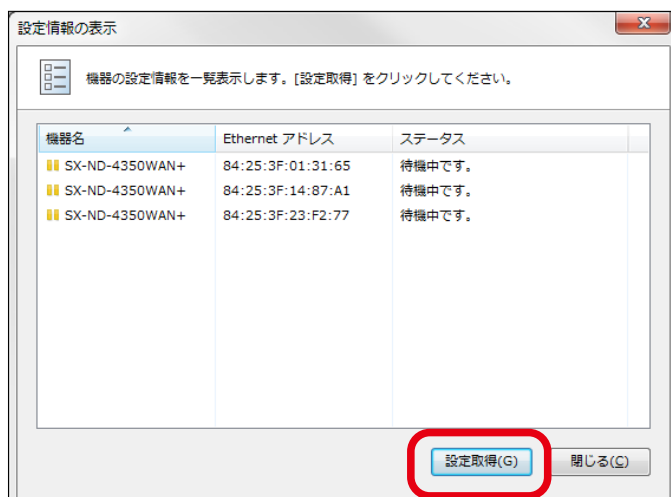
参考

以下の方法でも設定情報の表示画面を開くことができます。

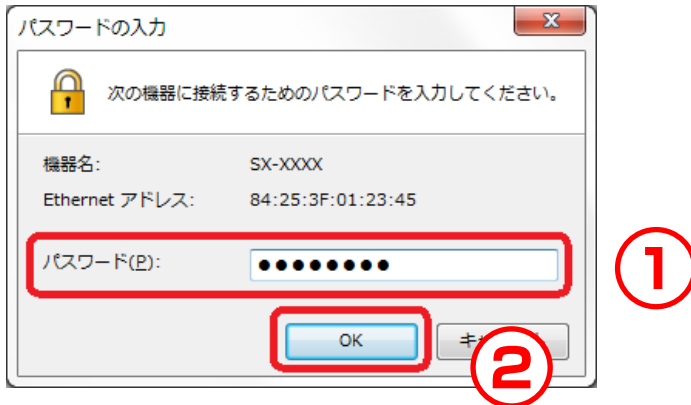
- 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「機器の設定情報表示」

2. 設定情報の表示画面が表示されます。

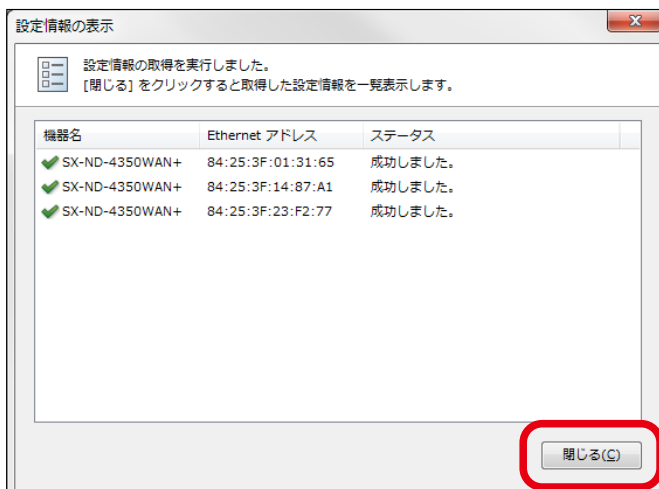
設定情報を取得する機器のステータスが「待機中です。」になっていることを確認して、[設定取得] をクリックします。



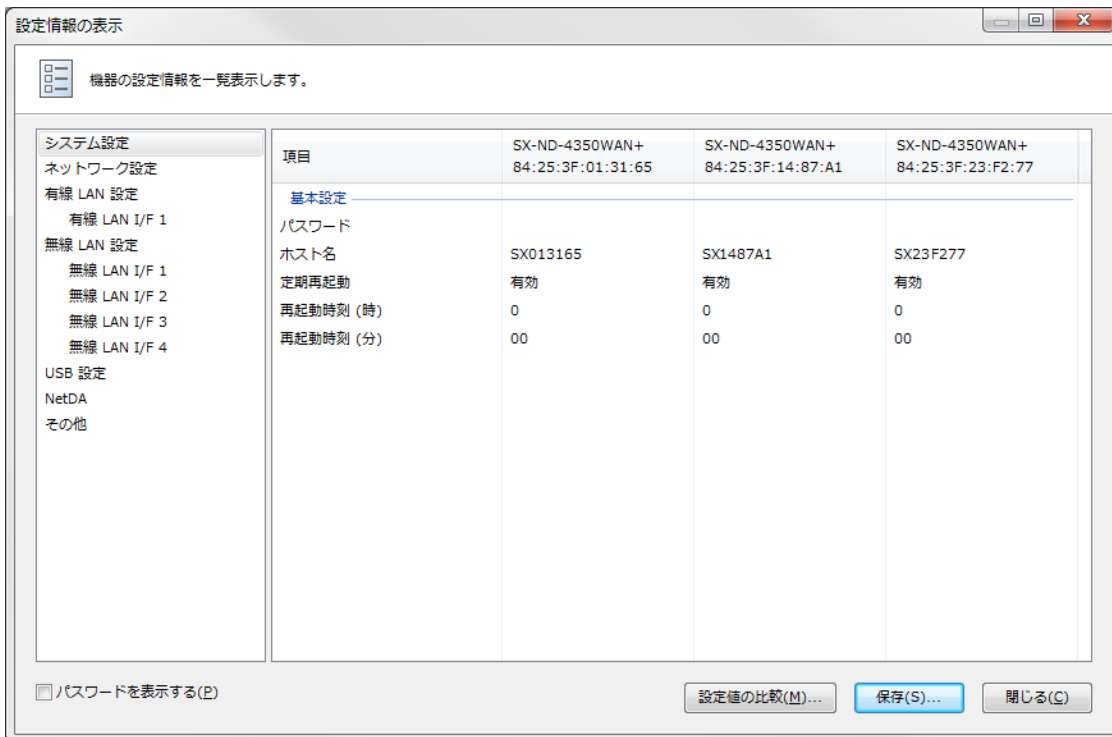
3. パスワードの入力画面が表示されます。
機器に設定されているパスワードを入力して [OK] をクリックします。
機器にパスワードが設定されていない場合は、下記画面は表示されません。



4. 設定取得処理の結果画面が表示されます。
ステータスを確認して、[閉じる] をクリックします。

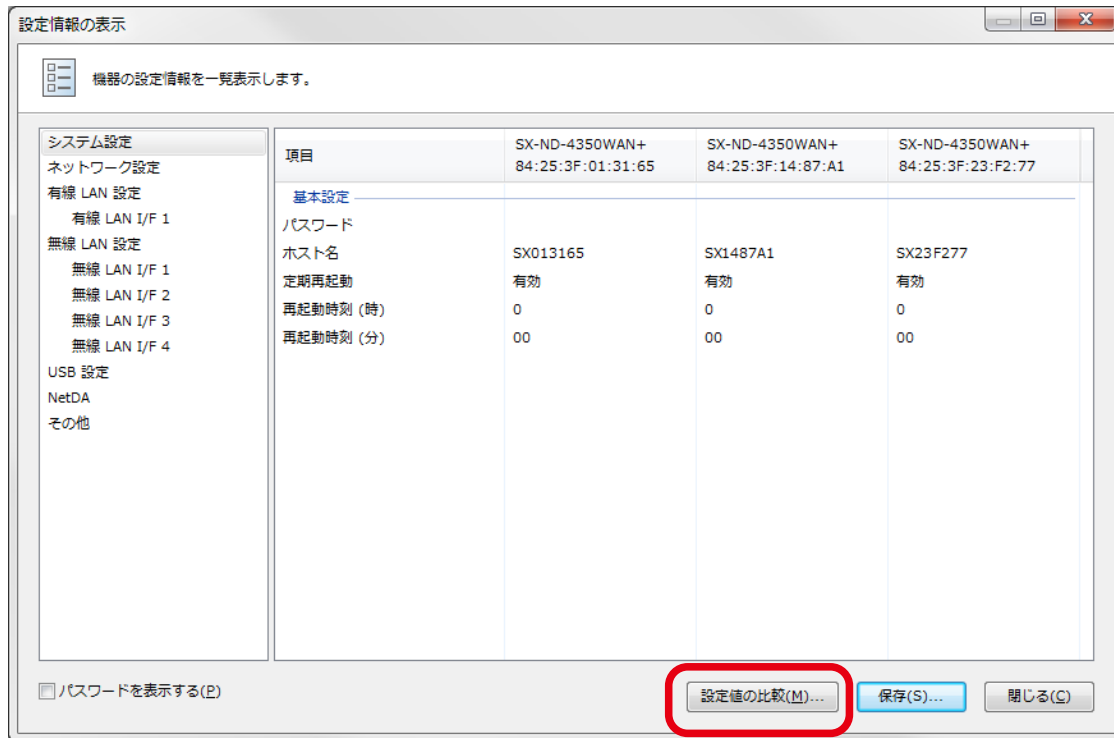


5. 選択した機器の設定情報が一覧表示されます。

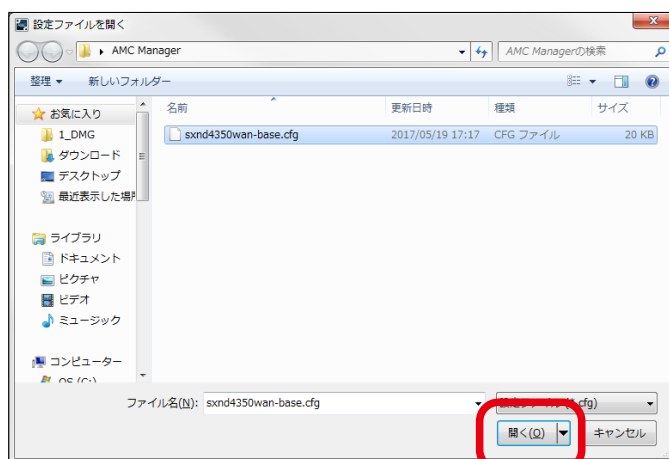


設定ファイルと比較する

1. 機器の設定情報が一覧表示されている状態で [設定値の比較] をクリックします。

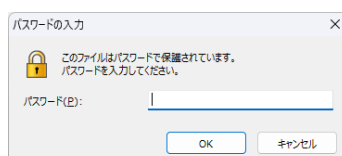


2. 比較する設定ファイルを選択して [開く] をクリックします。

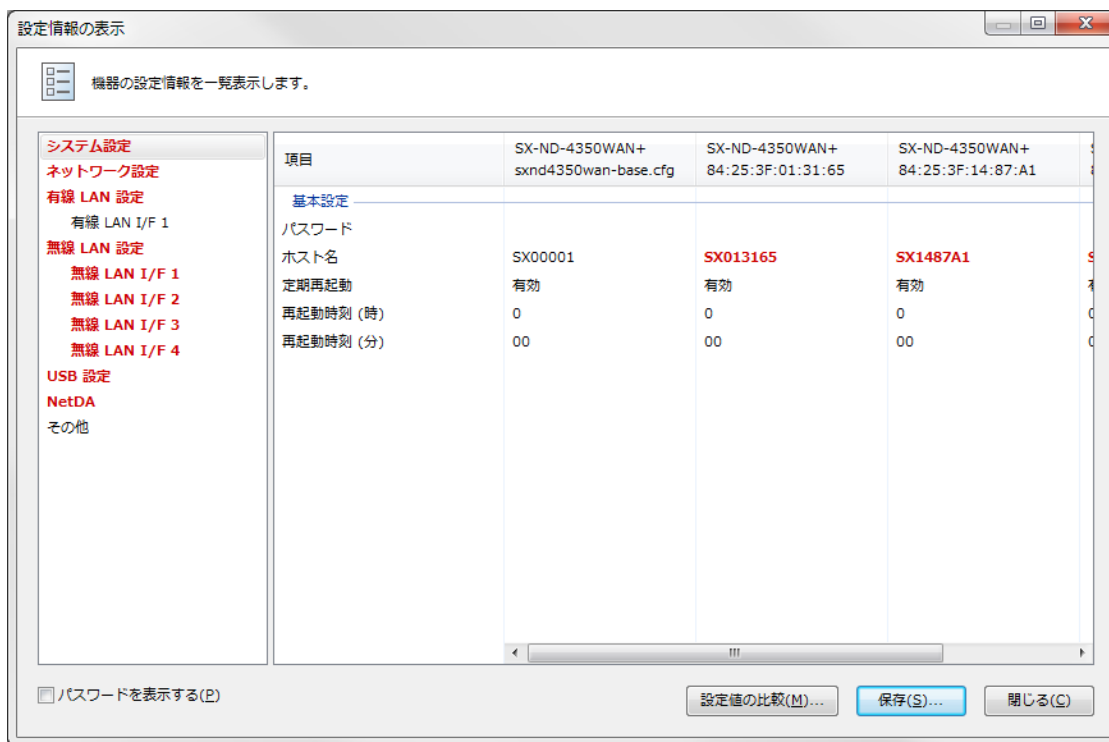


参考

- AMC Manager® Standard/AMC Manager® Free では、パスワード付き暗号化設定ファイル（拡張子 cfgx）が選択できます。ファイルを開くときにパスワード入力が必要です。なお、通常の設定ファイル（拡張子 cfg）の選択も可能です。



3. 設定情報の表示画面に、選択した設定ファイルの設定情報が表示されます。機器の設定情報の中で、設定ファイルと設定値が異なる場合は赤い文字で表示されます。



参考

- ・設定情報画面左のメニュー項目のうち、比較ファイルと設定値が異なる項目は赤い文字で表示されます。

4-11. 機器をグループで管理する

ネットワーク上の機器をグループに分けて管理する方法について説明します。任意の名称を付けたグループを作成して、各グループに機器を登録します。グループは、最大 100 個作成できます。1 つのグループには、最大 1000 台の機器を登録できます。



- AMC Manager® Free を使用した場合は、作成できるグループが最大 2 個となります。また、1 つのグループに登録できる機器が最大 10 台となります。

グループリストと機器リスト

グループリスト

機器リスト

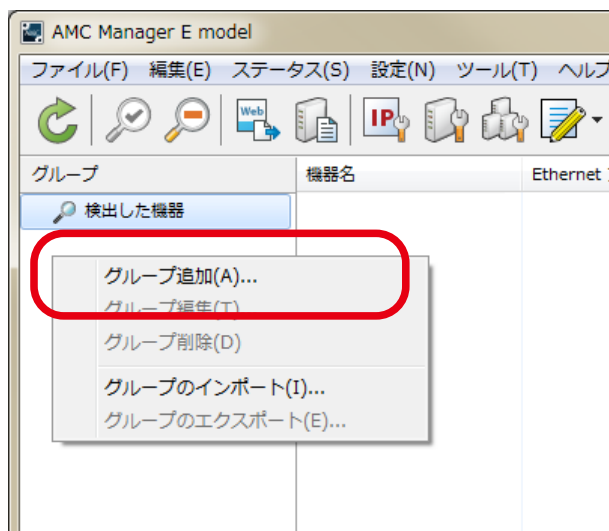
機器名	Ethernet アドレス	ホスト名	IP アドレス	バージョン
SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:01	SX010101	192.168.0.1	2.4.0
SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:02	SX010102	192.168.0.2	2.4.0
SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:03	SX010103	192.168.0.3	2.4.0
SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:04	SX010104	192.168.0.4	2.4.0
SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:05	SX010105	192.168.0.5	2.4.0
SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:06	SX010106	192.168.0.6	2.4.0

レベル	発生日時	イベント種別	機器名	Ethernet アドレス	ホスト名	内容
エラー	2016/04/15 9:52:12	IP 設定	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:03	SX010103	IP アドレスの設定に失敗
エラー	2016/04/15 9:45:31	機器喪失	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:06	SX010106	機器からの応答がなくなり
情報	2016/04/15 9:45:20	機器検知	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:03	SX010103	機器が見つかりました。
警告	2016/04/15 9:43:15	監視停止	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:02	SX010102	機器の監視を停止しまし
エラー	2016/04/15 9:40:31	機器喪失	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:01	SX010101	機器からの応答がなくなり

項目	説明
グループリスト	ユーザが任意に作成したグループが一覧表示されます。
機器リスト	グループリストで選択したグループに登録されている機器が一覧表示されます。グループリストで「検出した機器」を選択したときは、AMC Manager® が検出したネットワーク上の機器をすべて表示します。AMC Manager® Free を使用した場合は、「検出した機器」に表示される台数が最大 10 台となります。各項目のカラムヘッダーをクリックするとソートできます。

グループを作成する

1. グループリストで右クリックして、コンテキストメニューから「グループ追加」を選択します。

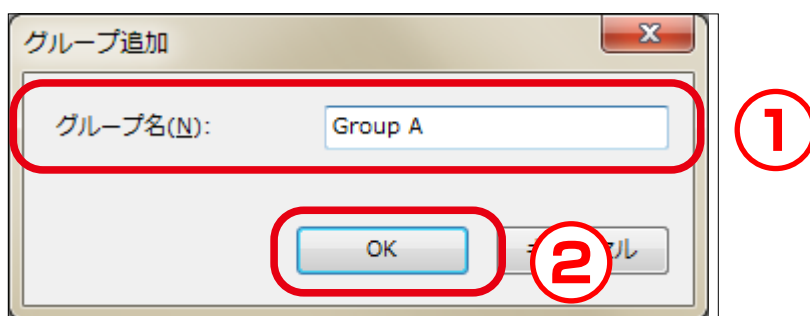


以下の方法でもグループを追加できます。

- メニューバーから「編集」 - 「グループ追加」を選択します。

参考

2. グループ作成画面が表示されます。
「グループ名」に任意のグループ名を入力して、「OK」をクリックします。



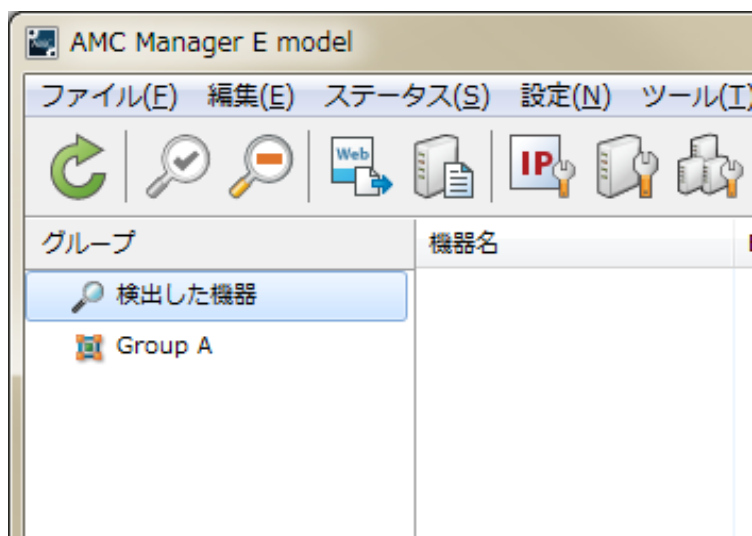
- グループ名は、最大 32 文字です。
- 作成できるグループは、最大 100 個です。

参考



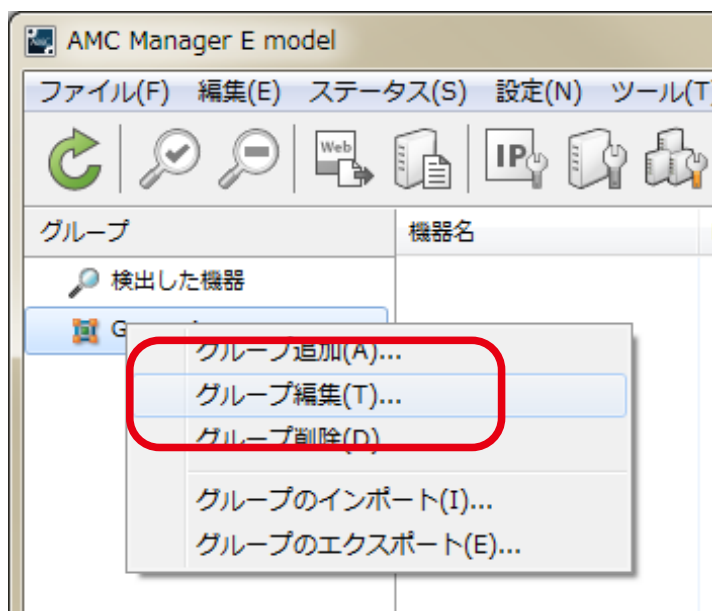
注意

- AMC Manager® Free を使用した場合は、作成できるグループが最大 2 個となります。また、1 つのグループに登録できる機器が最大 10 台となります。

3. 作成したグループがグループリストに表示されます。

グループに機器を登録する

1. グループリストで機器を登録するグループを選択して、右クリックのコンテキストメニューから「グループ編集」を選択します。

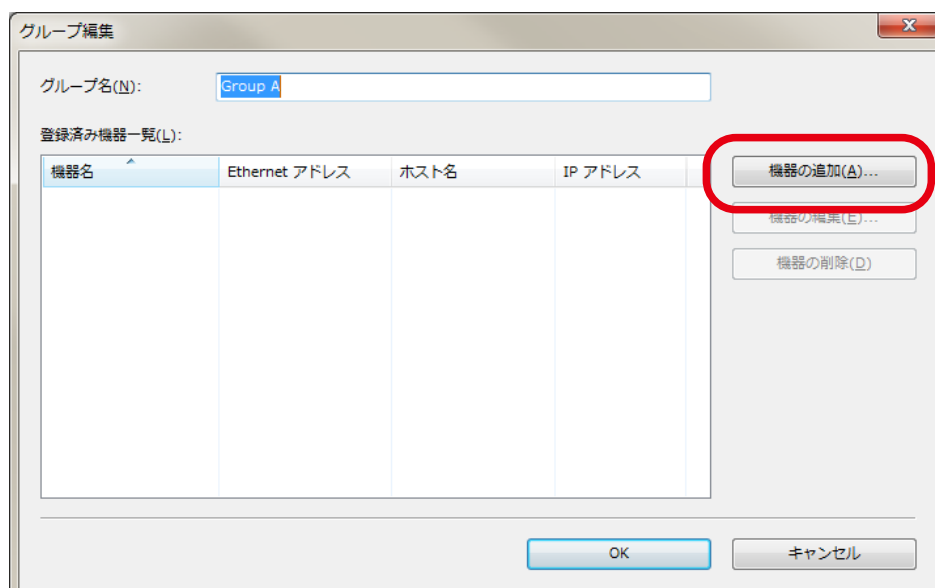


以下の方法でもグループを編集できます。

- グループリストで機器を登録するグループを選択して、メニューバーから「編集」 - 「グループ編集」の順に選択します。

参考

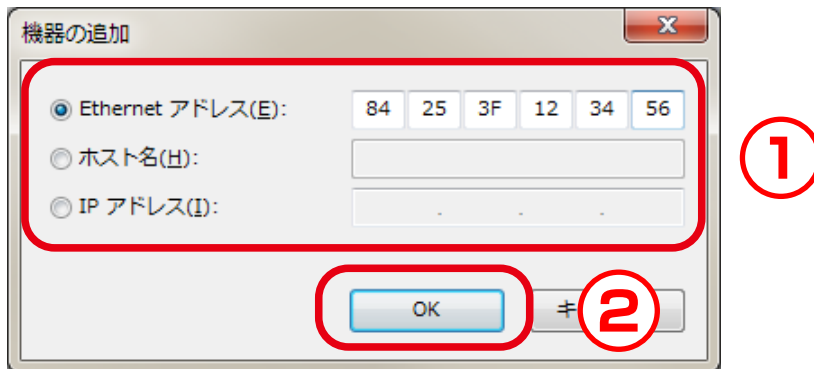
2. グループ編集画面が表示されます。
「機器の追加」をクリックします。



3. 機器の追加画面が表示されます。

登録する機器の情報を「Ethernet アドレス」、「ホスト名」、「IP アドレス」の中から選択して入力します。

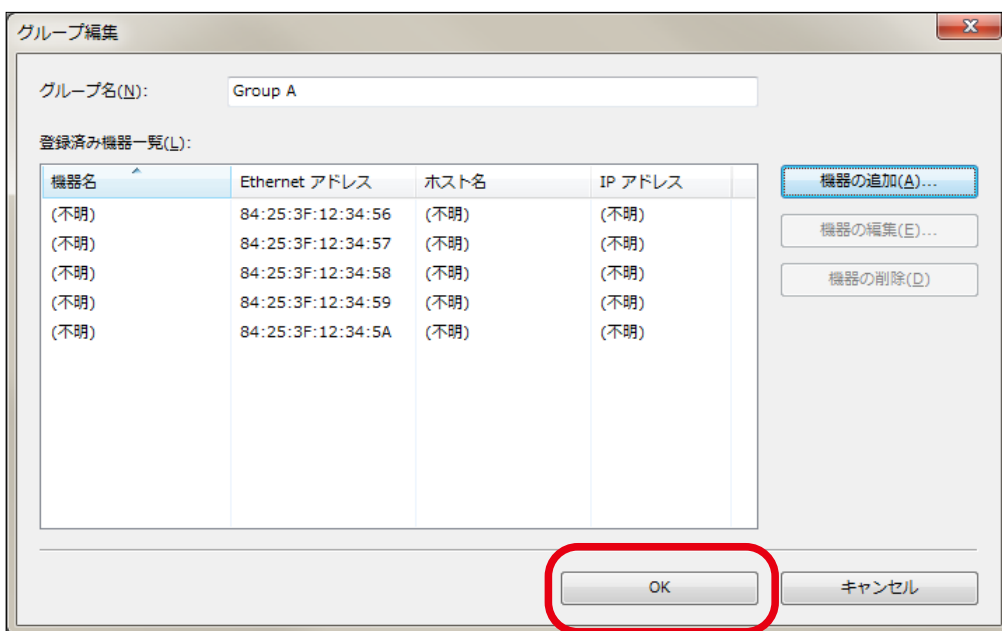
機器の情報を入力したら、「OK」をクリックします。



4. 登録済み機器一覧に登録した機器が表示されます。

引き続き機器を登録する場合は、手順 2 から操作を繰り返します。

機器の登録が完了したら、「OK」をクリックします。



• AMC Manager® がネットワーク上で検知できていない機器は、検知できるまで手順 3 で入力した情報以外が（不明）と表示されます。

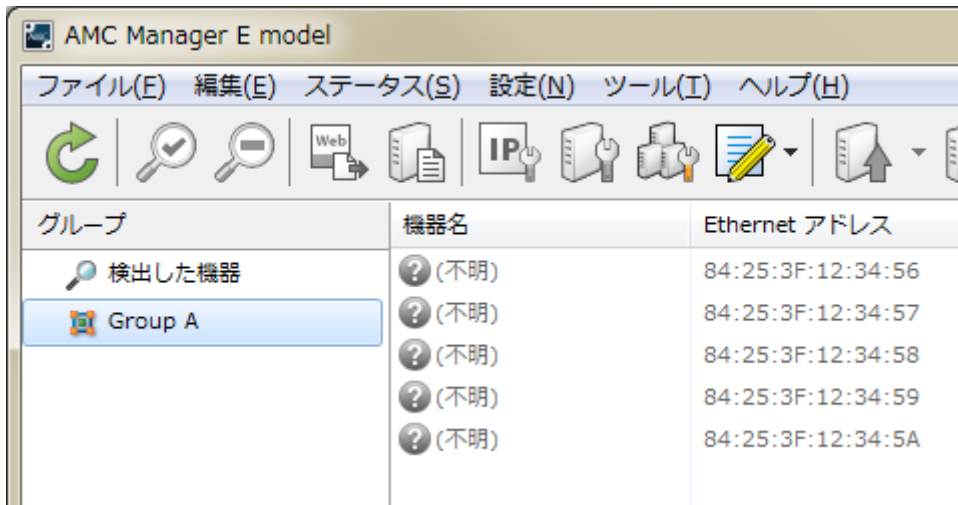
参考 • 1つのグループに登録できる機器は、最大 1000 台です。



注意

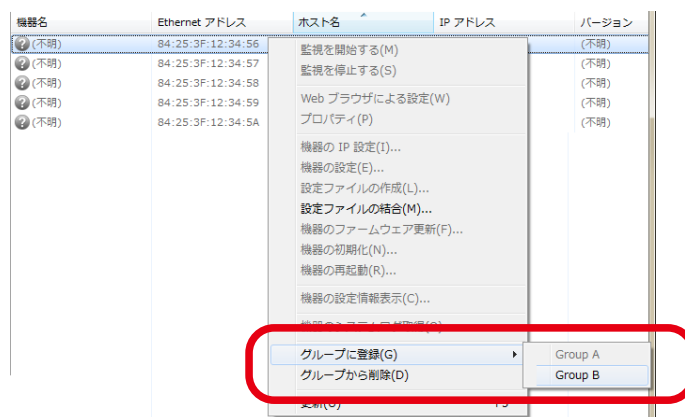
• AMC Manager® Free を使用した場合は、1つのグループに登録できる機器が最大 10 台となります。

5. グループに機器が登録されます。

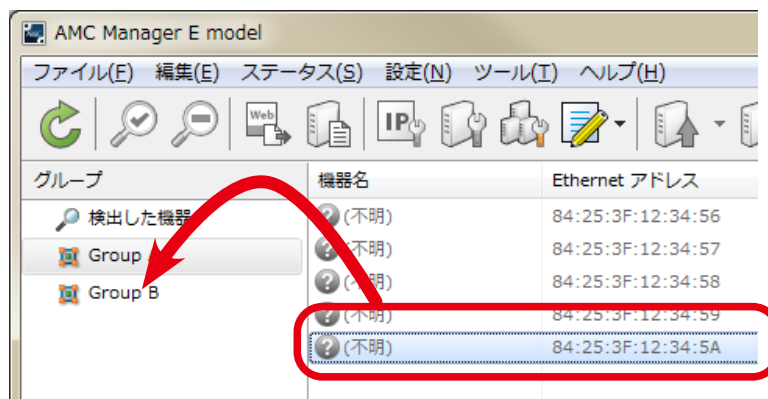


機器リストに機器が表示されている場合は、以下の方法でもグループに登録できます。

- 機器リストで機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「グループに登録」→「(登録先グループ)」の順に選択します。



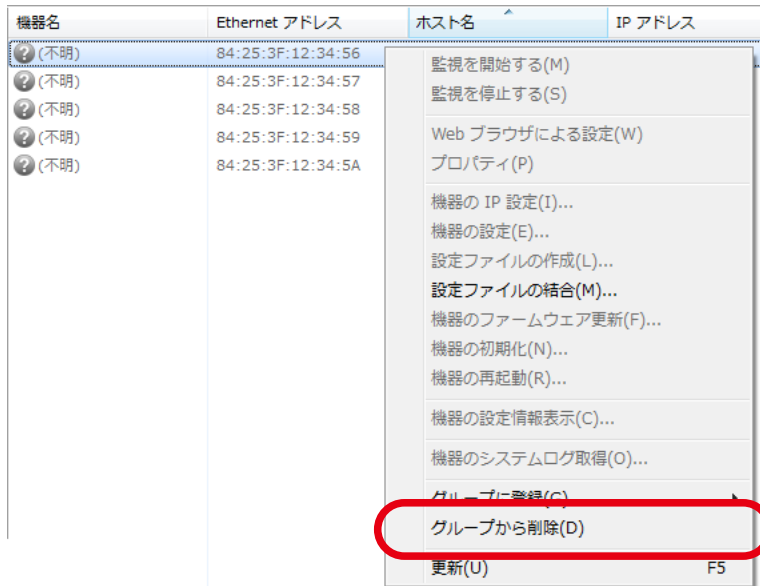
- 機器リストで機器を選択して、登録先グループヘドラッグ&ドロップします。



- AMC Manager® Free を使用した場合は、1 つのグループに登録できる機器が最大 10 台となります。

グループから機器を削除する

1. 機器リストで削除する機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「グループから削除」を選択します。

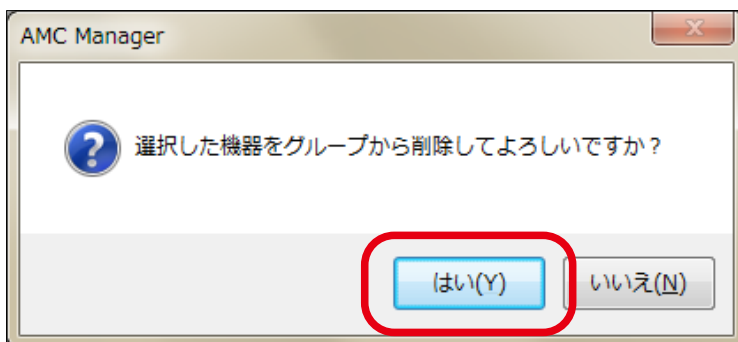


以下の方法でも機器を削除できます。

- 機器リストで機器を選択して、「Delete」キーを押します。

参考

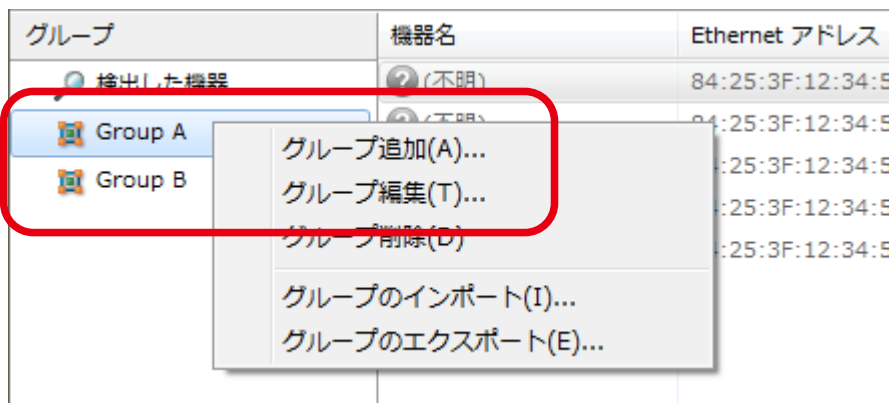
2. 削除の確認画面が表示されます。「はい」をクリックします。



グループの情報を編集する

作成したグループの名称や登録した機器を変更する方法について説明します。

1. グループリストから編集するグループを選択して、右クリックのコンテキストメニューから「グループ編集」を選択します。



以下の方法でもグループを編集できます。

- グループリストで編集するグループを選択して、メニューバーから「編集」 - 「グループ編集」の順に選択します。

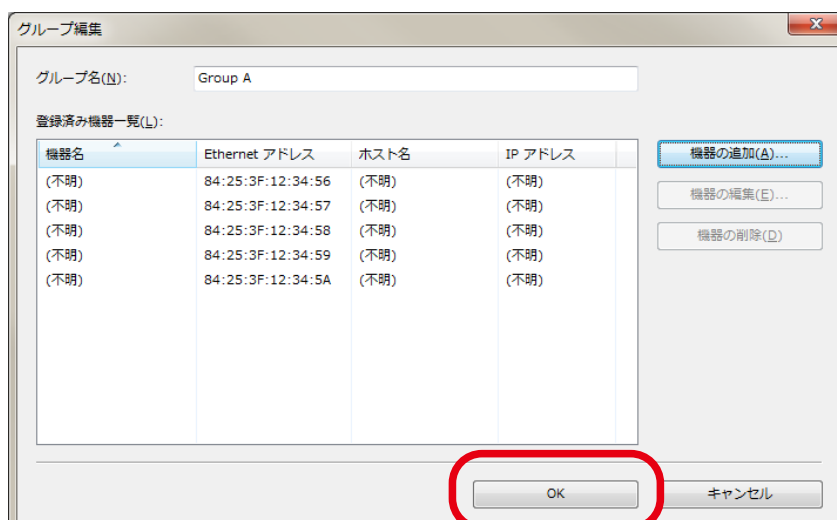
参考

2. グループ編集画面が表示されます。

グループ名を変更するときは、新しいグループ名を入力します。

登録されている機器を削除または変更する場合は、登録済み機器一覧で機器を選択して、「機器の編集」または「機器の削除」を選択します。

グループの情報の編集が完了したら、「OK」をクリックします。



グループ情報をエクスポート / インポートする

グループ情報をエクスポートすることで、作成したグループ情報を外部ファイルに保存できます。また、外部ファイルからインポートすることでグループの作成と機器の登録が行えます。

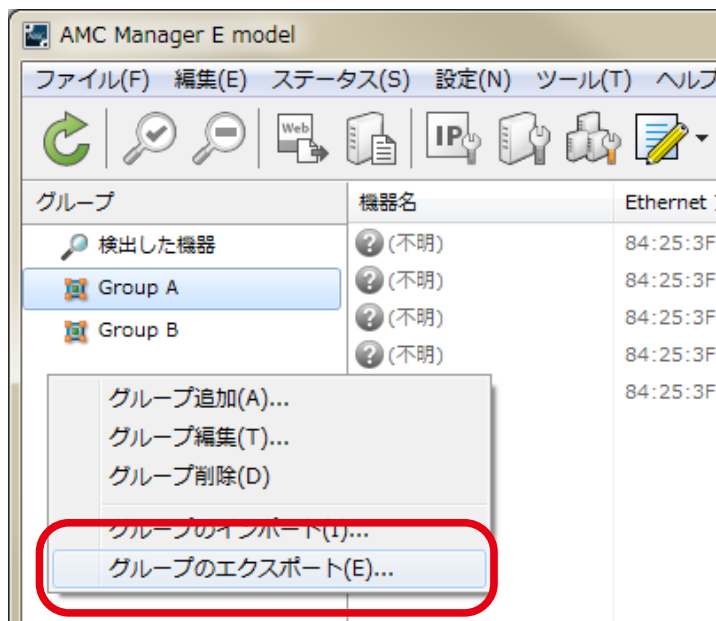


参考

- ・ エクスポートでは、登録されているすべてのグループ情報が一括で保存されます。任意のグループのみ選択してエクスポートすることはできません。
- ・ インポートでは、現在 AMC Manager® に登録されているグループ情報にインポートした外部ファイルに保存されているグループ情報を追加します。
- ・ インポートする AMC Manager® のバージョンが、グループ情報をエクスポートしたときの AMC Manager® のバージョンと異なる場合は、インポートできない場合があります。

【グループ情報をエクスポートする】

1. グループリストで右クリックして、コンテキストメニューから「グループのエクスポート」を選択します。

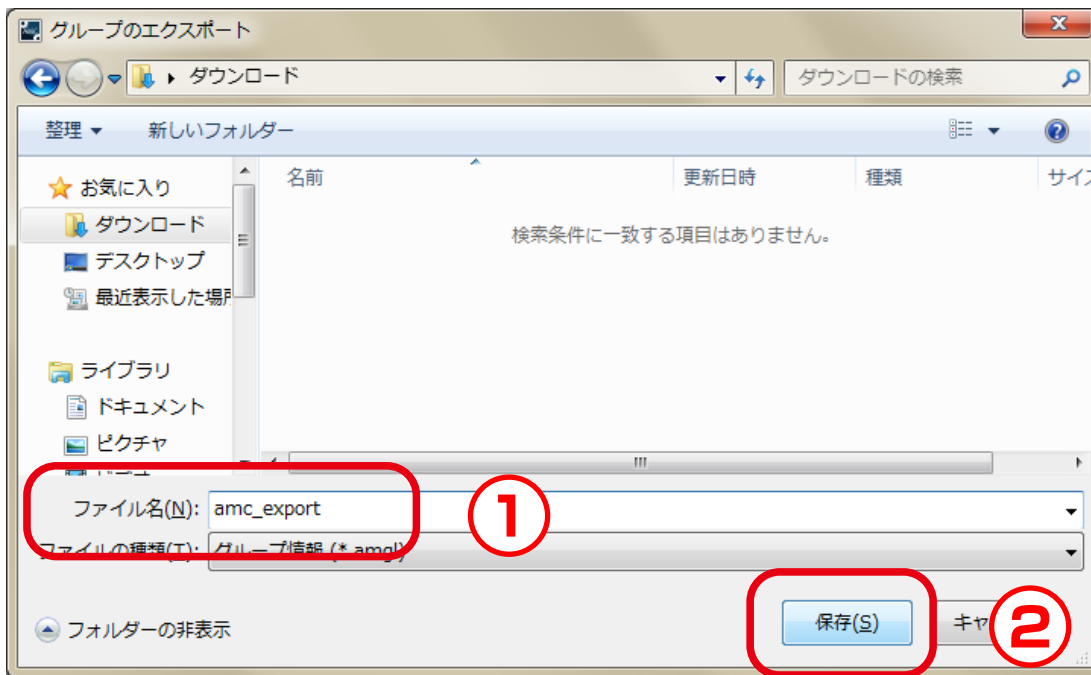


参考

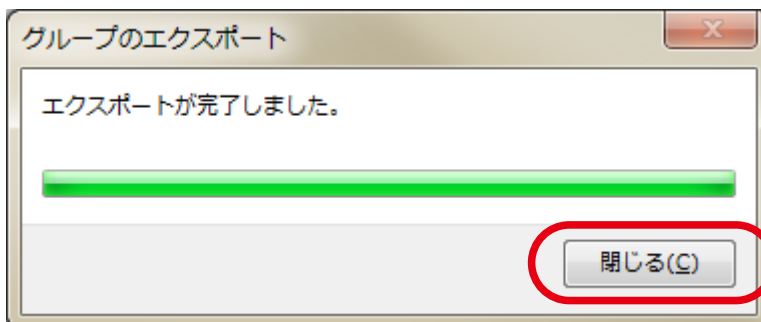
以下の方法でもエクスポートできます。

- ・ メニューバーから「編集」 - 「グループのエクスポート」の順に選択します。

2. ファイルの保存画面が表示されます。
任意のファイル名を入力して、「保存」をクリックします。

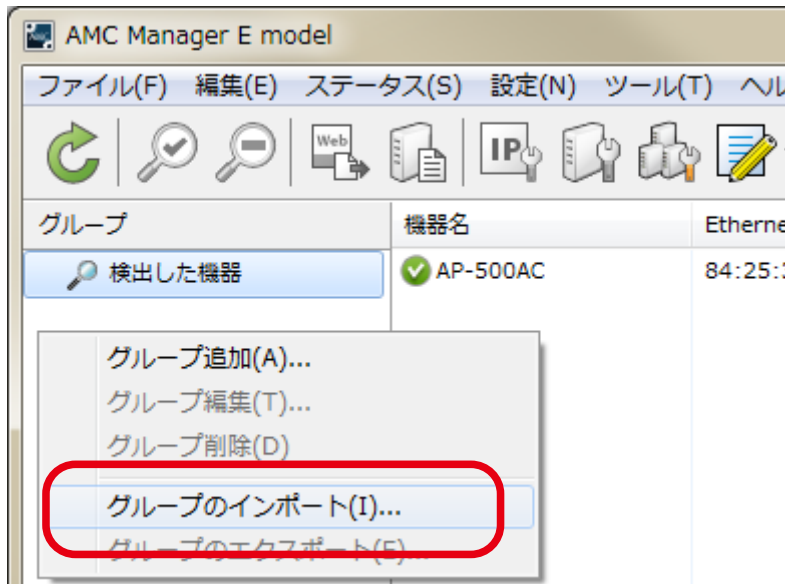


3. エクスポートが完了すると完了画面が表示されます。
「閉じる」をクリックします。



【グループ情報をインポートする】

1. グループリストで右クリックして、コンテキストメニューから「グループのインポート」を選択します。

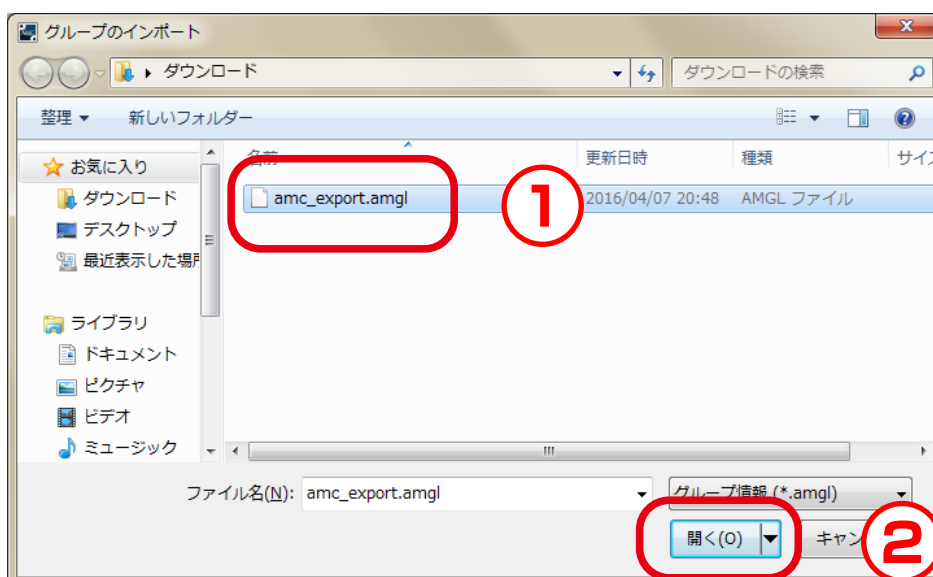


以下の方法でもインポートできます。

- メニューバーから「編集」 - 「グループのインポート」の順に選択します。

参考

2. ファイルの選択画面が表示されます。
インポートするファイルを選択して「開く」をクリックします

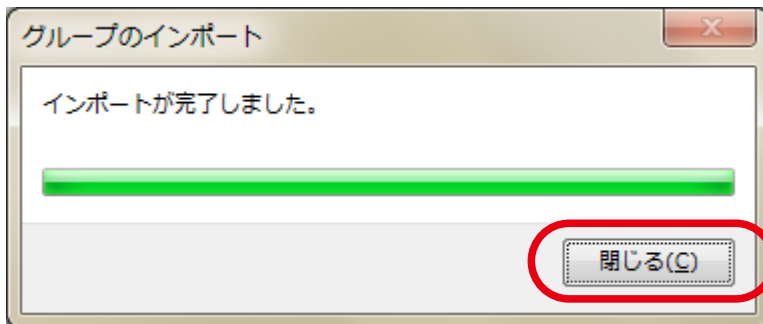




注意

- AMC Manager® Free を使用した場合は、インポートできるグループ情報は最大 2 個となります。また、1 つのグループにつきインポートできる機器の数は最大 10 台となります。

3. インポートが完了すると完了画面が表示されます。
「閉じる」をクリックします。



4-12. Log Viewer でログを参照する

Log Viewer を使用して、AMC Manager® に保存されたイベントログを参照する方法について説明します。



参考

- AMC Manager® に保存されるイベントログの保存期間は、AMC Manager® のオプション設定のログ保存設定で設定できます。

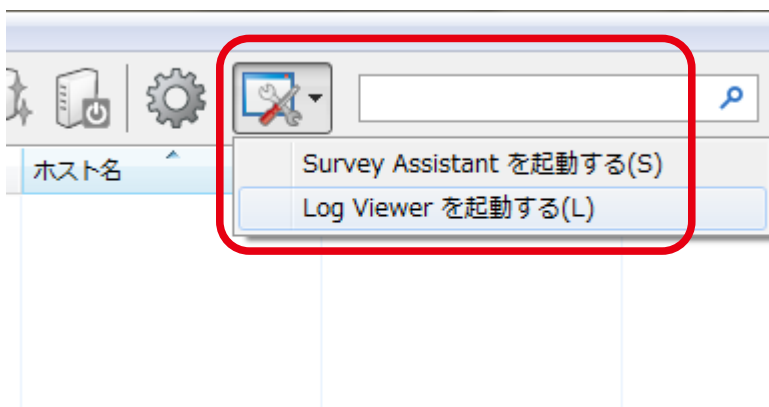


注意

- Log Viewer は、AMC Manager® Standard、AMC Manager® E model で使用することができます。

Log Viewer を起動する

1. ツールバーの「プラグインツールを起動する」アイコンー「Log Viewer を起動する」の順にクリックします。

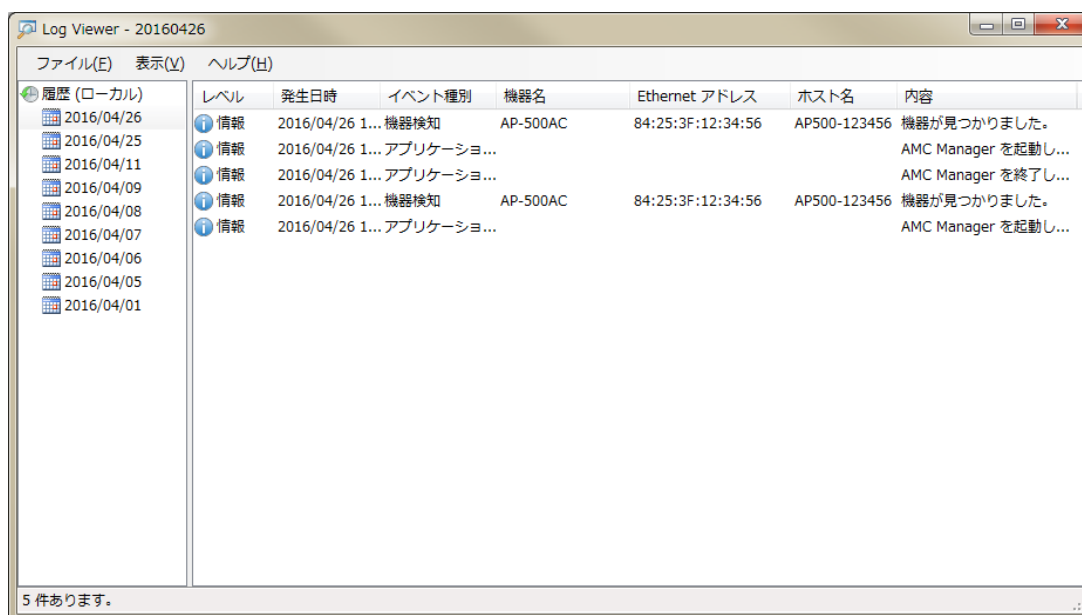


参考

以下の方法でも Log Viewer を起動できます。

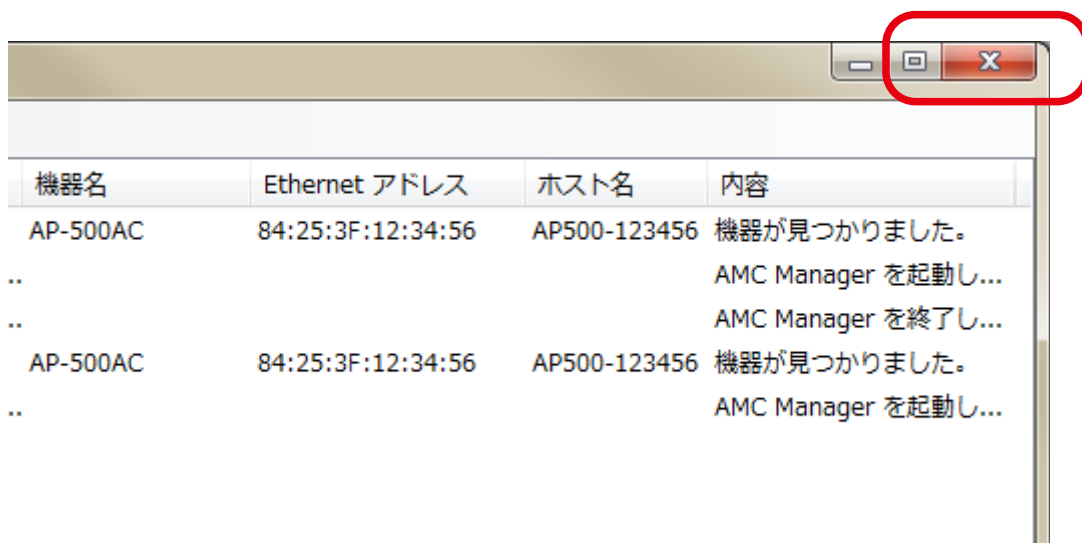
- メニューバーから「ツール」 - 「Log Viewer を起動する」の順に選択します。

2. AMC Manager® が保存しているイベントログを読み込んで、Log Viewer が起動します。



Log Viewer を終了する

1. Log Viewer 画面右上の「閉じる」ボタンをクリックすると、Log Viewer を終了します。



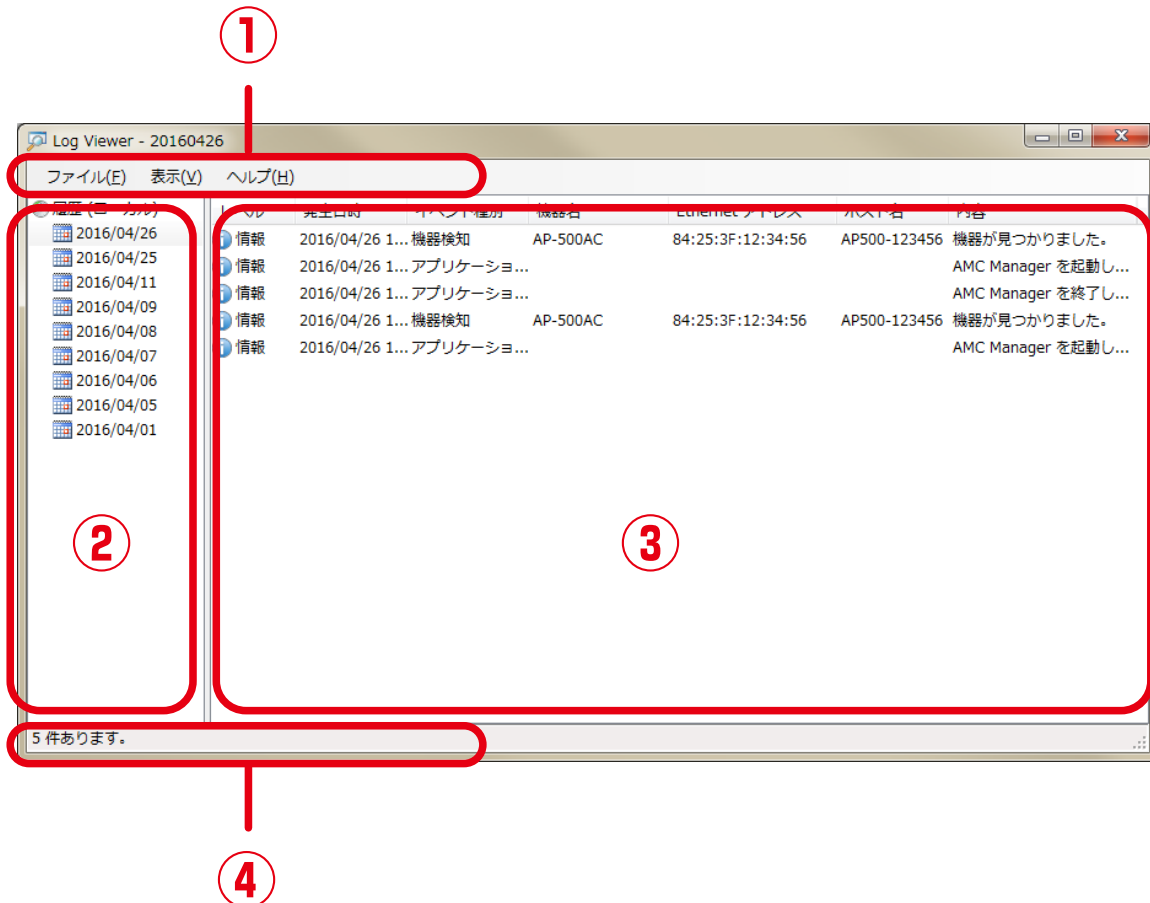
以下の方法でも Log Viewer を終了できます。

- メニューバーから「ファイル」 - 「終了」の順に選択します。

参考

Log Viewer の操作画面

Log Viewer の操作画面について説明します。



① メニューバー

ログのエクスポートや詳細検索など、Log Viewer の各機能を実行します。

② 日付 / ファイルリスト

AMC Manager® が保存しているログの日付と読み込んだ Log Viewer 形式のファイル名を表示します。

③ ログリスト

イベントログを一覧表示します。

各項目のカラムヘッドをクリックするとソートできます。

④ ステータスバー

ログの件数などを表示します。

【メニューバー】

ログのエクスポートや表示内容の絞り込みなど、Log Viewer の各機能を実行します。

メニュー	項目	説明
ファイル	開く	Log Viewer 形式のファイルを読み込みます。
	エクスポート	ログリストに表示している内容を、Log Viewer 形式または CSV 形式で外部ファイルに保存します。
	履歴	「開く」で読み込んだ Log Viewer 形式のファイルのログを表示します。
	履歴をすべてクリア	「開く」で読み込んだログを削除します。
	終了	Log Viewer を終了します。
表示	更新	Log Viewer の表示を最新の情報に更新します。
	詳細検索	検索条件を設定して、ログリストの表示内容を絞り込みます。
ヘルプ	バージョン情報	Log Viewer のバージョン情報を表示します。








参考




- 「エクスポート」は、ログリストに表示されている内容を保存します。

【ログリスト】

AMC Manager® に保存されたイベントのログを表示します。









レベル	発生日時	イベント種別	機器名	Ethernet アドレス	ホスト名	内容
 エラー	2016/04/15 9:52:12	IP 設定	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:03	SX010103	IP アドレスの設定に失敗
 エラー	2016/04/15 9:45:31	機器喪失	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:06	SX010106	機器からの応答がなくなり
 情報	2016/04/15 9:45:20	機器検知	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:03	SX010103	機器が見つかりました。
 警告	2016/04/15 9:43:15	監視停止	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:02	SX010102	機器の監視を停止しまし
 エラー	2016/04/15 9:40:31	機器喪失	SX-AP-4800AN	84:25:3F:01:01:01	SX010101	機器からの応答がなくなり

項目	説明
レベル	イベントの内容とレベル種別を表すアイコンを表示します。
発生日時	イベントの発生日時を表示します。
イベント種別	イベントの種別を表示します。
機器名	イベントが発生した機器の機器名を表示します。
Ethernet アドレス	イベントが発生した機器の Ethernet アドレスを表示します。
ホスト名	イベントが発生した機器のホスト名を表示します。
内容	イベントの内容を表示します。

アイコン	レベル種別	説明
	情報	設定変更やネットワーク上の機器の検索の成功などの正常系イベント。
	エラー	設定変更の失敗や通信エラーなどのイベント。
	警告	機器の監視の停止などのイベント。



- AMC Manager® E model ではシスログも表示することができます。シスログのアイコンとレベル種別は以下の通りです。

アイコン	レベル種別	説明
	危機的	機器から受信したシスログの重大度を示します。
	警戒	
	致命的	
	エラー	
	警告	
	通知	
	情報	
	デバッグ	

イベント種別	説明
IP 設定	IP アドレスの設定時に表示します。
設定変更	設定変更時に表示します。
設定初期化	設定の初期化時に表示します。
機器再起動	再起動時に表示します。
ファームウェア更新	ファームウェアの更新時に表示します。
システムログ取得	システムログの取得時に表示します。
メール送信	AMC Manager® E model や監視機器に関する異常などについてアラート通知が送信された時に表示します。
監視開始	機器の監視を開始した時に表示します。
監視停止	機器の監視を停止した時に表示します。
機器検知	機器から応答があった時に表示します。
機器喪失	機器から応答が無くなった（通信エラー）時に表示します。
機器復帰	機器喪失後、機器から応答があった時に表示します。
変更検知	AMC Manager® 以外の方法で設定変更やファームウェアが更新されたことを検知した時に表示します。
アプリケーション起動	AMC Manager® を起動したときに表示します。
アプリケーション終了	AMC Manager® を終了したときに表示します。
機器のシスログ	機器からシスログを受信したときに表示します。



- 各項目のカラムヘッダーをクリックするとソートできます。

参考

フィルタ条件について

ログの各項目で表示フィルタを設定することで、ログ一覧から目的のログのみを表示することができます。

表示フィルタには「レベル」、「発生日時」、「イベント種別」、「機器名」、「Ethernet アドレス」、「ホスト名」、「内容」があり、選択できる表示項目は AMC Manager® Standard と AMC Manager® E model で一部異なります。表示項目が異なるフィルタは以下の通りです。

(○：選択可，－：選択不可)

【レベル】

表示項目	AMC Manager® Standard	AMC Manager® E model
エラー	○	○
情報	○	○
警告	○	○
致命的	○	○
警戒	－	○
危機的	－	○
通知	－	○
デバッグ	－	○

【イベント】

表示項目	AMC Manager® Standard	AMC Manager® E model
IP 設定	○	○
設定変更	○	○
設定初期化	○	○
機器再起動	○	○
ファームウェア更新	○	○
システムログ取得	○	○
監視開始	○	○
監視停止	○	○
機器検知	○	○
機器喪失	○	○
機器復帰	○	○
変更検知	○	○
アプリケーション起動	○	○
アプリケーション終了	○	○
機器のシスログ	－	○
メール送信	－	○

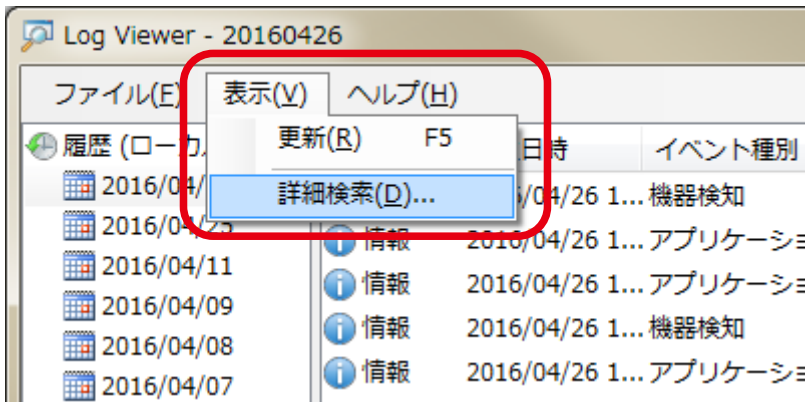
【内容】

表示項目	AMC Manager® Standard	AMC Manager® E model
IP アドレスの設定に成功しました。	○	○
IP アドレスの設定に失敗しました。	○	○
機器の設定変更に成功しました。	○	○
機器の設定変更に失敗しました。	○	○
機器のファームウェア更新に成功しました。	○	○
機器のファームウェア更新に失敗しました。	○	○
機器の初期化に成功しました。	○	○
機器の初期化に失敗しました。	○	○
機器の再起動に成功しました。	○	○
機器の再起動に失敗しました。	○	○
機器のシステムログ取得に成功しました。	○	○
機器のシステムログ取得に失敗しました。	○	○
機器の監視を開始しました。	○	○
機器の監視を停止しました。	○	○
機器が見つかりました。	○	○
機器からの応答がなくなりました。	○	○
ネットワークエラーから復帰しました。	○	○
機器の設定が変更されました。	○	○
機器が初期化されました。	○	○
機器のファームウェアが変更されました。	○	○
AMC Manager を起動しました。	○	○
AMC Manager を終了しました。	○	○
アラート通知メールを送信しました。	—	○
アラート通知メールの送信に失敗しました。	—	○

保存されたログから検索して表示する

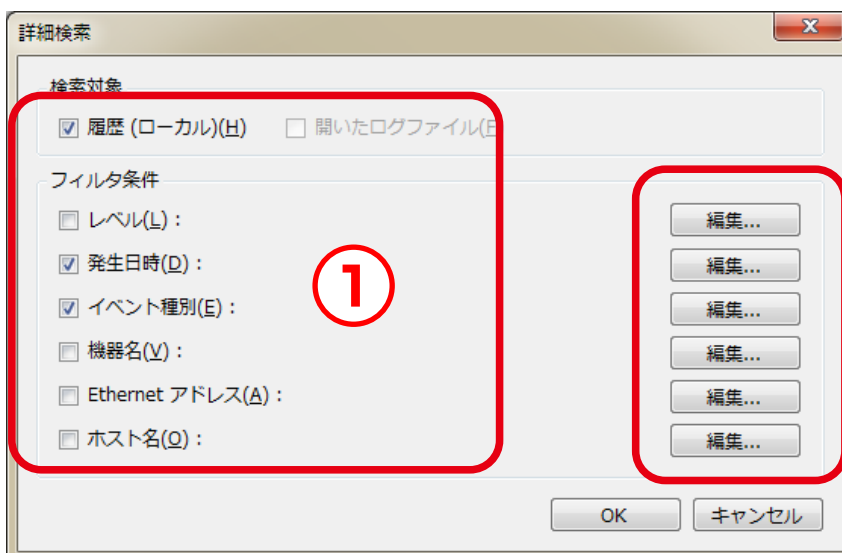
詳細検索画面に設定した検索条件で AMC Manager® に保存されたイベントログを検索して、条件に一致したログのみをログリストに表示します。

1. メニューバーから「表示」－「詳細検索」の順に選択します。



2. 詳細検索画面が表示されます。

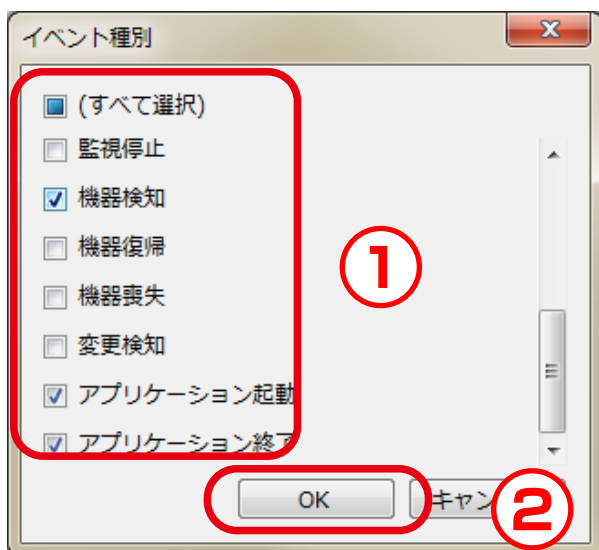
検索対象と検索に使用するフィルタ条件にチェックを入れて、チェックを入れたフィルタ条件の「編集」をクリックします。



- 検索対象の「開いたログファイル」は、Log Viewer 形式のファイルを読み込んでいた場合に選択できます。

参考

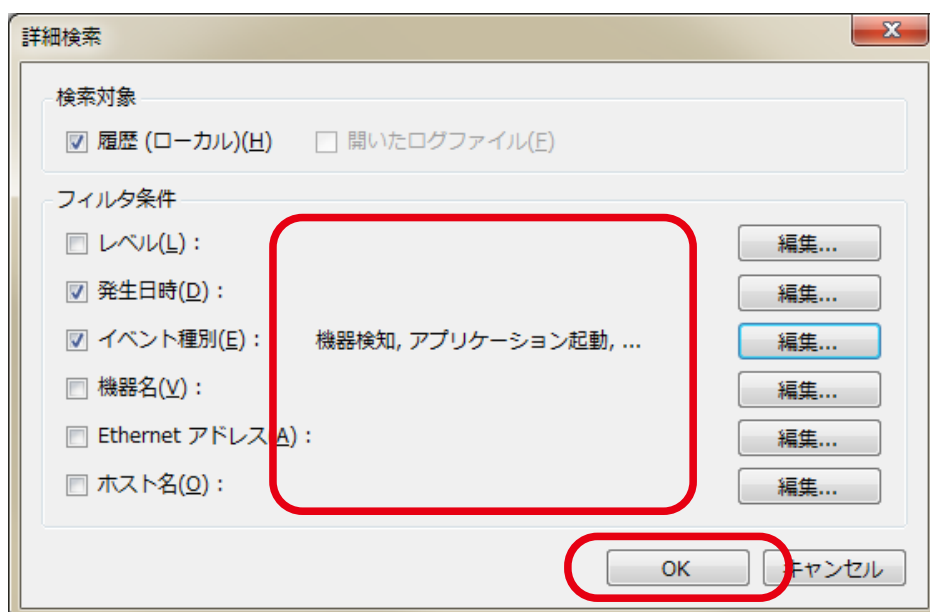
3. フィルタ条件の編集画面が表示されます。
使用するフィルタ条件にチェックを入れて「OK」をクリックします。



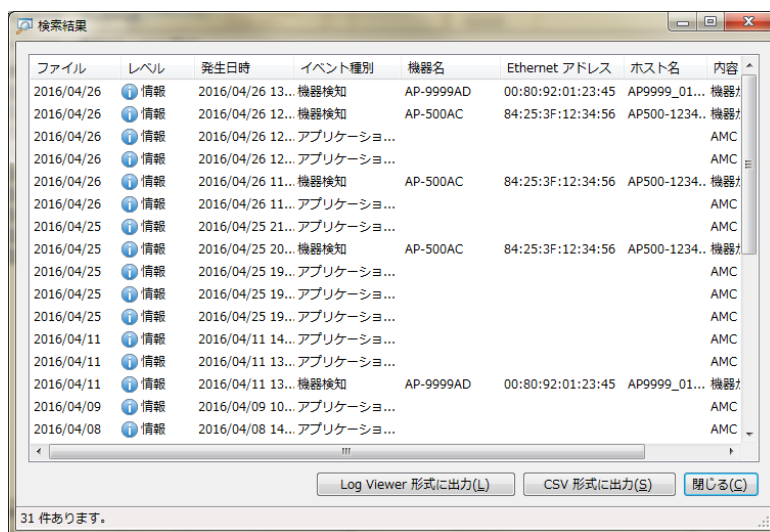
・使用するフィルタ条件にあわせて、日付や時間、機器名などを入力します。

参考

4. 複数のフィルタ条件を設定する場合は、手順 2 から繰り返します。
設定したフィルタ条件が詳細検索画面に表示されます。
使用するフィルタ条件をすべて設定したら「OK」をクリックします。



5. 設定した条件での検索結果が表示されます。



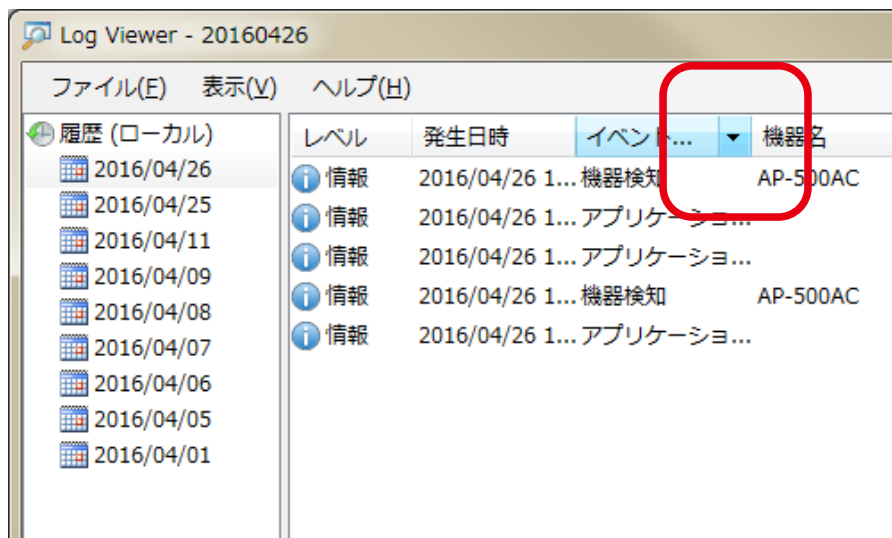
ファイル	レベル	発生日時	イベント種別	機器名	Ethernet アドレス	ホスト名	内容
2016/04/26	情報	2016/04/26 13...	機器検知	AP-9999AD	00:80:92:01:23:45	AP9999_01...	機器...
2016/04/26	情報	2016/04/26 12...	機器検知	AP-500AC	84:25:3F:12:34:56	AP500-1234..	機器...
2016/04/26	情報	2016/04/26 12...	アプリケーション...				AMC
2016/04/26	情報	2016/04/26 12...	アプリケーション...				AMC
2016/04/26	情報	2016/04/26 11...	機器検知	AP-500AC	84:25:3F:12:34:56	AP500-1234..	機器...
2016/04/26	情報	2016/04/26 11...	アプリケーション...				AMC
2016/04/25	情報	2016/04/25 21...	アプリケーション...				AMC
2016/04/25	情報	2016/04/25 20...	機器検知	AP-500AC	84:25:3F:12:34:56	AP500-1234..	機器...
2016/04/25	情報	2016/04/25 19...	アプリケーション...				AMC
2016/04/25	情報	2016/04/25 19...	アプリケーション...				AMC
2016/04/25	情報	2016/04/25 19...	アプリケーション...				AMC
2016/04/25	情報	2016/04/25 19...	アプリケーション...				AMC
2016/04/11	情報	2016/04/11 14...	アプリケーション...				AMC
2016/04/11	情報	2016/04/11 13...	アプリケーション...				AMC
2016/04/11	情報	2016/04/11 13...	機器検知	AP-9999AD	00:80:92:01:23:45	AP9999_01...	機器...
2016/04/09	情報	2016/04/09 10...	アプリケーション...				AMC
2016/04/08	情報	2016/04/08 14...	アプリケーション...				AMC

31 件あります。

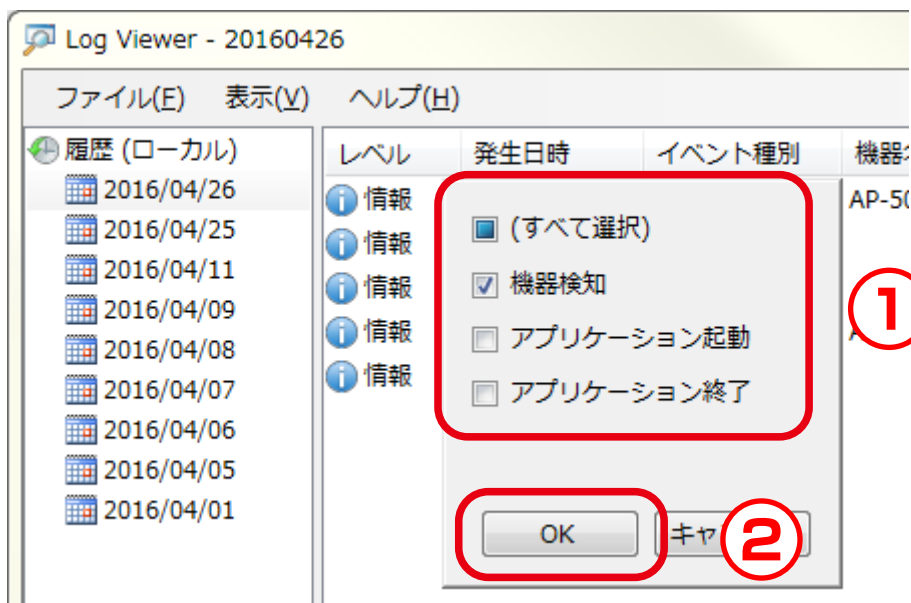
ログリストのフィルタ機能を使用する

ログリストの各項目で個別にフィルタを設定して、条件に一致したログのみをログリストに表示します。

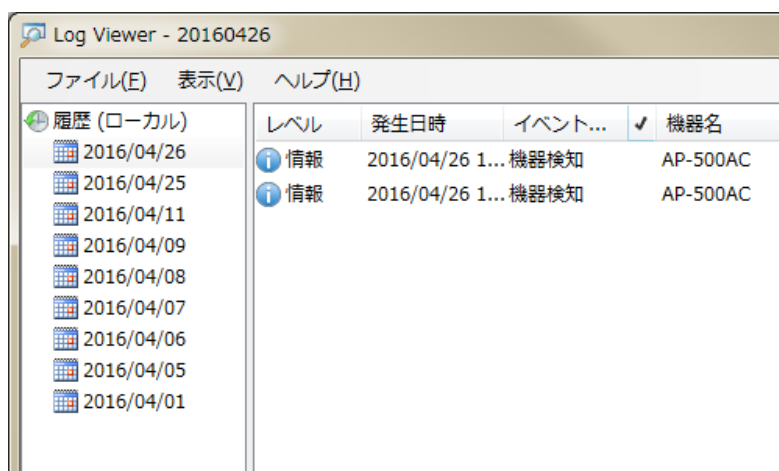
1. ログリストのカラムヘッダーにマウスカーソルを近づけるとスプリットボタンが表示されます。検索条件を設定したい項目のスプリットボタンをクリックします。



2. 選択した項目のフィルタ設定画面が表示されます。表示するログの条件にのみチェックを入れて、「OK」をクリックします。



3. 設定した条件でイベントログがフィルタされて表示されます。



The screenshot shows a window titled "Log Viewer - 20160426" with a menu bar containing "ファイル(E)", "表示(V)", and "ヘルプ(H)". On the left, a tree view shows "履歴 (ローカル)" with dates from 2016/04/26 down to 2016/04/01. The main area displays a table of event logs with columns: "レベル", "発生日時", "イベント...", and "機器名". The "レベル" column has a checkmark in its header, indicating a filter is applied. Two rows are visible, both with level "情報" and event "2016/04/26 1... 機器検知" on device "AP-500AC".

レベル	発生日時	イベント...	機器名
情報	2016/04/26 1...	機器検知	AP-500AC
情報	2016/04/26 1...	機器検知	AP-500AC



参考

- フィルタ機能が設定されている項目のカラムヘッダーには、チェックマークが表示されます。

イベントログをファイルに保存する

ログリストに表示されているイベントログをエクスポートして外部ファイルに保存します。

エクスポートするファイルは、Log Viewer 形式と CSV 形式を選択できます。

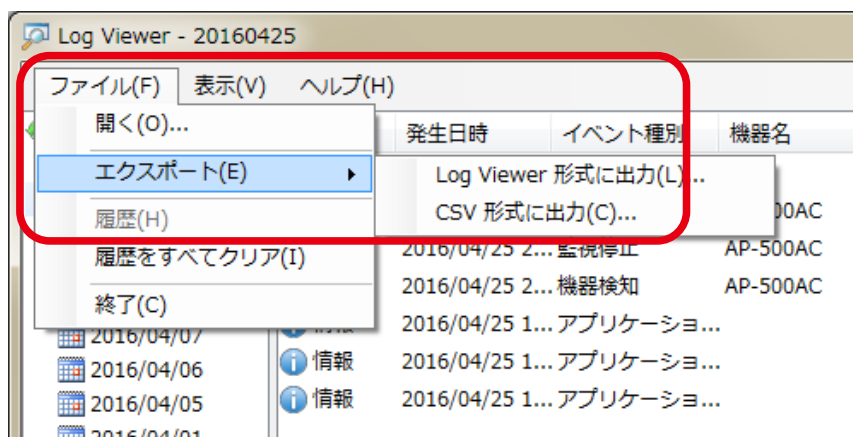
Log Viewer 形式は、Log Viewer で読み込んで表示することができます。



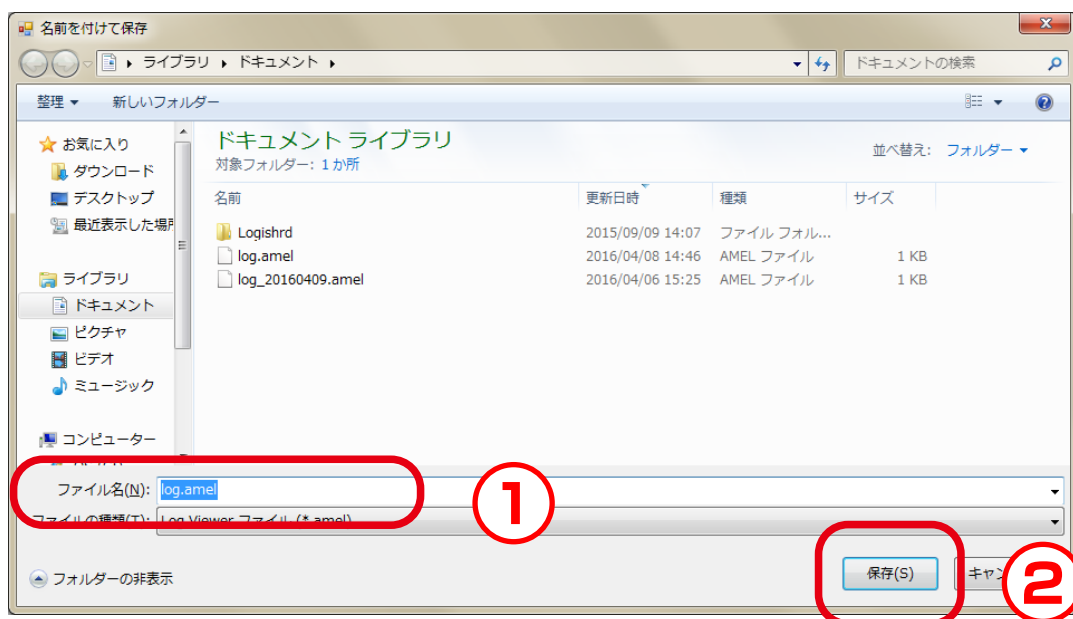
- AMC Manager® Standard と AMC Manager® E model は、出力される Log Viewer 形式が異なります。

	Log Viewer 形式
AMC Manager® Standard	.amel
AMC Manager® E model	.amelx

1. メニューバーから「ファイル」－「エクスポート」－「Log Viewer 形式に出力」または「CSV 形式に出力」の順に選択します。



2. ファイルの保存画面が表示されます。
任意のファイル名を入力して「保存」をクリックします。



保存したイベントログを読み込む

エクスポートして Log Viewer 形式で外部ファイルに保存したイベントログを読み込みます。読み込めるファイルは、Log Viewer 形式のファイルです。

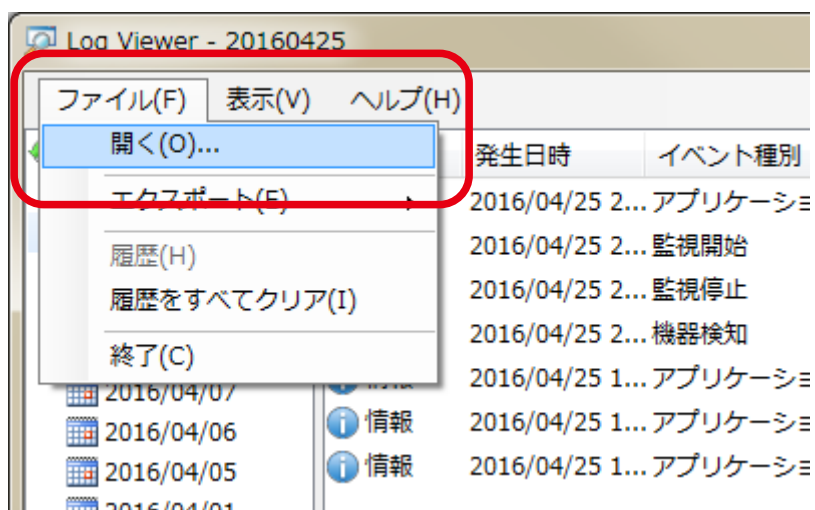


参考

- AMC Manager® Standard と AMC Manager® E model は Log Viewer 形式が異なります。
- AMC Manager® Standard の Log Viewer は、AMC Manager® E model の Log Viewer 形式を読み込めません。

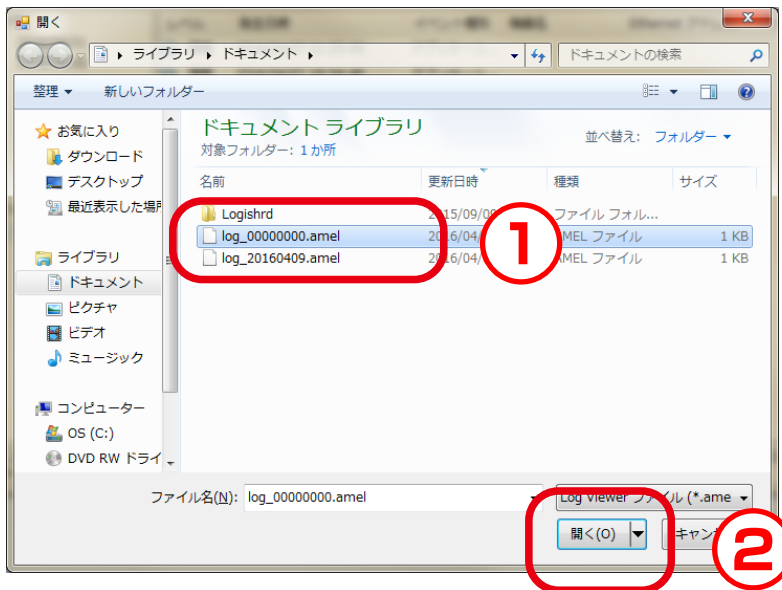
	読み込み可能な Log Viewer 形式
AMC Manager® Standard	.amel
AMC Manager® E model	.amel .amelx

1. メニューバーから「ファイル」 - 「開く」の順に選択します。

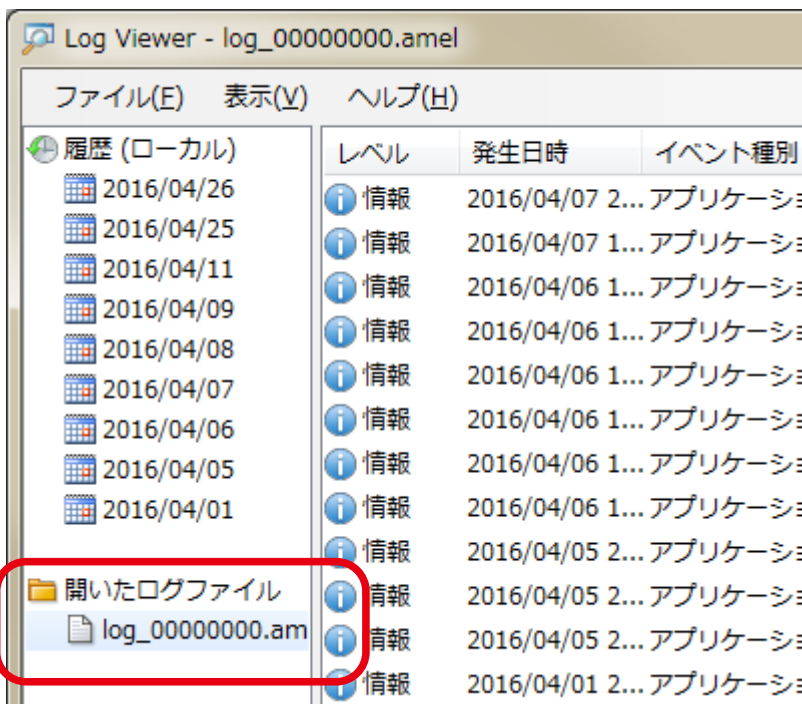


2. ファイルの選択画面が表示されます。

読み込む Log Viewer 形式のファイルを選択して「開く」をクリックします。

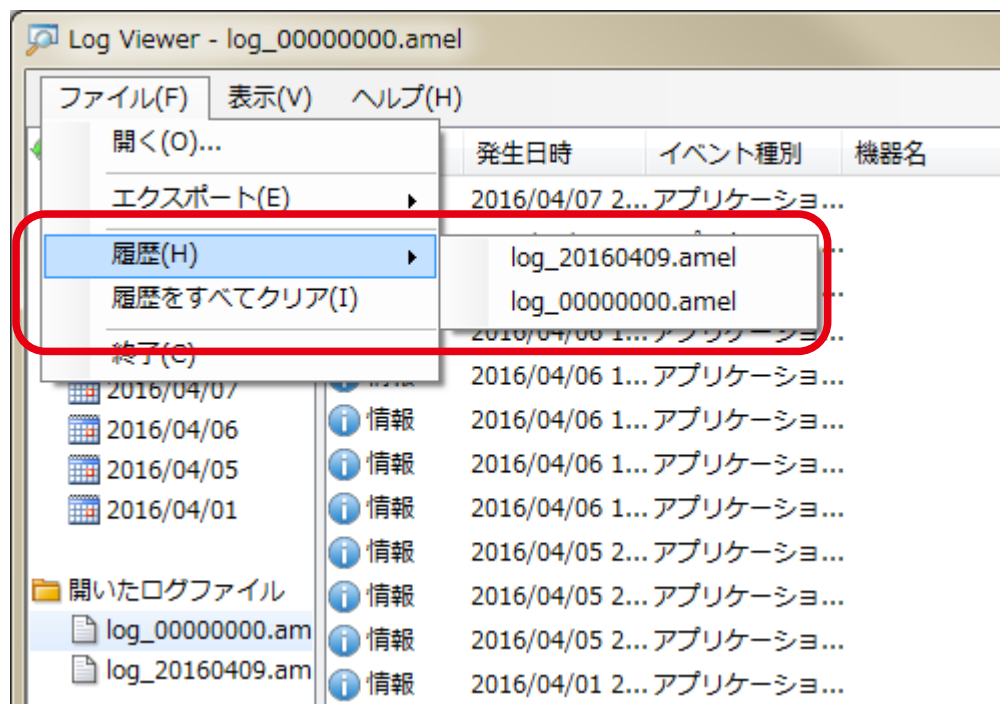


3. 読み込んだファイルが表示されます。





- メニューバーから「ファイル」 - 「履歴」の順に選択すると、インポートしたファイルの履歴が最大 5 件表示され、ファイルを選択するとインポートすることが出来ます。



4-13. アラート通知機能を設定する

アラート通知機能とは、監視対象の機器や AMC Manager® E model に異常が発生した場合に E-mail によるアラート通知を送信する機能です。E-mail を送付する条件、送付先を設定することができます。

差出人: silex<silex@silex.jp>
宛先: silex-1@silex.jp; silex-2@silex.jp
CC: silex@silex.jp
件名: AMC Manager イベント通知

次の 2 件のイベントが発生しました。

発生日時: 2017/01/17 17:34:13
機器名: BR-300AN
機器情報: 84:25:3F:01:09:E8 (SX0109E7)
イベント: 機器からの応答がなくなりました。

発生日時: 2017/01/17 17:34:13
機器名: SX-ND-4350WAN+
機器情報: 84:25:3F:01:31:65 (SX001122)
イベント: 機器からの応答がなくなりました。

AMC Manager から送信



・アラート通知機能は、AMC Manager® E model のみ対応しています。

注意

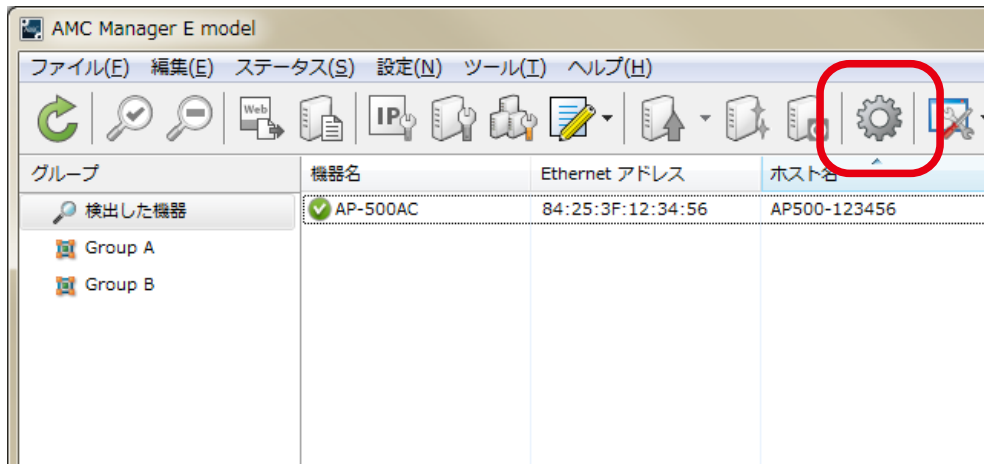
アラート通知が発生する条件

アラート通知を送付する条件は、オプション画面でそれぞれ ON/OFF を設定することができます。設定可能な条件は以下のとおりです。

分類	内容	説明
AMC Manager® 関連	システムログの保存可能容量が超過した	システムログの保存可能データ量を超過し、過去ログを削除した場合にアラート通知します。
	起動パスワードの認証に失敗した	AMC Manager® E model の起動パスワードの認証に 3 回失敗したときにアラート通知します。
	災害時開放が完了した	災害時開放機能が実行された場合に実行結果を通知します。
機器関連	機器に無線子機が過度に接続した	機器に接続している無線子機の接続台数が合計 41 台以上になった場合にアラート通知します。
	機器の設定が変更または初期化された	操作している AMC Manager® E model 以外から機器の設定を変更または、初期化した場合にアラート通知します。
	機器のファームウェアが変更された	操作している AMC Manager® E model 以外から機器のファームウェアを変更した場合にアラート通知します。
	機器からの応答がなくなった	機器からの応答がなくなった場合にアラート通知します。
	無線子機が機器との接続に失敗した	無線子機が機器との接続に失敗した場合にアラート通知します。
	機器の無線 LAN モジュールに異常が発生した	機器の無線 LAN モジュールに異常が発生した場合にアラート通知します。
	機器がスマート無線設定に失敗した	スマート無線設定に失敗した場合にアラート通知します。
	機器の無線 DFS 機能が作動した	機器の無線 DFS 機能が作動した場合にアラート通知します。

アラート通知機能を設定する

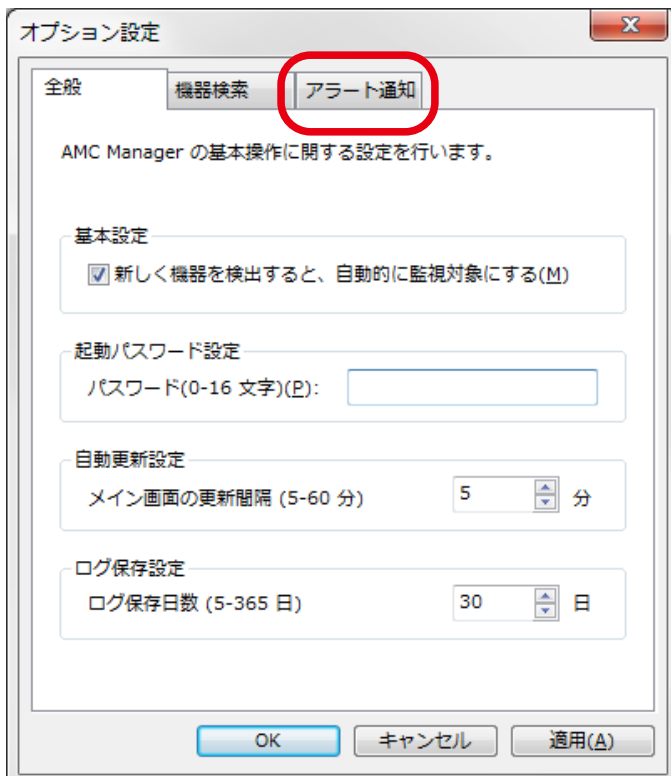
1. ツールバーの「オプション」アイコンを選択します。



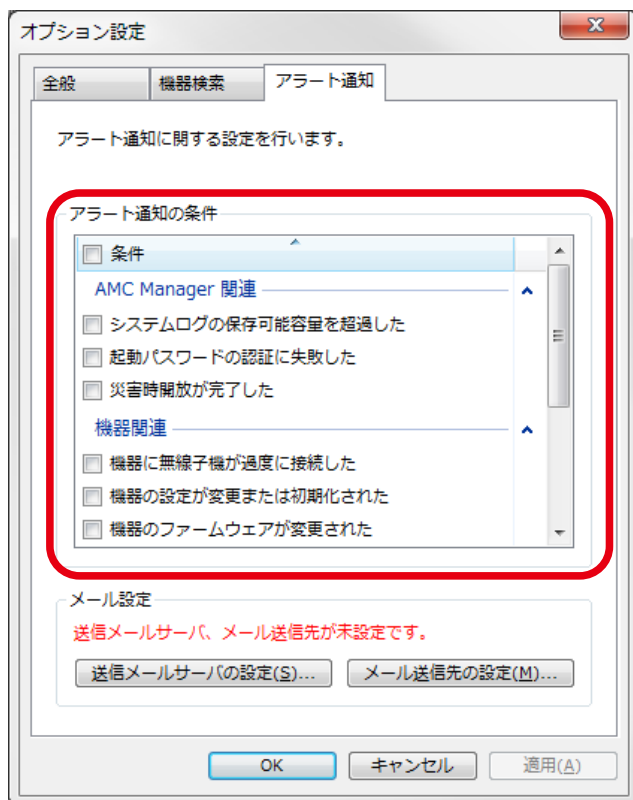
- ・メニューバーの「ツール」-「オプション」でも表示できます。

参考

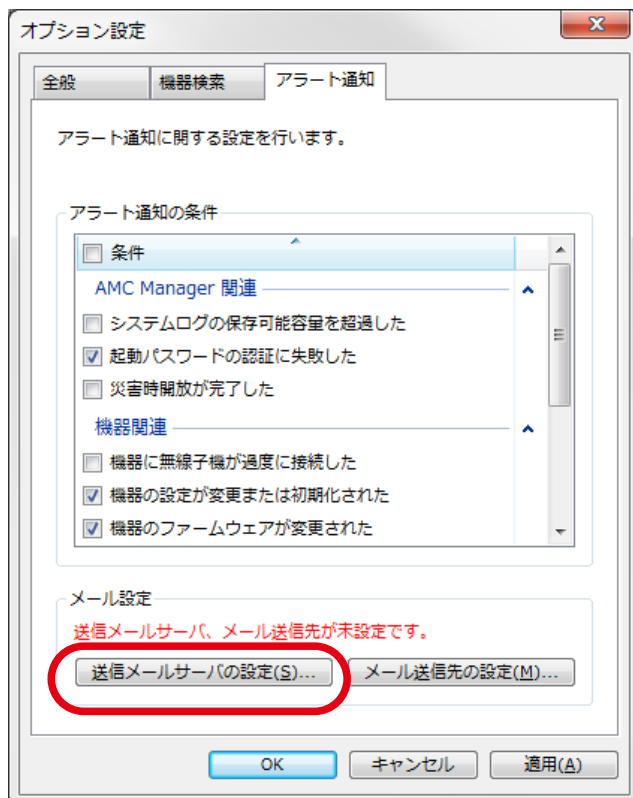
2. オプション設定画面が表示されます。
「アラート通知」タブをクリックします。



3. 「アラート通知」タブが表示されます。
アラート通知が送付される条件を設定します。



4. [送信メールサーバの設定] をクリックし、メールサーバの設定を行います。



5. 送信メールサーバの設定画面が表示されます。各設定項目を編集し、[OK] をクリックします。

送信メールサーバの設定

送信メールサーバ (SMTP) に関する設定を行います。

ユーザー情報

メールアドレス(A):

名前(D):

メールサーバへのログオン情報

アカウント名(U):

パスワード(P):

メールサーバ情報

メールサーバ(S):

ポート番号(N): 25

暗号化接続の種類(L): なし

サーバのタイムアウト(T): 60 秒 (10-600 秒)

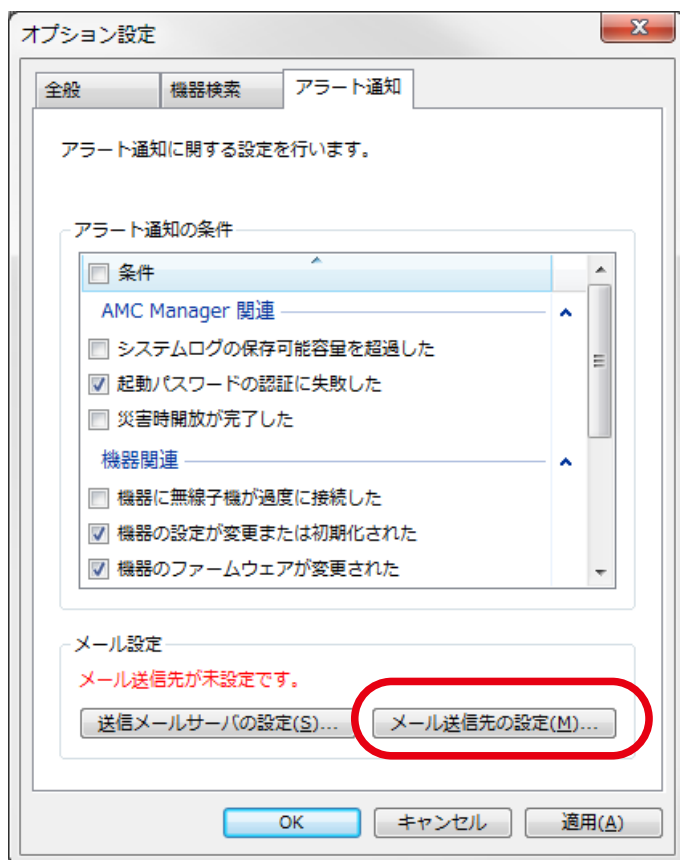
テストメールの送信(E) OK キャンセル



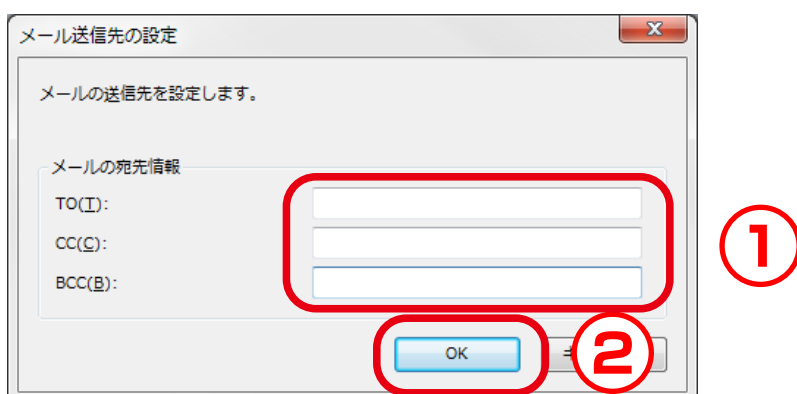
参考

- [テストメールの送信] をクリックすると、設定した情報でテストメールを「ユーザー情報」に設定されているメールアドレスに送信します。
- テストメールの送信先は、設定したメールアドレスとなります。
- テストメールは「AMC Manager テストメール」という件名で送信されます。

6. [メール送信先の設定] をクリックし、アラート通知の送付先の設定を行います



7. メール送信先の設定画面が表示されます。送付先のメールアドレスを設定して [OK] をクリックします。





参考

- セミコロン (;) 区切りで複数のメールアドレスを設定できます。

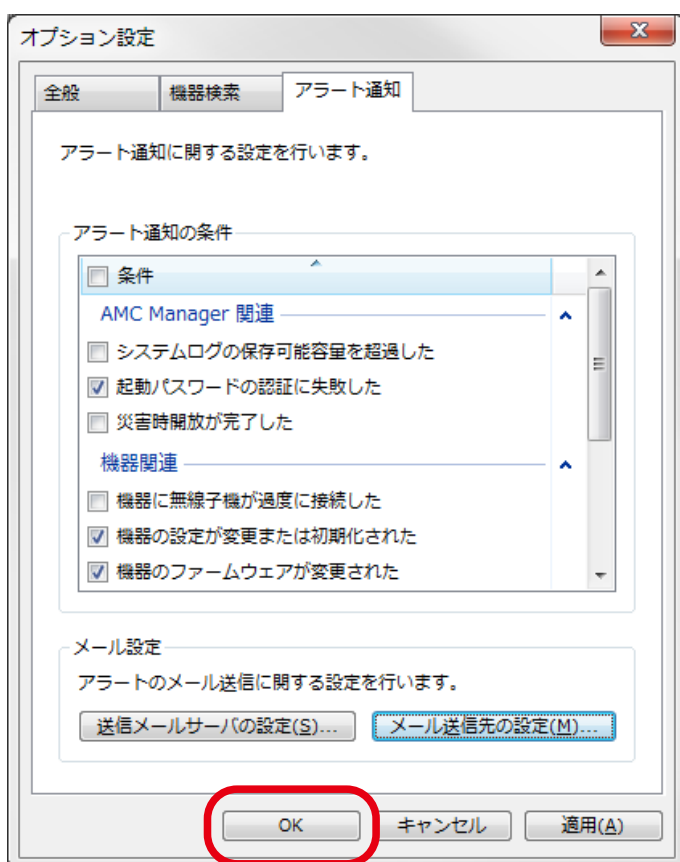
メールの宛先情報

TO(I): silex-1@silex.jp;silex-2@silex.jp

CC(C): silex@silex.jp

BCC(B): silex-3@silex.jp;silex-4@silex.jp

8. [OK] をクリックしてオプション画面を閉じます。



4-14. 災害時開放機能を使用する

災害時開放機能とは、建物内のアクセスポイントを災害時などに一斉に避難者向けに開放させる機能です。

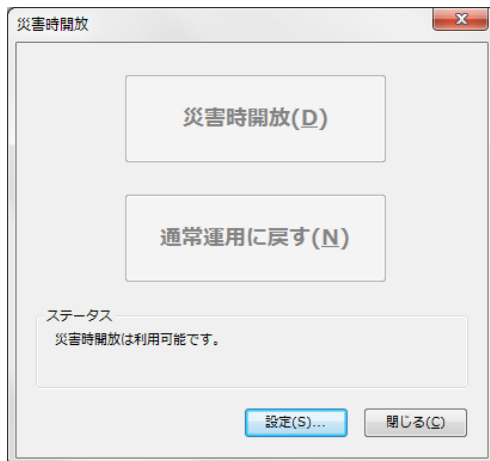
事前に開放用の一括設定ファイルを設定することで、ボタンをクリックすると機器の設定を一括で変更することができます。

また、通常運用の一括設定ファイルを用意して設定しておくことで、ボタンをクリックするだけで通常運用の設定に一括変更することができます。



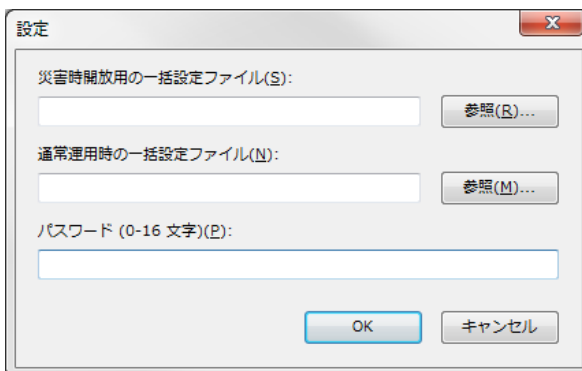
- 災害時開放機能は、AMC Manager® E model で使用することができます。

災害時開放画面



項目	説明
【災害時開放】 ボタン	災害時開放用の一括設定を実行します。
【通常運用に戻す】 ボタン	通常運用の一括設定を実行します。
ステータス	災害時開放設定の実行状況を表示します。
【設定】 ボタン	一括設定ファイルの選択画面を表示します。
【閉じる】 ボタン	災害時開放画面を閉じます。

一括設定ファイルの選択画面



項目	説明
災害時開放用の一括設定ファイル	【災害時開放】 ボタンをクリックしたときに使用する一括設定ファイルを入力します。 【参照】 ボタンで使用するファイルを選択します。
通常運用時の一括設定ファイル	【通常運用に戻す】 ボタンをクリックしたときに使用する一括設定ファイルを入力します。 【参照】 ボタンで使用するファイルを選択します。
パスワード	災害時開放機能の起動パスワードを設定することができます。 設定文字数は 0 ～ 16 文字の間で設定します。
【OK】 ボタン	入力した内容を保存して設定画面を閉じます。
【キャンセル】 ボタン	入力した内容を保存せずに設定画面を閉じます。

事前準備

一括設定ファイルの作成方法について説明します。

災害時開放機能を使用するには、災害時設定、通常運用の一括設定ファイルをそれぞれ登録する必要があります。



注意

- 更新される設定項目は、設定ファイルのチェックボックスを ON にした項目です。更新する設定項目のチェックボックスを ON にした設定ファイルを用意してください。

1. 災害時開放機能を使用する機器のパスワードを確認してください。

2. 機器を設定する設定ファイルの「パスワード」に、手順 1 で調べた機器のパスワードを設定してください。



注意

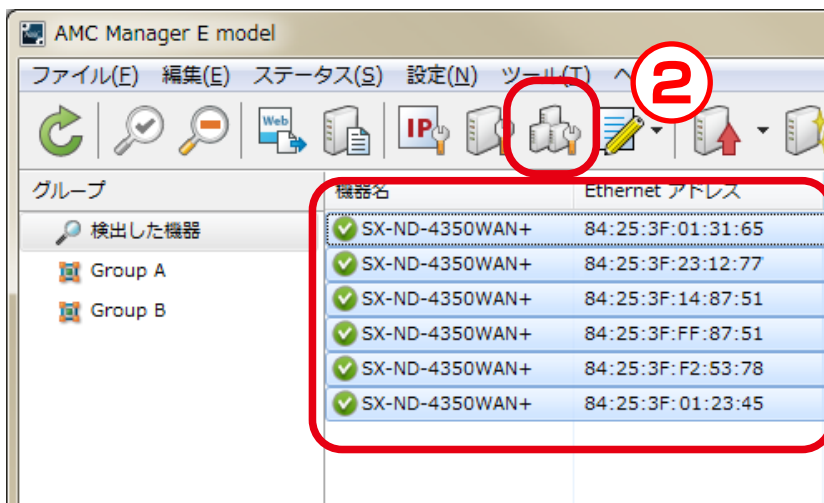
- パスワードが一致しない機器がある場合、その機器の設定は切り替わりません。



参考

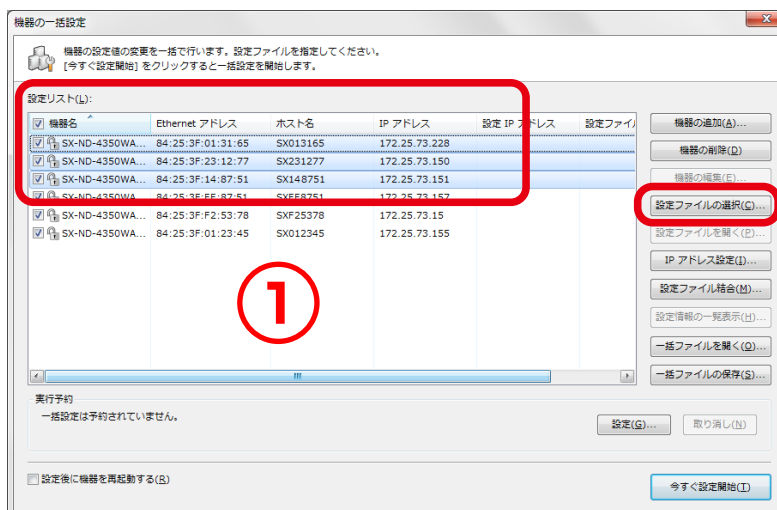
- 設定ファイルの設定方法については、「4-6. 複数台の機器を一括で設定する」 - 「事前準備」を参照してください。

3. AMC Manager® E model の機器リストで一括設定する機器を選択して、ツールバーの「一括設定を行う」アイコンをクリックします。



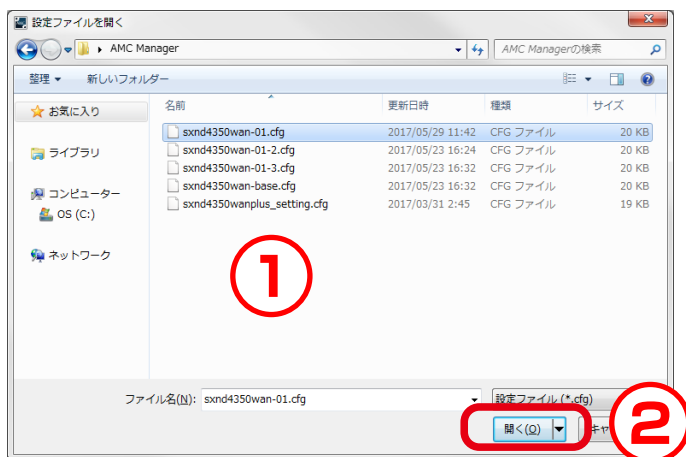
- ・ 以下の方法でも機器を設定できます。
 ・ 一括設定する機器を選択して、メニューバーの「設定」-「機器の一括設定」
- 参考

4. 機器の一括設定画面が表示されます。
 設定リストで一括設定する機器を選択して、[設定ファイルの選択] をクリックします。



5. 設定ファイルの選択ダイアログが表示されます。

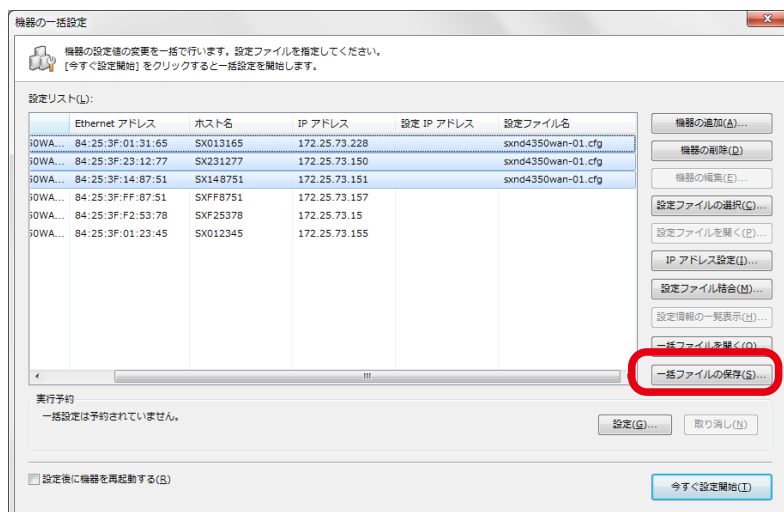
事前に準備した一括設定に使用する設定ファイルを選択して「開く」をクリックします。



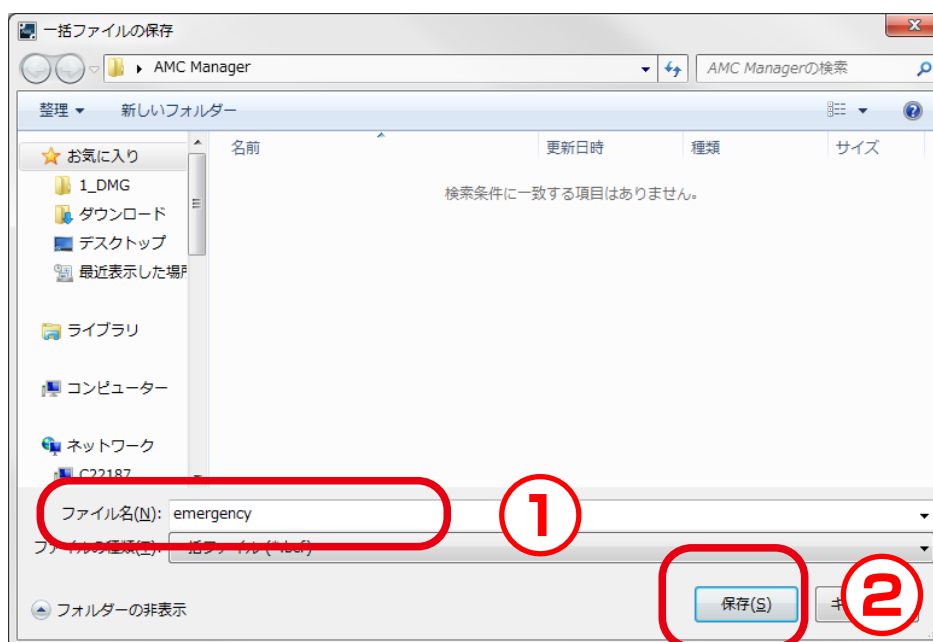
6. 機器に設定ファイルが選択されて、一括設定画面が表示されます。

手順 4 と手順 5 を繰り返し、各機器に設定ファイルを選択します。

全ての機器に対して設定ファイルの選択が完了したら、「一括ファイルの保存」をクリックします。

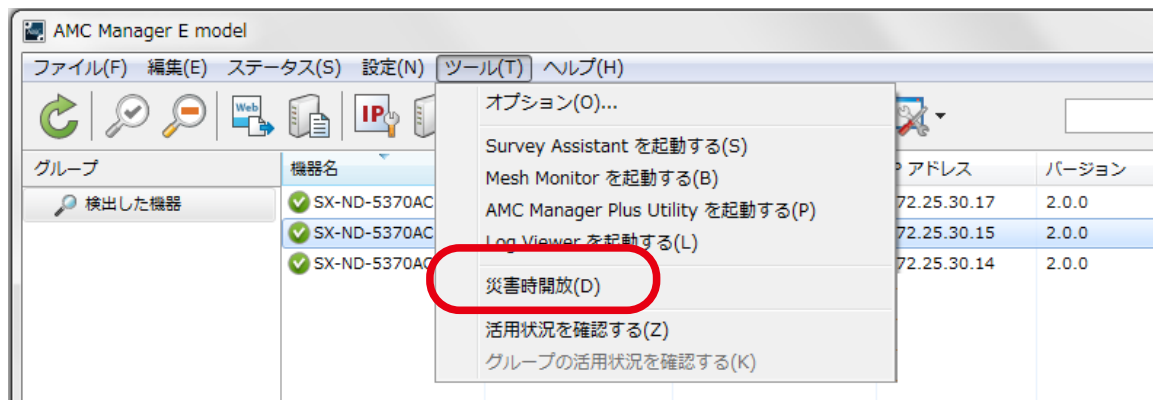


7. 一括ファイルの保存画面が表示されます。
任意のファイル名を入力して[保存]をクリックします。

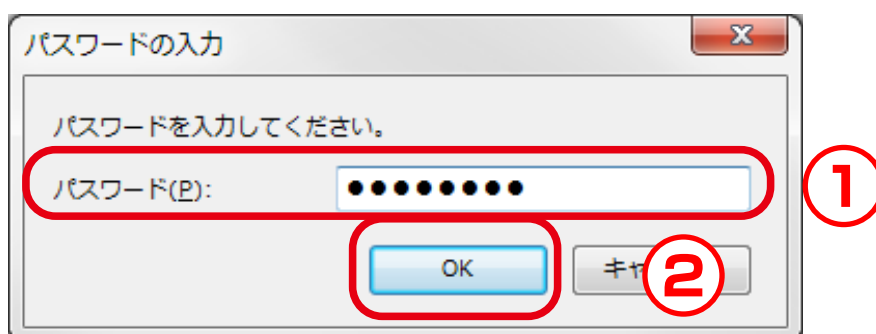


災害時開放機能を設定する

1. メニューバーから「ツール」－「災害時開放」の順に選択します。



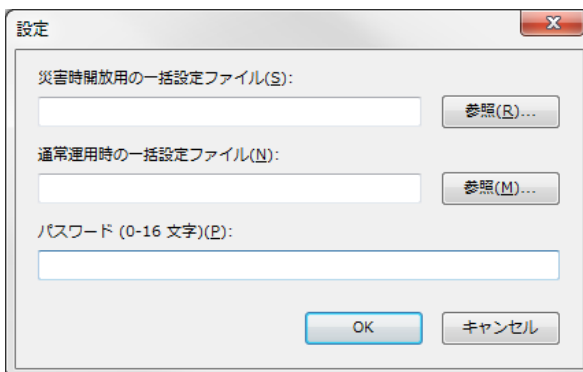
2. 災害時開放機能にパスワードが設定されている場合は、以下の画面が表示されます。災害時開放機能のパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



3. 災害時開放画面が表示されます。
 [設定] ボタンをクリックします。



4. 設定画面が表示されます。
 [災害時開放]、[通常運用に戻す] をクリックした際に使用される一括ファイルをそれぞれ指定します。



参考

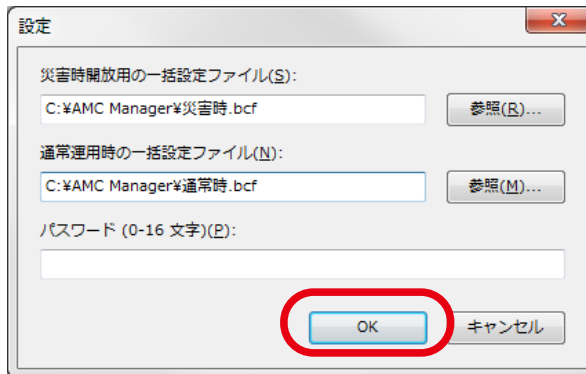
- [参照] をクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。使用する一括ファイルを選択して [開く] をクリックします。
- 一括ファイルの作成方法は「4-14. 災害時開放機能を使用する」-「事前準備」を参照してください。
- パスワードを設定すると、災害時開放画面を表示するときに、ここで設定したパスワードの入力が必要となります。



注意

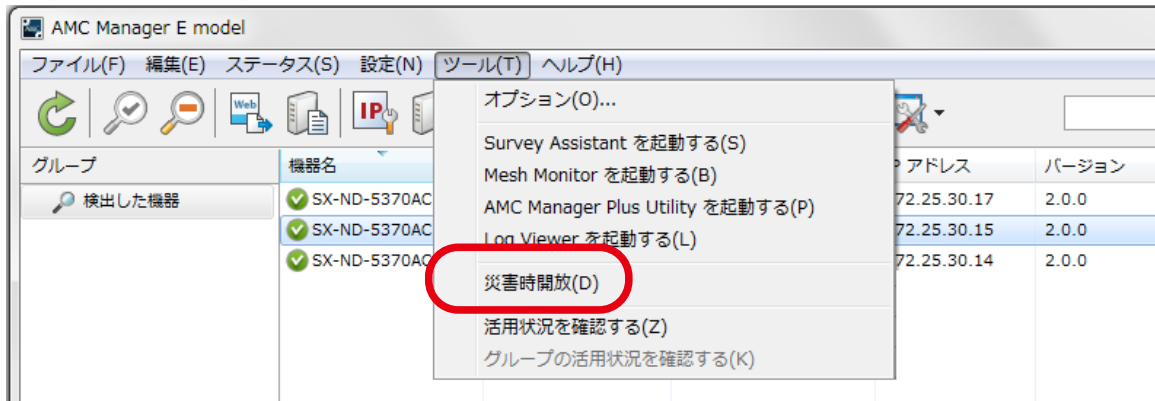
- 一括ファイルは、災害時開放、通常運用時でそれぞれ 1 つのみ指定することができます。

5. 一括ファイルの設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックします。

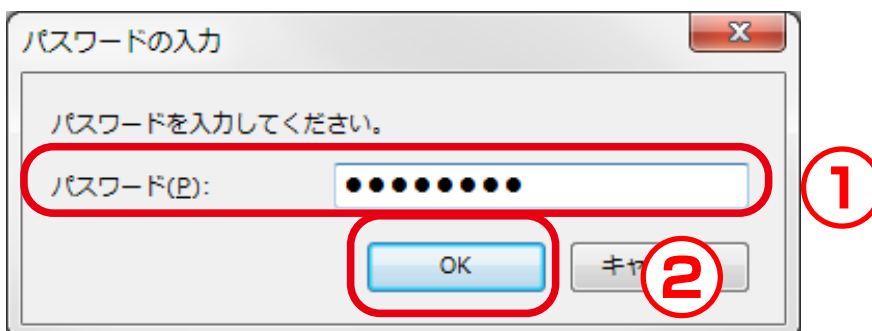


災害時設定を使用する

1. メニューバーから「ツール」 - 「災害時開放」の順に選択します。



2. 災害時開放機能にパスワードが設定されている場合は、以下の画面が表示されます。災害時開放機能のパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



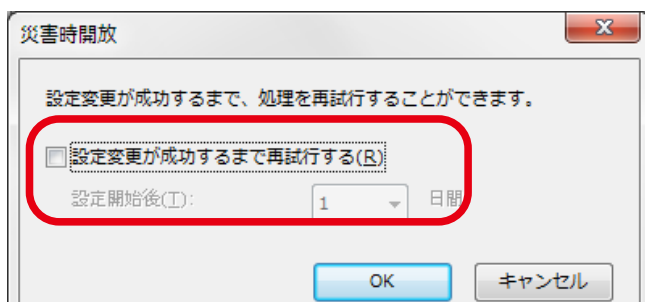
3. 機器に災害時の設定を適用する場合は、災害時開放画面で [災害時開放] ボタンをクリックします。



注意

- 災害時設定によって各機器の以下の設定値を変更すると、機器と通信ができなくなり AMC Manager® 上で設定を変更できなくなる場合があります。
 - IP アドレス (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ)
 - DHCP (DHCP の有効 / 無効、DHCP サーバーの有効 / 無効など)
 - VLAN (VLAN ID)
 - MAC アドレスフィルタ
- 各機器と通信ができなくなる設定に変更されないか、事前に確認してください。

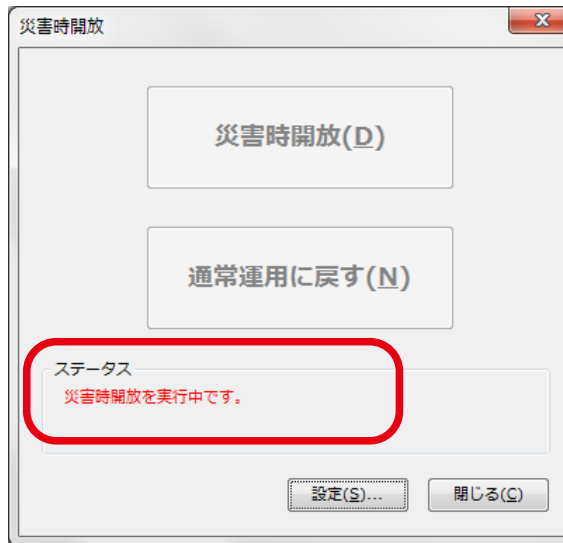
4. 災害時開放の再試行設定画面が表示されます。
「設定が成功するまで再試行する」のチェックボックスを ON にした場合、指定した日数の間、設定が成功するまで機器への設定変更を試みます。
設定が完了したら、[OK] をクリックします。



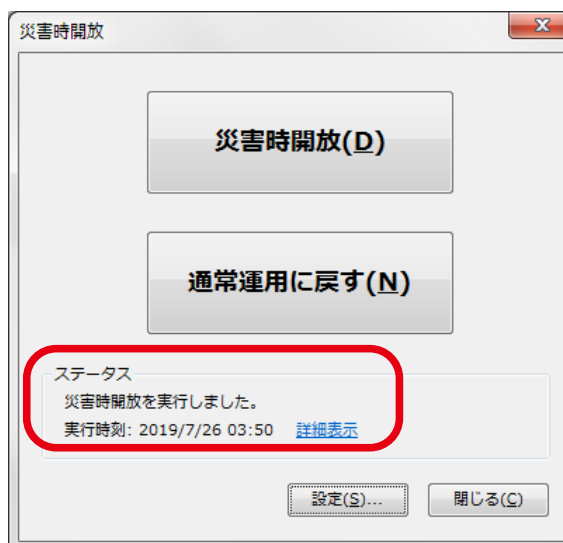
参考

- 「設定変更が成功するまで再試行する」のチェックボックスが OFF の場合、機器への設定変更は 1 回だけ実行されます。
- 設定変更を繰り返す期間は、1 ~ 5 日間で設定できます。

5. 災害時設定が行われている間、下記の画面が表示されます。



6. 災害時設定が完了すると、下記のように表示されます。

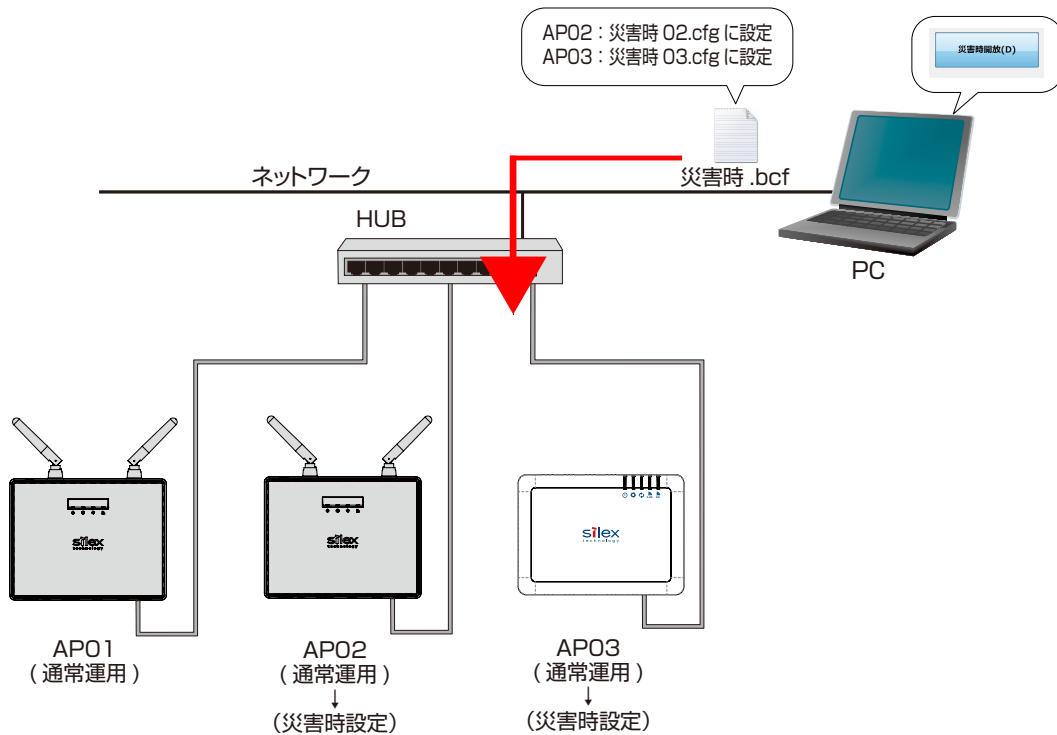


参考

- 「詳細表示」をクリックすると、災害時設定の実行結果を表示します。

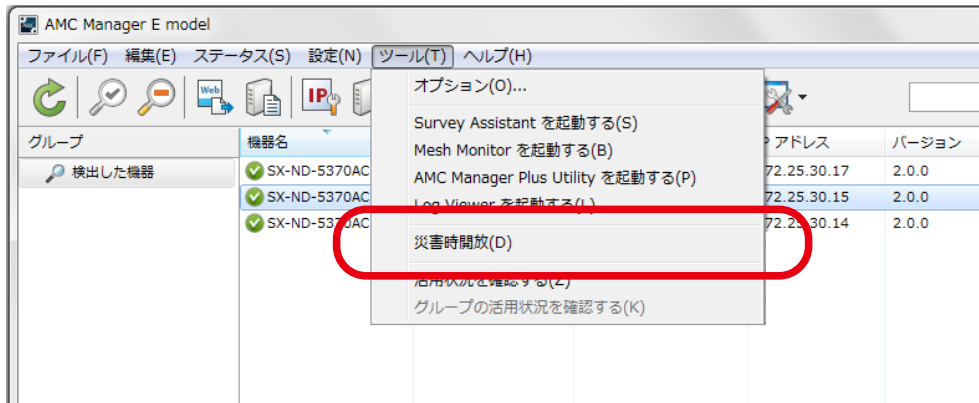
【災害時設定の実行例】

以下の構成で「災害時開放」をクリックすると「災害時.bcf」を適用する場合、
「災害時開放」をクリックすると AP02 と AP03 の設定内容を変更します。



通常運用に戻す

1. メニューバーから「ツール」－「災害時開放」の順に選択します。



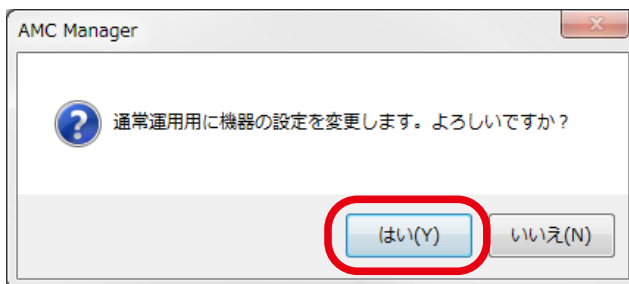
2. 災害時開放機能にパスワードが設定されている場合は、以下の画面が表示されます。災害時開放機能のパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



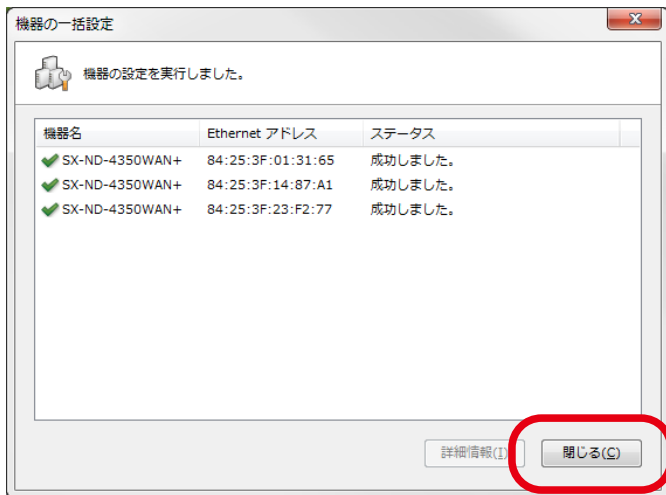
3. 機器に通常運用の設定を適用する場合は、災害時開放画面で [通常運用に戻す] ボタンをクリックします。



4. 通常運用設定の確認画面が表示されます。
[はい] をクリックします。

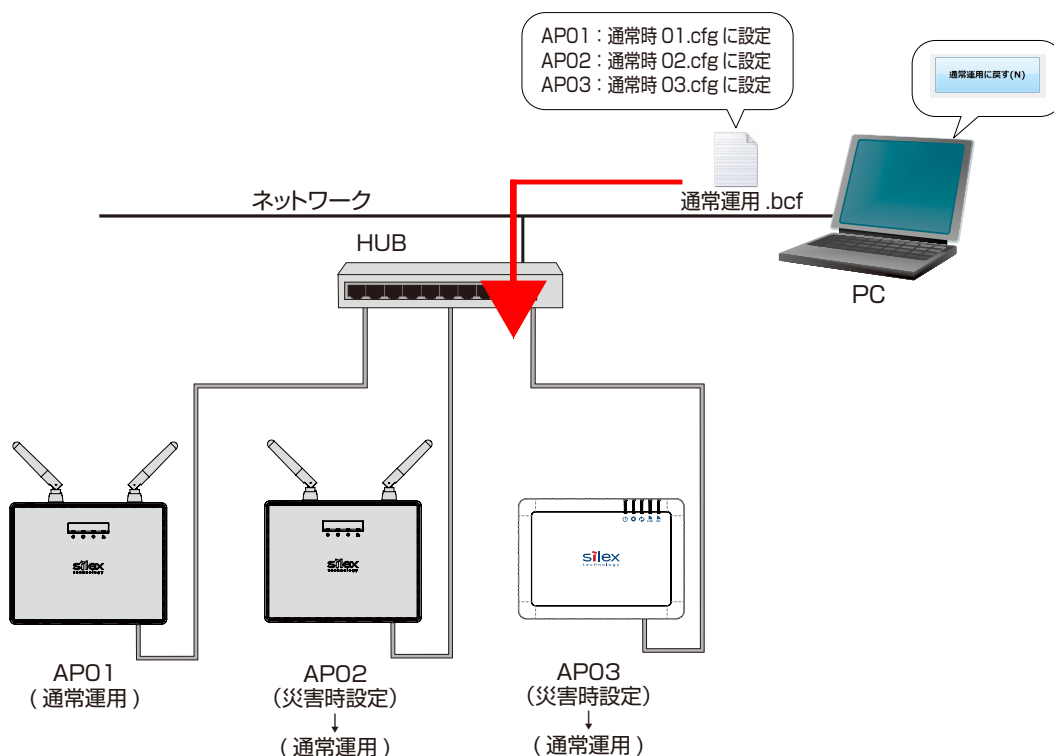


5. 通常運用の一括設定が実行されて、実行結果が表示されます。
 [閉じる] をクリックします。



【通常運用設定の実行例】

以下の構成で [通常運用に戻す] をクリックすると「通常時 .bcf」を適用する場合、[通常運用に戻す] をクリックすると AP02 と AP03 の設定内容を変更します。



4-15. 機器の活用状況を確認する

活用状況の確認機能とは、機器の利用時間や接続された無線子機台数の推移をグラフ化して表示します。

投影支援ソフトウェア SX Virtual Link Display for Education で機器に接続していた時間や電源を ON にしていた時間、無線 LAN インタフェースにそれぞれ何台接続していたかを確認できます。



注意

- 活用状況確認機能は、AMC Manager® E model のみ対応しています。

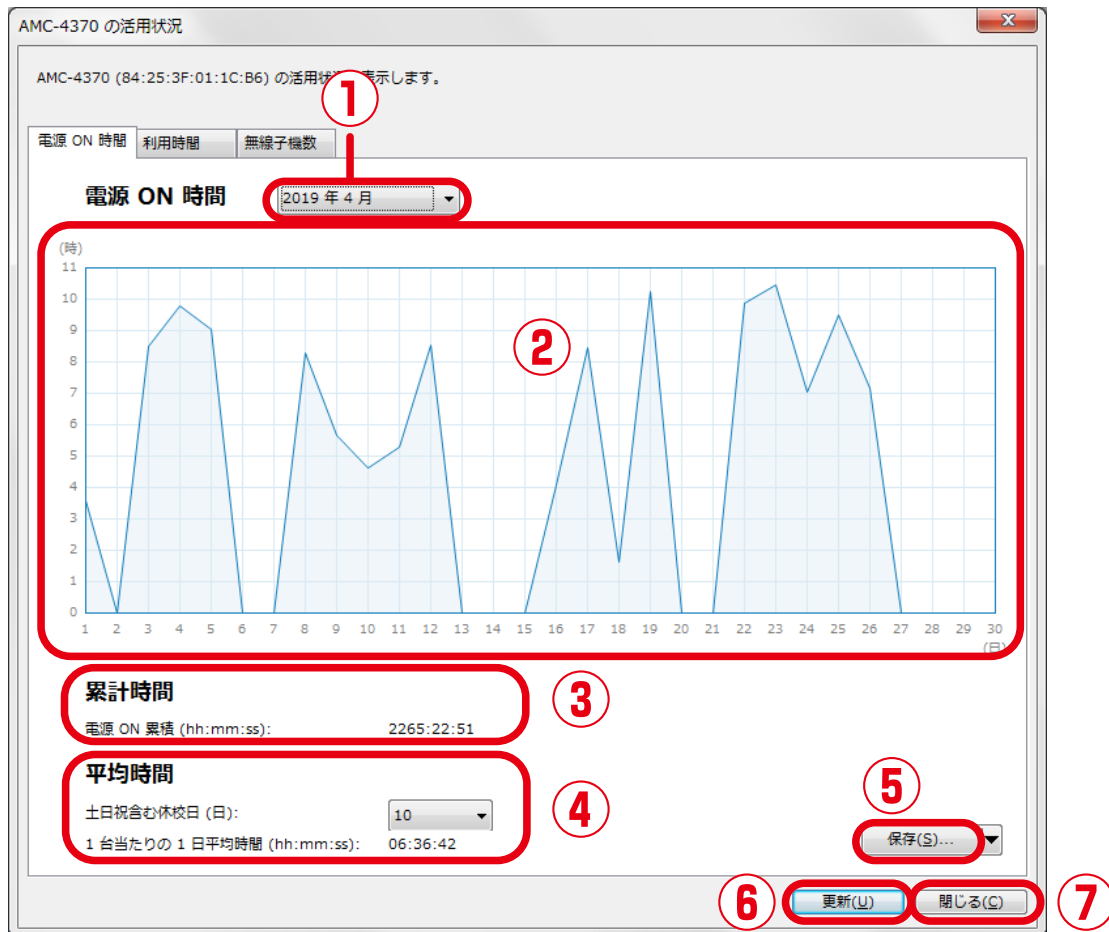


参考

- 投影支援ソフトウェア SX Virtual Link Display for Education の詳細については、当社 Web サイトの「製品・サービス」- 「インタラクティブ画像伝送対応アクセスポイント」内の「SX-ND-4370WAN」または「SX-ND-5370AC」を参照してください。

電源 ON 時間のグラフ画面

電源 ON 時間のグラフ画面について説明します。



① 表示日付

グラフ表示する年月を選択します。

② グラフエリア

表示年月に対応したデータをグラフ表示します。

③ 累計時間

機器の「電源 ON 時間」についての合計を表示します。

④ 平均時間

1 ヶ月間の休校日数を入力して、1 台当たりの 1 日平均の電源 ON 時間を表示します。

⑤ [保存] ボタン

表示中の活用状況を CSV ファイル形式、またはイメージファイルに保存することができます。

⑥ [更新] ボタン

電源 ON 時間、利用時間、および無線子機数のグラフエリアの内容を最新の状態に更新します。

⑦ [閉じる] ボタン

活用状況の確認画面を閉じます。

利用時間のグラフ画面

利用時間のグラフ画面について説明します。



① 表示日付

グラフ表示する年月を選択します。

② グラフデータの種別

以下の3つのデータを示すグラフのどれかを表示、または3つ全てのグラフを表示するか選択します。

データ種別	説明
電源 ON 時間	機器が起動していた時間です。
提示授業時間	投影支援ソフトウェア SX Virtual Link Display for Education を使用して、授業を行っていた時間です。
実提示時間	投影支援ソフトウェア SX Virtual Link Display for Education を使用して、ディスプレイに投影していた時間です。

③ グラフエリア

表示年月とグラフデータの種別に対応したデータをグラフ表示します。

④ 累計時間

機器の「電源 ON 時間」、「提示授業時間」、「実提示時間」についての合計を表示します。

⑤ [保存] ボタン

表示中の活用状況を CSV ファイル形式、またはイメージファイルに保存することができます。

⑥ [更新] ボタン

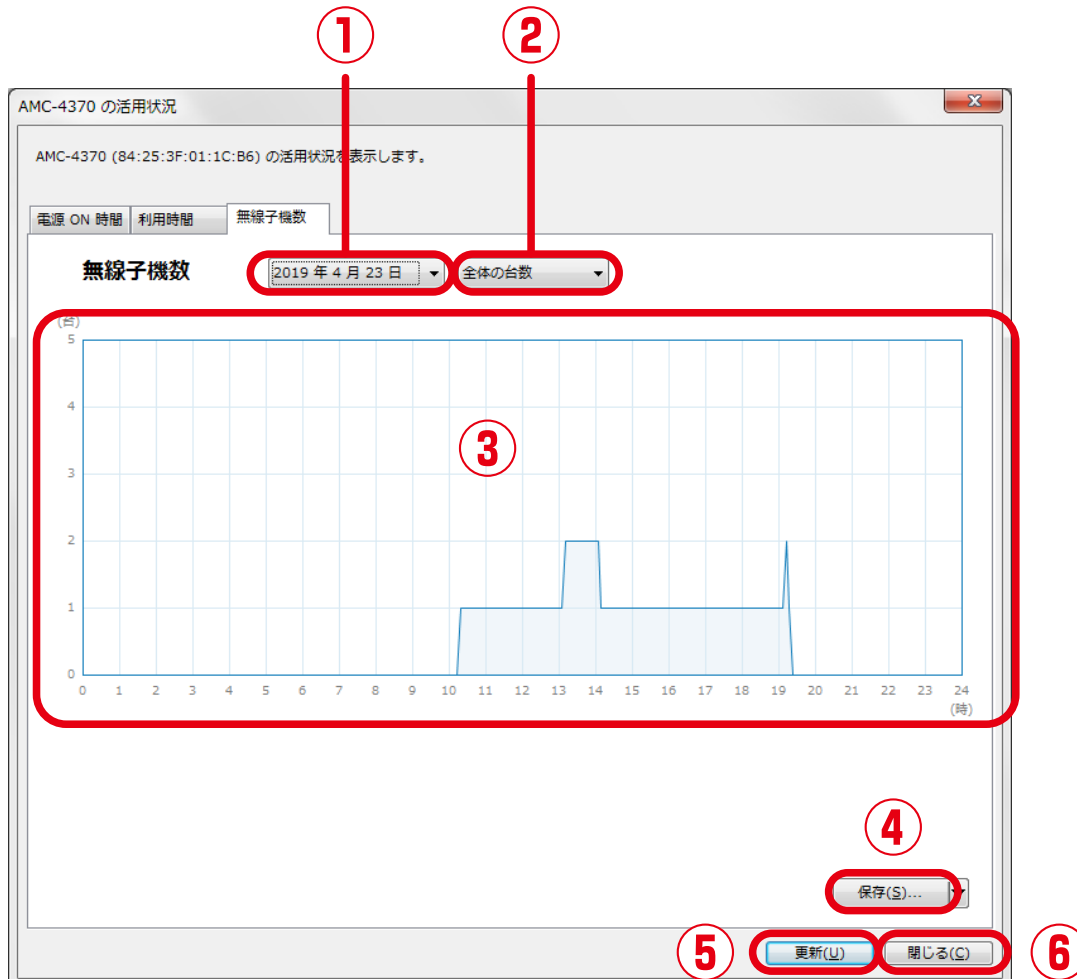
電源 ON 時間、利用時間、および無線子機数のグラフエリアの内容を最新の状態に更新します。

⑦ [閉じる] ボタン

活用状況の確認画面を閉じます。

無線子機数のグラフ画面

無線子機数のグラフ画面について説明します。



① 表示日付

グラフ表示する日付を選択します。

② グラフデータの種別

各無線 LAN インタフェースごとの無線子機の接続台数、または全ての無線 LAN インタフェースの無線子機の接続台数を表示します。

③ グラフエリア

グラフデータの種別と表示日付に対応したデータをグラフ表示します。

④ [保存] ボタン

表示中の活用状況を CSV ファイル形式、またはイメージファイルに保存することができます。

⑤ [更新] ボタン

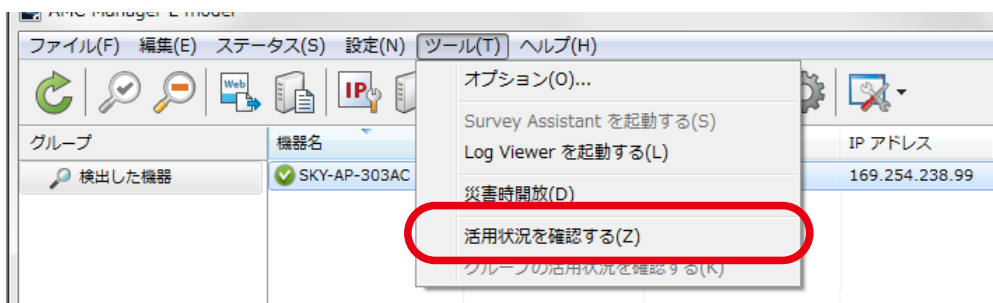
電源 ON 時間、利用時間、および無線子機数のグラフエリアの内容を最新の状態に更新します。

⑥ [閉じる] ボタン

活用状況の確認画面を閉じます。

機器の活用状況を確認する

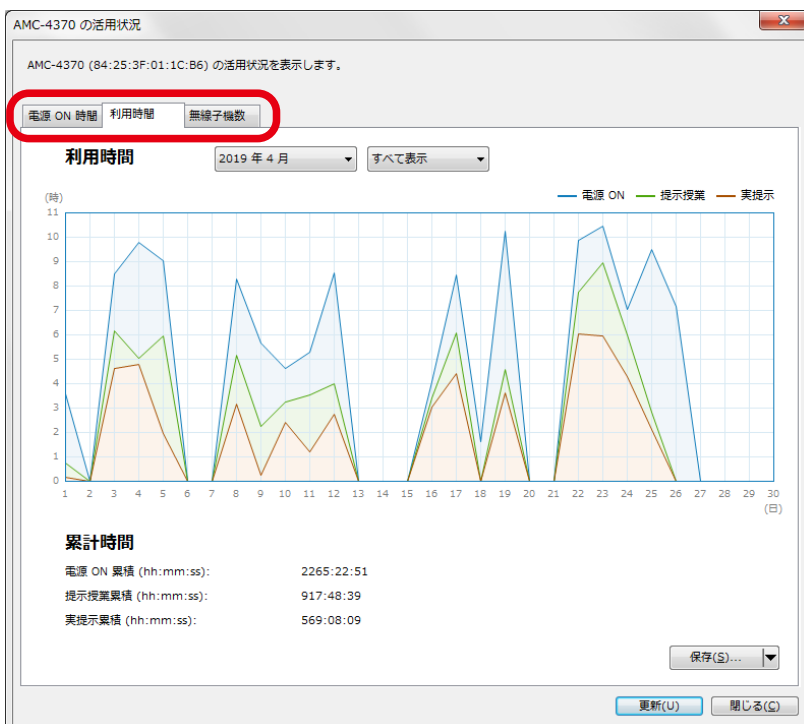
1. メニューバーから「ツール」－「活用状況を確認する」の順に選択します。



- グループに所属する機器について活用状況を確認する場合は、「グループの活用状況を確認する」を選択します。
- 参考
 - 以下の方法でも活用状況を確認できます。
 - 機器リストで機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「活用状況を確認する」「グループの活用状況を確認する」を選択

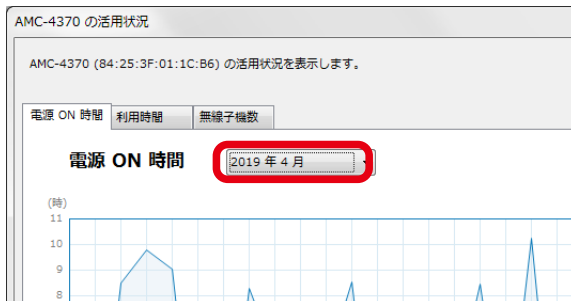
2. 活用状況の確認画面が表示されます。

- 機器の電源 ON 時間を確認する場合は、「電源 ON 時間」をクリックして電源 ON 時間の確認画面を表示します。
- 機器の電源 ON 時間、提示授業時間（接続時間）、実提示時間（投影時間）を確認する場合は、「利用時間」をクリックして利用時間の確認画面を表示します。
- 機器に接続した無線子機の台数を確認する場合は、「無線子機数」をクリックして無線子機数の確認画面を表示します。



3. 「表示日付」、「グラフデータの種別」の「▼」をクリックし、表示する内容を選択します。

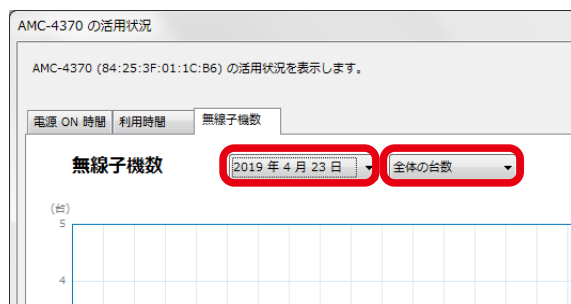
電源 ON 時間を確認する場合



利用時間を確認する場合

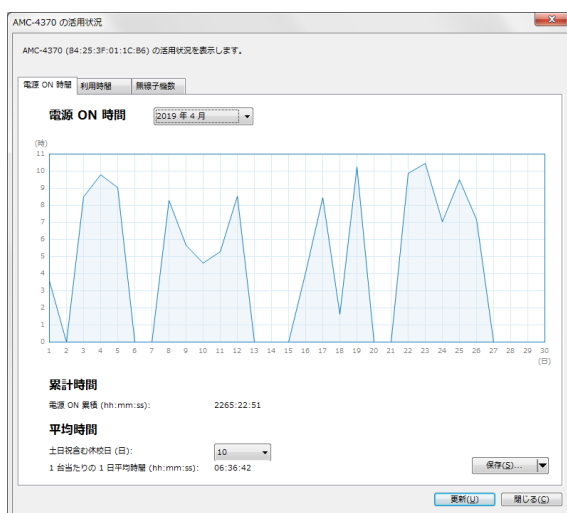


無線子機台数を確認する場合

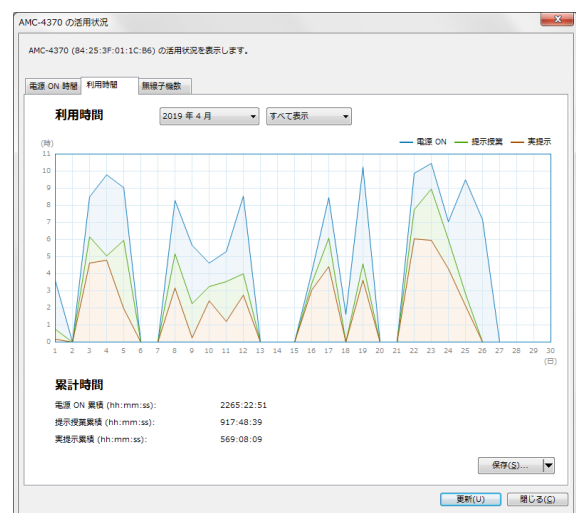


4. 設定した条件でのグラフが表示されます。

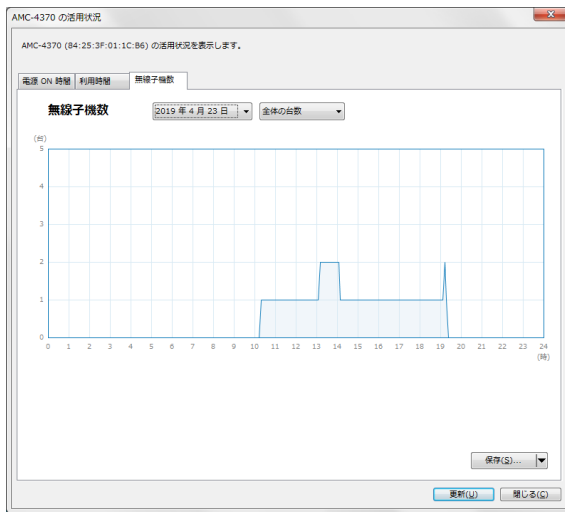
電源 ON 時間のグラフ



利用時間のグラフ



無線子機台数のグラフ



参考

- 「グループの活用状況を確認する」を選択して表示した場合
 - 「電源 ON 時間」の場合、グループに所属する機器の合算値をグラフ表示します。
 - 「利用時間」の場合、グループに所属する機器の合算値をグラフ表示します。
 - 「無線子機数」の場合、グループに所属する機器の中で、接続子機数の最大値を、日単位でグラフ表示します。

グラフをファイルに保存する

■画像ファイル形式で保存する

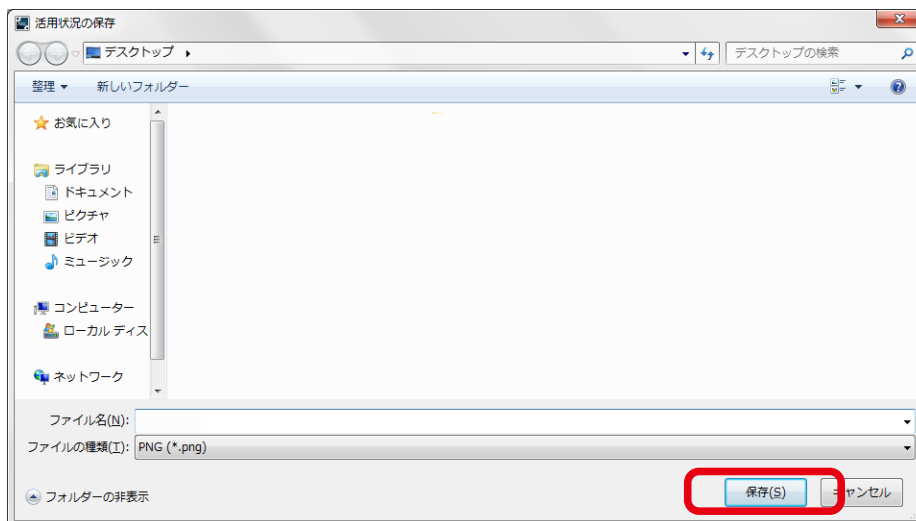
1. 「保存」－「画像ファイル」の順に選択します。



2. ファイルに保存ダイアログが表示されます。

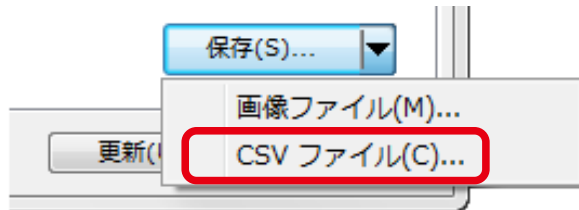
保存先とファイル名を入力、およびファイル形式 (PNG、JPEG、ビットマップ) を指定して [保存] をクリックします。

表示中の活用状況が、指定したファイル形式で保存されます。

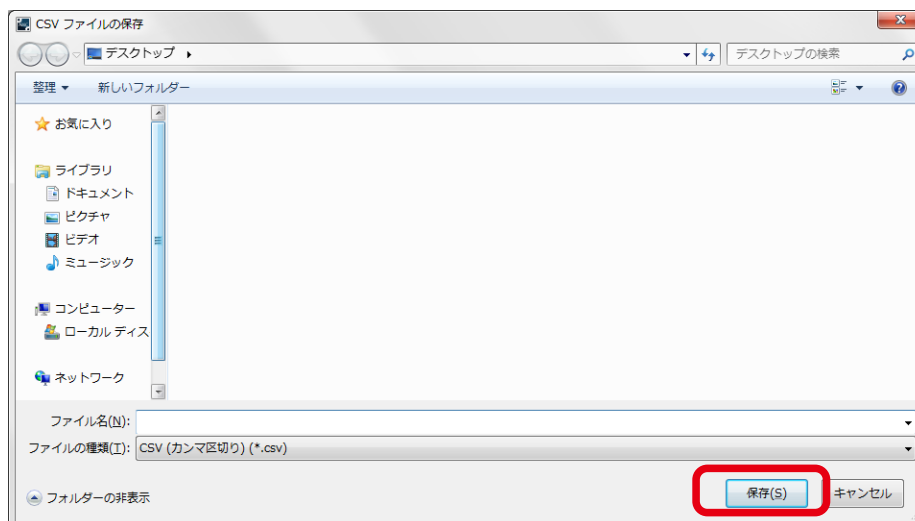


■ CSV ファイル形式で保存する

1. 「保存」－「CSV ファイル」の順に選択します。



2. ファイルに保存ダイアログが表示されます。
保存先とファイル名を入力して [保存] をクリックします。
表示中の活用状況の数値情報を CSV ファイル形式で保存されます。



CSV ファイルフォーマット

CSV ファイル形式で活用状況を保存した場合、活用状況の数値情報が保存されます。下記のフォーマットで保存されます。

■機器単体における活用状況の場合

電源 ON 時間の CSV ファイル

	A	B	C	D
1	#ホスト名	Ethernet アドレス		
2	SX011CB6	84:25:3F:01:1C:B6		
3				
4	#電源 ON (秒)	日付		
5	0	2020 年 1 月 1 日		
6	0	2020 年 1 月 2 日		
7	0	2020 年 1 月 3 日		
8	0	2020 年 1 月 4 日		
9	0	2020 年 1 月 5 日		
10	31326	2020 年 1 月 6 日		
11	10858	2020 年 1 月 7 日		

	A	B	C	D
31	10591	2020 年 1 月 27 日		
32	31305	2020 年 1 月 28 日		
33	31588	2020 年 1 月 29 日		
34	28955	2020 年 1 月 30 日		
35	0	2020 年 1 月 31 日		
36				
37	#電源 ON 累積 (秒)			
38	12073272			
39				
40	#休校日	平均時間 (秒)		
41	12	26726		

項目	説明
# ホスト名	機器のホスト名を表示します。
Ethernet アドレス	機器の Ethernet アドレスを表示します。
# 電源 ON (秒) 日付	1 日を 1 行として、1 日の電源 ON 時間を秒数で表示します。
# 電源 ON 累積 (秒)	機器の「電源 ON 時間」についての累積時間を表示します。 電源 ON 時間の記録開始時からの累計時間です。
# 休校日	「電源 ON 時間のグラフ画面」で設定した「土日祝を含む休校日」の日数を表示します。
平均時間 (秒)	1 ヶ月間の日数から休校日の日数を引いた日数で、機器の 1 日における電源 ON 時間の平均時間を表示します。

利用時間の CSV ファイル

	A	B	C	D
1	#ホスト名	Ethernet アドレス		
2	SX011CB6	84:25:3F:01:1C:B6		
3				
4	#電源 ON (秒)	提示授業 (秒)	実提示 (秒)	日付
5	0	0	0	2020 年 1 月 1 日
6	0	0	0	2020 年 1 月 2 日
7	0	0	0	2020 年 1 月 3 日
8	0	0	0	2020 年 1 月 4 日
9	0	0	0	2020 年 1 月 5 日
10	31326	24066	12983	2020 年 1 月 6 日
11	10858	3126	1077	2020 年 1 月 7 日

	A	B	C	D
31	10591	5678	2193	2020 年 1 月 27 日
32	31305	18181	13321	2020 年 1 月 28 日
33	31588	17203	13029	2020 年 1 月 29 日
34	28955	20900	8092	2020 年 1 月 30 日
35	0	0	0	2020 年 1 月 31 日
36				
37	#電源 ON 累積 (秒)	提示授業累積 (秒)	実提示累積 (秒)	
38	12073272	5705047	3691223	
39				
40				
41				

項目	説明
# ホスト名	機器のホスト名を表示します。
Ethernet アドレス	機器の Ethernet アドレスを表示します。
# 電源 ON (秒)	1 日を 1 行として、下記の時間を表示します。 # 電源 ON (秒) : 機器が起動していた時間。 提示授業 (秒) : 投影支援ソフトウェア SX Virtual Link Display for Education を使用して、授業を行っていた時間 実提示 (秒) : 投影支援ソフトウェア SX Virtual Link Display for Education を使用して、ディスプレイに投影していた時間
提示授業 (秒)	
実提示 (秒)	
日付	
# 電源 ON 累積 (秒)	機器の「電源 ON 時間」についての累積時間を表示します。 電源 ON 時間の記録開始時からの累計時間です。
提示授業累積 (秒)	機器の「提示授業時間」についての累積時間を表示します。 提示授業時間の記録開始時からの累計時間です。
実提示累積 (秒)	機器の「実提示時間」についての累積時間を表示します。 実提示時間の記録開始時からの累計時間です。

無線子機数の CSV ファイル

	A	B	C	D
1	#ホスト名	Ethernet アドレス	無線 LAN I/F	
2	SX011CB6	84:25:3F:01:1C:B6	全体の台数	
3				
4	#無線子機数	日時		
5	1	2020 年 1 月 30 日 09:38:51		
6	1	2020 年 1 月 30 日 09:43:50		
7	1	2020 年 1 月 30 日 09:48:49		
8	1	2020 年 1 月 30 日 09:48:50		
9	1	2020 年 1 月 30 日 09:53:49		
10	1	2020 年 1 月 30 日 09:53:50		
11	1	2020 年 1 月 30 日 09:58:51		

項目	説明
# ホスト名	機器のホスト名を表示します。
Ethernet アドレス	機器の Ethernet アドレスを表示します。
無線 LAN I/F	「無線子機数のグラフ画面」の「グラフデータの種別」で選択した項目が表示されます。
# 無線子機数	機器から無線子機数を取得した時刻を 1 行として、その時刻で接続している無線子機の台数を表示します。
日時	

■グループにおける活用状況の場合

電源 ON 時間の CSV ファイル

	A	B	C	D
1	#グループ名	対象台数		
2	サイレックス小学校	9		
3				
4	#電源 ON (秒)	日付		
5		0 2020 年 1 月 1 日		
6		0 2020 年 1 月 2 日		
7		0 2020 年 1 月 3 日		
8		0 2020 年 1 月 4 日		
9		0 2020 年 1 月 5 日		
10	273482	2020 年 1 月 6 日		
11	87074	2020 年 1 月 7 日		

	A	B	C	D
31	98853	2020 年 1 月 27 日		
32	303945	2020 年 1 月 28 日		
33	303479	2020 年 1 月 29 日		
34	286226	2020 年 1 月 30 日		
35	0	2020 年 1 月 31 日		
36				
37	#電源 ON 累積 (秒)			
38	116025517			
39				
40	#休校日	平均時間 (秒)		
41	12	26649		

項目	説明
# グループ名	グループの名称を表示します。
対象台数	グループに所属している機器の台数を表示します。
# 電源 ON (秒)	1 日を 1 行として、1 日の電源 ON 時間を秒数で表示します。
日付	グループでの合計時間を表示します。
# 電源 ON 累積 (秒)	グループの「電源 ON 時間」についての累積時間を表示します。 電源 ON 時間の記録開始時からの累計時間です。
# 休校日	「電源 ON 時間のグラフ画面」で設定した「土日祝を含む休校日」休校日の日数を表示します。
平均時間 (秒)	1 ヶ月間の日数から休校日の日数を引いた日数で、機器 1 台の 1 日における電源 ON 時間の平均時間を表示します。

利用時間の CSV ファイル

	A	B	C	D
1	#グループ名	対象台数		
2	サイレックス小学校	9		
3				
4	#電源 ON (秒)	提示授業 (秒)	実提示 (秒)	日付
5	0	0	0	2020 年 1 月 1 日
6	0	0	0	2020 年 1 月 2 日
7	0	0	0	2020 年 1 月 3 日
8	0	0	0	2020 年 1 月 4 日
9	0	0	0	2020 年 1 月 5 日
10	273482	24066	12983	2020 年 1 月 6 日
11	87074	3126	1077	2020 年 1 月 7 日

	A	B	C	D
31	98853	5678	2193	2020 年 1 月 27 日
32	303945	18181	13321	2020 年 1 月 28 日
33	303479	17203	13029	2020 年 1 月 29 日
34	286226	20900	8092	2020 年 1 月 30 日
35	0	0	0	2020 年 1 月 31 日
36				
37	#電源 ON 累積 (秒)	提示授業累積 (秒)	実提示累積 (秒)	
38	116025517	5705047	3691223	
39				
40				
41				

項目	説明
# グループ名	グループの名称を表示します。
対象台数	グループに所属している機器の台数を表示します。
# 電源 ON (秒)	1 日を 1 行として、下記の時間を表示します。
提示授業 (秒)	# 電源 ON (秒) : 機器が起動していた時間。グループでの合計時間を表示します。
実提示 (秒)	提示授業 (秒) : 投影支援ソフトウェア SX Virtual Link Display for Education を使用して、授業を行っていた時間。グループでの合計時間を表示します。
日付	実提示 (秒) : 投影支援ソフトウェア SX Virtual Link Display for Education を使用して、ディスプレイに投影していた時間。グループでの合計時間を表示します。
# 電源 ON 累積 (秒)	グループの「電源 ON 時間」についての累積時間を表示します。 電源 ON 時間の記録開始時からの累計時間です。
提示授業累積 (秒)	グループの「提示授業時間」についての累積時間を表示します。 提示授業時間の記録開始時からの累計時間です。
実提示累積 (秒)	グループの「実提示時間」についての累積時間を表示します。 実提示時間の記録開始時からの累計時間です。

無線子機数の CSV ファイル

	A	B	C	D
1	#グループ名	対象台数	無線 LAN I/F	
2	サイレックス小学校	9	全体の台数	
3				
4	#無線子機数	日付		
5	0	2020 年 1 月 1 日		
6	0	2020 年 1 月 2 日		
7	0	2020 年 1 月 3 日		
8	0	2020 年 1 月 4 日		
9	0	2020 年 1 月 5 日		
10	36	2020 年 1 月 6 日		
11	24	2020 年 1 月 7 日		

項目	説明
# グループ名	グループの名称を表示します。
対象台数	グループに所属している機器の台数を表示します。
無線 LAN I/F	「無線子機数のグラフ画面」の「グラフデータの種別」で選択した項目が表示されます。
# 無線子機数	1 日を 1 行として、グループに所属している機器に対して、1 日に接続された無線子機の最大台数を表示します。
日時	

4-16. 無線電波強度制御機能を使用する

当社の無線製品は、常に一定の電波強度で無線電波を出力しています。
無線電波強度制御機能を有効にすることで、対応機器は指定した時間帯のみ機器に設定されている電波強度で出力し、それ以外の時間帯では電波強度を下げるすることができます。



注意

- 無線電波強度制御機能を使用するには、対応機器が NTP サーバから時刻を取得している必要があります。
- 無線電波強度制御機能は、AMC Manager® E model のみ対応しています。



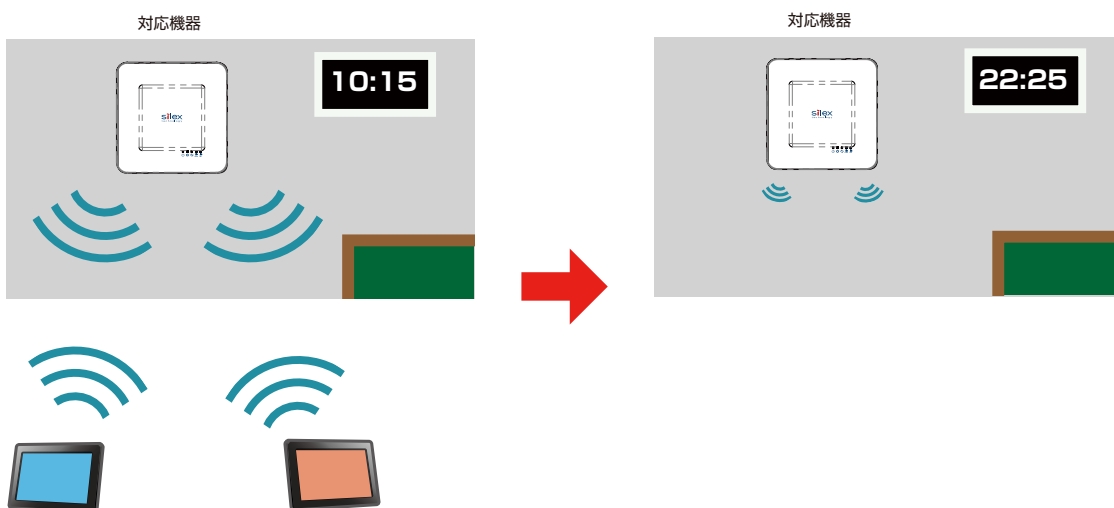
参考

- 無線電波強度制御機能に対応している製品は以下のとおりです。
 - AP-602AC E model
 - SX-ND-5370AC
 - SX-ND-4370WAN
 - SX-ND-4350WAN Plus
 - SKY-AP-303AC

無線電波強度制御機能

本機能を使用することで、指定した時間帯のみ機器の「送信出力」で設定した電波強度で機器が動作します。指定した時間以外は電波強度を下げて動作します。

例) 9:00 ~ 18:00 を指定した場合



参考

- 「送信出力制御スケジュール例外」で年月日と開始時間、終了時間を設定することで、特定の日に電波強度を上げて動作させることができます。
- 指定した時間帯以外では、送信出力が 5% で固定されます。

無線電波強度制御機能を設定する

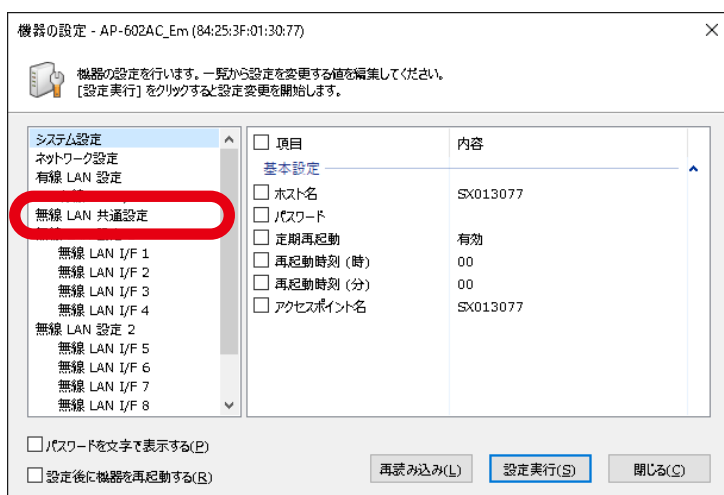
1. 「4-5. 機器を個別に設定する」 - 「機器を設定する」の手順 1 から手順 3 を参照して、無線電波強度制御機能を設定する機器の設定画面を表示します。



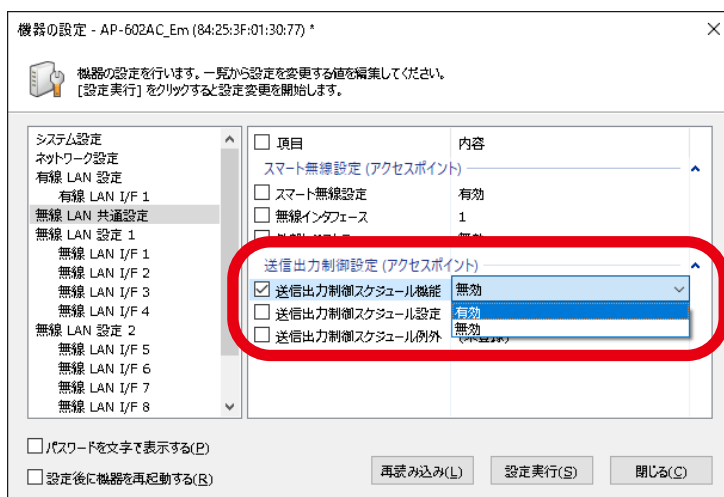
参考

- 本項では、機器を個別に設定する方法を例にして説明します。設定ファイルを使用する場合は、同様の設定項目を編集することで設定できます。

2. 画面左側の設定カテゴリから「無線 LAN 共通設定」または「無線 LAN 設定」を選択します。



3. 「送信出力制御スケジュール機能」のチェックボックスを ON にして、「有効」に設定します。



4. 「送信出力制御スケジュール設定」、「送信出力制御スケジュール例外」のチェックボックスを ON にします。設定項目をクリックすると送信出力のスケジュール設定を行うダイアログが表示されるので設定を行います。

送信出力制御スケジュール設定

曜日	有効 / 無効	開始 (時)	開始 (分)	終了 (時)	終了 (分)
月	無効	0	00	0	00
火	無効	0	00	0	00
水	無効	0	00	0	00
木	無効	0	00	0	00
金	無効	0	00	0	00
土	無効	0	00	0	00
日	無効	0	00	0	00

送信出力制御スケジュール例外

項目	年	月	日	開始 (時)	開始 (分)	終了 (時)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						



参考

- 「送信出力制御スケジュール設定」では、曜日ごとに送信出力を強くする時間を設定できます。送信出力制御の有効 / 無効、送信出力を強くする開始時間と終了時間を曜日ごとに設定します。
- 「送信出力制御スケジュール例外」では年月日と開始時間・終了時間を設定します。

5. 編集が完了したら [設定実行] をクリックします。

設定後、機器を自動で再起動させる場合は、「設定後に機器を再起動する」のチェックボックスを ON にしてから [設定実行] をクリックします。

機器の設定 - AP-602AC_Em (84:25:3F:01:30:77) *

機器の設定を行います。一覧から設定を変更する値を編集してください。
[設定実行] をクリックすると設定変更を開始します。

項目	内容
スマート無線設定 (アクセスポイント)	
<input type="checkbox"/> スマート無線設定	有効
<input type="checkbox"/> 無線インターフェース	1
<input type="checkbox"/> 外部レジストラ	無効
送信出力制御設定 (アクセスポイント)	
<input checked="" type="checkbox"/> 送信出力制御スケジュール機能	有効
<input checked="" type="checkbox"/> 送信出力制御スケジュール設定	7 件登録済み
<input checked="" type="checkbox"/> 送信出力制御スケジュール例外	1 件登録済み

パスワードを文字で表示する(P)

設定後に機器を再起動する(R)

再読み込み(L) **設定実行(S)** 閉じる(O)

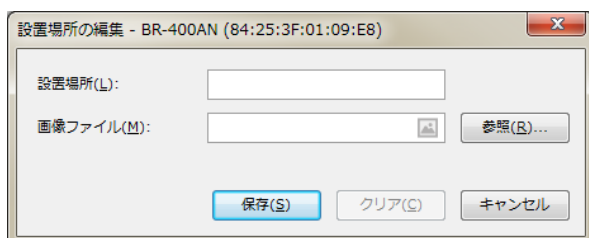
4-17. 機器の設置場所情報を登録する


機器リストに表示されている機器は、設置場所を示すテキストと画像を登録できます。登録した設置場所情報は、AMC Manager® Standard 上や、AMC Manager Plus をインストールしたスマートフォン（タブレット）上で表示できます。



- 設置場所情報の登録機能は、AMC Manager® Standard のみ対応しています。
- AMC Manager® Free、AMC Manager® E model では使用できません。

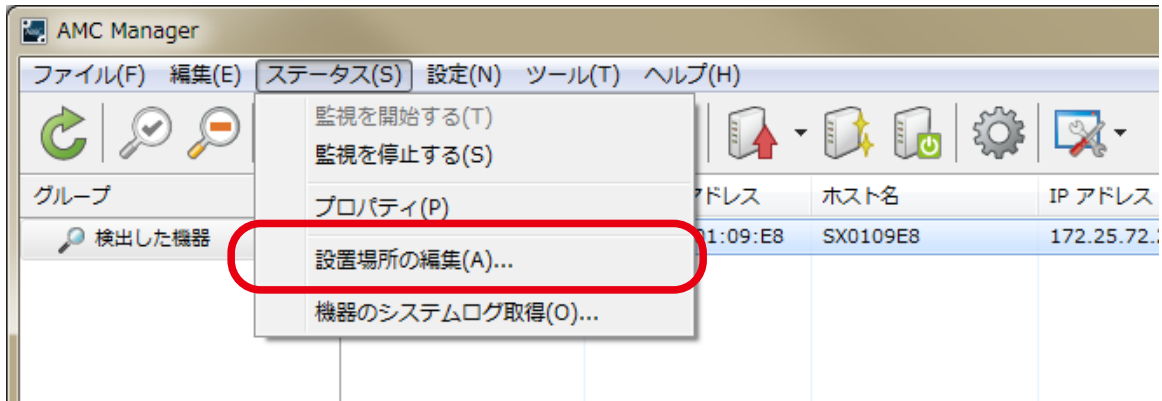
設置場所の編集画面



項目	説明
設置場所	設置場所を示すテキストを入力します。 ここに設定したテキストは機器リストや、AMC Manager Plus で表示されます。
画像ファイル	設置場所を示す画像を登録します。 ここに登録した画像は、機器のプロパティ画面や AMC Manager Plus で表示されます。
 アイコン	画像が登録されている場合にクリックできます。 クリックすると、登録した画像を表示します。
[保存] ボタン	入力した内容を保存して編集画面を閉じます。
[クリア] ボタン	保存されている内容を削除します。 AMC Manager Plus で表示される内容は、情報未登録時のものになります。
[キャンセル] ボタン	入力した内容を保存せずに編集画面を閉じます。

設置場所情報を登録する

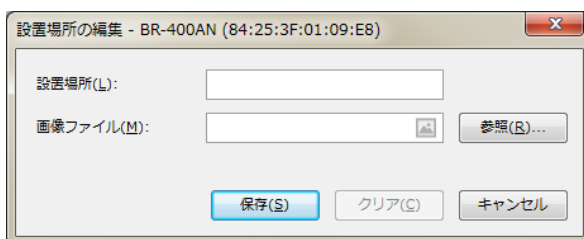
1. メニューバーから「ステータス」 - 「設置場所の編集」の順に選択します。



- 以下の方法でも設置場所を編集できます。
 - 機器を選択して、右クリックのコンテキストメニューから「設置場所の編集」

参考

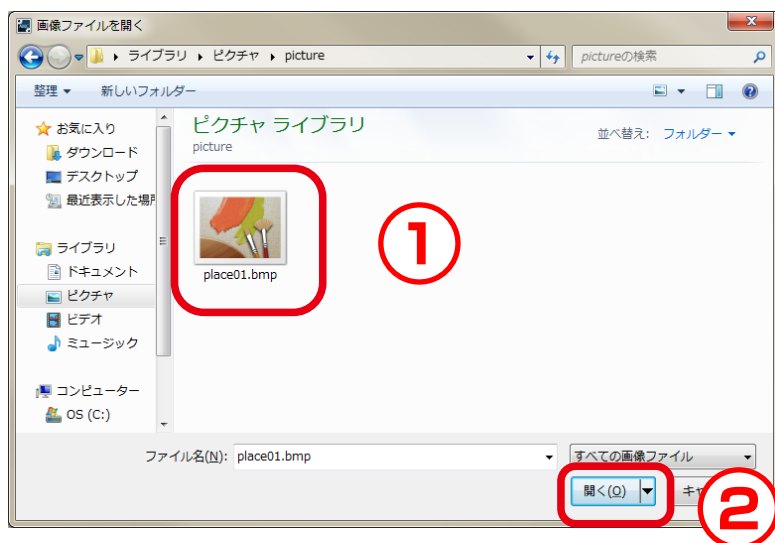
2. 設置場所の編集画面が表示されます。
表示するテキストを「設置場所」に入力します。設置場所の画像を登録する場合は、[参照]をクリックします。



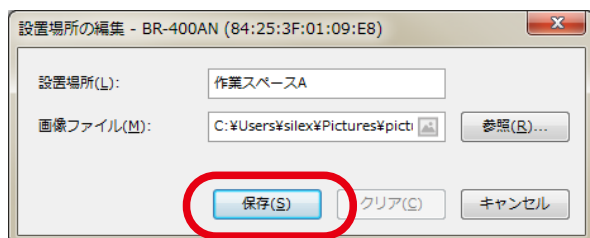
- 設置場所のテキスト、または画像だけの登録もできます。

参考

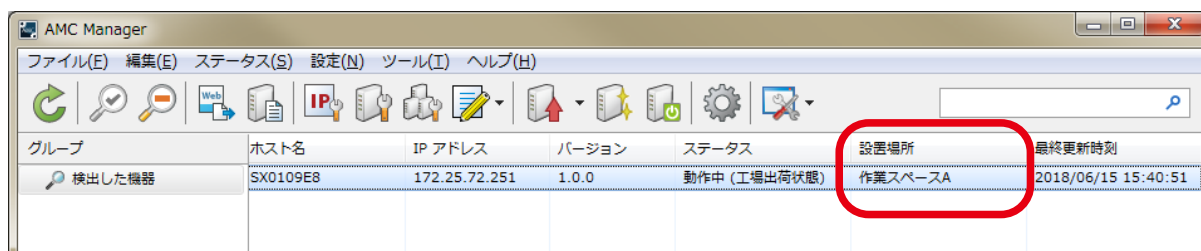
3. 画像ファイルの選択画面が表示されます。使用する画像を選択して「開く」をクリックします。



4. 設置場所情報の入力完了したら、「保存」ボタンをクリックします。



5. 以上で設置場所情報の登録は完了です。機器リストの「設置場所」に登録したテキストが表示されます。

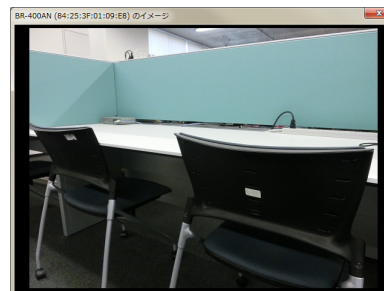
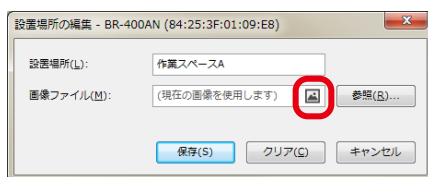




参考

- 設置場所の画像を登録後、以下の手順で登録した画像を確認できます。

- 「設置場所の編集」から「」アイコンをクリック



- 機器のプロパティ画面から、「イメージ」タブをクリック

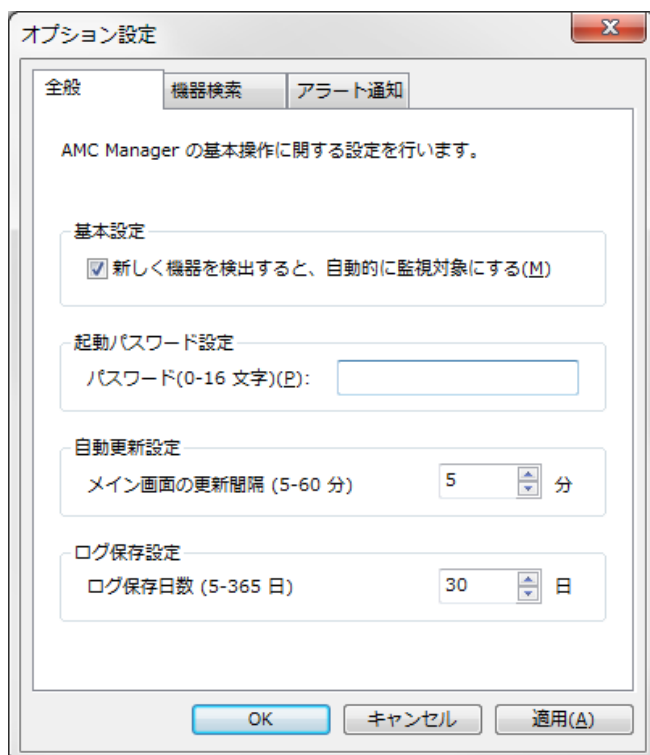


4-18. AMC Manager® の設定を変更する

AMC Manager® の基本動作や機器検索について設定する方法について説明します。
AMC Manager® の動作に関する設定は、オプション設定画面で行います。

オプション設定画面

【全般タブ】



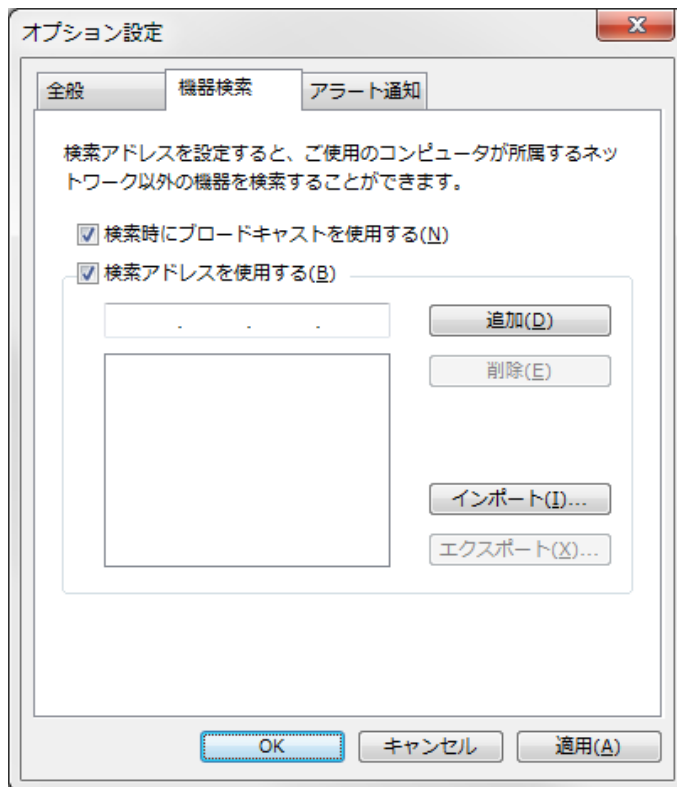
項目	説明	初期値
新しく機器を検出すると、自動的に監視対象にする	AMC Manager® がネットワーク上に新しい機器を検出したとき、監視対象として定期的にステータスを更新するときは、チェックボックスを ON にします。	ON
パスワード	AMC Manager® の起動パスワードを設定することができます。設定文字数は 0 ~ 16 文字の間で設定します。	なし
メイン画面の更新間隔	監視対象とした機器のステータスを更新する間隔を設定します。更新間隔は 1 ~ 60 分の間で設定します。	5 分
ログ保存日数	イベントログを保存する日数を設定します。保存日数は 5 ~ 365 日の間で設定します。	30 日
[OK] ボタン	設定を保存して、オプション設定画面を閉じます。	-
[キャンセル] ボタン	オプション設定画面を閉じます。	-
[適用] ボタン	設定を保存します。	-



参考

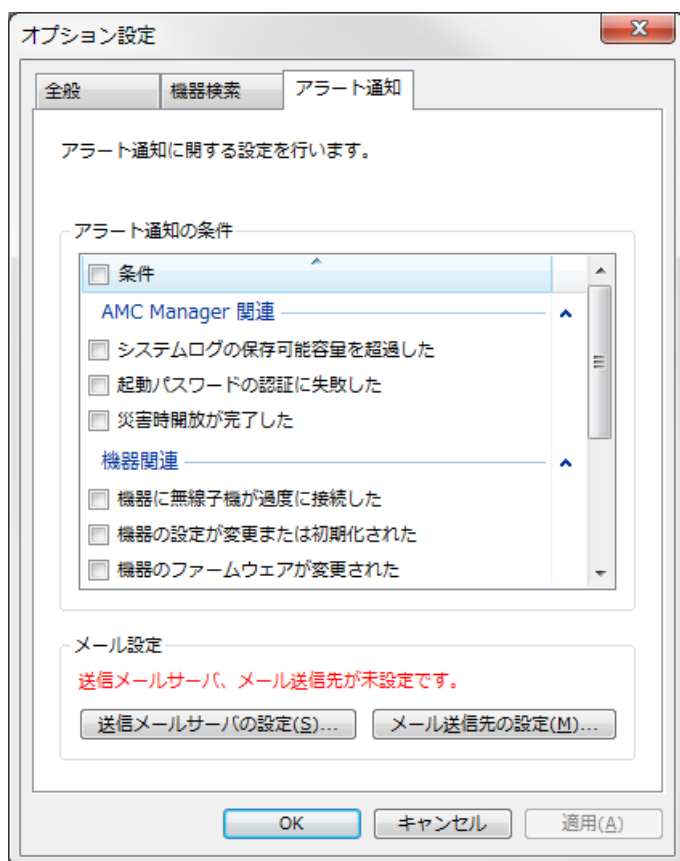
- ・ イベントログはログ保存日数で指定した期間保存され、Log Viewer から参照できます。

【機器検索タブ】



項目	説明	初期値
検索時にブロードキャストを使用する	ブロードキャストを使用して検索します。検索アドレスと 255.255.255.255 を送信するときは、チェックボックスを ON にします。	ON
検索アドレスを使用する	検索アドレスを使用して検索するときは、チェックボックスを ON にします。	ON
検索アドレス欄	機器の検索を行うための検索アドレスを入力します。	なし
[追加] ボタン	検索アドレス欄に入力されたアドレスを登録します。検索アドレス一覧には、最大 1024 個まで登録できません。	-
[削除] ボタン	検索アドレス一覧からアドレスを選択して削除します。	-
[インポート] ボタン	外部ファイルに記述されている IP アドレスを読み込み、検索アドレスに追加します。	-
[エクスポート] ボタン	検索アドレスとして登録されている IP アドレスをすべて外部ファイルに出力します。	-
[OK] ボタン	設定を保存して、オプション設定画面を閉じます。	-
[キャンセル] ボタン	オプション設定画面を閉じます。	-
[適用] ボタン	設定を保存します。	-

【アラート通知タブ】



項目	説明	初期値
システムログの保存可能容量が超過した	システムログの保存可能データ量を超過し、過去ログを削除した場合にアラート通知します。	OFF
起動パスワードの認証に失敗した	AMC Manager® E model の起動パスワードの認証に 3 回失敗したときにアラート通知します。	OFF
災害時開放が完了した	災害時開放機能が実行された場合に実行結果を通知します。	OFF
機器に無線子機が過度に接続した	機器に接続している無線子機の接続台数が合計 41 台以上になった場合にアラート通知します。	OFF
機器の設定が変更または初期化された	操作している AMC Manager® E model 以外から機器の設定を変更または、初期化した場合にアラート通知します。	OFF
機器のファームウェアが変更された	操作している AMC Manager® E model 以外から機器のファームウェアを変更した場合にアラート通知します。	OFF
機器からの応答がなくなった	機器からの応答がなくなった場合にアラート通知します。	OFF
無線子機が機器との接続に失敗した	無線子機が機器との接続に失敗した場合にアラート通知します。	OFF
機器の無線 LAN モジュールに異常が発生した	機器の無線 LAN モジュールに異常が発生した場合にアラート通知します。	OFF
機器がスマート無線設定に失敗した	スマート無線設定に失敗した場合にアラート通知します。	OFF
機器の無線 DFS 機能が作動した	機器の無線 DFS 機能が作動した場合にアラート通知します。	OFF
[送信メールサーバの設定] ボタン	メールサーバの設定画面を表示します。	-
[メール送信先の設定] ボタン	メールの送信先の設定画面を表示します。	-
[OK] ボタン	設定を保存して、オプション設定画面を閉じます。	-
[キャンセル] ボタン	オプション設定画面を閉じます。	-
[適用] ボタン	設定を保存します。	-



- アラート通知タブは、AMC Manager® E model のみ表示されます。

送信メールサーバの設定画面

送信メールサーバの設定

送信メールサーバ (SMTP) に関する設定を行います。

ユーザー情報

メールアドレス(A):

名前(D):

メールサーバへのログオン情報

アカウント名(U):

パスワード(P):

メールサーバ情報

メールサーバ(S):

ポート番号(N):

暗号化接続の種類(L):

サーバのタイムアウト(I): 秒 (10-600 秒)

テストメールの送信(E) OK キャンセル

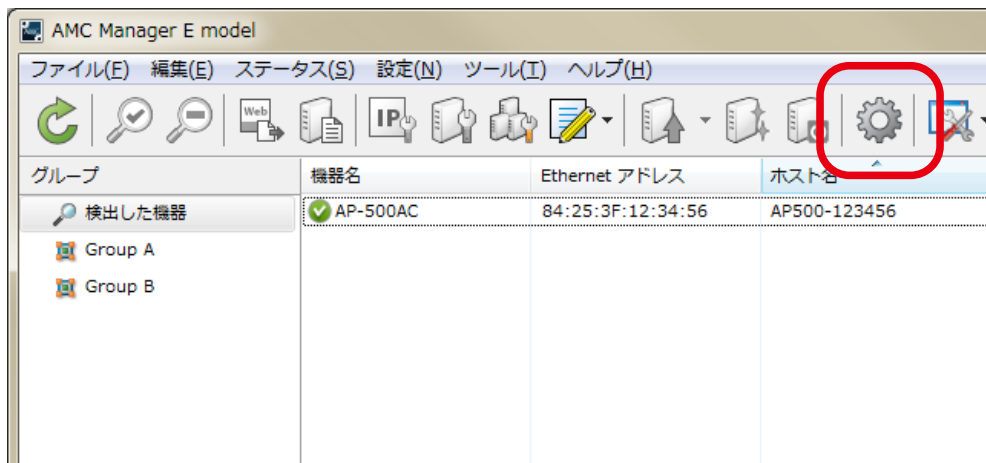
項目	説明	初期値
メールアドレス	送信元のメールアドレスを入力します。 最大 63 文字まで入力することができます。	なし
名前	メールの送信者名を入力します。 最大 31 文字まで入力することができます。	なし
アカウント名	メールサーバへログオンするためのアカウント名を入力します。 最大 63 文字まで入力することができます。	なし
パスワード	メールサーバへログオンするためのパスワードを入力します。 最大 63 文字まで入力することができます。	なし
メールサーバ	送信メールサーバ (SMTP) の IP アドレス、またはホスト名を入力します。 最大 127 文字まで入力することができます。	なし
ポート番号	送信メールサーバ (SMTP) のポート番号を入力します。 設定範囲は 1 ~ 65535 です。	25
暗号化接続の種類	送信メールサーバとの接続時の暗号化方式を設定します。 暗号化の種類は「なし」か「TLS」を選択します。	なし
サーバのタイムアウト	送信メールサーバ (SMTP) との接続タイムアウト値を設定します。 設定範囲は 10 ~ 600 秒 です。	60 秒
[テストメールの送信] ボタン	送信メールサーバの設定内容に従って、テストメールを送信します。	-
[OK] ボタン	設定を保存して、オプション設定画面を閉じます。	-
[キャンセル] ボタン	オプション設定画面を閉じます。	-

メール送信先の設定画面

項目	説明	初期値
TO	メールの宛先 (TO) を入力します。 セミコロン (;) 区切りで複数のメールアドレスを指定することができます。 最大 1023 文字まで入力することができます。	なし
CC	メールの宛先 (CC) を入力します。 セミコロン (;) 区切りで複数のメールアドレスを指定することができます。 最大 1023 文字まで入力することができます。	なし
BCC	メールの宛先 (BCC) を入力します。 セミコロン (;) 区切りで複数のメールアドレスを指定することができます。 最大 1023 文字まで入力することができます。	なし
[OK] ボタン	設定を保存して、オプション設定画面を閉じます。	-
[キャンセル] ボタン	オプション設定画面を閉じます。	-

AMC Manager® の設定を変更する

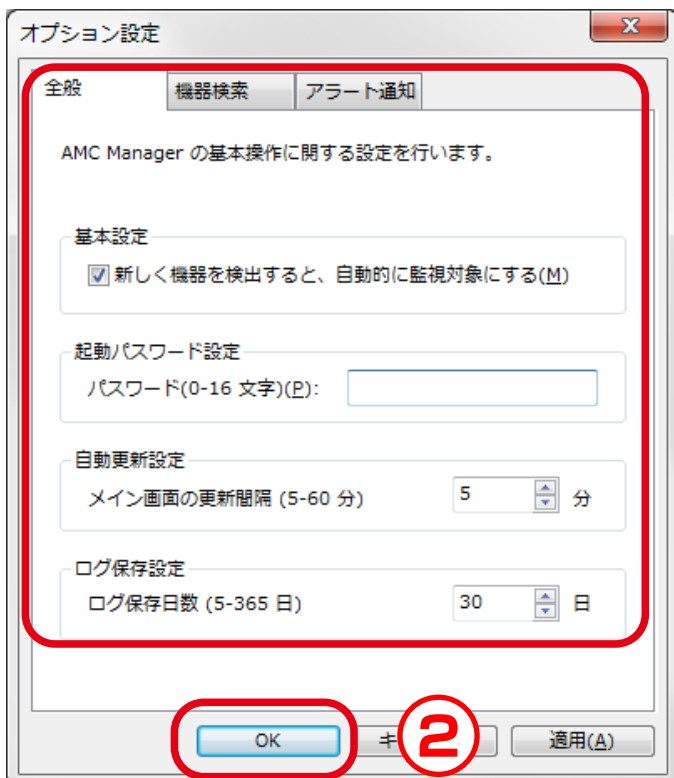
1. ツールバーの「オプション」アイコンを選択します。



- メニューバーの「ツール」 - 「オプション」でも表示できます。

参考

2. オプション設定画面が表示されます。
変更する設定項目を編集して、[OK] をクリックします。



4-19. ライセンス情報を更新する

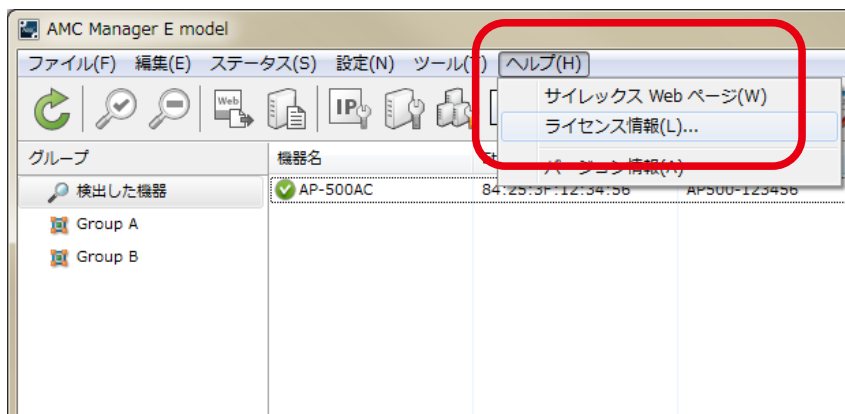
AMC Manager® のライセンス情報を更新する方法について説明します。
 ライセンス情報の更新は、ライセンス情報画面で行います。
 ライセンス情報画面には、登録されている情報が表示されます。

ライセンス情報画面

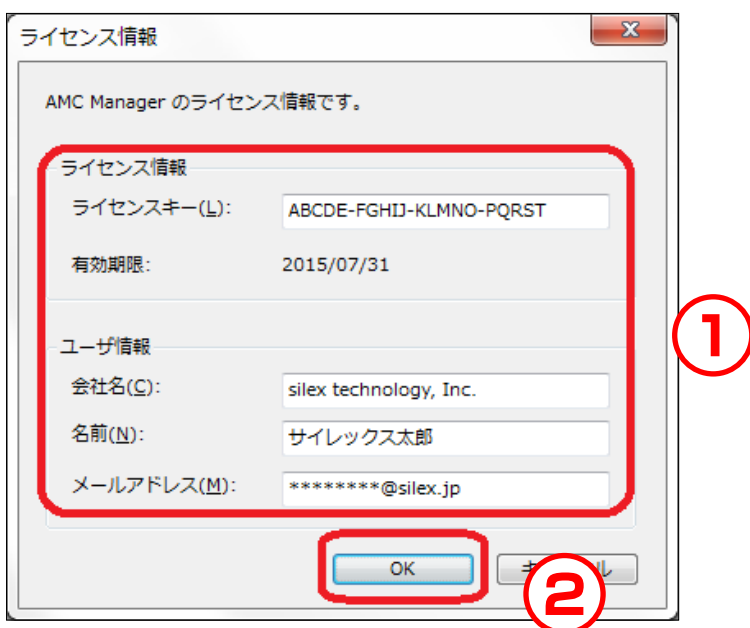
項目	説明	
ライセンスキー	登録されているライセンスキーを表示します。 最大入力文字数は 23 文字です。	
有効期限	ライセンスキーの有効期限などを表示します。 表示内容は下記の通りです。	
	表示内容	説明
	無期限	無期限のライセンスです。
	日付 (YYYY/MM/DD)	登録されているライセンスの有効期限を表示します。
	有効期限が切れています。	登録されているライセンスの有効期限が切れています。 新しいライセンスキーを取得してください。
	ライセンスキーを入力してください。	入力されたライセンスキーは登録できません。 正しいライセンス情報を入力してください。
	無償版です。 AMC Manager® Free を使用している場合に表示されます。	
会社名	登録されているライセンスの会社名を表示します。 最大入力文字数は 64 文字です。	
名前	登録されているライセンスのユーザの名前を表示します。 最大入力文字数は 64 文字です。	
メールアドレス	登録されているライセンスのメールアドレスを表示します。 最大入力文字数は 254 文字です。	
[OK] ボタン	表示されているライセンス情報を登録します。	
[キャンセル] ボタン	ライセンス情報画面を閉じます。	

ライセンスキーを更新する

1. メニューバーの「ヘルプ」 - 「ライセンス情報」を選択します。



2. ライセンス情報画面が表示されます。
ライセンス情報を更新する場合は、新しいライセンス情報の「ライセンスキー」
「会社名」「名前」「メールアドレス」を入力して [OK] をクリックします。



5. Survey Assistant

この章では、Survey Assistant について説明しています。

5-1. Survey Assistant の機能

Survey Assistant は、AMC Manager® E model 専用のプラグインです。サイレックス製品が収集した設置機器周辺の無線状況や電波干渉の発生などをグラフィカルに表示します。

Survey Assistant の特長

Survey Assistant の特長は以下のとおりです。

■無線 LAN 環境をグラフィカルに表示

無線サイトサーベイ支援プラグインと連携するサイレックス製品が収集した設置機器周辺の無線 LAN 環境をグラフ化して表示します。

■無線 LAN 環境の診断

無線 LAN 環境から、電波干渉の発生などを判断して警告表示します。

■無線 LAN 環境のグラフをマップ上に表示

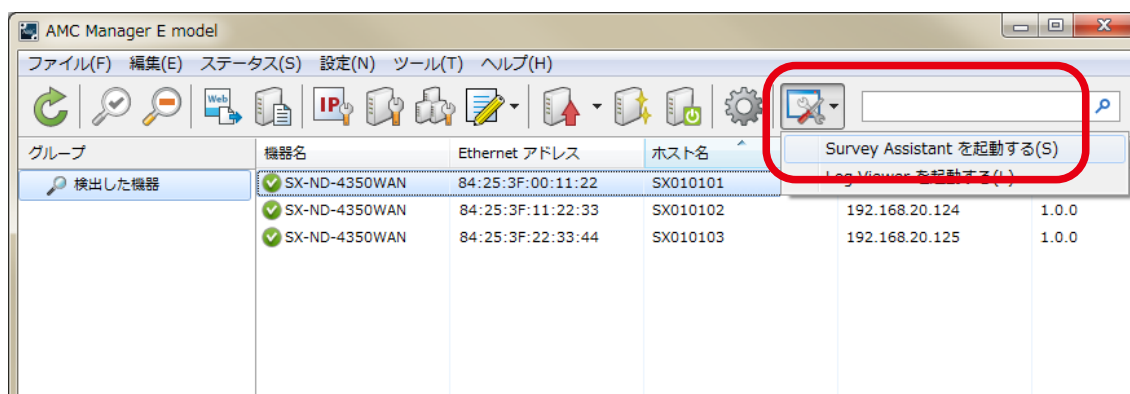
背景に任意の画像ファイルを設定して、その上に機器から取得した無線 LAN 環境のグラフを配置することができます。
機器設置場所の見取り図などをマップとして表示すれば、各機器の設置場所での無線 LAN 環境を表示できます。

5-2. Survey Assistant の起動と終了

Survey Assistant の起動方法と終了方法について説明します。
Survey Assistant は、AMC Manager® E model 専用のプラグインです。
Survey Assistant 単体での起動はできません。

Survey Assistant を起動する

1. AMC Manager® E model の機器リストで無線 LAN のサーベイ情報を表示する機器を選択して、ツールバーの「無線 LAN のサーベイ情報を収集します」アイコンをクリックします。



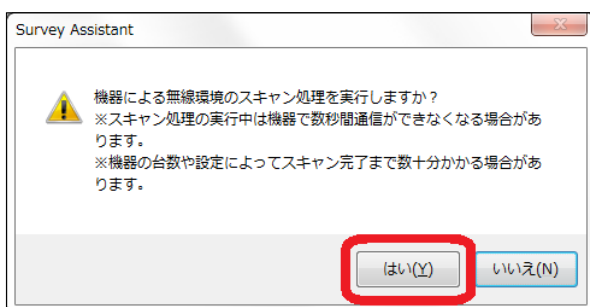
参考

- 以下の方法でも Survey Assistant を起動できます。
 - ・メニューバーの「ツール」 - 「Survey Assistant を起動する」

Survey Assistant 起動時の表示モードは、AMC Manager® E model での機器の選択に従います。

- 機器を 1 台選択した場合は、「単体表示モード」で選択した機器を表示します。
- 機器を複数台選択した場合は、「複数表示モード」で選択した機器を表示します。
- 機器を選択しない場合は、「複数表示モード」で全ての機器を表示します。

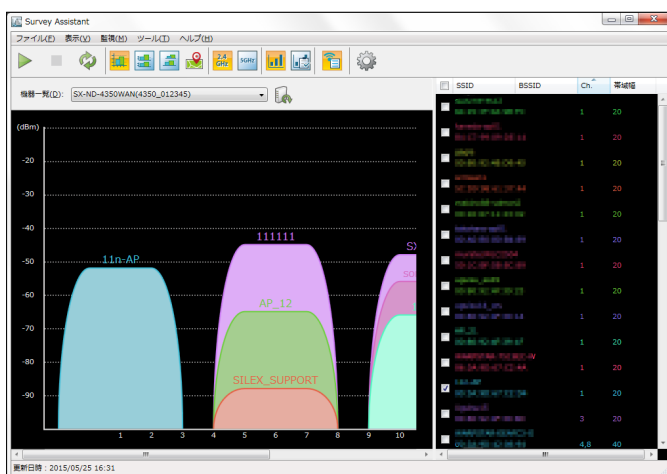
- 無線環境のスキャン実行の確認画面が表示されます。
[はい] をクリックします。



参考

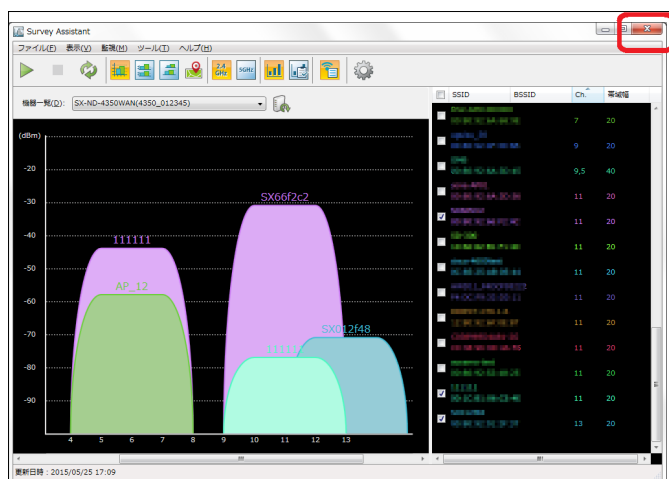
- [いいえ] をクリックした場合は、無線環境のスキャンを実行しないため、グラフは表示されません。

- Survey Assistant が起動します。
無線環境のスキャン結果がグラフ表示されます。



Survey Assistant を終了する

1. 操作画面右上の [閉じる] ボタンをクリックすると、Survey Assistant が終了します。

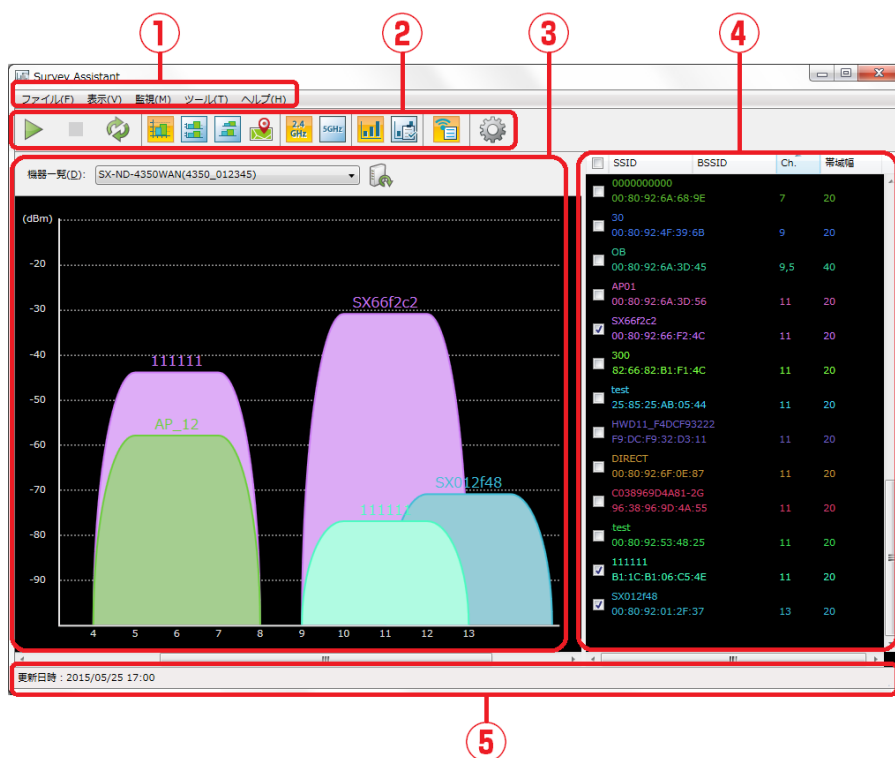


参考

- 以下の方法でも Survey Assistant を終了できます。
 - ・メニューバーで「ファイル」 - 「終了」の順にクリック

5-3. Survey Assistant の操作画面

Survey Assistant は、ネットワーク上の無線機器から無線 LAN 環境を取得して、グラフィカルに表示します。このページでは、Survey Assistant の操作画面について説明します。



① メニューバー

表示モードの切り替えなど、Survey Assistant の各機能を実行します。

② ツールバー

表示モードの切り替えなど、Survey Assistant の各機能を実行します。

③ グラフ表示画面

機器から取得した無線 LAN 環境を表示モードに従ってグラフ表示します。

④ SSID 一覧

機器から取得した無線 LAN 環境の SSID を一覧表示します。
グラフ表示する SSID の選択もできます。

⑤ ステータスバー

Survey Assistant の動作状態などの情報を表示します。

【メニューバー】

表示モードの切り替えなど、Survey Assistant の各機能を実行します。

ファイル(E) 表示(V) 監視(M) ツール(T) ヘルプ(H)

メニュー	項目	説明
ファイル	更新	全ての機器から無線 LAN 環境を取得して、グラフ表示を更新します。
	更新中止	実行中の更新処理を中止します。
	終了	Survey Assistant を終了します。
表示	単体表示モード	選択した 1 台の機器の無線 LAN 環境をグラフ表示します。
	複数表示モード	選択した複数台の機器の無線 LAN 環境をグラフ表示します。
	履歴表示モード	選択した 1 台の機器のグラフを時系列順に履歴表示します。
	マップモード	背景画像にフロアの見取り図などを指定して、画像の上に機器の無線 LAN 環境をグラフ表示します。
	2.4GHz 帯	2.4GHz 帯の無線 LAN 環境をグラフ表示します。
	5GHz 帯	5GHz 帯の無線 LAN 環境をグラフ表示します。
	カラー表示	無線環境の各 SSID に個別の色を割り当てて表示します。
	診断表示	設定した条件に従い、電波干渉の警告や注意を表示します。
	SSID 一覧	無線環境の SSID 一覧画面を表示します。
監視	監視開始	機器の監視設定画面を表示します。 監視設定画面の条件に従い、無線 LAN 環境を取得します。
	監視終了	実行中の機器の監視を停止します。
ツール	オプション	Survey Assistant のオプション設定を開きます。
ヘルプ	サイレックス Web ページ	当社 Web サイトを開きます
	バージョン情報	Survey Assistant のバージョン情報を表示します。



- ・ 監視を実行中は、「更新」などの手動での更新ができません。

参考

【ツールバー】

表示モードの切り替えなど、Survey Assistant の各機能を実行します。



アイコン	項目	説明
	監視の設定と実行	機器の監視設定画面を表示します。 監視設定画面の条件に従い、無線 LAN 環境を取得します。
	監視の停止	実行中の機器の監視を停止します。
	全ての機器のグラフを更新	全ての機器の無線 LAN 環境を取得して、グラフ表示を更新します。
	更新中止	実行中の更新処理を中止します。
	機器単体のグラフを表示	選択した 1 台の機器の無線 LAN 環境をグラフ表示します。
	機器のグラフをリスト形式で表示	選択した複数台の機器の無線 LAN 環境をリスト形式でグラフ表示します。
	機器のスキャン結果履歴を表示	選択した 1 台の機器のグラフを時系列順に履歴表示します。
	マップ上にグラフを表示	背景画像にフロアの見取り図などを指定して、画像の上に機器の無線 LAN 環境をグラフ表示します。
	2.4GHz 帯	2.4GHz 帯の無線 LAN 環境をグラフ表示します。
	5GHz 帯	5GHz 帯の無線 LAN 環境をグラフ表示します。
	無線環境をカラーグラフで表示	無線環境の各 SSID に個別の色を割り当てて表示します。
	無線環境の干渉状態を表示	設定した条件に従い、電波干渉の警告や注意を表示します。
	SSID 一覧	無線環境の SSID 一覧画面の表示 / 非表示を切り替えます。
	オプション設定	Survey Assistant のオプション設定を開きます。



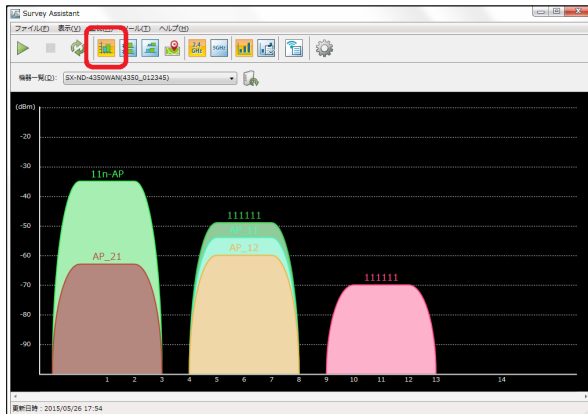
- ・ 監視を実行中は、「全ての機器のグラフを更新」などの手動での更新ができません。

参考

【グラフ表示画面】

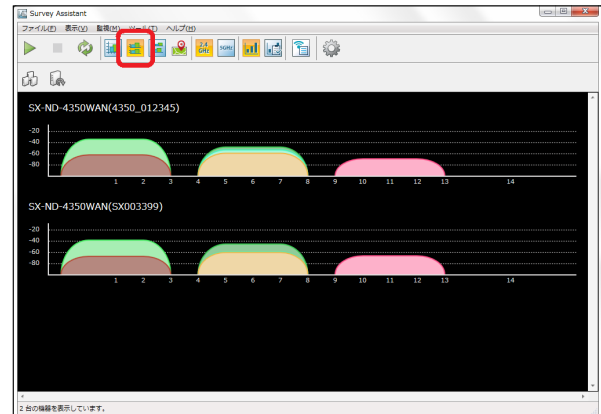
機器から取得した無線 LAN 環境を表示モードに従ってグラフ表示します。
表示モードには「単体表示モード」「複数表示モード」「履歴表示モード」「マップモード」の 4 つのモードがあります。

【単体表示モード】



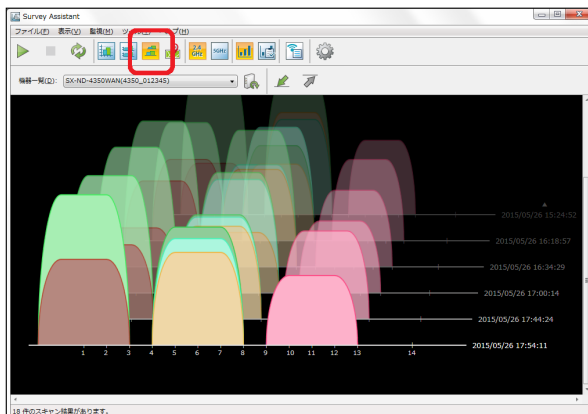
選択した 1 台の機器の無線 LAN 環境をグラフ表示します。

【複数表示モード】



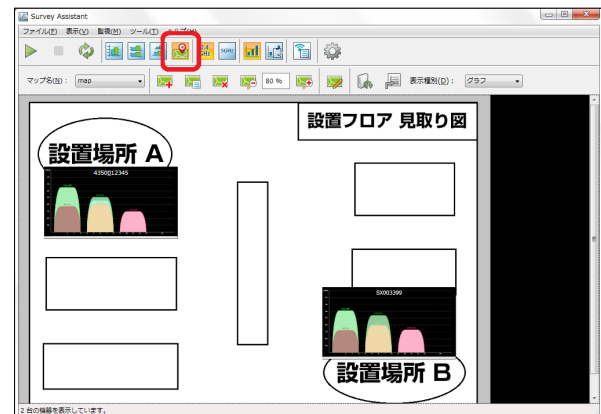
選択した複数の機器のグラフをリスト形式で表示します。

【履歴表示モード】



選択した機器のグラフの履歴を時系列順に表示します。

【マップモード】



背景画像を設定したマップ上の任意の場所にグラフ表示します。

【SSID 一覧画面】

無線環境の SSID の情報を一覧表示します。

チェックボックスを ON にした SSID をグラフ表示します。

<input type="checkbox"/>	SSID	BSSID	Ch.	帯域幅
<input checked="" type="checkbox"/>	111111	00:00:00:06:C5:4D	6	20
<input type="checkbox"/>	111111	00:00:00:06:C5:4E	11	20
<input checked="" type="checkbox"/>	11n-AP	00:00:00:67:C2:D4	1	20
<input checked="" type="checkbox"/>	AP_11	00:00:00:06:C5:01	6	20
<input type="checkbox"/>	AP_12			



参考

- チェックボックスを OFF にした SSID は、グラフ表示されません。複数の SSID が表示される環境の場合、不要なグラフを非表示にして、視認性を向上させることができます。

【コンテキストメニュー】

SSID 一覧で SSID を選択して右クリックすると、コンテキストメニューを表示します。コンテキストメニューでは、選択した SSID と同じチャンネルまたは SSID のグラフ表示を一括設定できます。

<input checked="" type="checkbox"/>	SSID	BSSID	Ch.	帯域幅
<input checked="" type="checkbox"/>	AP_0001	00:00:00:00:00:00	11	40MHz
<input checked="" type="checkbox"/>				20MHz
<input checked="" type="checkbox"/>				40MHz
<input checked="" type="checkbox"/>				40MHz
<input checked="" type="checkbox"/>				40MHz

表示(V)

非表示(H)

同じチャンネルを表示(C)

同じチャンネルを非表示(D)

同じ SSID を表示(S)

同じ SSID を非表示(T)

項目	説明
表示	選択した SSID のチェックボックスを ON にして、グラフ表示します。
非表示	選択した SSID のチェックボックスを OFF にして、グラフを非表示にします。
同じチャンネルを表示	選択した SSID と同じチャンネルの SSID を全て表示します。
同じチャンネルを非表示	選択した SSID と同じチャンネルの SSID を全て非表示にします。
同じ SSID を表示	選択した SSID と同じ名称の SSID を全て表示します。
同じ SSID を非表示	選択した SSID と同じ名称の SSID を全て非表示にします。

5-4. 機器を監視する

監視対象に指定した機器から定期的に無線 LAN 環境を取得します。
無線 LAN 環境を取得する機器と更新間隔は、監視設定画面で設定します。
取得した無線 LAN 環境は、「履歴表示モード」で確認できます。

監視設定画面

監視設定

機器の監視設定を行い、監視を開始します。

監視対象の選択(D) :

<input type="checkbox"/>	ホスト名	Ethernet アドレス	IP アドレス	機器名
<input type="checkbox"/>	4350_012345	84:25:3F:00:11:22	192.168.20.123	SX-ND-4350WAN
<input type="checkbox"/>	SX003399	00:80:92:00:33:99	192.168.20.124	SX-ND-4350WAN

開始日時(S) : 2015/06/01 15 : 19 : 07

終了日時(E) : 2015/06/01 15 : 19 : 07

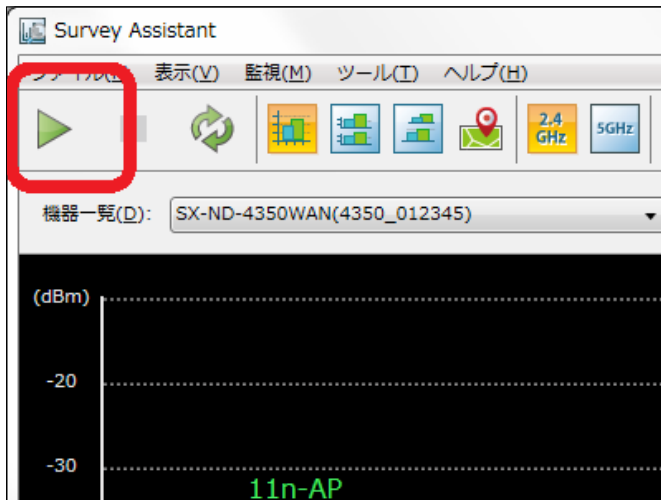
更新間隔(I) : 1 時間 00 分

開始(R) 閉じる(C)

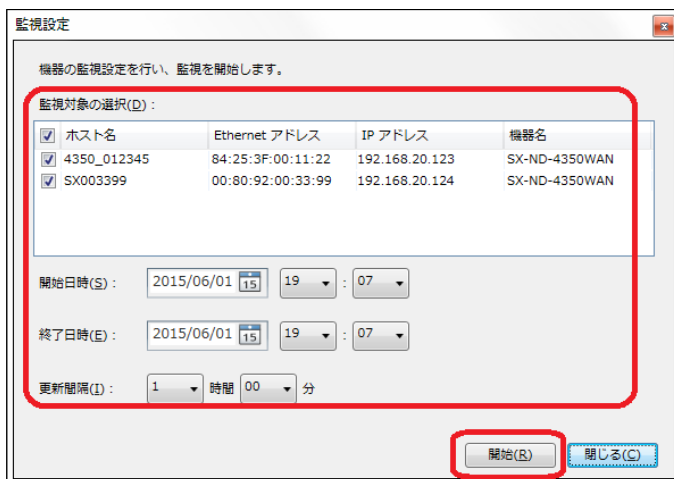
項目	説明
監視対象の選択	監視対象とする機器を選択します。 チェックボックスを ON にした機器が監視対象となります。
開始日時	監視を開始する日時を指定します。 現在時刻より前の日時を指定した場合は、開始直後に 1 回目の取得を行います。
終了日時	監視を終了する日時を指定します。
更新間隔	無線 LAN 環境を取得する間隔を指定します。
[開始] ボタン	指定した条件で監視を開始します。
[閉じる] ボタン	監視設定画面を閉じます。

機器を監視する

1. ツールバーの「監視の設定と実行」アイコンをクリックします。



2. 監視設定画面が表示されます。
監視する機器と更新間隔などを指定して [開始] をクリックします。



参考

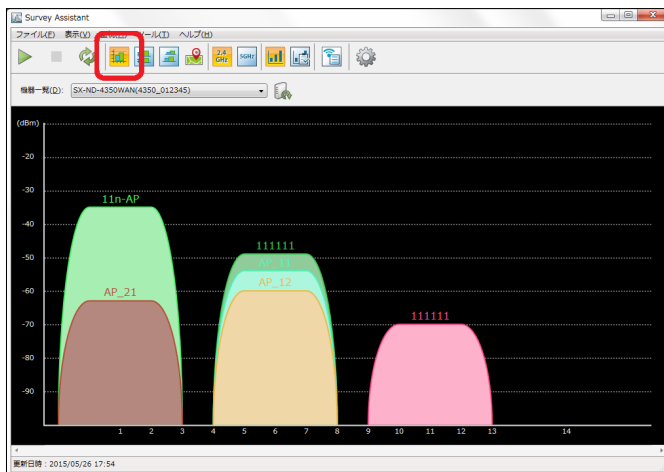
- 監視を実行中は、「全ての機器のグラフを更新」などの手動での更新ができません。

5-5. 4つの表示モードを切り替える

Survey Assistantは、機器から取得した無線LAN環境を表示モードで切り替えてグラフ表示できます。

単体表示モード

ツールバーの「機器単体のグラフを表示」アイコンを選択します。
 選択した1台の機器の無線LAN環境をグラフ表示します。
 横軸は無線チャンネル、縦軸は無線の電波強度を示します。



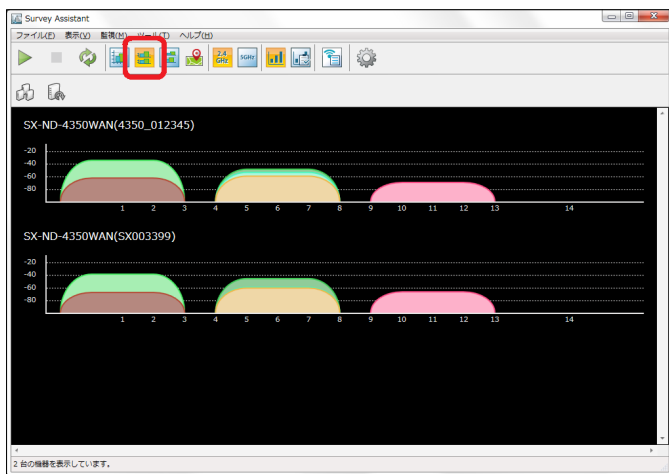
参考

- 以下の方法でも単体表示モードを選択できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「表示」 - 「単体表示モード」

アイコン	項目	説明
-	機器一覧	プルダウンメニューから、表示する機器を選択します。
	選択中の機器のグラフを更新	無線LAN環境をスキャンして、選択中の機器のグラフを更新します。

複数表示モード

ツールバーの「機器のグラフをリスト形式で表示」アイコンを選択します。
 選択した複数の機器のグラフをリスト形式で表示します。
 横軸は無線チャンネル、縦軸は無線の電波強度を示します。



参考

- 以下の方法でも複数表示モードを選択できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「表示」-「複数表示モード」

アイコン	項目	説明
	機器表示設定	機器表示設定画面を表示します。
	選択中の機器のグラフを更新	無線 LAN 環境をスキャンして、選択中の機器のグラフを更新します。

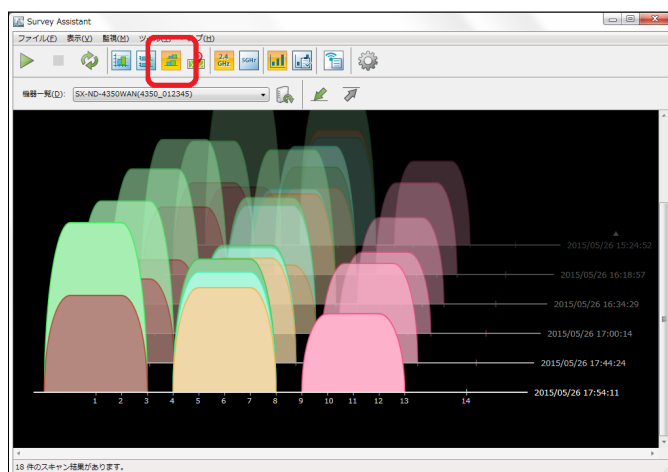
【機器表示設定画面】



項目	説明
表示機器の選択	グラフ表示する機器を選択します。 チェックボックスを ON にした機器がグラフ表示されます。
[↑] [↓] ボタン	選択中の機器の表示順を移動します。
[再取得]	選択中の機器の無線 LAN 環境をスキャンします。
[閉じる] ボタン	機器表示設定画面を閉じます。

履歴表示モード

ツールバーの「機器のスキャン結果履歴を表示」アイコンを選択します。
 選択した機器のグラフの履歴を時系列順に表示します。
 横軸は無線チャンネル、縦軸は無線の電波強度、奥行はスキャン日時を示します。

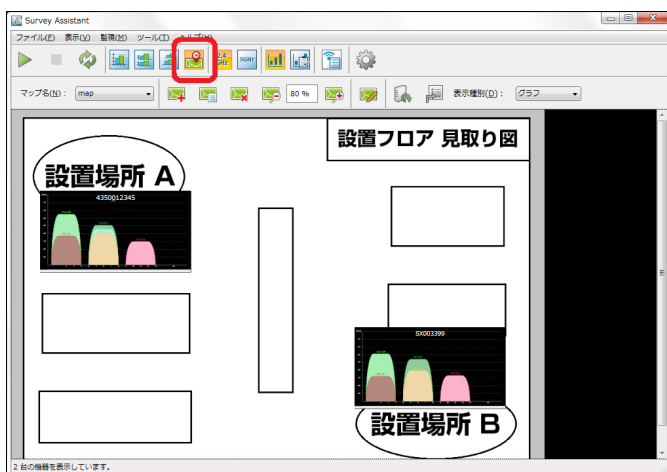


- 以下の方法でも履歴表示モードを選択できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「表示」 - 「履歴表示モード」
- 参考 ・ 履歴は、最大 100 件表示します。

アイコン	項目	説明
-	機器一覧	プルダウンメニューから、表示する機器を選択します。
	選択中の機器のグラフを更新	無線 LAN 環境をスキャンして、選択中の機器のグラフを更新します。最新のグラフは、1 番手前に追加されます。
	グラフを手前へ移動	グラフを手前へ1つスライドして表示します。
	グラフを奥へ移動	グラフを奥へ1つスライドして表示します。

マップモード

ツールバーの「マップ上にグラフを表示」アイコンを選択します。
 背景画像を設定したマップ上の任意の場所にグラフ表示します。
 マップの設定とグラフの配置方法は「5-8. 機器のグラフをマップ上に表示する」で説明します。



- 以下の方法でもマップモードを選択できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「表示」-「マップモード」

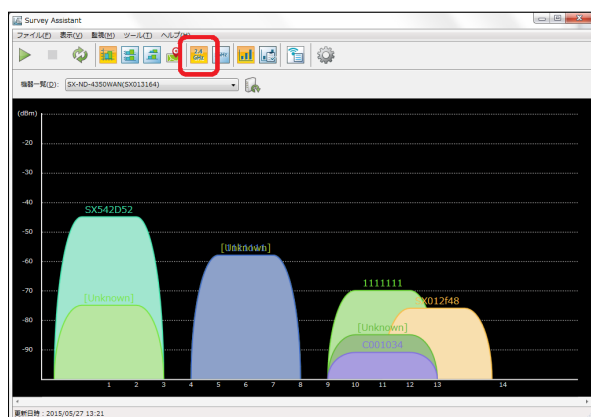
参考

アイコン	項目	説明
-	マップ名	使用するマップをプルダウンメニューから選択します。
	新規マップを追加	マップを新規作成します。
	現在のマップを編集	現在選択しているマップを編集します。 マップ名と背景画像が変更できます。
	現在のマップを削除	現在選択しているマップを削除します。
	マップを縮小	現在表示されているマップを縮小表示します。
	マップを拡大	現在表示されているマップを拡大表示します。
	グラフ編集モードへ移行	グラフ編集モードに移行します。 マップ上へグラフを配置できます。
	表示中の機器のグラフを更新	無線 LAN 環境をスキャンして、表示中の機器のグラフを更新します。 マップ上に表示されているすべてのグラフを更新します。
	選択中の機器をグラフ画面で表示	選択したグラフを「単体表示モード」で表示します。 複数のグラフを選択したときは、「複数表示モード」で表示します。
-	表示種別	マップ上のグラフ表示を機器のホスト名や IP アドレス、SSID などの機器情報の表示に切り替えます。

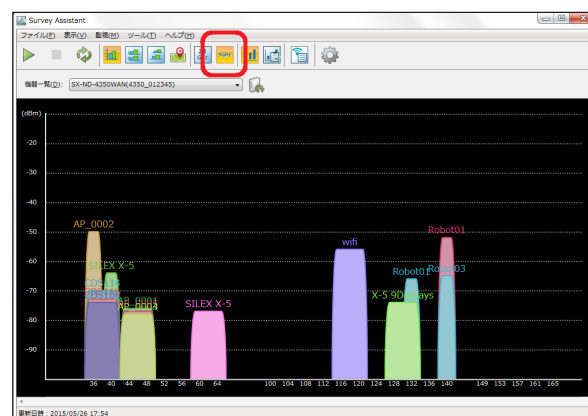
5-6. 表示帯域を切り替える

ツールバーの「2.4GHz 帯」アイコンと「5GHz 帯」アイコンで表示帯域を切り替えて、グラフ表示します。

【2.4GHz 帯】



【5GHz 帯】



参考

- 以下の方法でも表示帯域を選択できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「表示」 - 「2.4GHz」
 - 機器を選択して、メニューバーの「表示」 - 「5GHz」

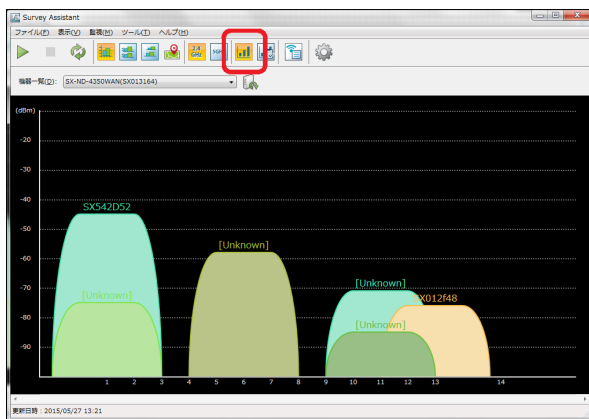
5-7. 表示方法を切り替える

ツールバーの「無線環境をカラーグラフで表示」アイコンと「無線環境の干渉状態を表示」アイコンで、表示方法を切り替えてグラフ表示します。

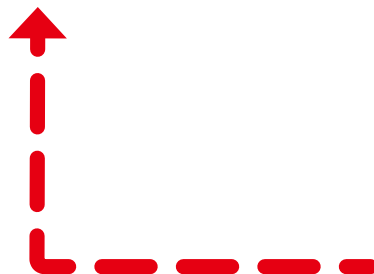
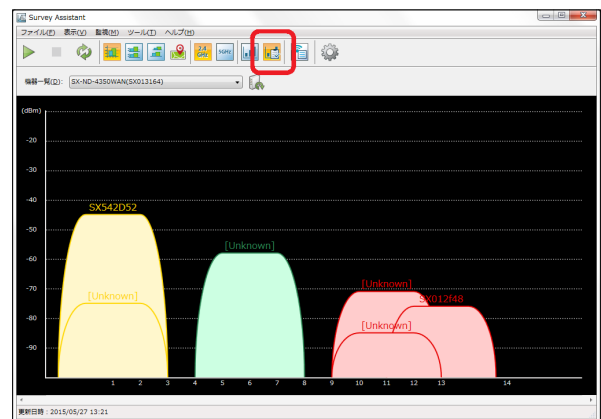
カラー表示では、各グラフを個別の色で表示します。

診断表示では、診断条件に従って「注意」「警告」「対象外」を表示します。診断条件は、オプション設定画面で設定します。

【カラー表示】



【診断表示】



表示色	診断結果
緑	正常
黄	注意
赤	警告
グレー	対象外



参考

- 以下の方法でも表示方法を選択できます。
 - 機器を選択して、メニューバーの「表示」-「カラー表示」
 - 機器を選択して、メニューバーの「表示」-「診断表示」
- 診断表示の表示色は「警告」→「注意」→「正常」の優先順で表示します。
 - 例) 「警告」と「注意」の条件に当てはまるグラフは、「警告」(赤)で表示されます。
- SSID 一覧画面で表示するグラフ切り替えた場合は、切り替え後の条件で再度診断して表示します。

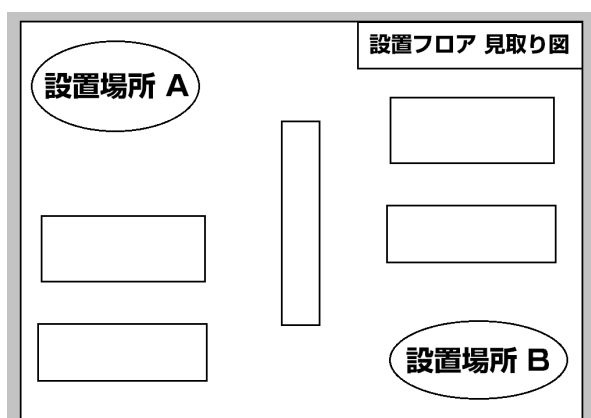
5-8. 機器のグラフをマップ上に表示する

背景画像の上にグラフを表示する方法について説明します。
無線機器を設置している場所の見取り図などを背景画像として表示したマップ上に、無線機器から取得した無線 LAN 環境のグラフを表示することができます。
背景画像とグラフを配置したマップは、複数登録できます。

事前準備

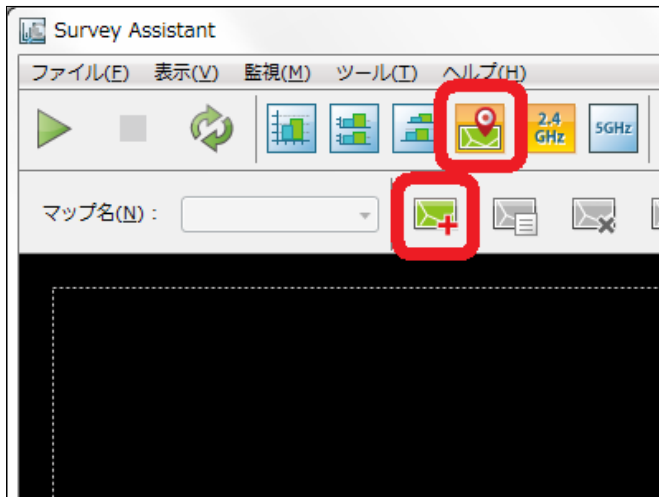
マップに表示する背景画像を用意します。
使用できるファイル形式は、BMP 形式です。

【背景画像の例】

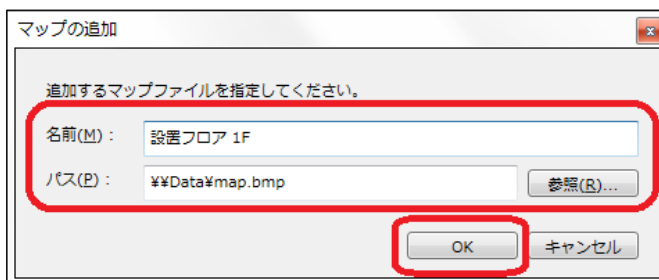


マップを作成する

1. ツールバーの「マップ上にグラフを表示」アイコンを選択して、画面領域の「新規マップを追加」アイコンをクリックします。



2. マップの追加画面が表示されます。
追加するマップに任意の名前を設定して、用意した背景画像のファイルの場所を指定して [OK] をクリックします。



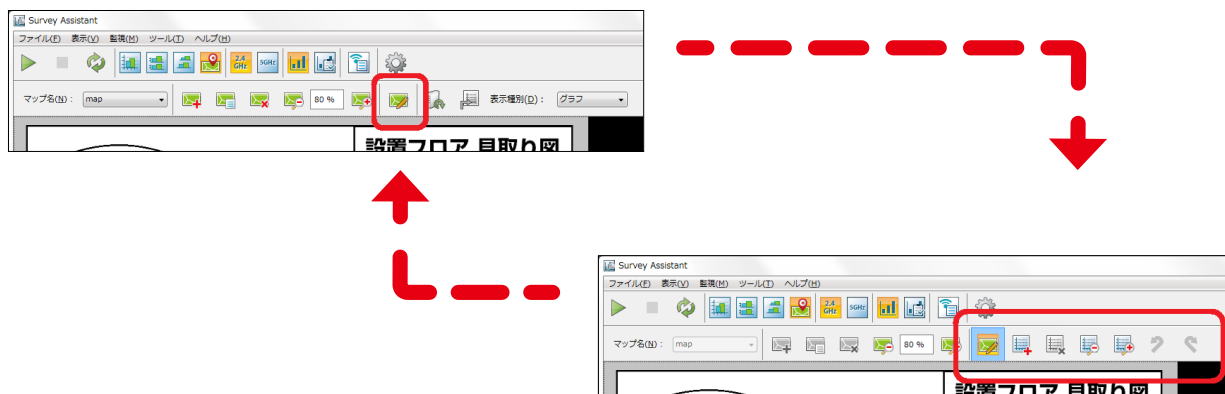
3. マップが作成されて、指定した背景画像が表示されます。



グラフ編集モード

マップモードで「グラフ編集モードへ移行」アイコンをクリックすると、「グラフ編集モード」になります。

グラフ編集モードでは、マップ上にグラフを配置できます。

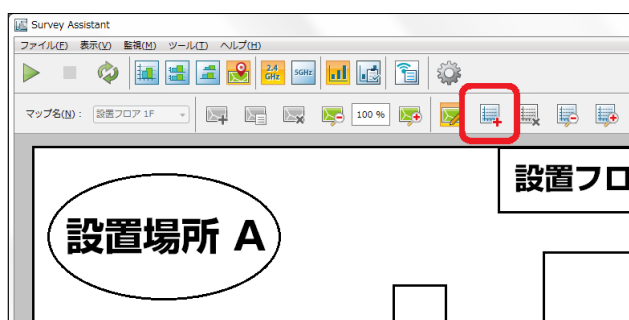


アイコン	項目	説明
-	マップ名	使用するマップをプルダウンメニューから選択します。 プルダウンメニューには、作成したマップが表示されます。
	マップを縮小	現在表示されているマップを縮小表示します。
	マップを拡大	現在表示されているマップを拡大表示します。
	グラフ編集モードを終了	グラフ編集モードを終了します。
	マップにグラフを追加	マップ上にグラフを配置します。
	グラフの削除	マップ上の選択したグラフを削除します。
	グラフの縮小	マップ上に配置したグラフを縮小表示します。
	グラフの拡大	マップ上に配置したグラフを拡大表示します。
	元に戻す	操作を元に戻します。
	やり直し	操作をやり直します。

マップ上にグラフを配置する

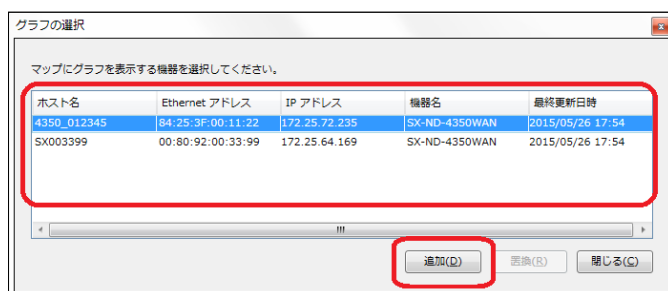
1. ツールバーの「グラフ編集モードに移行」アイコンをクリックすると、グラフ編集用のアイコンが表示されます。

「マップにグラフを追加」アイコンをクリックします。

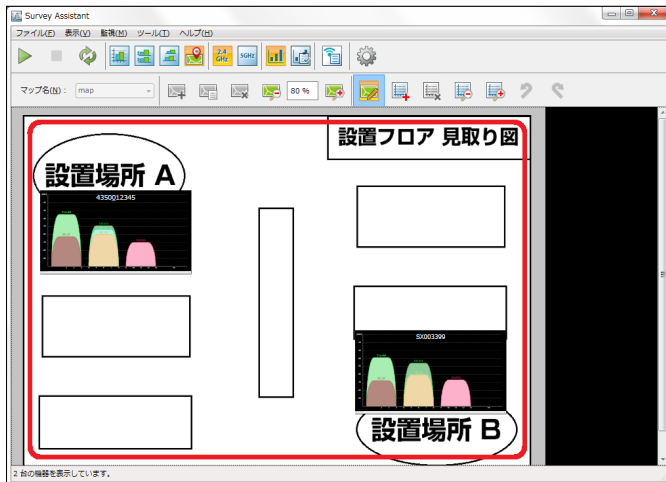


2. グラフの設置画面が表示されます。

機器リストからマップ上にグラフを表示する機器を選択して、[追加] をクリックします。



3. マップ上に選択した機器のグラフが表示されます。
グラフをドラッグして、マップ上の任意の場所に配置します。
複数のグラフを表示する場合は、手順1から繰り返します。



4. 任意の位置にグラフを配置したら、ツールバーの「グラフ編集モードを終了」アイコンをクリックします。

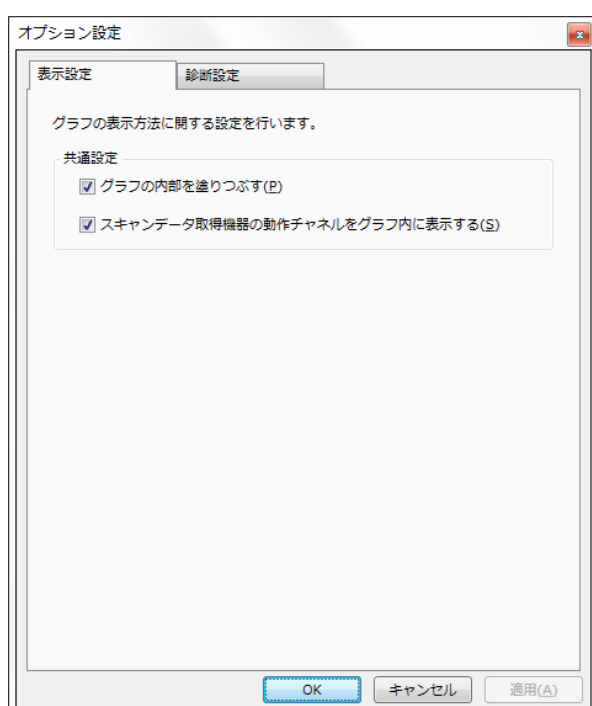


5-9. Survey Assistant の設定を変更する

グラフ表示や診断モードの動作を設定する方法について説明します。
Survey Assistant の動作に関する設定は、オプション設定画面で行います。

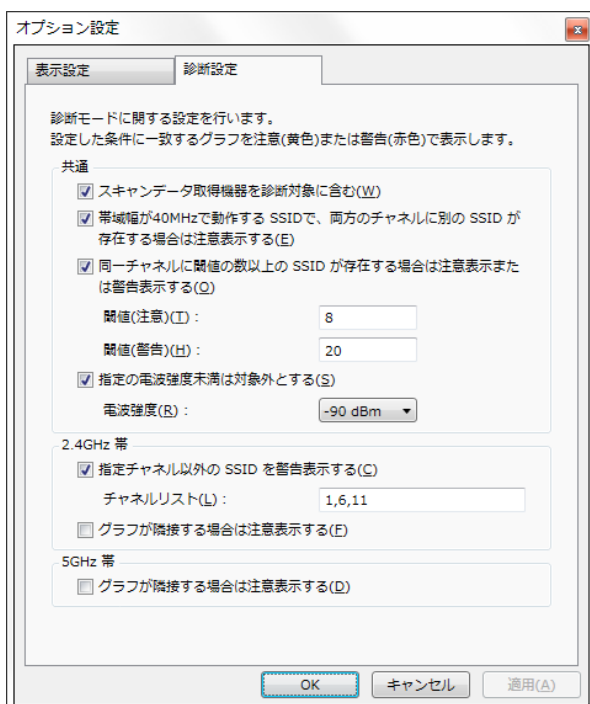
オプション設定画面

【表示設定タブ】



項目	説明	初期値
グラフの内部を塗りつぶす	各グラフの枠内をカラー表示します。 無効 (OFF) にすると、重なって表示されているグラフの確認がしやすくなります。	ON
スキャンデータ取得機器の動作チャンネルをグラフ内に表示する	無線 LAN 環境を取得した機器の動作チャンネルを赤線で表します。赤線はグラフの横軸に表示している無線チャンネルの下部に表示します。	ON
[OK] ボタン	設定を保存して、オプション設定画面を閉じます。	-
[キャンセル] ボタン	オプション設定画面を閉じます。	-
[適用] ボタン	設定を保存します。	-

【診断設定タブ】



項目	説明	初期値
スキャンデータ取得機器を診断対象に含む	無線 LAN 環境を取得した機器の電波を、電波干渉の診断対象に含めます。 Survey Assistant は、機器自身の電波状況を含めずに機器が取得した周辺の無線 LAN 環境をグラフ表示します。	ON
帯域幅が 40MHz で動作する SSID で、両方のチャンネルに別の SSID が存在する場合は注意表示する。	802.11n の機能で、2 つのチャンネルを束ねて 40MHz 帯域幅で使用する機能があります。この機能は、使用する 2 つのチャンネルのそれぞれを他の SSID が使用中の場合は、両チャンネルが使用可能になるまで通信できません。このような状況が発生する可能性がある場合に注意表示します。	ON
同一チャンネルに閾値の数以上の SSID が存在する場合は注意表示または警告表示する	1 つのチャンネル上に、設定した閾値の数以上の SSID が存在するとき、注意または警告表示します。	ON
閾値（注意）	黄色で注意表示にする SSID の数を指定します。	8
閾値（警告）	赤色で警告表示にする SSID の数を指定します。	20
指定の電波強度未满是対象外とする	指定した電波強度に満たない SSID を電波干渉の診断対象外として、灰色で表示します。	ON
電波強度	対象外にする電波強度の閾値を指定します。	-90dBm
指定チャンネル以外の SSID を警告表示する	2.4GHz 帯で、チャンネルリストで指定したチャンネル以外の SSID を赤色で警告表示します。	ON
チャンネルリスト	2.4GHz 帯で、赤色で警告表示をさせないチャンネルを指定します。 2.4GHz 帯では、帯域が重ならないようにするため、「1,6,11」、「2,7,12」、「3,8,13」のように 5 チャンネル以上離れたチャンネルでの使用が推奨されます。	1,6,11

項目	説明	初期値
グラフが隣接する場合は注意表示する	2.4GHz 帯で、グラフ同士が隣接する SSID を黄色で注意表示します。	OFF
グラフが隣接する場合は注意表示する	5GHz 帯で、グラフ同士が隣接する SSID を黄色で注意表示します。	OFF
[OK] ボタン	設定を保存して、オプション設定画面を閉じます。	-
[キャンセル] ボタン	オプション設定画面を閉じます。	-
[適用] ボタン	設定を保存します。	-

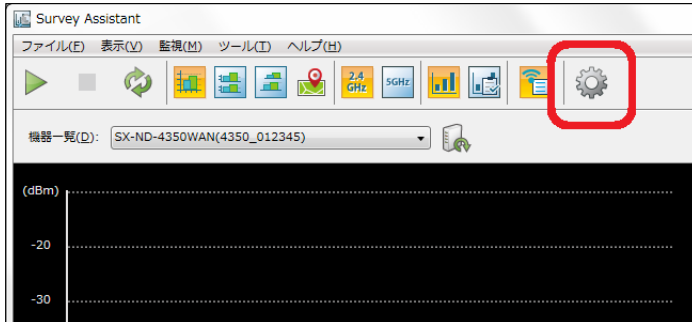


参考

- 2.4GHz 帯でグラフが重なる場合（動作チャンネルの間隔が 3 チャンネル以内の場合）は、常に赤色で警告表示します。
- 利用可能なチャンネル数が不足する無線環境では、帯域が重なるチャンネルよりも、同じチャンネルの使用が推奨されます。帯域が重なるチャンネルが同時に通信を行うと、お互いの無線パケットを破壊するのに対して、同じチャンネルを使用する場合はキャリアセンスが働くため、帯域を分け合い共存することができるためです。

Survey Assistant の設定を変更する

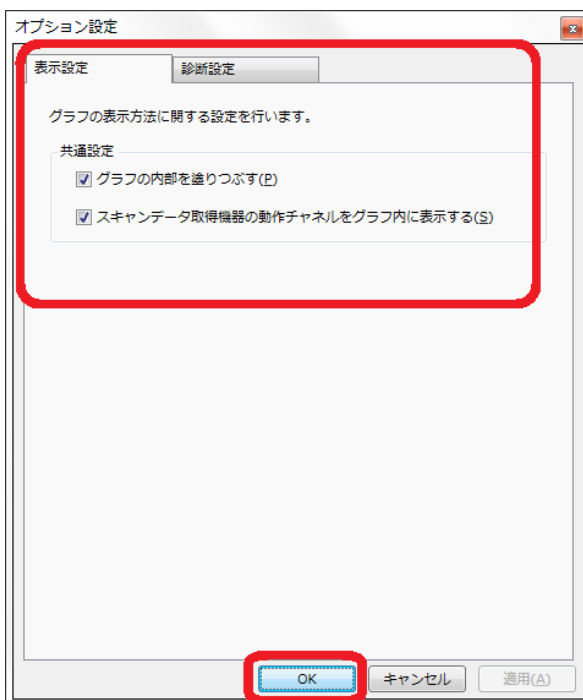
1. ツールバーの「オプション設定」アイコンをクリックします。



- ・メニューバーの「ツール」-「オプション」でも表示できます。

参考

2. オプション設定画面が表示されます。
変更する設定項目を編集して、[OK] をクリックします。



A. 付録

A-1. AMC Manager® をアンインストールする

AMC Manager® のアンインストール手順について説明します。
AMC Manager® が不要になった場合は、以下の手順でアンインストールしてください。



- ・ アンインストールは、Administrator（管理者）権限を持つユーザで実行してください。

注意

1. 「スタート」－「コントロールパネル」を起動して、「プログラムのアンインストール」をクリックします。



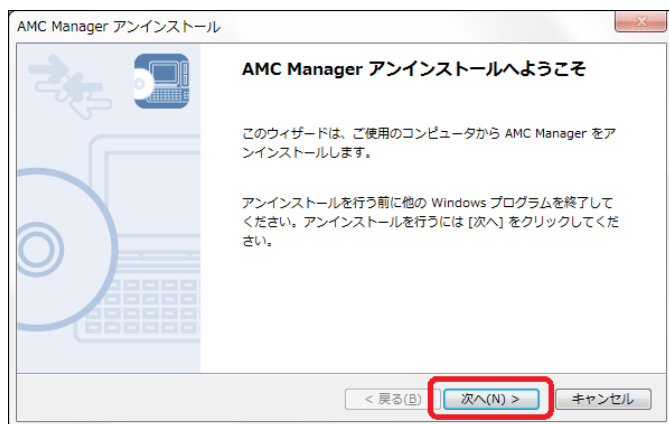
参考

- ・ Windows 8 / 8.1 をお使いの場合は、アプリ画面からコントロールパネルを起動します。
 - ・ Windows 8 の場合、スタート画面上で右クリックし、画面下に表示されたアプリバーから「すべてのアプリ」をクリックします。
 - ・ Windows 8.1 の場合、スタート画面上でマウスポインターを動かし、画面下部に表示された [↓] ボタンをクリックします。
- ・ Windows 10 をお使いの場合は、「スタート」－（「すべてのアプリ」）－「Windows システムツール」－「コントロールパネル」からコントロールパネルを起動します。
- ・ Windows 11 をお使いの場合は、「スタート」－「すべて（のアプリ）」－「silex Tools」から「AMC Manager」を右クリックして、「アンインストール」をクリックします。

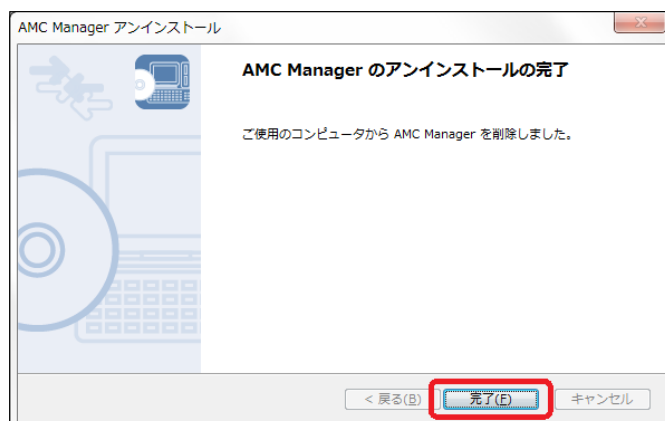
2. 一覧から「AMC Manager」を選択して、「アンインストール」をクリックします。



3. アンインストールのようこそ画面が表示されます。
[次へ] をクリックして、アンインストールを開始します。



4. アンインストールの完了画面が表示されます。
[完了] をクリックします。



A-2. 最新ファームウェアをダウンロードする

ファームウェアの更新で使用する各機種種の最新ファームウェアは、当社 Web サイトからダウンロードできます。

当社 Web サイトのサポート・ダウンロードページからダウンロードしてください。

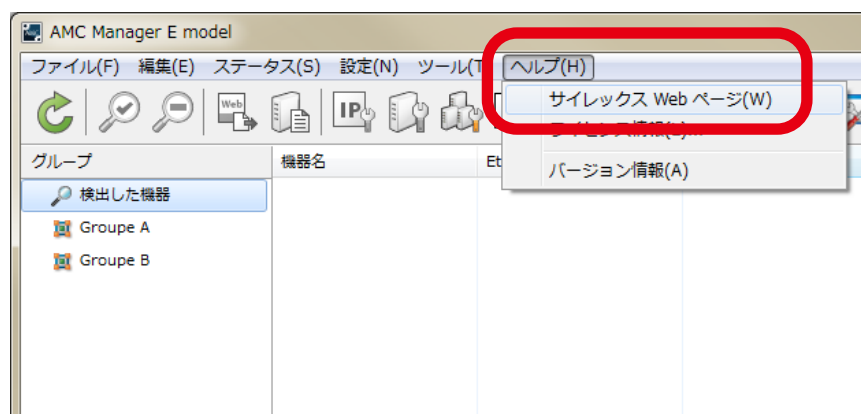
当社 Web サイト (<https://www.silex.jp/>)



以下の方法でも当社 Web サイトを表示できます。

参考

- AMC Manager® で、メニューバーの「ヘルプ」 - 「サイレックス Web ページ」
- Survey Assistant で、メニューバーの「ヘルプ」 - 「サイレックス Web ページ」



A-3. アプリケーションについてのお問い合わせ

Web ブラウザのアドレスバーに下記アドレスを入力して、お問い合わせページにアクセスしてください。

お問い合わせページ
<https://www.silex.jp/contact/contact-input>

(空白ページ)